

印光法師文鈔下冊

目次

印光法師文鈔目次（下）

卷三序	1
印施極樂圖序.....	1
重刻佛說阿彌陀經序.....	2
重刻彌陀略解圓中鈔勸持序.....	2
隨自意三昧校正重刻序.....	3
石印普陀山志序.....	5
紹興何閭仙家慶圖序.....	7
募設千僧齋序.....	8
重刻明宋文憲公護法錄序.....	9
重刻龍舒淨土文題詞并序.....	11
佛學指南佛學起信編六道輪迴錄總序.....	12
重刻安士全書序一.....	15
重刻安士全書序二.....	17
袁了凡四訓鑄板流通序.....	19
四書蕩益解重刻序.....	21
法華入疏序.....	22
普賢行願品疏鈔擷序.....	23
金剛經次詁序.....	25
金剛經綫說鑄板流通序.....	26
讚禮地藏菩薩懺願儀重刻序.....	28
揀魔辨異錄重刻序.....	28
揀魔辨異錄石印序.....	30
三十二祖傳讚序.....	31
淨業良導序.....	32
佛學初階序.....	33
釋教三字經序.....	33
劉圓照居士摸象詩序.....	34
佛學述要鑄板流通序.....	35
格言聯璧重刻序.....	35
不可錄重刻序.....	36

不可錄敦倫理序.....	37
普濟禪寺打交盤萬年簿序.....	39
別庵統祖新公堂序.....	40
眠雲公堂序.....	41
通智法師公堂序.....	41
立山老人派下子孫公堂序.....	43
募建藥王篷序.....	44
法雨寺萬年簿序.....	45
化聞老人公堂序.....	46
白華庵法譜序.....	46
香積會齋僧規約序.....	47
圓通庵萬年簿序.....	48
永悟和尚公堂序.....	49
初機淨業指南序.....	50
藥師如來本願功德經重刻序.....	52
修正管理寺廟條例并護教文稿序.....	52
江慎修先生放生殺生現報錄序.....	54
廈門流通佛經緣起序.....	57
法如庵萬年簿序.....	58
傅大士傳錄序.....	59
觀河集重刻序.....	60
觀無量壽佛經石印流通序.....	61
佛光月報序.....	62
募修雲谷禪師塔院序.....	64
西方公據重刻序.....	65
樂清虹橋淨土堂序.....	66
阿彌陀經直解序.....	68
十三經讀本序.....	68
以大乘入楞伽經斷食肉品誡神勿享肉食序.....	70
揚州普照寺同戒錄序.....	71
重刻水陸儀軌序.....	72
新昌大佛寺修築放生池募緣序.....	73
金山江天禪寺傳戒序.....	74
鄞縣至邱隘鎮修諸橋樑徵信錄序.....	75

淨土釋疑序.....	76
觀無量壽佛經善導疏重刻序.....	77
京師第一監獄於甲子元旦普說三歸五戒序.....	78
金剛經石刻序.....	80
佛遺教經解刊布流通序.....	80
心經淺解序.....	83
觀世音菩薩本迹感應頌緣起序.....	84
教觀綱宗釋義紀重刻序.....	85
上海世界居士林佛學研究叢書序.....	86
金剛經功德頌序.....	87
儒釋一貫序.....	87
近代往生傳序.....	90
慈悲道場懺法隨聞錄序.....	91
因果錄序.....	92
生西金鑑序.....	93
棲真常住長年念佛序.....	94
歸宗精舍同修淨業序.....	94
臺灣佛教會緣起序.....	96
吳淞佛教居士林發隱序.....	97
佛化隨刊序.....	98
佛川敦本學校緣起序.....	100
千佛圖頌井序.....	101
佛法要論序慎.....	102
普陀體仁施棺會緣起序.....	103
三聖堂萬年簿序.....	104
蔡伯倫居士嚶鳴集序.....	105
教誨淺說序.....	105
橫超蓮社緣起序.....	106
觀世音菩薩本迹感應頌重刻木板序.....	107
阿彌陀經白話解釋序.....	108
欲海回狂普勸受持流通序.....	109
壽康寶鑑序.....	110
闢自由結婚邪說文序（代撰）.....	113
跋.....	113

歸心堂跋	113
梵網經心地品菩薩戒疏注節要跋.....	114
石印異僧守松草書心經跋.....	116
清世宗御製普陀法雨寺碑文跋.....	116
六度室跋	117
心歸淨處跋.....	117
項伯吹先生定海縣監獄講經參觀記跋.....	117
往生論註跋.....	119
大總統教令管理寺廟條例跋.....	119
藥師如來本願經重刻跋.....	120
聞經室跋	121
信願念佛決定往生淺說跋.....	122
蓮榮堂跋	122
鄧璞君義莊跋.....	123
記	124
釋迦如來真身舍利來儀記.....	124
釋迦如來玉像來儀峨嵋山萬年寺毘盧殿記.....	125
陝西南五臺山大覺巖西林茅篷專修淨業緣起記.....	126
書華嚴經訟過記.....	128
重修普陀太子塔兼造荷華池欄杆碑記.....	129
普陀海岸道頭創建水泥牌坊重修迴瀾亭碑記.....	130
無著老人創建常明庵緣起碑記.....	131
砌普陀山仙人井功德碑記.....	132
江蘇興化劉莊場貞節淨土院碑記.....	133
陳聖性貞女貞孝淨業記.....	134
烏程周夢坡居士夫人誕期放生碑記.....	137
循陔小築發隱記.....	138
佛頂山路旁造鐵欄杆碑記.....	139
濟南淨居寺重興碑記.....	140
常明庵萬年念佛會碑記.....	142
普陀普濟寺化身塔記.....	142
普陀法雨寺化身塔記.....	143
鎮海李太夫人然燈照海記.....	144
重修百丈大智懷海禪師塔院記.....	145

重造小白嶺五佛鎮蟒塔功德碑記.....	147
金陵妙悟律院垂裕記.....	149
甲壽徑緣起碑記.....	150
九江居士念佛林蓮社緣起碑記.....	151
五臺山秘魔巖中庵石窟接引佛裝金記.....	152
岳運生居士往生記.....	153
汪含章夫人往生記.....	154
徐母楊太夫人生西記.....	156
陸西林居士感應記.....	158
烏尤山寺新建藏經閣記.....	159
烏尤山普同塔記.....	160
創建菩提精舍緣起碑記.....	161
創建西方三聖殿功德碑記.....	163
螺頭廟東照寺重修地母廟碑記.....	163
今彩大師往生記.....	164
趙尊仁居士往生記.....	165
沙健庵居士往生記.....	165
沈翊仙居士脫難記.....	167
永春重修東關僑觀音靈感記.....	168
雜著.....	169
潮陽佛教分會演說一.....	169
潮陽佛教分會演說二.....	172
潮陽佛教分會演說三.....	172
潮陽佛教分會演說四.....	173
味精能挽劫運說.....	174
岳步雲為親所設佛堂說.....	175
普勸愛惜物命同用清明素皂以減殺業說.....	176
息災衛生豫說.....	177
因果為儒釋聖教之根本說.....	179
普勸戒殺吃素挽回劫運說.....	181
馮平齋宜人事實發隱.....	185
康母往生紀念冊發隱.....	186
江母郭太夫人西歸事略發隱.....	187
陳了常優婆夷往生事迹兼佛性發隱.....	188

大慈悲室發隱.....	190
馬母姚夫人往生事實發隱.....	193
曹雲蓀了義居士捨宅為念佛林發隱.....	194
裘焯庭先生與其夫人雙壽序發隱.....	195
孫母林夫人事實發隱.....	196
崔母孫夫人往生傳發隱.....	198
慈悲鏡發隱.....	199
唐氏先塋附青蓮尼塔發隱.....	200
唐孝子祠校發隱.....	201
廣東高州佛學研究會緣起.....	203
上海佛學編輯社緣起.....	204
常齋會題詞并緣起.....	206
樂清柳市募建淨土堂緣起.....	208
請淨權法師講法華經啟.....	208
請淨權法師講彌陀疏鈔啟.....	209
寧波功德林蔬食處開辦廣告.....	209
啟建水陸壽筵小參.....	210
對靈小參.....	211
啟建水陸對靈小參.....	211
定海張總戎薦親對靈小參.....	212
祭盛寅懷文.....	213
祭韓山曦居士文.....	213
胡嘉科祭祖母文.....	213
阿彌陀佛像讚.....	214
觀世音菩薩本迹感應頌卷首像讚.....	214
瘋僧像讚.....	215
淨土問答并序.....	215
為在家弟子略說三歸五戒十善義.....	217
三歸者.....	217
五戒者.....	218
十善者.....	219
示某比丘尼.....	220
戒堂小食榜.....	221
幽冥戒牒.....	221

示陳生	222
示淨土法門及對治瞋恚等義.....	223
昭文古會殺生致祭辯訛.....	226
世界佛教居士林新林落成頌.....	227
募刻華嚴經普回向頌.....	227
題憨山大師六詠手卷.....	228
題心佛閣	228
題明心見性之齋.....	229
題仙佛合宗處.....	229
為梨園會首某上堂.....	229
大雲月刊出版祝詞.....	230
東瀛佛教會來山歡迎詞.....	230
李母黃太夫人墓誌銘.....	231
潘對臯居士望七大慶頌.....	233
王欣甫居士懿行頌.....	233
王母蔣太夫人西歸頌.....	233
蘊空張夫人西歸頌.....	234
王母揚太夫人懿行頌.....	234
龔圓常夫人寫經瑞應頌.....	234
金剛經勸持發隱.....	235
觀世音菩薩三十二應發隱.....	236
嘉言錄題詞.....	237
佛說輪轉五道罪福報應經集解題詞.....	238
泥金繪像普門品頌.....	239
附錄	239
南五臺山圓光寺觀音菩薩示迹之記.....	239
念佛三昧摸象記.....	241
勸燬淫書說.....	243
戒煙神方	243
原跋	244
印造經像之功德.....	245
印造經像之機會.....	248
印造經像之方法.....	251
發願文之程式.....	252

寫時畫時之註意.....	253
結論	253
閱覽佛學經書翻動時減少罪過之注意.....	254
唐義淨三藏法師西域取經詩.....	255
附錄安士全書印造經文發明.....	255
附錄證通法師西資社同誓文.....	255
徹悟禪師念佛伽陀教義百偈.....	256
徹悟禪師念佛伽陀教義百偈.....	257
徹悟禪師念佛伽陀教義百偈.....	258
徹悟禪師念佛伽陀教義百偈.....	258
徹悟禪師念佛伽陀教義百偈.....	258
附記	260

印光法師文鈔卷第三

序

印施極樂圖序代撰

大矣哉·淨土法門之為教也。是心作佛·是心是佛·直指人心者·猶當遜其奇特。即念念佛·即念成佛·歷劫修證者·益宜挹其高風。普被上中下根·統攝律教禪宗。如時雨之潤物·如大海之納川。偏圓頓漸一切法·無不從此法界流。大小權實一切行·無不還歸此法界。不斷惑業·得預補處。即此一生·圓滿菩提。九界眾生離是門·上不能圓成佛道。十方諸佛捨此法·下不能普利羣萌。是以華嚴海眾·盡遵十大願王。法華一稱·悉證諸法實相。最勝方便之行·馬鳴示于起信。易行疾至之道·龍樹闡于婆沙。釋迦後身之智者·說十疑論而專志西方。彌陀示現之永明·著四料簡而終身念佛。匯三乘五性·總證真常。導上聖下凡·同登彼岸。故得九界咸歸·十方共讚·千經併闡。萬論均宣。誠可謂一代時教之極談·一乘無上之大教也。不植德本·歷劫難逢。既獲見聞·當勤修習。(不慧)生植末世·幸遇斯門。愧無自利利他之力·頗有己立立人之心。欲令貴賤智愚·僧俗男女·迴客途以歸本國·捨穢土而生蓮邦。因繪極樂世界依正莊嚴圖·明示淨境·用生信向。傍書念佛起止儀·及十念法門·令隨分隨力·逐日修持。明初鄞江有大禪師·厥名妙葉·徹悟禪宗·深通教理·自行化他·專主淨宗。所著寶王三昧念佛直指·文理兼暢·今古絕倫。其極樂依正篇·揭示樂邦妙境·包括淨土諸經·與上圖像·交光相映·一際無痕。遂依原本·錄于其下。庶見聞禮誦者·知出苦之要道·修成佛之真因。信願任運發生·佛號執持不已。從茲同離穢土·同生淨邦·同侍彌陀于九蓮·同圓種智於一念。如斯利益·何可名言。良由以果地覺·為因地心·故得因該果海·果徹因源也。石印萬張·用結淨緣。又祈善信展轉流通·俾十方法界一切有情·齊還本有之家鄉。常住寂光之淨土云爾。

重刻佛說阿彌陀經序代撰

竊惟淨土之為教也。肇始於彌陀導師。演暢於釋迦世尊。十方諸佛。出廣長舌以讚揚。兩土聖賢。發金剛心而流布。總而論之。一代時教。百千法門。無非令人由文字般若而起觀照般若。由觀照般若而證實相般若。既證實相般若。則心淨土淨。情空境空。如一月普印於千江。若萬籟咸鳴於一風。光明壽命。橫徧豎窮。直與彌陀世尊。同一廣大悠久。如是則何經非淨土之經。何行非淨土之行。約而言之。唯淨土三經。專明其致。大啟願輪。深明緣起。其唯無量壽經。專闡觀法。兼示生因。其唯十六觀經。如上二經。法門廣大。諦理精微。末世鈍根。誠難得益。求其文簡義豐。詞約理富。三根普被。九界同遵。下手易而成功高。用力少而得效速。篤修一行。圓成萬德。頓令因心。即契果覺者。其唯佛說阿彌陀經歟。良由一聞依正莊嚴。上善俱會。則真信生而切願發。有若決江河而莫御之勢焉。從茲拳拳服膺。執持萬德洪名。念茲在茲。以至一心不亂。能如是。則現生已預聖流。臨終隨佛往生。開佛知見。同佛受用。是知持名一法。括囊萬行。全事即理。全妄即真。因該果海。果徹因源。誠可謂歸元之捷徑。入道之要門。古德謂餘門學道。如蟻子上於高山。念佛往生。似風帆揚於順水。良有以也。(某)宿業深重。罔諳淨宗。實無自利利他之力。頗有己立立人之心。重刊此經。廣為流通。俾讀者各各執持名號。咸歸一心。迴出塵世。倏登極樂。以法藏之願輪。攝取眾生。仗淨土之境緣。直趨佛果。庶無問自說。不付空談。而有聞斯行。方為實行。遂稽首謹勸而說頌曰。見聞隨喜者。悉發菩提心。盡此一報身。同生極樂國。

重刻彌陀略解圓中鈔勸持序

念佛求生淨土一法。乃十方諸佛普度眾生之要道。九界眾生速證佛果之妙門。諸大乘經。皆啟斯要。淨土三經。專明其致。世多習矣不察。視為淺近。謂不若教海之宏深。禪宗之直捷。每揚宗教而抑淨

土·尚自力而惡佛加。當仁固讓·見義不為。致如來徹底悲心·鬱而不暢。眾生出苦捷徑·塞而罔通。今不避罪責·略引證據。冀見聞隨喜·同生蓮邦。如來初成正覺·為四十一位法身大士·演大華嚴。及至入法界品·善財以十信滿心·受文殊教·徧參知識。初見德雲·一聞念佛法門·即證初住。從茲隨參隨證。及五十三至普賢所·普賢以威神加被·即時善財所證·與普賢等·與諸佛等。普賢乃為說十大願王·勸進善財·併華藏海眾·回向往生西方極樂世界。而觀經五逆十惡·地獄相現·十稱佛名·即得往生。夫法身大士·悉願往生。阿鼻罪人·尚預末品·法門之宏深直捷·孰有過於此者。誠可謂教海之南針·禪宗之北極。一切諸法·無不從此法界流。河沙妙義·無不還歸此法界。以故西天文殊·普賢·馬鳴·龍樹·東土遠公·智者·善導·永明。或發願而說經·(文殊有發願經、普賢說行願品、)或註經而造論。莫不以此法門自行化他·普利含識。而古人欲令舉世咸修·故以阿彌陀經列為日課。以其言約而義豐·行簡而效速。宏法大士·註疏讚揚。自古及今·多不勝數。於中求其至廣大精微者·莫過於蓮池之疏鈔。極直捷要妙者·莫過於滿益之要解。幽溪法師·握台宗諦觀不二之印·著略解圓融中道之鈔。理高深而初機可入·文暢達而久修咸欽。奈流通既久·錯訛甚多。因校訂重刻·俾復舊觀。彌陀一經·得此三疏·法無不備·機無不收。隨研一種·亦可知其指歸。徧閱三書·方堪徹其閫奧。自此圓發三心·執持聖號。期出五濁之惡世·冀證四德之玄猷。如是則臨命終時·定蒙彌陀接引·聖眾偕迎。託質蓮胎。離險道以安居寶所。聞法受記·由同居而頓證寂光。撩起便行·阿誰無分。書此愚忱·敢告同人。

隨自意三昧校正重刻序

佛法廣大如法界·究竟如虛空。欲修習者不得其要·必致望洋興歎·生退屈想。若得其要·則雖有無量法門·無邊行相·一以貫之。愈博而愈見其約·愈繁而愈見其簡。雖其理性廣大高深·如天如地·如山如海。而博地凡夫·亦可坐進此道。由茲斷煩惱以獲三昧·圓福

慧以證四德。直趣果覺。成無上道。況登住行向地之聖人哉。其要唯何。曰根塵識等一切諸法。其實體實性。悉皆空無所有。了此則四相原無。三輪體空。萬法森羅。一道清淨。凡夫迷之。故法法頭頭。皆成障礙。於五陰六入十二處十八界七大。各起煩惱。造生死業。聖人悟之。故法法頭頭。總是真如。於五陰六入十二處十八界七大。各證圓通。成菩提道。迷悟雖異。性本無二。性雖無二。苦樂迥殊。南嶽大師憫之。因著隨自意三昧。於行住坐臥食語六威儀中。處處點示諸法實相。所謂根塵識性。空無所有。及三輪體空。四相叵得等。令人於一機一境。各得親見實相。咸了自心。處處點示六波羅蜜殊勝妙行。令人於一動一靜。皆能上求下化。自利利他。其所點示。與楞嚴陰入界大。皆如來藏妙真如性。法華治世語言資生業等。皆順正法。皆與實相不相違背。金剛無所住而生心。不住色聲香味觸法而行布施。度脫一切眾生。而不見能度所度之義。悉皆脗合。乃將自己所悟所證之法。徹底掀翻。和盤託出。普施後世。俾得依此而修。以期同悟同證而已。又所言初發心菩薩者。具有二義。一即博地凡夫發大心者。一即圓教初發心住。初破無明見法性者。其所謂根塵識性。空無所有等。在凡夫地。欲趣佛果。必須先悟此理。方有實證。否則縱有修持。皆屬有漏。不成菩提。其所謂於一念中。徧於十方佛前。普興供養。受佛法化。徧於十方眾生前。隨類現身。應機說法。普令三根。咸得利益。此則唯圓教初住菩薩。乃能為之。若不知其理其修。通於凡夫。必有高推聖境。自處凡愚之過。若不知大體大用。初住方得。必有未得謂得。以凡濫聖之愆。了此則上慕諸聖。下重己靈。既無安愚之失。又無濫聖之咎。其直趣覺路。速到寶所。若操左券而取故物。夫何難之有。因此流通徧於中外。其後之得失因緣。具於初刻序跋中。茲不復贅。蔚如徐君浙西世家。十世奉佛。君於幼時。即稟庭訓。兼學佛乘。近於公暇。徧閱內典。得東瀛此書流通本。息心研究。見其錯訛甚多。因取日藏校對。改正者有數十處。隨即刻板。以期普利。以(量)屬同志。遂贈數本。因焚香敬閱。見其文義。多有不安。如雲籠月。

不見真相。竊念此書流傳至今·經千三百餘年·安得無訛。乃按文按義·略事修治。則直同雲開月露·光體具呈。文理俱暢·悅人心目。隨以其本寄與徐君·深蒙讚許·即事重刻。又令作序以述緣起·(量)雖固陋·義不容辭。須知此刻·雖有修治·實無更改。不過正其傳寫之訛·俾還南嶽本來面目而已。世有病人·醫為診脈·臟腑之虛實·尚能知之。況此文義顯露·的的可據。豈不能知其贅脫錯訛者乎。其大方家·必不以(量)之修治為失慎·而深見罪責也已。

石印普陀山志序

觀世音菩薩於無量劫前·久成佛道·號正法明。但以度生念切。救苦心殷·不離寂光·垂形六道。徧於十方微塵佛國。普現色身·度脫眾生。非獨止現菩薩之身·而二乘六道·無身不現。法華所謂應以何身得度者·即現何身而為說法。雖則徧入十方佛國·而於娑婆因緣·甚深甚深。雖則普現十法界身·而世人據迹而論·止云菩薩而已。以其徹證唯心·圓彰自性·故得悲運同體·慈起無緣。由本高而體大·故迹廣而用宏。其隨類逐形·尋聲救苦·有感即應·無願不從之迹·喻如月麗中天·影現眾水。不但江湖河海·各現全月。即小而一勺一滴·無不各各皆現全月。又江湖河海中月·一人觀之·則其月與己相對。即百千萬人於百千萬處觀之·亦皆各各與己相對。人若東行·月則隨之而東。人若西行·月則隨之而西。人若安住不動·月則不離當處。一人乃至百千萬人·悉皆如是。菩薩於一念中·徧法界感·徧法界應。感應道交·無少差殊。與此一月普現眾水·隨人隨地各見全月·了無有異。良由菩薩心包太虛·量周沙界。以眾生之心為心·以眾生之境為境。故得不謀而合·無緣而應。豈世智凡情所能測度者哉。至若水昏而目盲·則不能見。非月不現·是昏盲咎。其感應之迹·有顯感顯應·冥感冥應·冥感顯應·顯感冥應·亦冥亦顯感而顯應·亦冥亦顯感而冥應之不同。(顯感顯應者、現生竭誠盡敬禮念供養、即蒙加被、逢凶化吉、遇難呈祥、及業消障盡、福增慧朗等、冥感冥應者、過去生中曾修竭誠禮念等行、今生雖未修習、由宿善根、得蒙加被、

不知不覺、禍滅福臻、業消障盡等、冥感顯應者、宿生曾種善根、今生得蒙加被、顯感冥應者、現生竭誠禮念、不見加被之迹、冥冥之中、承其慈力、凶退吉臨、業消障盡等、亦冥亦顯感而顯應者、宿世曾種善根、今生竭誠禮念、顯蒙加被、轉禍為福等、亦冥亦顯感而冥應者、宿世曾種善根、今生竭誠禮念、冥冥之中、承其慈力、獲種種益也、了此則知功不虛棄、果無浪得、縱令畢生不見加被之迹、亦不至心生怨望、半途而廢、感應之道、微妙難思、略書梗概、以勸來哲、) 其應之大小優劣、在其誠之至與未至而已。縱令心不諦信、致誠未極。但能一念投誠、亦必皆蒙利益。但隨己一念之誠、而分優劣、不能如竭誠盡敬者蒙益之殊勝超絕耳。如昏水中、亦有月影、但晦而不顯。盲人雖不能親見月光、又何嘗不蒙其照燭也。菩薩大慈大悲、普為法界眾生恃怙。由茲舉國人民、各皆信奉、故有家家觀世音之常談。其應化道場、固非一處。如陝西南五臺山、大香山、浙江天竺山等。其感應昭著、香火肱蠻、唯南海普陀山最為第一。以其名載華嚴、昔年善財親參。恩周庶類、歷代皇帝勅建。故致舉世欽崇、各國景仰。緬維菩薩應化三乘天仙一類大機、固於此山經劫常住、何止天長地久。至於凡夫所見之迹、乃於五代朱梁貞明二年、慧鑄大師由五臺請銅觀音像、欲歸日本、至此舟膠不動、方始開山。迄今千有餘年、其事迹詩文、錄之成帙、名曰普陀山志。余嘗病其於菩薩不思議感應事理、殊欠發揮。擬欲徧閱大藏、博覽羣書、凡屬菩薩隨機赴感之迹、悉備錄之、刊板流通。一以闡菩薩度生之妙道、一以啟眾生出苦之良緣。但以目疾未愈、未能如願。會稽何廉臣居士者、儒得聖心、醫稱國手。志行高潔、信心純真。曾邀同人結桑榆社。以其暮景無多、擬作歸計。同修淨業、企生安養。又以一切眾生久沈苦海、不仗法力、莫由得出。擬將菩薩應化事迹、為救生船。泛於其中、振臂疾呼。俾諸溺者、相引登舟。庶可同登彼岸、直達家鄉、永離眾苦、但受諸樂矣。因石印山志以廣其傳。用酬大士度生之恩、用開眾生投誠之路。令余作序。遂不勝歡喜、頓忘固陋、乃將菩薩感應之妙、略為發揮。其餘事迹、

固有全書在也。何須多贅。

紹興何閩仙家慶圖序

詳夫春回大地·百卉各遂其生成。風起長空·萬籟咸為之鳴嘯。世無無因之果·亦無無果之因。喻如種瓜得瓜·種豆得豆。聲和則響順·形直則影端。此舉世親知親見·諦信無疑者也。因果二字·徧攝世出世間一切諸法·罄無不盡。世間聖人·非不明示因果。以其專主經世·欲其可繼可傳。因只局在現生·及先代後代。而不詳其生之以前·死之以後·及前自無始·後盡未來。後之學者不能深體聖人之意·遂謂人物之生·特天地之氣·偶爾湊泊其形骸而已。其至於死·則形既朽滅·魂亦飄散。無因無果·成斷滅見。其負聖教而昧己靈也甚矣。孔子之贊周易也。最初即曰積善之家·必有餘慶。積不善之家·必有餘殃。箕子之陳洪範也。末後方明嚮用五福·威用六極。二者若不併過去現在未來三世而論·則上天之畀與·聖人之言論·明王之政令·諸多矛盾。(如奸黨榮貴、忠蓋誅戮、顏淵短命、盜蹠長壽等、)若知前後因果·則窮通得喪·皆我自取。縱遇逆境·不怨不尤。只慚己德之未孚·不見人天之或失。樂天知命·無往而不自在逍遙也。人徒見何君之一門慈孝·四世同堂為慶。而不知其致此者·由多生之培植來也。須知娑婆世界·壽命短促·百年即為上壽·而能得者有幾。今何君幸慈親之壽·已滿六旬。特啟華筵·承歡上壽。廣徵詩文·用佐壽觴。可謂篤於事親·以身設教者也。又須知其窮三際而不遷不變·歷萬古而無減無增者·方是老夫人即心本具之真實壽量也。蓋吾人現前一念·本自靈明洞徹·湛寂常恆。直下與三世諸佛·無二無別。但以背覺合塵·迷心取境之故。致令原無遷變增減者·常受遷變增減之厄。了無一念常住不動之時矣。我大覺世尊愍之·示生世間·成等正覺。隨順機宜·廣垂言教。普令一切眾生·背塵合覺·復本心性。滅元無之幻業·了本有之真心。故華嚴經云·奇哉奇哉·一切眾生·皆具如來智慧德相·但因妄想執著·不能證得。若離妄想·一切智·自然智·即得現前。須知智慧德相·與妄想執著·唯是一心·原非二物。迷之

則全智慧德相。便成妄想執著。悟之則全妄想執著。即為智慧德相。喻如水結成冰。冰融成水。亦如醉見屋轉。屋實不轉。迷謂方移。方實不移。所謂萬境本閒。唯心自鬧。一心不生。萬法俱息者。此之謂也。然此理悟之雖易。證之實難。若非宿根成熟。孰能親證親到。故我世尊。特垂方便。立一信願念佛求生淨土法門。無論若聖若凡。或愚或智。與夫天仙修羅之輩。地獄鬼畜之儔。但能至誠發願。持佛名號。聖則頓成佛道。餘則帶業往生。既得往生。則惑不期斷而自斷。德不期證而自證。譬如洪鑪片雪。未至而化。德人覲面。鄙念全消。夫孝子之於親。宜先乎本而次乎末。養其體而導其神。倘唯知服勞奉養以安之。立身行道以榮之。而不知以常住無生之道。念佛往生之法。諭令修持。使其生念佛號。死生佛國。辭生死之幻苦。享常住之真樂。承事彌陀。參隨海眾。聞圓音而三惑淨盡。睹妙境而四智圓明。不違安養。徧入十方。上求下化。廣作佛事。徹證即心本具之佛性。普作苦海度人之慈航。是所謂見小而忘大。得近而遺遠。乃中人之局見。非達土之大觀也。若能令慈親與己。併及家眷。同出娑婆。同生安養。同證無量光壽。同享寂滅法樂。同作彌陀法王子。同為人天大導師。方可盡其孝慈之心。與夫教育之誼。其所謂孝慈教育。非世之所謂孝慈教育也。此家慶圖原始要終之極致。倘不以予言為非。待至同生淨土之後。用大圓智鏡。攝彼蓮池海會之影。普贈沈溺苦海之同胞。予亦當竭其愚誠。序而讚之。

募設千僧齋序代在家善人作

泥龍雖不能致雨。禱雨者必祭泥龍。凡僧雖不能降福。求福者須供凡僧。而況觀音大士現身塵刹。尋聲救苦。其應化之迹。在乎普陀。是以歷朝欽敬。舉世尊崇。其山僧眾。及十方來者。皆屬如來弟子。大士兒孫。當香會時。幾滿二千。其中凡聖交參。行位難辨。可不念大士恩。培出世因。以至誠心。平等供養乎。心若真切。不但住世大阿羅漢如賓頭盧尊者等。定來應供。即大士或亦現凡僧身。俯臨法會。其功德利益。何可名言。某擬於來年二月間。於法雨禪寺虔設千僧大

齋·廣結良緣。非但自力微弱·實欲與人為善。因募善信·隨心樂助。入寶山者切勿空手·沐法澤者各報佛恩。

重刻明宋文憲公護法錄序

歲在己未·奉化玉仙孫君·刻宋文憲公全集成。又將專闡佛學諸作·依蓮池牧齋所訂之護法錄·于全集中挑印之。有不相接續者·則另刻之。以二集各送觀宗諦閑法師一部。(光)往觀宗見之·不勝歡喜·祈為代請護法錄一部。初孫君擬另刻護法錄板·祈諦師作序。師以日與學徒講演台教·不暇命筆。孫君因(光)之請·遂託諦師命(光)勉作。(光)心被茅塞·見等面牆。何能發揮乘願再來·現文雄宰官之身·即身口意三業·寫華嚴大經·以宏佛祖心要之道乎。然既蒙見委·敢以陋辭。因略論其舉世疑議之大關節而已。至於其文之雄渾辨博·圓融直捷·發明儒佛之心宗·永為人天之眼目處。直同杲日當空·有目咸睹。正不須(光)之管窺預告也。序曰·阿彌陀佛·久證菩提·安住常寂光土·常享寂滅法樂。但以眾生無盡·我願無盡之故·不離寂光自受用土·徧入十方無盡世界。普現色身·度脫眾生。或顯或密·或折或攝·必期於究竟出離二種生死而後已。所謂善根未種未熟未脫者·令其即種即熟即脫。應以何身得度者·即現何身而為說法。其道大事廣·罄海墨而莫書。姑以文憲公一事·以明其概。按文憲與釋幻滅作血書華嚴經贊序·末後自敘宿因曰。無相居士·(文憲道號)未出母胎。母夢異僧·手寫是經·來謂母曰·吾乃永明延壽·宜假一室·以終此卷。母夢覺已·居士即生。今逢勝因·頓憶前事。餘諸著作·亦輒敘述。而世之拘墟者多疑之·謂永明乃彌陀化身·豈彌陀化身者·生死猶未了耶。既以寫經借室·考之文集·未有題跋·得無虛受此身·莫償宿願耶。予謂此正所謂以凡情測聖智·不但不知文憲·又何嘗知永明與彌陀哉。極欲發揮·愧無妙筆。然詞取達意·何妨直談。夫彌陀既已證窮法界·舉凡法界中事·無不隨意化現。正報則佛身·菩薩身·二乘身·六道身·隨類備現·以行教化。依報則樓臺殿閣·飲食衣服·但有利益·無不化現。怡山所謂疾疫世而現為藥草·飢饉時而

化作稻粱。以常寂光土·身土不二·理智一如。身能現土·土能現身。身復現身·土復現土。彌陀經云·是諸眾鳥·皆是阿彌陀佛變化所作。維摩詰云·以一切眾生病·是故我病。夫彌陀身土交現·何妨現永明而復現文憲。宜永明之現文憲者·乃乘悲願以示生。將謂永明生死未了·復隨業力以受生乎。眾生病故·菩薩亦病。欲度眾生·若不俯順機宜·示生世間·和光同事·以行教化。則凡聖異趣·教莫由施。白鶴孔雀等奇妙雜色之鳥·尚肯變化。豈雅思淵才文中王·制禮作樂輔聖主之純儒·便有所妨乎。永明乃彌陀所現·文憲乃永明所現·即身復現身之豎證。其無量壽經等·謂光中化佛及諸菩薩·無量無邊·乃徧該橫豎二義。以佛光橫徧豎窮·無時無處不周徧也。永明之假室以寫華嚴者·乃以身寫·以義寫·非拘拘然按文字語言論也。凡文憲畢世所作所為·併所撰述·皆所寫之華嚴經也。其至德懿行·雖載明史·然亦略示一二而已。其遺軼者固多。其文之傳於世者·唯全集·及此集耳。閱之·則其道德操持·可想見矣。全集雖不專說佛法·即世諦文字·未嘗不含佛法宗要·如小兒有病·不肯服藥·塗藥于乳·則不服而服·病即痊愈矣。彼不知佛法者·讀文憲公集·既欽其文之洪闊·又服其理之高深。能不斷疑生信·愈入愈深·大明儒佛之心法·企出生死之樊籠乎。況其中發揮佛法者·有一百七十餘篇之多乎。華嚴所謂或邊咒語說四諦·或善密語說四諦·或人直語說四諦·或天密語說四諦·是其證也。或曰·楞嚴戒洩佛密因。文憲自說永明後身·得無違佛清淨明誨·而啟後世狂妄之徒·以凡濫聖之端乎。予曰·出格之人·不可以常格律之。君豈不見傅大士之自稱彌勒現身乎。彼既不以為非·此何獨以為非乎。且狂妄濫聖·適足取辱。如刻人糞為梅檀形·豈能與梅檀相混哉。或曰·如來智斷究竟·其功德智慧·神通道力·不可思議。永明雖高·去佛甚遠·況文憲乎。予曰·君亦知皇帝微行之事乎。智者知是皇帝·愚人視作平民·更有疑其為細作·為盜賊者。何獨於如來內秘外現而疑之。須知此正如來權巧設化·密示即生即佛·即權即實·即生滅而寂滅·即同居而寂光·治世語言資生業等·皆順

正法·皆與實相不相違背之微旨也。上根之士·目擊道存。中下之流·因言解了。以大慈悲·偶一現此即迹顯本之事。俾淺見之人·備知法身大士·普現色身之不思議事。如陰間之事·陽間不知。然上帝亟欲世人改惡遷善·亦嘗攝陽人以入陰·示陰獄于陽世。上帝教人之權巧方便·尚非凡夫情見所能測度·况菩薩神變無方者乎。予故表而出之·企人各遵行·同出娑婆·同生淨土·以慰彌陀展轉現身之大慈悲心·亦不孤負文憲寫經·孫君刻板之一番至意。夫希驥之馬·亦驥之乘。希顏之人·亦顏之徒。孫君之面·予初未識。若非宿承佛囑·便是深沐宋恩。以故乘願再來。極力流通·使現未有情·同沾法利于無既也。猗歟懿哉。

重刻龍舒淨土文題詞并序代王弘願作

眾生心性·與佛同儔。由迷背故·輪迴不休。如來慈愍·隨機說法。普令含識·就路還家。無奈根性·萬有不齊。非出格人·決難出離。因茲特開·淨土一門。普攝一切·上中下根。五逆十惡·地獄相現。一念投誠·即登彼岸。等覺菩薩·德與佛齊。尚須往生·方證菩提。博地凡夫·具足煩惱。不肯念佛·如何是好。寄語世人·同生信願。執持佛號·始終莫變。待至臨終·蒙佛接引。頓出五濁·直登九品。見佛聞法·親證無生。乘大願輪·普度有情。

淨土法門者·如來徹底悲心·普度眾生之法門也。令彼無力斷惑·具縛凡夫·信願持名·現生了脫。與觀音勢至同為伴侶。上而至於等覺菩薩·位鄰佛果。尚須往生·方成正覺。至頓至圓·徹上徹下。超越一代時教所說一方法門。以故當佛說彌陀經時·六方諸佛出廣長舌·一音讚歎·稱為不可思議功德一切諸佛所護念經。又謂我釋迦世尊·能為甚難希有之事。而我世尊·自敍宿因。謂我於五濁惡世·行此難事·得證菩提·為一切世間說此難信之法·是為甚難。令其聞者·信受奉行·以究竟暢己出世之本懷而已。然此法門·甚深難測。雖經諸佛本師交相勸信。而世之疑者·猶復甚多。不但世智凡情不信·即深通宗教之知識·猶或疑之。不但知識不信·即已證真諦·業盡情空之

聲聞緣覺·猶或疑之。不但小聖不信·即權位菩薩·猶或疑之。即法身大士·雖能諦信·尚不能窮源徹底。良以此之法門·以果覺為因心·全體是佛境界。唯佛與佛·乃能究盡·非彼諸人智所能知故也。我輩凡夫·仰信佛言·依教奉行·自獲實益。若得聞此不思議法門·便是多劫深種善根·况信受奉行乎哉。溯自大教東來·遠公創開蓮社。嗣後宗教高人·無不弘贊。如智者·慈恩·清涼·永明等。以其為初機入道之第一要門·華嚴成佛之末後一著也。由是具縛凡夫·仗佛力以了生死者·非算數譬喻所能知也。當南宋時·吾宗先德·有龍舒居士·名日休·字虛中者。乘願再來·以身說法。雖在塵俗·不納妻室。雖入國學·不履仕途。發揮儒佛之心宗·教授具信之子弟。又欲同人·咸生淨土。作為此書·普徧倡導。言淺而典·理深而著。俯順劣機·循循善誘。曲盡婆心·無所不至。恐其畏難不入·故以晨朝十念·作普攝羣機之最勝方便。待其漸入漸深·如得嘉肴·既知其味·則日用云為·自能拳拳服膺·唯佛是念。非限於一茶之頃·以為定章也。倘能具真信願·畢生堅持十念·決定往生。况更能加功用行者乎。不但此也。即絕無信願·絕不修持。知有彌陀聖號·亦為不可思議善根。何以故·以由知故·遇境逢緣·便能提起如陳企被所殺之怨鬼見逼·由念佛而鬼遂不現。因茲畢世念佛·臨終往生且能歸而敘述前因·親現生西本身妙相使先未預聞·則便被鬼奪命·永劫沈淪矣。所以觀經三福·初則世善皆堪回向。及至九品·末則獄現尚獲往生。至于一心不亂·妙觀圓成·證三昧而往生者·更不須言矣。是知淨土法門·普攝羣機·了無棄物·猗歟大哉。其書以真信切願·持佛名號·即生決定往生為宗。詳觀斷疑生信·普勸修持·往生事迹·特為勸諭等·以及居士一生所行·末後所現。則上中下三根·無根不被。信願行三法·無法不彰矣。爰付剞劂·普徧流通企酬釋迦說法·諸佛證明·列祖傳燈·居士著書之大慈悲心于剎塵海滴云耳。

佛學指南佛學起信編六道輪迴錄總序

一切眾生·一念心性·直下與一世諸佛·無二無別·但以從未悟

故·不得受用。故華嚴經如來出現品云·一切眾生·具有如來智慧·但以妄想執著·而不證得。若離妄想·一切智·自然智·無礙智·則得現前·須知智慧與妄想執著·原非二物。迷之·則全智慧·以成妄想執著。悟之·則全妄想執著·以成智慧。喻如握拳舒掌·原是一手。結冰融泮·原是一水。良由心體不變·用常隨緣體不變故·在凡不減·在聖不增·居塵不染·離垢不淨·在生死而不受輪迴·證涅槃而不屬寂滅·無象而為萬象之主·非法而為諸法之宗·從本以來·常自如如·了無凡聖生佛之異。悟之名賢·證之名聖·若但具而未悟·則雖有性德·了無修德·只為六道輪迴之凡夫而已。用隨緣故·則有四聖六凡·苦樂升沈之殊。而緣有染淨·必隨其一。隨染緣·則起惑造業·輪迴六道。隨淨緣·則斷惑證真·常住涅槃。由惑業有輕重·故有人天善道·及阿修羅之善惡夾雜道·并畜生餓鬼地獄之三惡道。而由惑起惑·由業造業·或善或惡·了無定相。致所受生處·輾轉遷移·如輪無端·忽上忽下。以既具煩惑·皆被業縛·隨業受生·不能自主故也。由斷證有淺深·故斷見思者·證聲聞果。侵習氣者·證緣覺果。破無明者·證菩薩果。若無明淨盡·福慧圓滿·修德功極·性德全彰者·則證佛果。證佛果者·亦不過徹底究竟證其在凡夫地本具心性功德力用·親得全體受用而已·實未加一絲毫於其初也。若聲聞緣覺菩薩·雖則所證高下不同·然皆未能全體受用性具功德。而一切凡夫·反承此不思議心性之力·於六塵境·起貪瞋癡·造殺盜淫·以致墮三惡道·永劫沈淪者·比比皆是·可不哀哉。縱令恪修五戒十善·得人天身。然人間福樂·乃墮落之根本。天上雖不比人間煩惑猛利·然天福一盡·決定下生。由宿福未盡·故享福。由享福·故造業。既造業已·則墮落惡道·直在瞬息間耳。況有由天命終·承宿世惡業已熟之力·直墮惡道者乎。故古德以修行之人·若無正念修持淨業·唯得人天福報者·名為第三世怨。法華經云·三界無安·猶如火宅·眾苦充滿·甚可怖畏。知好歹者·當以急求出離·企得安穩·為上計也。大丈夫生於世間·既知自己一念心性·與佛無二。又知十法界因果修證·不出自心。

固當發大菩提·力修定慧·以期斷惑證真·直成佛道。普令法界眾生·同出迷途·共登覺岸·畢竟親證本具心性而後已。如或根機陋劣·未能如是。必須以深信願·篤修淨業·仗佛慈力·往生西方。迨至證無生忍·再乘願來·度脫眾生。然於未生以前·尤宜發菩提心·自行化他。縱不能出廣長舌·震海潮音。亦當於佛祖經論·先賢遺書中·採其契理契機·易於領會者·編輯成書·垂示將來。舉凡三世因果·六道輪迴·及三寶功德·佛法利益·與夫三根普被之道·凡聖共修之法·分門別類·縷析條陳。俾閱者一目了然·自知取捨。從茲斷疑生信·歸心大覺。或於現生即了生死·或作未來得度因緣。如其無此手眼·不可冒昧從事。當取古人契理契機之書·刊印流布·俾輾轉傳揚·永用舟航·實屬莫大功德。如上所說·雖則志在利人·而化功實歸自己。由是現生福慧增崇·臨終直登上品·豈不堂堂丈夫·表表懿範者哉。若不知此義·唯依世諦而為操修。縱此生意誠心正·有大把持。恐一經轉世·便致迷惑。則被業所縛·隨業受報。如風飄葉·不能自主。或墮茵褥之上·或墮溷廁之中。思之誠可畏也。福保丁居士·專精醫學。歷有年所。繼思病從身生·身從業生·業從心生·但只治身·實非拔本塞源究竟之道。于是研究佛學·箋註各經。欲令初機易入·故用漢儒訓詁之法·俾若文若義·悉皆了了。良以佛經深奧·意義無窮。古德註疏·多重提綱闡妙。字句之間·不甚詳釋。致令初機·殊難領會。若由訓詁入門·自可登堂入室。然後進而研究古德之註疏·則如杲日當空·無微不照。正不必守此以為究竟也。又以世儒狃于見聞·不信人死神明不滅·及三世因果·六道輪迴之事。上焉者·只可作自了漢。斷不能移風易俗·覺世牖民。下焉者·則謂既無因果·一死永滅·何不隨意所作·以取此生快樂乎。從茲肆無忌憚·安於為惡。致世道人心·日趨日下。因將佛祖經論·及古今緇素羣賢遺書中·所有因果報應顯著事迹·錄成三冊。一曰六道輪迴錄。蓋以發明六道升沈之若理若事·與夫幽冥之景象·鬼神之情狀。兼顯欲脫冥途之苦·捨如來大法·則絕無依怙。實為改惡修善·捨迷歸悟·欽崇佛法·企慕

真乘之初步。次則名為佛學起信編。次則名為佛學指南。二書大旨相同。初說因果報應。次說佛法功德。但起信初義居多。指南次義居多為異耳。所說佛法功德。亦皆抄錄高人軼士成言。但以限於篇幅。不免疏漏。然信根既生。則具有大藏經論及羣賢諸書在。此不過為引人入佛法之前導。豈宜以此自限。止而不進哉。其事雖述。其心誠溥。其利益實非思議所能及。(光)宿業深重。有目如盲。濫廁僧倫。虛消信施。愧不能力修定慧。斷惑證真。唯期以仗佛慈力。帶業往生。叨蒙丁君不以無狀見棄。凡所著述。皆為郵寄。然字小目昏。亦不過略加翻閱。以結隨喜之緣而已。近得見此三冊。不禁有感於中。擬欲廣為流布。無奈貧無卓錫。因不揣固陋。序其大略。企在在處處。有心世道之人。為之輾轉流通。多方傳播。如是。則豈但慰丁君纂輯之心。實為代佛祖羣賢。出廣長舌。震海潮音於無既也。將見風移俗易。邁臻大同之治。民和時雍。共享無為之樂。其功德利益。當與十方虛空同其壽量。豈語言文字所能形容。倘不以人微而竟廢其言。則幸甚幸甚。

重刻安士全書序一

大矣哉吾心本具之道。妙矣哉吾心固有之法。寂照不二。真俗圓融。離念離情。不生不滅。謂之為有而不有。不有而有。謂之為空而不空。不空而空。生佛皆由此出。聖凡俱莫能名。類明鏡之了無一物。而復胡來漢現。猶太虛之遠離諸相。不妨日照雲屯。正所謂實際理地。不受一塵。本覺心中。圓具諸法。乃如來所證之無上覺道。亦眾生所迷之常住真心。三教聖人。依此心性。各垂教迹。廣導羣萌。由是尼山抉誠明之奧。作修齊治平之軌。柱史說道德之經。陳長生久視之術。大覺世尊。稱法界性。示真如心。演背塵合覺之道。立不生不滅之宗。雖淺深大小不同。世出世間有異。要皆不外即吾心本具之理。以發揮演暢之。普令含識。稱性起修。即修顯性。消原無之幻妄。復本有之天真。永出迷途。誕登覺岸而後已也。文昌帝君。於宿世中。心敦五常。躬奉三教。自行化他。惟欲止於至善。功高德著。遂得職掌文衡。

恐末學無知·昧己永劫常住之性。因作文廣訓·示吾一十七世之言。妙義無盡·誰測淵源。註解縱多·莫窺堂奧。致令上下千古·垂訓受訓·皆有遺憾·不能釋然。安士先生·宿植德本·乘願再來。博極羣書·深入經藏。覺世牖民·引為己任。淑身變俗·用示嘉謨。以奇才妙悟之學識·取靈山泗水之心法·就帝君隨機說法之文。著斯民雅俗同觀之註。理本於心·詞得其要。徵引事實·祛迷雲於意地。闡揚義旨·揭慧日於性天。使閱者法法頭頭·有所仿效。心心念念·有所警懲。直將帝君一片婆心·徹底掀翻·和盤托出。俾千古之上·千古之下·垂訓受訓·悉皆釋然·毫無遺憾。而又悲心無既·慈願莫窮。欲使斯民推忠恕以篤胞與·息刀兵而享天年。守禮義以敘彝倫·好令德而遠美色。因著戒殺之書·曰萬善先資。戒淫之書·曰欲海回狂。良由世人殺業最多·淫業易犯。以故不憚煩勞·諄諄告誡。又以泛修世善·止獲人天之福·福盡墮落·苦毒何所底極。乃宗淨土經論·採其逗機語言·集為一書·名曰西歸直指。普使富貴貧賤·老幼男女·或智或愚·若緇若素·同念阿彌陀佛·求生極樂世界。迴出輪迴·直登不退。謝妄業所感之苦·享吾心固有之樂。前三種雖明修行世善·而亦具了生死法。後一種雖明了生死法·而亦須修行世善。至於惠吉逆凶·縷析條陳。決疑辨難·理圓詞妙。其震聾發聵之情·有更切於拯溺救焚之勢。誠可以建天地·質鬼神·羽翼六經·扶持名教。允為善世第一奇書·與尋常善書不可同日而語。不謂之菩薩乘本願輪·現居士身·說法度生者·吾不信也。(不慧)少讀儒書·罔知孔孟之心傳。長學佛乘·未悟如來之性體。迄今年臨知命·見等面牆。徒有樂善之心·毫無利人之力。欲將此書·刊刻流布。無奈貧無卓錫·兼以懶於募緣。因是多年·未償所願。西蜀居士李天桂·夙具靈根·篤修善行。企得無上佛法·朝禮普陀名山。於法雨禪寺·偶然會遇。若非宿緣有在·何以邂逅如斯。乃屈膝問法·詢求出要。余因示以力敦倫常·精修淨業·自利利他·唯此為要。若能躬行無玷·方可感化同人。倘所行不符所言·乃奉法反以壞法。彼世之德不加修·而善不力遷者·非

無修德遷善之資·乃無良師益友以身率之故也。即贈以此書·令詳悉披閱。務使己之動作云為·與書之指示訓誨·相契相合·無少參差·庶幾可耳。彼遂若獲至寶·慶倖無已·發願刊板·用廣流通。又祈作序·普告同人。因不揣固陋·略述顛末。其有欲致君澤民·修身齊家·教子孫以希聖賢·悟心性以了生死者。請熟讀而力行之·當不以吾言為謬妄也。

重刻安士全書序二

淫殺二業·乃一切眾生生死根本。最難斷者唯淫·最易犯者唯殺。二者之中·淫則稍知自愛者猶能制而不犯。然欲其意地清淨·了無絲毫蒂芥者·唯斷惑證真之阿羅漢方能之耳。餘則愛染習氣·雖有厚薄不同。要皆纏綿固結於心識之中·從劫至劫·莫能解脫。殺則世皆視為固然。以我之強·陵彼之弱。以彼之肉·充我之腹。只顧一時適口·誰信歷劫酬償。楞嚴經云·以人食羊·羊死為人·人死為羊·如是乃至十生之類·死死生生·互來相噉·惡業俱生·窮未來際。古德云·欲得天下無兵劫·除非眾生不食肉。又云·欲知世間刀兵劫·須聽屠門半夜聲。既有其因·必招其果。不思則已·思之大可畏也。安士先生恭稟佛敕·特垂哀愍。因著欲海回狂以戒淫·萬善先資以戒殺。徵引事實·詳示因果。切企舉世之人·同懷乾父坤母·民胞物與之真心。永斷傷風亂倫·以強陵弱之惡念。又欲同人諸惡莫作·眾善奉行。因將文昌帝君陰騭文詳加註釋。俾日用云為·居心行事·大而治國安民·小而言一念·咸備法戒·悉存龜鑑。由茲古聖先賢之主敬慎獨·正心誠意·不至徒存空談而已。如上三種·文詞理致·莫不冠古超今·翼經輔治。以其以奇才妙悟·取佛祖聖賢之心法·而以雅俗同觀之筆墨發揮之故也。雖然已能戒淫戒殺·諸惡莫作·眾善奉行。若不了生脫死·安能保其生生世世不失操持。則恆生善道·廣修福慧·不墮惡趣·彼此酬償者·有幾人哉。而了生脫死·豈易言乎。唯力修定慧·斷惑證真者·方能究竟自由。餘則縱令尊為天帝·上而至於非非想天·福壽八萬大劫。皆屬被善惡業力之所縛著·隨善惡業力之所輪轉耳。

因是特依如來仗佛慈力·帶業往生之法·薈萃淨土經論要義·輯為一書·名曰西歸直指。若能一閱是書·諦信不疑·生信發願·求生西方。無論根機之利鈍·罪業之輕重·與夫工夫之淺深·但能信願真切·持佛名號·無不臨命終時·蒙佛慈力·接引往生。既往生已·則超凡入聖·了生脫死·悟自心於當念·證覺道於將來·其義理利益·唯證方知·固非筆舌所能形容也。此係以己信願·感佛慈悲·感應道交·獲斯巨益。較仗自力斷惑證真·了生脫死者·其難易奚啻天地懸隔而已。現今外洋各國大戰數年·我國始因意見不同·竟成南北相攻。加以數年以來·水風旱潦·地震土匪瘟疫等災·頻迭見告。統計中外所傷亡者·不下萬萬。痛心疾首·慘不忍聞。(不慧)濫廁僧倫·未證道果。徒存傷世之心·毫無濟人之力。有同鄉芹浦劉在霄先生者·清介之士也。世德相承·篤信佛法。今夏來山見訪·談及近來中外情景。戚然曰·有何妙法·能為救護。余曰·此是苦果·果必有因。若欲救苦·須令斷因。因斷則果無從生矣。故經云·菩薩畏因·眾生畏果。遂將安士全書示之·企其刊板廣傳·普令見聞·同登覺岸。先生不勝歡喜·即令其甥趙步雲出資七百元·祈余代任刊事。憶昔戊申·曾勸李天桂刊板於蜀·彼即祈余作序。後以因緣不具·事竟未行。今蒙劉公毅然贊成·殆非小緣。竊以袁了凡四訓·為改過遷善之嘉言。俞淨意一記·為至誠格天之懿行。其發揮事理·操持工夫·最為嚴厲純篤·精詳曲盡。因分附於陰騭文廣義三卷之後。蓮池戒殺放生文·為滅殘忍魔軍之慈悲主帥。省庵不淨觀等頌·為滅貪欲魔軍之淨行猛將。省庵勸發菩提心文·為沈淪苦海眾生之普度慈航。爰附於三種法門之後。譬如添花錦上·置燈鏡旁·光華燦爛·悅人心目。果能讀之·則不忠不恕之念·忽爾冰消。自利利他之心·油然雲起。從茲步步入勝·漸入漸深。不知不覺·即凡情而成聖智矣。庶可了生脫死·永出輪迴。面禮彌陀·親蒙授記。謹為閱此書者賀曰·久沈業海·忽遇慈航。遵行忠恕·歸命覺皇。信真願切·執謝情亡。感應道交·覲無量光。餘詳戊申序中·茲不復贅。

袁了凡四訓鑄板流通序

聖賢之道·唯誠與明。聖狂之分·在乎一念。聖罔念則作狂·狂克念則作聖。其操縱得失之象·喻如逆水行舟·不進則退。不可不勉力操持·而稍生縱任也。須知誠之一字·乃聖凡同具·一如不二之真心。明之一字·乃存養省察·從凡至聖之達道。然在凡夫地·日用之間·萬境交集。一不覺察·難免種種違理情想·瞥爾而生·此想既生·則真心遂受錮蔽。而凡所作為·咸失其中正矣。若不加一番切實工夫·克除淨盡。則愈趨愈下·莫知底極。徒具作聖之心·永淪下愚之隊。可不哀哉。然作聖不難·在自明其明德。欲明其明德·須從格物致知下手。倘人欲之物·不能極力格除。則本有真知·決難徹底顯現。欲令真知顯現·當於日用云為·常起覺照。不使一切違理情想·暫萌於心。常使其心·虛明洞徹。如鏡當臺·隨境映現。但照前境·不隨境轉。妍媸自彼·于我何干。來不預計·去不留戀。若或違理情想稍有萌動。即當嚴以攻治·除令盡。如與賊軍對敵·不但不使侵我封疆·尚須斬將奪旗·滅餘黨。其制軍之法·必須嚴以自治·毋怠毋忽。克己復禮·主敬存誠·其器仗須用顏子之四勿·曾子之三省·蘧伯玉之寡過知非。加以戰戰兢兢·如臨深淵·如履薄冰·與之相對。則軍威遠振·賊黨寒心。懼懼滅種之極戮·冀沾安撫之洪恩。從茲相率投降·歸順至化。盡革先心·聿修後德。將不出戶·兵不血刃。舉寇仇皆為赤子·即叛逆悉作良民。上行下效·率土清寧。不動干戈·坐致太平矣。如上所說·則由格物而致知·由致知而克明明德。誠明一致·即凡成聖矣。其或根器陋劣·未能收效。當效趙閱道日之所為·夜必焚香告帝·不敢告者·即不敢為。袁了凡諸惡莫作·眾善奉行·命自我立·福自我求·俾造物不能獨擅其權。受持功過格·凡舉心動念·及所言所行·善惡纖悉皆記·以期善日增而惡日減。初則善惡參雜·久則唯善無惡。故能轉無福為有福·轉不壽為長壽·轉無子孫為多子孫。現生優入聖賢之域·報盡高登極樂之鄉。行為世則·言為世法。彼既丈夫我亦爾·何可自輕而退屈。或問·格物·乃窮盡天下事物之

理。致知。乃推極吾之知識。必使一一曉了也。何得以人欲為物。真知為知。克治顯現為格致乎。答曰。誠與明德。皆約自心之本體而言。名雖有二。體本唯一也。知與意心。兼約自心之體用而言。實則即三而一也。格致誠正明。（此指明明德之明、與誠明之明。）五者皆約閑邪存誠返妄歸真而言。其檢點省察造詣工夫。明為總綱。格致誠正乃別目耳。修身正心誠意致知。皆所以明明德也。倘自心本有之真知為物欲所蔽。則意不誠而心不正矣。若能格而除之。則是慧風掃蕩障雲盡。心月孤圓朗中天矣。此聖人示人從泛至切從疏至親之決定次序也。若窮盡天下事物之理。俾吾心知識悉皆明瞭。方能誠意者。則唯博覽羣書徧遊天下之人。方能誠意正心以明其明德。未能博覽閱歷者。縱有純厚天姿。於誠意正心。皆無其分。況其下焉哉。有是理乎。然一切不深窮理之士。與無知無識之人。若聞理性。多皆高推聖境。自處凡愚。不肯奮發勉勵。遵循從事。若告以過去現在未來三世因果。或善或惡。各有其報。則必畏惡果而斷惡因。修善因而冀善果。善惡不出身口意三。既知因果。自可防護身口。洗心滌慮。雖在暗室屋漏之中。常如面對帝天。不敢稍萌匪鄙之心。以自干罪戾也已。此大覺世尊普令一切上中下根。致知誠意正心修身之大法也。然狂者畏其拘束。謂為著相。愚者防已愧怍。謂為渺茫。除此二種人。有誰不信受。故夢東云。善談心性者。必不棄離於因果。而深信因果者。終必大明夫心性。此理勢所必然也。須知從凡夫地乃至圓證佛果。悉不出因果之外。有不信因果者。皆自棄其善因善果。而常造惡因。常受惡果。經塵點劫。輪轉惡道。末由出離之流也。哀哉。聖賢千言萬語。無非欲人反省克念。俾吾心本具之明德。不致埋沒。親得受用耳。但人由不知因果。每每肆意縱情。縱畢生讀之。亦只學其詞章。不以希聖希賢為事。因茲當面錯過。袁了凡先生訓子四篇。文理俱暢。豁人心目。讀之自有欣欣向榮。亟欲取法之勢。洵淑世良謨也。永嘉周羣錚居士。感佩之極。祈上海商務印書館鑄鉛為板。以公同志。又印送若干。以結法緣。祈予為序。因撮取聖賢克己復禮閑邪存誠之意。以塞其責云。

四書蕩益解重刻序

道在人心·如水在地。雖高原平地·了不見水。苟穴土而求之·無不得者。水喻吾心固有之明德·土喻吾心幻現之物欲。果能格物致知·無有不能明其明德者。然穴土取水·人無不施工求之·以非水不能生活故也。而道本心具·人多不肯施工。致物欲錮蔽真知·不知希聖希賢·甘心自暴自棄。由茲喪法身以失慧命·生作走肉行屍·死與草木同腐·可不哀哉。四書者·孔門上繼往聖·下開來學·俾由格物致知以自明其明德·然後推而至於家國天下·俾家國天下之人·各皆明其明德之大經大法也。前乎此者·雖其說之詳略不同·而其旨同。後乎此者·雖其機之利鈍有異·而其效無異。誠可謂先天而天弗違·後天而奉天時·萬世師表·百代儒宗也。其大綱在於明明德修道。其下手最親切處·在於格物慎獨·克己復禮·主敬存誠。學者果能一言一字皆向自己身心體究。雖一介匹夫·其經天緯地參贊化育之道·何難得自本心。俾聖賢垂訓一番苦心·不成徒設·而為乾坤大父大母增光·不愧與天地並稱三才。可不自勉乎哉。如來大法·自漢東傳。至唐而各宗悉備·禪道大興。高人林立·隨機接物。由是濂洛關閩以迄元明諸儒·各取佛法要義以發揮儒宗·俾孔顏心法·絕而復續。其用靜坐參究·以期開悟者·莫不以佛法是則是倣。故有功深力極·臨終豫知時至·談笑坐逝者甚多。其誠意正心·固足為儒門師表。但欲自護門庭·於所取法者·不唯不加表彰·或反故為闢駁·以企後學尊己之道·不入佛法。然亦徒為是舉。不思己既陰取陽排·後學豈無見過於師之人。適見其心量狹小·而誠意正心之不無罅漏也。深可痛惜。明末蕩益大師·係法身大士·乘願示生。初讀儒書·即效先儒闢佛·而實未知佛之所以為佛。後讀佛經·始悔前愆·隨即殫精研究·方知佛法乃一切諸法之本。其有闢駁者·非掩耳盜鈴·即未見顏色之瞽論也。遂發心出家·弘揚法化。一生註述經論四十餘種·卷盈數百。莫不言言見諦·語語超宗·如走盤珠·利益無盡。又念儒宗·上焉者取佛法以自益·終難究竟貫通。下焉者習詞章以自足·多造謗法惡業。

中心痛傷·欲為救援。因取四書周易·以佛法釋之。解論語孟子·則略示大義。解中庸大學·則直指心源。蓋以乘法華開權顯實之義·以圓頓教理·釋治世語言。俾靈山泗水之心法·徹底顯露·了無餘蘊。其取佛法以自益者·即得究竟實益。即專習詞章之流·由茲知佛法廣大·不易測度。亦當頓息邪見·漸生正信。知格除物欲·自能明其明德。由是而力求之·當直接孔顏心傳。其利益豈能讓宋元明諸儒獨得也已。近來各界·眼界大開。天姿高者·無不研究佛法。一唱百和·靡然風從。既知即心本具佛性·無始無終·具足當樂我淨真實功德。豈肯當仁固讓·見義不為·高推聖境·自處凡愚乎哉。以故偉人名士·率多吃素念佛·篤修淨業。企其生見佛性·死生佛國而已。郁九齡施調梅二居士·宿具靈根·篤信佛法。一見四書萬益解·不勝歡喜。謂此書直指當人一念·大明儒釋心法。于世出世法·融通貫徹。俾上中下根·隨機受益。深則見深·不妨直契菩提。淺則見淺·亦可漸種善根。即欲刊板·用廣流通。以此功德·恭祝現在椿萱·壽登期頤·百年報盡·神歸安養。過去父母·宿業消除·蒙佛接引·往生淨土。祈序於(光)·企告來哲。(光)自愧昔作闡提·毀謗佛法。以致業障覆心·悟證無由。喜彼之請·企一切人·於佛法中·咸生正信。庶可業障同消·而心光俱皆發現矣。周易禪解·金陵已刻。孟子擇乳·兵燹後失傳。楊仁山居士求之東瀛·亦不可得·惜哉。

法華入疏序

如來一代所說大小權實·偏圓頓漸·種種法門·無非隨機施教·對病發藥。及至法華會上·開權顯實·會三歸一。開迹顯本·示本壽量。舉手低頭·皆成佛道。治世語言·皆順正法。即一切法·顯示實相。即所迷心·示覺道體。凡一代時教之所以然·皆悉顯闡讚導·徹了無疑。普令上中下根·悉得開示悟入佛之知見·究竟暢佛出世本懷。猗歟妙哉。故其義理深固幽遠·不易測度。傳至震旦·千餘年來·註者雖多·唯天台智者為得其宗。故以五重玄義·總釋經題。以因緣·約教·本迹·觀心·消釋經文·名為文句。可謂無義不顯·無機不被

矣。又以止觀·發明行相。俾法華教行理三·徹底圓彰·了無餘蘊。以故在昔依之而修者·得道如林。至唐而荆溪尊者·以三大部文理深邃·不便初機。乃于玄義·文句·止觀·各撰註釋。註文句者·名文句記。昔者經疏記三·悉皆各行。初學閱之·頗費心力。宋四明道威法師·撮取文句及記·揉而錄于經文之下·名為入疏。俾學者不勞徧翻·即得明了·其利大矣。因茲流通中外。元明以來·中國失傳。清光緒末·式定大師·請得東洋宏教書院新印藏經·內有此書。因交金陵淨戒寺滅盡師洋數百圓·令其刻板。滅師分作二十卷·樣本通皆寫完校訖。只刻成六卷·而滅師謝世因閣置數年。(光)于民國八年·因刻安土全書等·自普陀來維揚·方知其事。意欲續成·苦無財力。有張瑞曾居士者·宿植德本·篤信佛乘。頗傷世道人心·日趨日下。謂非如來大法·莫能挽回。故于戒殺放生之事·則實力奉行。于戒殺放生之文·則多方流通。以及種種勸善格言·皆不惜巨資·刊刻傳布。唯欲同人·共推乾父坤母之心·各懷民胞物與之念。必期于己立立人·自利利他·同登壽域·咸沐佛恩而後已。聞(光)至揚·頻來見訪。因以此告·企其成就。彼欣然允許·令(光)任其校對。奈其書傳久·錯訛甚多。初未詳視·意謂滅師校過·當無大訛。及刻出再校·方知遺漏甚多。因按文句及記·為之改正。其中每有字句不甚圓潤·似欠似贅·而于大意無所妨礙者任之。以板已刻成·不便修治耳。所願閱是書者·各于自己一念心中·直下開示悟入佛之知見。則不負自己本具佛性。亦不負如來說經·智者造疏·荆溪述記·威師匯入·以及式定大師·瑞曾居士等流通也。刻既竣·遂敘其緣起云。

普賢行願品疏鈔擷序

淨土法門·其大無外。一切諸佛·及諸佛阿耨多羅三藐三菩提法·皆從此出。一切菩薩·及菩薩上求下化稱性所修之道·皆從此入。所謂無不從此法界流·無不還歸此法界也。夫如來為一大事因緣·出現于世·雖隨機設教·種種不一。求其若聖若凡·上中下根·乃至逆惡之流·同于現生了生脫死·俯謝三界·高登九品者·唯淨土一門為然

也。噫。如來大慈。普度眾生。唯此一法。堪暢本懷。眾生修行。冀出生死。唯此一法。決遂所願。法門廣大。利益宏深。固宜一切佛子。悉皆奉行。何近見愚夫愚婦。率多竭誠歸命。而通宗通教之士。反漠然置之。若不聞知者然。其故何在。以研教者按常途教理以論斷證。不信有帶業往生之事。矜常處生死以度眾生。不願為速出生死之人。不知坯器未燒。經雨即化。煩惱未斷。轉生即迷。自利尚難。焉能利他。此皆不諒己德。以博地凡夫。稍具慧性。便以法身大士之作略自擬。以致一誤永誤也。參宗者專主參究。以期明心見性。不知其機稍劣。不能明心見性者多多也。即使已得明心見性。而惑業未斷。仍舊輪迴生死。不能出離者。又多多也。五祖戒。草堂清。海印信。真如喆等。乃其確證。噫。死生亦大矣。何可以專仗自力而不仗佛力耶。抑或自力果愈于佛力耶。夫人之處世。大而創業垂統。小如一衣一食。莫不仗眾人之力。以成自事。至於了生死大事。乃雖有佛力而不肯倚仗。欲顯出格之作略。恐墮愚夫之窠臼。其志可謂大矣。惜乎不知其所謂大也。不觀華嚴一經。王于三藏。乃如來初成正覺。為界外四十一位法身大士。所說一生成佛之法。其一生成佛之歸宗結頂究竟實義。在于以十大願王。回向往生西方極樂世界。以期圓滿佛果。夫善財所證。已得與普賢等。與諸佛等。所謂等覺菩薩也。等覺去佛。特一間耳。尚須回向往生。舉華藏世界海諸菩薩。同稟此教。同修此法。豈今之通宗通教者。其根性之利。證入之深。悉能超過此等菩薩乎。千經萬論。處處指歸。往聖前賢。人人趣向。豈此諸經論。皆不足遵依。此諸聖賢。皆愚夫愚婦耶。一言以蔽之。曰。業深障重。未應解脫。故致日用不知。習矣不察而已。普賢行願品者。即八十卷華嚴經。末後之入法界品。善財徧參五十三員知識。至普賢所。承普賢開示。及威神之力。即證等覺。普賢乃為說偈。稱讚如來勝妙功德。以文來未盡。故未結而終。清涼國師特著疏鈔。以大宏其道。至德宗貞元閑。南印度烏荼國王。方貢普賢行願品之梵本全文。譯成四十卷。前之三十九卷。即八十華嚴經之入法界品。而文義加詳。第四十一卷。乃現

所流通之普賢行願品也。時清涼亦預譯場。極為讚揚。奉命撰疏。四十卷之全疏。中國久已失傳。幸東洋藏中。尚有其書。北京刻經處。專刻古德佚書。不久當可流通也。此一卷經。又復重為別行疏。以備樂簡略。及修淨土者之研窮。其徒圭峯。為之造鈔。固已中外流通矣。但以文富義繁。不便初機。范古農居士。以世以淨土三經并行願品一卷。為淨土四經。三經註者頗多。不妨隨機取閱。此經唯有疏鈔。雖發揮盡致。而初機每多茫然。遂即疏鈔。擷其要義。刊板流通。文雖簡略。義仍具足。可謂觀機逗教。有益法門。殊非淺鮮。學者果能先閱擷本。後讀全文。不但清涼宏讚之心。可以悉知。而普賢勸發。如來出世之心。亦可以悉知矣。敢請通宗通教之士。共隨華藏海會諸菩薩。及諸愚夫愚婦之班。一致進行。同往西方。庶可不孤佛化。不負己靈也已。

金剛經次詁序

金剛經者。即有談空。不墮空邊。即空論有。不墮有邊。空有兩泯。真俗不二。生佛一致。事理圓融。行起解絕。直趣覺海。一切菩薩。依此而修因。三世諸佛。依此而證果。乃如來一代時教之綱要。實菩薩上宏下化之準繩。示如如之本體。機理雙契。證空空之三昧。解行俱圓。妙而又妙。玄之又玄。猗歟懿哉。何可得而思議也已。世多不察。謂為空宗。其孤負佛恩也甚矣。夫度盡一切眾生。不見能度所度之相。不住色聲香味觸法。而行布施。以至六度。及與萬行。以無我人眾生壽者。修一切善法。無所住而生心。雖說法而無法可說。雖成佛而無菩提可得。是則雲騰行海。波湧度門。乃稱性緣起之道。行所無事。以故內不見有能度之我。外不見有所度之人與眾生。中不見有所證之無餘涅槃之壽者相。自他見亡。凡聖情盡。三輪體空。一道清淨。如如不動實相妙理。徹底圓彰。故得福德等彼十方虛空也。至于受持此經。為他人說。雖四句三句二句一句。其福勝彼三千大千世界滿中七寶布施。及無量。百千萬億劫。日日三時。以恆河沙等身命布施之福。良以一切諸佛。及諸佛無上覺道之法。皆從此經出故。

故說法者·即是以佛莊嚴而自莊嚴·并以莊嚴一切眾生。此其自行化他真實功德·名之為空·豈有當哉。是故隨說此經·雖止四三二一句等·而一切天人·皆應如佛塔廟而供養之。以持經之人·心與道合·心與佛合。故能轉最重之後報·作最輕之現報·而復當得菩提也。以自行化他·心不住相。則以如如智·契如如理。直下與菩提涅槃·混而為一。如水投水·似空合空。雖有聖智·莫能分別也。如來一代所說法門·悉以此智照了而修。則水到渠成·雲開月露·一塵不立·萬德圓彰矣。馬通白居易者·宿植德本·篤信佛乘。品行清高·著述宏富。實當代之文宗·具超格之學識。然以志樹儒宗·未暇殫精內典。迨歲周華甲以滄桑迭遷·悟身世無常·遂屏除一切·專閱佛經。始知如來所說·皆示吾心·而本有衣珠·幾致忘卻。慶倖之極·轉為悲感。後閱此經·心華頓發·因隨所見·註為次詁。渾融之文·以章段顯之。玄妙之義·以平實明之。契理契機·徹上徹下。固初機之良導·實入佛之要門。諸門人欲為刊板·永用流通。庶通方儒士·悉皆景仰而效法焉。其為利益·唯佛能知。勉抒愚懷·用為序引。

金剛經綫說鑄板流通序

此一卷經。人人具足·個個不無。但由迷真逐妄·背覺合塵·不知返觀內照·致使不能親得受用耳。故華嚴如來出現品云·如來成正覺時·歎曰·奇哉奇哉·一切眾生·皆具如來智慧德相。但以妄想執著·而不證得。若離妄想·則一切智·自然智·無礙智·則得現前。此經由須菩提見佛威儀·歎為希有世尊·善護念付囑諸菩薩。欲令護念付囑之法·大明于世。故問菩薩發無上菩提心·云何應住·云何降伏其心。此二句·乃護念付囑之要旨也。而如來以所有一切九類眾生·悉皆令入無餘涅槃而滅度之·不見眾生得滅度相·答其降伏。以菩薩于法·應無所住·不住色聲香味觸法而行布施·答其應住。又謂不應住色生心·不應住聲香味觸法生心。應無所住而生其心。且深歎其不住相布施之福德·與十方虛空·同一不可思量。何以度盡一切眾生·而曰實無眾生得滅度者。以無餘涅槃·即眾生本具性體。由迷背不知·

初非有失。菩薩為指示之。令其了知衣裏之珠。項上之頭。既了知己。豈復有得。不過眾生自性自度。豈有能度之我。所度之人與眾生。并所入無餘涅槃之壽者相哉。四相既無。則三輪體空。一道清淨矣。由其三輪體空一道清淨。故萬行雲興。心無所住。雖復萬行雲興。實則一法不立。凡所見情與無情。同一實相。故得山河及大地。全露法王身。而楞嚴以五陰六入十二處十八界七大。皆如來藏妙真如性。即是其證。是知如來智慧德相。本自具足。無欠無餘。但以迷背之故。無端幻起妄想執著。致智慧德相隱而不現。若肯窮究此妄想執著之所從來處。則彌空雲霧。徹底消滅。本有天日。全體顯現矣。雲霧封時。天日亦不曾失。雲霧散時。天日又豈是得。度盡一切眾生。不見一眾生得度者。此之謂也。其能見此理以行此行者。以無所住而生心。悉見諸相非相也。如是之人。受持此經。乃至四句三句二句一句。為人演說。其福德雖滿大千世界七寶布施。尚不能及。以一句染神。永為道種。住相布施。報在人天故也。以故說是經處。即為塔廟。經所在處。即三寶具足。故一切世間天人阿修羅。皆應供養也。以說者能不取于相。如如不動。以如如智。契如如理。佛如眾生如。一如無二如。終日說而實未嘗說。即杜默不說亦未嘗不說。以其人行住坐臥。周旋俯仰。著衣吃飯。揚拳豎指。無不是不生不滅無餘涅槃。無住心之全體大用。劫外田地。故鄉風月。任人自得。有誰阻止。以故賣柴翁聞一句。即得嗣祖傳燈。騰輝宇宙。彼既丈夫我亦爾。不應自輕而退屈。則受持之人。宜何如發大菩提心。宜何如生無所住心也。清道光末。有無住老人陳柱者。宿有慧根。弱冠即誦此經。至七旬外。廣閱諸註。折衷其義而為綫說。以不住相一綫。直貫到底。其語句頗平實顯豁。有益初機。倘由是而得其旨歸。則古德之註。如來之經。如開寶藏。隨意受用矣。粵東簡照南玉階二昆弟。以母氏逝世。諸親友弔奠者。各送誄詞挽聯。彙而刻之。名哀思錄。又欲藉母氏之故。普利一切。因鑄金剛經綫說板。印數千卷。與哀思錄同贈弔奠親友。以酬嘉貺。一以冀母氏蓮品高升。一以冀親友善根增長。誠所謂孝子不匱。永錫

爾類者矣。或疑金剛無相·淨土有相·二法如何相融。予曰·金剛經令度盡一切眾生·而不見度相。不住色聲香味觸法而行布施。布施乃六度萬行之首。既令不住相布施·則持戒忍辱精進禪定智慧·以及萬行·莫不皆然。然則金剛經乃令人徧行六度萬行·普度一切眾生之規矩準繩也。徧與一代時教一切法門而為綱要。蓋是即相離相·何得謂與淨土不相融通乎。夫度生之法·唯淨土最為第一。欲生淨土·當淨其心。隨其心淨·則佛土淨。以不住相之清淨心念佛·則是心作佛·是心是佛。其往生西方·證無生忍·乃決定不易之理事也·又何疑乎。

讚禮地藏菩薩懺願儀重刻序

心體本淨·因根塵而濁念斯興·佛性常存·由迷背而凡情孔熾。于是承寂照之力·反作昏動之緣。于常住之中·妄受生死之苦。執著五陰·不知畢竟皆空。障蔽一心·曷了本不可得。耽染六塵之幻境·墜墮三惡之苦途。縱經微塵劫數·莫出六道輪迴。故我世尊·特垂哀愍。因地藏菩薩之問·說十力佛法之輪。摧碾煩惱·成就道器。由茲棄捨惡法·斷除一切無依行。修持善法·具足一切有依行。然欲得無生法忍·須懺宿世愆尤。若能不著五陰·自可圓證三身。外承佛力法力菩薩誓願力·內仗誠力悔力自性功德力。故得彌空罪霧·徹底消滅。本有性天·全體顯現。是知十輪本願占察三經。同由地藏大悲願力·令末世孤露無依眾生·悉皆得大恃怙也。蕩益大師·已證法身·乘願再來。初現闡提之迹·後為如來之使。一生行解·事理圓融。畢世著述·性修雙備。欲令濁智成淨智·依三經而制懺儀。冀使凡心作佛心·即十輪而明讚悔。寶鏡既摩·光明自發。摩尼既濯·珍寶斯雨。誠可謂反本還元之妙法·即心作佛之達道也。弘一上人·宿欽大師著述。特為刻板·用廣流通。俾有志于滅幻妄之惑業·證本有之真心·上續如來之慧命·下作末世之典型者·咸得受持云。

揀魔辨異錄重刻序

學道之人·居心立行·必須質直中正·不可有絲毫偏私委曲之相。

倘稍有偏曲·則如秤之定盤不准·稱諸物而輕重咸差。如鏡之體質不淨·照諸像而妍媸莫辨。差之毫釐·失之千里。輾轉淆訛·莫之能止。故楞嚴經云·十方如來·同一道故·出離生死·皆以直心。心言直故·如是乃至終始地位·中間永無諸委曲相。書曰·人心惟危·道心惟微·惟精惟一·允執厥中。法藏宿世·固有靈根。即現生之悟與見地·亦非卑淺。但以我慢根深·欲為千古第一高人。特意妄立種種宗旨名相·著五宗原。以企後學推尊于己·竟成魔外知見。使當日直心直行·允執厥中。將見密雲會下·無人能敵。道風之振·何難超越諸方。惜乎不以實悟實證為事·而預先設法·以為超越一切之計。遂致密雲七關三關·以正其非。然人非聖賢·孰能無過。果是英烈漢子·自當慚愧懺悔·知非改過·以期實悟實證。則臨濟法脈·如來慧命·豈不直接其傳。何得慢幢高豎·護短飾非。引起其徒宏忍等·更加狂妄。逞已臆見·著五宗救。挽正作邪·以邪為正。謗法謗僧·自誤誤人。較之法藏·更深十倍。盲引盲眾·相牽入火。噫。可哀也已。藏忍平生·刻意文飾。致令門庭甚盛·士大夫多為外護。故彼父子之語錄·併五宗原·五宗救之僻謬邪說·悉皆續入大藏。至雍正十一年·世宗欲選語錄。徧閱彼等著作·知其意見僻謬·必至瞎人正眼。著令盡燬其板。又勅天下叢林·凡有此書及板·盡行燬除。倘有私藏者·發覺以違律論。又恐或有深受其毒·莫能盡吐。因將五宗救中狂悖甚者·摘錄八十餘條·逐條駁正。命續入大藏·以企開人正眼·報佛祖恩。但以萬幾無暇·至十三年春·方始脫稿。未及騰清·龍馭上賓。高宗繼立·方始刊板。只因未委通人·凡草書替代之字·許多竟作本字。如以謂作為。多至百餘。世宗所刻書冊經板·悉皆校對精嚴。唯此一書·錯訛甚多。故知的係賓天之後所刻。又雍正十三年春·開工刊大藏板。此書上諭·命入藏流通。而竟未入者·以高宗御極未久·殫精政治·無暇提倡。其餘緇素·以法藏徒黨甚盛。恐其一經提倡·或致招禍·因皆置之不論·以故未入。書冊殿板·存於大內。除皇帝有勅·無由刷印·因茲不傳于世。然此法寶·必有神物守護。令其久秘復出·得

廣流通。其因緣具于石印序中。茲擬重刻木板。因息心校閱。俾還世宗本來面目。應季中居士。願任刻資。遂序其顛末。以告來哲。夫欲了生死。必須實證。若唯悟而未證。則煩惱尚在。大須努力。倘能兢兢業業。歷緣煅煉。則覺照存心。冥符聖智。人我是非之凡情。無由而起。若不加覺照。依舊凡情熾然。功行愈高。情見愈重。由悟入迷。在所難免。如人睡惺不起。久復睡著。古人謂大事已明。如喪考妣。正以煩惱未斷。或恐復迷。須知斷惑之人。便無凡情。既無凡情。何有生死。大悟之人。其悟縱與佛同。其惑猶未斷除。必須念念覺照。庶免凡情用事。藏忍父子。雖則悟處高深。只因我慢過甚。全體埋沒于人我情見之中。而猶欲為續佛慧命之第一高人。以致一錯永錯。而莫之能反。盡其智力。只做得个平侍者之身分。可不哀哉。如來深知末世眾生。煩惱難斷。特開一信願念佛。求生淨土法門。令其于臨終時。蒙佛接引。往生西方。既得往生。則超凡入聖。了生脫死。承侍彌陀。追隨海眾。從茲圓破無明。徹證自心。直至成佛而後已。使藏忍知此。當即上品往生證無生忍。普現色身。廣度羣迷。又何至妝點文飾。欲得超師越祖之虛名。企其流芳百世。一經明眼人看破。竟落得個邪魔外道之實號。而遺臭萬年。嗚呼哀哉。

揀魔辨異錄石印序代企覺居士趙希伊作

自佛法入中國。歷代皇帝。無不崇奉。其唯結緣種。與有所悟證者。種種不一。求其深入經藏。直達禪源。證涅槃之妙心。具金剛之正眼。于修齊治平之暇。闡拈華直指之宗者。其唯清世宗皇帝為第一也。若非法身大士。乘願再來。握權實不二之道柄。度輪迴無依之眾生者。其能如是也耶。其所著述。藏內有圓明居士語錄三卷。(圓明居士世宗道號)其他序跋傳記。散見於經論語錄中。悉皆妙契佛心。冥符祖意。言言見諦。語語歸宗。如走盤珠。似摩尼寶。凡具眼者。無不佩服。當明季時。密雲悟會下。有法藏字漢月者。天姿聰敏。我慢根深。大悟之後。欲為千古獨一無侶之高人。從茲妄立主見。著五宗原。擬已超邁一切。不知如來心印。如清涼月。慢雲一起。便掩月光。

真如妙性·猶太虛空。慢塵既颺·即汙空體。種種塗飾·翻形狂悖。求升反墜·弄巧成拙。密雲則闢而又闢·彼與其徒弘忍·執迷不返·則救而又救。反欲陵駕密雲·謂己無師自悟·密雲強以源流懇付之。所有言說·類多妄造·少有實情。當時知識·雖知其非。以其師尚不奈何·兼彼門庭甚盛·士大夫多為外護·恐其一經闢駁·難免招禍·故皆不敢置論。至雍正十一年·世宗徧閱密雲·法藏·弘忍等錄。見彼知見紕繆·錄其臆見邪說數十條·逐一辨正。通計十萬餘言·名曰御製揀魔辨異錄。即刊書冊殿板·又令續入大藏。企其除邪說以正人心·振宗風而明祖道耳。至十三年·開工刊藏·而龍馭旋即賓天。高宗繼立·以日親萬幾·不暇提倡·遂致竟未入藏。而書冊殿板·存於大內·不易流通。故今之博學多聞縑素大家·皆不知其名。吾友子任·光緒甲辰·于京師書肆中得二部。以一送諦閑法師·企彼倡募流通。以一託楊仁山寄東洋·入于弘教書院新印藏中。今春余欲朝海至滬上·遇楚青狄居士。余曰·公好流通古迹·何不取弘教藏中揀魔辨異錄·刊板印行。此世宗以靈山泗水之心法·為儒釋兩教·作開金剛正眼之大光明藏也。若得流通·不但參禪者直下知歸。即宗孔孟而探誠明之極蹟者·亦如乘輪遇順風·速得到彼岸也。居士曰·余昔於京師爛貨攤得一部·藏書笥有年矣。不因子說·幾致錯過。即付印刷所·俾照式石印一千部。命余作序。余喜極·遂忘其固陋·為序其隱顯機緣如此。

三十二祖傳讚序

粵自世尊拈華·迦葉微笑。正法眼藏·涅槃妙心·遂得普播寰區。及至大教東布·達磨西來。其圓悟佛性·徹證自心。續如來之慧命·作人天之導師者·實繁有徒。若傳燈錄·高僧傳所載·乃存十一于千百耳。其隱而弗彰·秘而不顯者·又何可勝數耶。清世宗憲皇帝·久證法身·乘願再來。若宗若教·無不窮源徹底。御極以來·十年之內·專理政治·不提佛法。以期天下太平·俗美風醇。然後宣布法化·則易得其益。如器除毒·堪貯甘露。至十一年·則以人王身·行法王事。

佛法世法·一肩擔荷。儒教釋教·一道齊行。取靈山泗水之心法·述傳薪續焰之綸音。空有不二·真俗圓融。直欲普天人民·同為如來真子。現未有情·共獲本地風光。每於朔望·及佛菩薩誕辰。或面訓廷臣·或傳諭疆臣·以迄士庶。令其咸了自心·悉趣背塵合覺之道。不至徒具佛性·枉受生死輪迴之悲。或敕天下叢林·一切僧眾。令其恪守清規·精修梵行。真參實悟·明心見性。以期光揚法道·翼贊皇猷。又于朔望·必親運睿筆·恭繪一古德道像。取彼本傳·提綱摘要·作一小傳。又作一讚·以發其奧義。親筆書於像首。刻石大內·以備摹搨而企流布。自十一年二月起·至十三年三月止。共繪三十二尊。至四月中·龍馭上賓·致無量古德·未蒙一發幽光·為可惜耳。至乾隆九年·高宗以裝潢所搨祖像三十二軸賜武林理安寺·後修寺志·即以此傳讚·載于首冊·以志恩寵。然此傳讚·未刻書板·故世不獲見聞。竊念古德道風·人天景仰。如皓月當空·萬川俱現·其光明皎潔·豁人心目。自可頓開心地·徹見性天。又得世宗睿筆發揮·與古德交光相映·一際無痕。若得一覽·當即達本逢源·獲衣裏之明珠。破塵離著·出大千之經卷。從茲心心相印·燈燈相傳俾自他以共證真常·令凡聖以同登覺岸。庶不負世宗述傳一番至意矣。因募應季中居士·出資刻板·以公同志。于每傳前·列其題目·以期一目了然。併書緣起·以告來哲。

淨業良導序

娑婆·生死險道也。極樂·常住家鄉也。眾生由一念不覺·入此險道·莫之能出。縱欲出此險道·歸彼家鄉。而生無慧目·不知所趣。若無良導·不但誤入歧途·竟成背馳·且有墮坑落壑·喪身失命之憂。淨土一經一論·以及一切大乘經論·皆導師也。但以文深義奧·初機不易領會。雖則無邊妙義·具足無遺。而以暗鈍心識當之·每致有疑而不能決·有信而不能生。因茲歷代古德各垂言教·以逗時機。由是法流無壅·而羣機悉蒙其利濟矣。無名居士·自雖未度·志切度人。因將樂邦文類。及蓮池·紫柏·憨山·蕩益·各集中之合時機者。錄

數十篇。以應初入法門之士。待其門徑已得。然後徧閱全書。則知一滴之味。與大海之味。無二無別。而如來出世一大事因緣。唯淨土一法。方能究竟暢佛本懷也。無名居士。撝謙不敢自專。命光鑑定。因題之曰淨業良導云。

佛學初階序

佛法廣大。不易窺測。欲使同人盡沐法澤。必由耳目見聞因果報應。生死輪迴之淺近事迹。啟迪而引誘之。令其捨拘墟之固執。見天地之廣大。庶可斷疑生信。愈入愈深必期于徹悟自心。復還本有。及與仗佛慈力。往生西方。而又以化諸人人。決不肯上辜佛化。下負己靈。長劫甘受生死輪迴之苦毒也已。福保丁居士。誓願宏深。慈悲廣大。欲令斯民同登覺岸。因將緇素名賢遺集。及佛祖經論中。因果輪迴之事。及三寶功德。淨土利益。輯之成帙。名為佛學初階。企閱者因是而求。舉凡斷惑證真。即凡成聖之不思議大法。皆可親得而實有諸已矣。又伊先所輯佛學指南。佛學起信編。六道輪迴錄。雖繁簡不同。要皆為初機學佛之階梯而已。若是決烈丈夫。當必登峯造極。決不至畫地自限。以卑自安而不復上進耳。

釋教三字經序代明天啟時、蜀東忠州聚雲寺、吹萬老人釋廣真作

人同此心。心同此理。凡聖不二。生佛一如。由迷悟之或殊。致升沈之迥別。大覺世尊。愍而哀之。示成正覺。轉大法輪。本一心以建立。作迷津之寶筏。普欲未來。咸登道岸。故以五時所說。及教外別傳之旨。付諸弟子。命廣流通。由是列宗諸祖。相繼而興。宏宗演教。代佛揚化。迄今世遠年深。事多義廣。若非讀破大藏。妙悟自心。無以測其端倪。得其綱要。每欲撮略梗概。開示後進。因念宋儒王伯厚先生。作三字經。以紀夫倫常日用之道。與歷朝治亂之迹。使學者先知其約。後涉其博。幼而學之。壯而行之。立身行道。致君澤民。以復其人性本有之善。遂仿其意。略敘如來降生成道。說法度生。列祖續佛慧命。隨機施教。及與古德自利利他。嘉言懿行。題曰釋教三

字經。俾為沙彌時。誦而習之。知佛經之要義。明祖道之綱宗。及其壯而徧閱三藏。歷參五宗。妙悟自心。冥符佛意。方知山色溪聲。咸示第一義諦。鴉鳴鵲噪。共談無上心宗。非同非異。非有非空。即權即實。印俗即真。博之則盡十虛而莫容。約之則覓一字不可得。然後乘大願輪。闡揚法化。普令法界眾生。歸依一體三寶。復本來之面目。傳無盡之心燈。是在後進之發心造修焉。予日望之。

劉圓照居士摸象詩序以彼作(照)圖章故開端畫一圓相

○此一段光明。非因非果。非聖非凡。非斷非常。非生非滅。互古互今。照天照地。佛未出世。祖未西來。人人具足。無餘無欠。無奈眾生在迷。懷寶受困。反承此照天照地之光。起惑造業。輪迴六道。于是世尊欲施濟度。示成正覺。當其夜觀明星。豁然大悟時。乃浩然歎曰。奇哉奇哉。一切眾生。具有如來智慧德相。但以妄想執著。而不證得。若離妄想。則一切智。自然智。無礙智。則得現前。于是隨機施化。對病發藥。由眾生根器不等。故其所說。或漸或頓。或實或權。種種不同。雖則設諸方便。無非曲誘眾生。令其各各徹證此之心光。究竟成佛而已。所謂粗言及細語。皆歸第一義。始則千機並育。終則一道同歸也。又以鈍根眾生。現生不能了脫。則輪迴生死。了無底止。以故特開一信願念佛法門。俾未斷惑者。仗佛慈力。帶業往生。已斷惑者。仗佛慈力。速證法身。普使上中下根。若聖若凡。同證真常。誕登彼岸。極暢如來出世之本懷。徹獲眾生本具之佛性。猗歟佛恩。窮劫莫讚。及至大教東流。遂以此法。目為蓮宗。以其念佛求生西方。蓮華化生。得預蓮池海會。親炙彌陀世尊。及觀音勢至。諸上善人故也。自後達摩西來。傳佛心印。直指人心。見性成佛。然此所見所成。乃指吾人即心本具之天真佛性而言。令人先識其本。則一切修證等法。自可依之進趣。以至于修無可修。證無可證而後已。非謂一悟即成福慧兩足。圓滿菩提之究竟佛道也。喻如畫龍點睛。令其親得受用耳。由是騰輝震旦。炳煥赫奕。即心即佛之道。非心非佛之法。徧布寰區。天機深者。于一機一境。識其端倪。則出詞吐語。自離窠

白。入死入生。了無罣礙。得大解脫。得大自在矣。倘根機稍劣。縱得大悟。而煩惱習氣未能淨盡。依然還是生死中人。出胎隔陰。多致迷失。大悟者尚如是。况未悟乎。固宜專心致志于仗佛慈力之淨土法門。方為千穩萬當之計也。圓照劉居士。宿根深厚。現行精純。于禪淨兩宗。各得其旨。而尤以念佛法門。為究竟自利利人之道。每有所感。輒形諸詩歌。筆而錄之。得一百零八首。題其名曰摸象。蓋以道大無方。豈凡庸一言可以道盡。不過取其意之所適而已。其子及族人。欲後世咸所稟承。擬列諸家譜。令（光）敘其大旨。用告來者云。

佛學述要鑄板流通序

自佛法入中國。千八百餘年來。若緇若素。若男若女。深入經藏。徹悟心源者。何可勝數。良以真如佛性。人人本具。但以迷而不覺。初非有失。及聞如來言教。知識指示。則知珠在衣裏。佛性恆存。不離當處。得大自在。自利利他。受用無盡矣。天台陳勤先女士。宿有慧根。于台禪性相淨土諸宗。悉知壺奧。而且偏讚淨土。冀一切不能徹悟自心。斷惑證真者。即生便登阿鞞跋致。亦可謂于博得約。宏法知要矣。其所發揮。機理雙契。雖則多錄成文。然如一屋散錢。一一上串。俾用者現成持取。三叉歧路。條條標示。令行者勇往直前。亦不可謂無功也。惜其子袁授荀。根性弗類。于其母所述。了無所知。抄錄而欲流通。其注概節略之。不知有宜節者。有不宜節者。不宜節者而妄節之。則有意義不明。文法不合之弊。而且錯訛滿紙。致有許多詞不達意之處。足見此道。須自有善根。方可優入。否則雖母子至親。亦不能傳。奉化孫玉仙居士。欲鑄板流通。冀鬚眉丈夫。閨閣英賢。同發思齊之心。共證本具佛性。委（光）鑑訂。因正其錯訛。離其句讀。遂題之為佛學述要云。

格言聯璧重刻序

人之所以與天地並名三才者。以其能格物致知。克己復禮。以明其明德。而止于至善也。去此。則但一血氣之倫而已。何可以與天地

並立為三而稱之乎。孟子以夜氣不足以存者。為違禽獸不遠。又謂人之所以異于禽獸者幾希。庶民去之。君子存之。是知任心縱意。胡作非為者。不過名之為人。實則與禽獸或相埒。或不如矣。格物致知。乃羣聖傳授之心法。以人欲之物。乃由外境而生。必須格除淨盡。而吾心固有之良知。自可全體顯現矣。固有之良知。即明德也。格之與致。皆所以明其明德也。明德既明。則意誠心正而身修矣。此匹夫匹婦皆能為之事也。若以推極吾之知識。窮盡天下事物之理。為格物致知者。乃枝末。非根本也。雖聖人亦有所不能焉。能明其明德。則獨善其身矣。若得位行道。以先覺覺後覺。則兼善天下矣。吾人未能人欲淨盡。天理流行。必須多識前言往行。以為前途導師。日讀誦而繹思之。必期于過日寡而德日崇。以至于德純過無而後已。然曾子臨終。尚曰戰戰兢兢。如臨深淵。如履薄冰。而今而後。吾知免夫。蘧伯玉行年五十。而知四十九年之非。孔子以德不修。學不講。聞義不能徙。不善不能改為憂。行年七十。尚欲天假數年。以期學易而免大過。雖曰以身說法。勉勵後進。實屬聖賢格致工夫。自強不息。了無已時也。山陰金蘭生先生。輯先賢警策身心語句。為格言聯璧。令學者如入寶山。隨取而得。其功誠非淺鮮。維揚張瑞曾居士。少即奉為圭臬。繼欲普餉同倫。乃詳為校訂。兼用褒貶圈法。標示其當法當戒者。俾閱者省心力而知去取。其用志可謂誠且摯矣。刻成。問序于余。因略述三才名義。與聖賢格致工夫。以期與本集所說。互相發明。令學者得親切下手之工夫。而進德不息。以致與天地參而後已也。其具眼者。當不以余言為背謬也。

不可錄重刻序

女色之禍。極其酷烈。自古至今。由茲亡國敗家。殞身絕嗣者。何可勝數。即未至此。其間頹其剛健之軀。昏其清明之志。以頂天履地。希聖希賢之姿。致成碌碌庸人。無所樹立之輩者。又復何限。況乎逆天理。亂人倫。生為衣冠禽獸。死墮三途惡道者。又何能悉知之而悉見之耶。噫。女色之禍。一何酷烈至于此極也。由是諸聖諸賢。

特垂悲愍。或告之以法言。或勸之以異語。直欲福善禍淫之理。舉世咸知。而又徵諸事實。以為法戒。企知自愛者讀之。當必怵然驚。憬然悟。遏人欲于橫流。復天良于將滅。從茲一切同倫。悉享富壽康寧之福。永離貧病夭折之禍。此不可錄所由輯也。張瑞曾居士。欲重刻印施。命余作序。暢演窒欲要義。須知美色當前。欲心熾盛。法言異語。因果報應。皆難斷其愛心。若能作不淨觀。則一腔欲火。當下冰消矣。吾秦長安子弟。多玩促織。有兄弟三人。年皆成童。于月夜捉促織于墳墓間。忽見一少婦。姿色絕倫。遂同往捉之。其婦變臉。七竅流血。舌挖尺餘。三人同時嚇死。次日其家尋得。救活者一。方知其事。活者大病數月方愈。其家子孫。不許夜捉促織。夫此少婦。未變臉時。則愛入骨髓。非遂所欲則不可。及既變臉。則一嚇至死。愛心便成烏有。然當其羣相追逐時。固未始無血與舌也。何含而藏之。則生愛心。流而挖之。則生畏心。了此。則凡見一切天姿國色。皆當作七竅流血。舌挖尺餘之釣頸鬼想矣。又何至被色所迷。生不能盡其天年。死必至永墮惡道耶。以故如來令貪欲重者。作不淨觀。觀之久久。則尚能斷惑證真。超凡入聖。豈止不犯邪淫。窒欲衛生而已。其女貌嬌美。令人生愛心而行欲事者。不過外面一張薄皮。光華豔麗。為其所惑耳。若揭去此之薄皮。則不但皮裏之物。不堪愛戀。即此薄皮。亦絕無可愛戀矣。再進而剖其身軀。則唯見膿血淋漓。骨肉縱橫。臟腑屎尿。狼藉滿地。臭穢腥臊。不忍見聞。較前少婦所變之相。其可畏懼厭惡。過百千倍。縱傾城傾國之絕世佳人。薄皮裏面之物。有一不如是乎。人何唯觀其外相。而不察其內容。愛其少分之美。遂不計其多分之惡乎。余願世人。遺外相而察內容。厭多惡以棄少美。則同出欲海。共登覺岸矣。又當淫欲熾盛。情不能制之時。但將女陰作毒蛇口。如以陽納蛇口中。則心神驚悸。毛骨悚然。無邊熱惱。當下清涼矣。此又窒欲之最簡便法也。

不可錄敦倫理序

天為大父。地為大母。一切男女。皆天地之子女。皆吾之同胞。

既是同胞·當盡友愛·保護扶持·以期各得其所。如是·則為天地之肖子·無忝所生矣。既能保護扶持天地之子女·則天地必常保護扶持于其人·令其福深壽永·諸凡如意也。倘或肆意橫行·欺凌天地之子女·則其折福減壽·滅門絕嗣。一氣不來·永墮惡道·經百千劫·莫復人身者。乃自取其禍·非天地之不慈也。餘且勿論。即如妻女姊妹·人各共有。人若熟視己之妻女姊妹·己則憤心怒氣·即欲毆擊。何見人之妻女姊妹·稍有姿色·心即妄起淫念·意欲汙辱乎哉。夫同為天地之子女·是吾同胞。若于同胞起不正念·則是汙辱天地之子女·欺侮同胞。其人尚得自立于天地之間·而猶謂之為人乎。况夫婦之道·與乎三綱五常。男女居室·人之大倫。人之所以異于禽獸者·以其有人倫也。人若行蔑理亂倫之事·則是以人身行禽獸事。身雖為人·實則禽獸不如也。何也·以禽獸不知倫理·人知倫理。知倫理而復蔑倫理·斯居禽獸之下矣。然一切眾生·由淫欲生·故其習偏濃。須深堤防·作親·作怨·作不淨想。庶可息滅邪念·而淳全正念矣。怨與不淨·前序已明。茲特約親而為發揮·冀諸閱者·同敦天倫·毋懷惡念。四十二章經·示人見諸女云·想其老者如母·長者如姊·少者如妹·幼者如女。生度脫心·息滅惡念。梵網經云·一切男子是我父·一切女人是我母·我生生無不從之受生。當生孝順心·慈悲心。如是則尚保護扶持之不暇·何可以起惡劣心·而欲汙辱乎。明有一生患淫·不能自制·問于王龍溪。龍溪曰·譬如有人謂汝曰·此中有名妓·汝可褰幃就之。汝從其言·則汝母女姊妹也。汝此時一片淫心·還息否。曰息矣。龍溪曰·然則淫本是空·汝自認做真耳。人果肯將一切女·作母女姊妹視之·則不但淫欲惡念無由而生·而生死輪迴·亦當由茲頓出矣。不可錄一書。法語巽言之訓·福善禍淫之案·與夫戒忌之日期處所·一一畢示。其覺世醒迷之心·可謂誠且摯矣。維揚張瑞曾居士·利人心切·即為刻行。命光發揮室欲之要·因以怨·以不淨。而敍其大旨。繼因其堂兄正勛逝世·擬以此功德薦其靈識。俾罪障消滅·福智崇朗。出五濁之欲界·生九品之蓮邦。因居士孝友之情·故復撰

敦倫之序。祈見聞者。各詳察焉。則幸甚幸甚。

普濟禪寺打交盤萬年簿序代了餘和尚作但打交盤未改十方

圓通道場。彌三際而不增不減。普門風範。即萬法而無欠無餘。互古互今。如如不變。有情無情。法法圓融。雖千佛齊出。了無有興。縱三災迭起。又豈有敗。此觀音大士補怛名山。真如實際之究竟景象也。于於應化門頭。則法隨緣起。道在人宏。興廢通塞。各有由致。溯自慧鑄始祖。開山于梁。真歇禪師開宗于宋。以及元之孚中。清之潮音。悉皆道高一世。德感九重。丕振宗風。廣布玄化。普使四海內外。同被慈雲。六道眾生。共霑法雨。猗歟休哉。何其盛也。爰自潮音以來。兩蒙勅修。世守成規。家風不墜。至咸豐初。髮匪肇亂。人民塗炭。香火多年斷絕。用度由茲缺乏。法器什物。皆不舒用。凡住持進院。自所置者。退時仍復搬回本庵。縱有留者。皆作昂價交盤。甚至破敗不堪。一文不值之物。一體照新價交。總計洋一千若干元。如市之打店鋪者。貨物器具。悉賣新主。所謂常住者。只空屋經像而已。弊由兵燹。亦無足怪。至後世道太平。香火鼎盛。仍復安于故習。毫未改革。餘曾理院務。詳知其由。今于文蓮老和尚退院之時。蒙諸位老和尚。并諸房法眷。委此重任。自愧人微德薄。不敢承當。而再三逼勒。不許推辭。竊念普濟乃天下名山菩薩道場。由梁至民。世經十紀。年滿一千。今既忝膺此任。敢不勉力籌度興利除弊。培植常住元氣。以仰副諸公為法為人一番至意。因言。常住體屬十方。非住持一人私有。所有財政理宜全歸常住。凡錢財穀米。莊嚴什物。無論常住舊有。即本人所置辦者。亦不得退時攜去及作價交盤。而住持進院花費。須彼本人自任。不得耗費常住。如是則常住日見豐足。而法道亦隨之隆盛矣。文蓮老人聞之。踴躍歡喜。發菩提心。願將交盤洋一千若干元。一筆勾消。其什物有破敗不堪者提出。同眾棄去。有可用者。按其新舊名色。登此打交盤萬年簿。後所置者。一體登簿。其住持。并常住財政規矩。悉仿諸方叢林。唯選舉住持。仍須本寺各房子孫。是之謂子孫十方。所願自茲以後。凡為住持。及膺職事者。各各發菩提心。

培植常住。庶大士慈恩。豎窮三際。橫徧十方。而各人現在則福慧雙隆。人天敬仰。臨終則形神俱妙。佛聖來迎。如是則（不慧）一念愚誠。與文老一番婆心。皆悉不落空亡。咸有實益矣。因略敘源委。以冠簿首。俾後之來哲。悉各知其緣起耳。

別庵統祖新公堂序代茂量師作

如來所證之阿耨多羅三藐三菩提道。即我與一切眾生。現前一念煩惱結業顛倒昏迷之心。能識此煩惱結業顛倒昏迷之心。便可以上續如來慧命。下作人天導師。普令一切眾生。同識此心。同證阿耨多羅三藐三菩提道。所謂心佛眾生。三無差別。迷悟雖殊。體本不二。一條蕩蕩長安路。從來絕不禁人行。自是不歸歸便得。故鄉風月有誰爭。自世尊示成正覺。四十九年。廣說經法。指大經于塵中。示明珠于衣裏。三千年來。沐法澤而悟自心。證覺道而度有情者。數逾恆沙。何可勝論。若我別庵統祖。宿植德本。乘願再來。童真出家。弱冠悟道。闢普門以重興法雨。傳心印而丕振宗風。身居海島。道播寰區。六坐道場。廣垂言教。不特萬民傾誠。直使一人注意。由茲賜帑賜紫。屢施九道之雨露。唯期祝國祝民。同沐大覺之恩光。在當時固皆景仰。即後世莫不尊崇。昔先師戒文老人。與開如和尚。每念忝為法裔。莫續徽猷。聊效追遠之誠。糾立公堂之會。緣舊立公堂。過于淡薄。不足以昭虔恭而報祖德。起觀感而裕後昆。以光緒十八年。闔山共築朱家尖眾香塘。因糾十餘家。或任一股。或任數股。共湊洋若干圓。買田百畝。以為新起公堂之備。後因外界侵佔一半。只得三十一畝而已。然田屬新開。猶是斥鹵。故二十年來。尚未成立。今田已成熟。租課照常。因于今春。起立公堂。十柱輪流。周而復始。在如公與吾師之本心。實欲後世子孫。登堂薦獻。禮像投誠時。心自思曰。祖師與人同耳。彼既丈夫。我亦宜然。豈可高推聖境。自處凡流。由是奮發大心。追蹤先覺。破無明以證法性。續佛慧以度眾生。俾圓通道場。經劫常住。大慧宗統。徧界流行。庶不愧為祖師兒孫。如來弟子矣。凡我同倫。尚勉之哉。（時在民國二年）

眠雲公堂序代法雨書記僧作

人生世間·幻住數十年。從有知識以來·日夜營謀·忙忙碌碌。無非為養身家·做體面·遺子孫而已。推其病根·只因執著有我·不肯放下。其念慮固結。雖佛與之說法·亦莫之能解。而于自己主人公本來面目·則反置之不問·任其隨業流轉·永劫沈淪可不哀哉。開然和尚·夙因深厚·託質將門·壯懼殺業·不樂從軍。聞化聞老人說法·遂投身座下·剃髮為僧數十年來·專主參究。但恨未得覲面·一敘機緣。其所悟處·深淺莫測。至光緒末年·住持法雨。因自立公堂·以作遺念。題其名曰眠雲。夫雲之為物·來無所從·去無所至·幻生幻滅·了無定相。而能降注甘雨·普潤大地。俾有情無情·各得其所。絕似證無我相者之無所住而生心·度脫一切眾生而無有度相。然公通身放下·安住其中。其殆示其所悟乎·抑令後世子孫以此為法乎。其義玄妙·可以深長思矣。

通智法師公堂序代悟開大師作

粵自世尊入滅·四依宏法。現普門身·垂形六道·逆順隱顯·種種方便·隨順機宜·皆令度脫。此不可思議神通妙行·唯聖能為·非凡所及。若夫現沙門身·離塵脫俗。高豎法幢·丕振宗風。流通法化·續佛慧命。此為法身大士·大心凡夫·傳揚佛法·通途妙行。由斯二行·故得橫徧十方·豎窮三際。無一處不蒙佛光·無一人不沐佛恩。至于法傳震旦·二千年來宏法大士·廣布法化。宗說兼通·定慧均等。現身說法·以德服人。扇真風于火宅·注法雨于情田。普被三根·總攝眾機。各復本有之天真·共證即心之覺道。因茲王臣歸命·士庶傾誠。廣布玄猷·輔弼政治。其宏功偉迹·多難盡述。即高僧傳·傳燈錄·百餘卷書所載者·乃千萬分中之一二耳。近世以來·其有宿植德本·示生巨族。隻眼覷穿浮世界·一肩荷起大津梁。宴坐圓通道場·深入寶王三昧。總禪淨而同修·會宗教為一致。出廣長舌·宏演圓宗。垂平等臂·普接三根。即凡心以示佛心·統萬行而歸一行者。其唯我先法師·通公法師其人焉。師諱尋源·字通智·別號憶蓮沙門。俗姓

阮·系揚州儀徵·中堂元公之幼子也。于道光二十二年癸卯·三月初八日未時示生。母氏某·京都人。迨至元公逝世·嫡子忌刻過甚。其母遂攜之以歸京都·寄居舅捨。及長·相貌瓌瑋·語音洪暢。性好道術·不求仕進。欲為長生神仙·放曠襟懷·優遊蓬島。每以不遇真人為憾。至同治十二年·年二十一。偶至龍泉寺·遇首座本然和尚。洞明教理·透徹禪宗。億必得道高僧·與之談己所懷。本公笑曰·汝本有之天真佛性·無端背棄·而求不可必得不出七趣之神仙。棄金擔麻·認奴為主。汝具如此相貌·而其志何若是之下劣也。遂頓棄所懷·即求攝受。本公因為薙髮于本京七塔寺·乃石佛寺之支派也。從茲常親本受業師·研究教典·勵志修持。至光緒四年·受具戒于京西雲居寺。因念教理粗明·本分未了·說食數寶·有何利益。乃發足游方·徧參宗匠。至十四年·于普陀佛頂山信真老人會下·師資道合·得受心印。是為傳臨濟正宗第四十二世。是年宏楞嚴于法雨寺。此後十有餘年·常應講聘·每期眾皆數百。師于楞嚴·獨有心得·因為註釋。欲使大佛頂理·圓通常性·全體顯現·毫無隱覆·述成開蒙十卷。現蒙維揚萬壽寂公·為之刊板流通。所惜賦性率真·唯究根本·不事支末。但欲發揮理性·令其徹底全彰·和盤托出。至于措詞立言·或失詳審。故致間有參差疏漏之弊。倘蒙具眼作家·稍事修治。則成法苑完璧·楞嚴寶鏡矣。師平生志在楞嚴行在淨土。日課佛號三萬·誓求往生。晨持大悲咒一尺香·以為助行。欲令現未有情·同生淨土。故于彌陀疏鈔·及演義·要解·便蒙鈔·勢至圓通疏鈔·皆為刊布。謂學者曰·禪宗名為教外別傳·淨土實為教內真傳。須知即此真傳·乃別傳外之別傳也。汝等煩惑未斷·道業未成。切不可錯認定盤星·高推禪宗·藐視淨土。致令臨命終時·業識茫茫·無本可據。雖有不可思議大慈大悲之佛力·由不信故·無從倚託。依舊乘惡業力·輪迴惡道。從劫至劫·了無出期。可不哀哉·可不畏哉。其講楞嚴也·于七處徵心·十番顯見處。必詳明此土開悟之難·淨土證道之易。至勢至章·則殷勤勸導·不遺餘力。直欲法會大眾·人各都攝六根·淨念相繼。即隨

勢至·親證圓通。其至由惡業而沈淪四趣·乏定慧而墜墮五魔處。尤復極陳得失·痛示利害。每每淚隨聲出·語音哽噎。常曰·不知淨土·楞嚴乃破淨土之元勳。深明淨土·楞嚴實宏淨土之善導。看經不具擇法眼·其孤負佛恩處·類多如是。汝等切不可將禪宗機鋒轉語·認做實法·薄淨土而不屑修持。須知華嚴會上·華藏海眾。同破無明·同證法身。尚須以十大願王·回向往生西方極樂世界·以期圓滿佛果。汝何人哉·敢與彼抗。上孤佛化·下負己靈。諸佛名為可憐愍者。師十餘年來·各處宏經·雲行鳥飛·杳無定處。于天童小白嶺·維揚萬壽寺·及本山普慧庵·嘗多憩息。以二處主人·悉皆尊德重道。且與普慧庵主覺公·法稟同門·交稱莫逆故也。至三十二年丙午冬·示疾育王。丁未春·覺公即接至庵。備極照應·經兩月餘。臨終前數日·神氣清爽·奮勵念佛。至四月初三日未時·合掌念佛·泊爾神逝。世壽六十五歲·僧臘三十五年。全身入棺·瘞于佛頂山後之燕窩岡。乃佛頂文正和尚等·預為營造之歸宿所也。以平生性好寂靜·而住無定所·故無剃度。嗣法門人·本山唯源通·與不肖悟開。外方雖有·不能悉知。恐招彼此親疏之譏·故概不書。嗚呼。開于昔年·頻預法會。屢聆圓音。未明自性。師以孺子可教·遂為預行付囑。當時雖極慚惶·猶期悟于後日。豈料諸魔未殄·法將云亡。毒藥未消·慈父見背。悲夫。眾生津梁·如來慧命·將何所託·從何所寄耶。寧可自殞·不忍師逝。唯冀承佛慈力·蓮開上品。忍證無生·位登不退。速乘本願·垂慈濟度。庶可以仗師威神·出險道而頓登寶所。即我心識·了煩惱而徹證真常矣。茲以先師遺資·肇立公堂。略敘大端·以垂永久。俾後世法裔·仰先德之徵猷·而勵志效法云爾。

立山老人派下子孫公堂序代開如和尚作

一切眾生·具有如來智慧德相。但因妄想執著·不能證得。究其原由·總因不了真如妙性妄認四大為自身相·六塵緣影為自心相。既已認賊為子·遂致背覺合塵。從此根塵互黏·人我敵立。起惑造業·輪迴六道。經塵點劫·莫能解脫。大覺世尊·愍茲劇苦。施大法藥·

令修四念處觀。一觀身不淨。二觀受是苦。三觀心無常。四觀法無我。及餘正動。如意足。根。力。覺。道。三十七品法門雖根有利鈍。乘有大小。莫不皆以四念處而為根本。良以四觀若成。則我執即破。我執既破。則五蘊皆空。六塵即覺。返本還原。親證妙性。譬如垢盡鏡明。雲開日朗。日即本具。明非外來。得無所得。獲大自在。凡情聖見。兩俱消亡。尚無涅槃。何有生死。至于世壽若盡。則焚其形骸者。一則恐彼亡者所作未辦。身見未泯。令其豁悟真空。當下解脫。二則正欲存者了知此身。全體虛妄。力修聖道。復本心源。務於動作云為處。親見主翁。則能自作主宰。不被此臭皮袋多方驅使。庶可以上繼佛慧。下化有情。即此苦無常無我不淨之幻妄身心。徹證常樂我淨之真如佛性。以故無論聖凡。舉皆焚化。而天下叢林。無不遵行也。當唐宋佛法盛時。士大夫家。亦多仰遵佛制。而用此法。不獨唯僧為然。僧既焚化。拾其餘骨。置于普同塔中。亦如叢林之海眾同居。其中凡聖莫測。行位難辨。凡既附聖。亦易解脫。如蒼蠅附于驥尾。不勞而得至千里也已。法雨常住。當前清咸同間。以久經兵荒。香火斷絕。遂致一敗塗地。至同治十年。眾挽先師公立山老人住持。法道由是重興。而剃度法嗣。實繁有徒。化開師伯。謀諸本派法眷。各出淨資若干圓。修一子孫普同塔。於海會橋東。凡立山老人派下子孫。及諸法徒。皆可入焉。又買眾香塘田五十畝。以歲所收租。充春冬祭薦之費。俾伴山。常明。長生。楊枝。寶稱。五庵。及化恆師派下子孫。六柱輪流。承值當辦。使亡者時受祭薦。蒙法利而超極樂之天。存者識破幻妄。修淨業而預蓮池之會。爰書緣起。以告同倫。

募建藥王篷序代撰

大覺世尊。名大醫王。普治眾生身心等病。所用之藥。其數無量。戒定慧三。攝盡無遺。以故此三。名為藥王。若能服之。即凡成聖。然藥雖美妙。修合實難。而信願念佛求生西方。名為阿伽陀藥。萬病總治。下手易而成功高。用力少而得效速。上中下三根。即生皆出苦輪。戒定慧三法。當念悉得具足。是知信願念佛一法。乃藥王中之藥

王也。(某)幸承宿因·得聞此法。敢不竭誠致敬·孜孜修持乎。擬建茅篷一所·名為藥王。安住其中·篤修淨業。以期普愈自他身心生死等大病。懇祈檀越·發菩提心·行方便事。略分寶海之涓滴·俾成安身之陋室。由茲夙夜翹勤·禮拜憶念。既能念茲在茲·何難即心即佛。則無邊利益·皆所成就。以如是因·感如是果。現生必得蒙佛接引·高預海會。將來必作藥樹王身·普治眾病。若能鑑此愚誠·則此語當不虛棄矣。

法雨寺萬年薄序代開如和尚作

得最勝之地·方可宏最勝之道。建非常之事·必須待非常之人。宗匠出·則本立道生。哲人亡·則法殘教弛。雖否極泰來·屬於天運。而革故鼎新·實賴人為。法雨常住·肇始於大智老人·中興於別庵統祖。規模宏敞·法道興隆。嗣後歷代住持·雖則無大樹立。然皆恪守成規·家風不墜。及至兵燹之後·住持不得其人·遂致一敗塗地。殿堂寮捨。坍塌破壞。法器莊嚴·百無一存。諸房法眷·見此景象。咸皆束手·不肯承當。於同治十一年·眾強先師公立山老人住持。荒垣破屋·竭力修葺。兢兢業業·十有餘年。自天王殿·至藏經閣·悉皆重新。其餘工程·雖未盡復當日舊制·而大局已有可觀矣。至光緒十一年·以老病退隱·命先師聞老人繼席住持。先師繼承舊緒·發廣大心。凡師公力未暇及之工·一切殿堂寮捨·或創或修·無一處不使一新。其規模制度·不亞中興。凡咸豐年間·壓出桃花莊稻田·盡行贖回。又以欲轉法輪·須仗莊嚴法器。十餘年來·宏宗闡教。所置什物·上自龍藏佛像·下至桌凳牀榻。凡所需用·般般具足。然老人大願雲興·恨不得十方僧眾·咸萃一堂。往昔祇園·復現今日。為法·為人·為常住·為大眾之心·如喪考妣·如救頭然。日夜焦思·憂勞成疾。至二十三年冬·修建尚未畢工·而老人竟費志西逝矣。(如)自愧涼德·兼無作略。因廁門牆·委理院務。勉承師命·極力輔弼。雖輕塵墜露·不足添江益嶽。然于自分論之·亦可謂鞠躬盡瘁·罄竭愚忱矣。承此未了公案·只得竭力擔當。於是奉先師遺命·邀諸法眷·公舉定公·

繼席住持。(如)仍居舊職·監理院務。及至定公退隱·荷蒙法眷·委此重任。雖知弗克擔荷·而不容推卻者。以先師公案·尚未了畢故也。由是夙夜經營·莫敢或違。拌此身心·謹成師志。三年之內·所有事宜·悉皆清楚。可以交代·不累他人。故今謹同法眷·備將常住所有鉅細什物·一一登記。俾後之莅住持位·膺職事職者。知前人為轉法輪·置辦什物·一番苦心·大不容易。各加愛惜·無或暴殄。使守成之功·媲美創業。讚緒之德·追蹤開山。億萬斯年·永無替廢。庶可法輪與願輪而常轉·千古恆守舊家風。國恩共佛恩以並報·奕世常霑新雨露。則法門幸甚·常住幸甚。

化聞老人公堂序代開如和尚作

竊以春秋祭祀·儒禮所重。歲時追薦·釋教尤崇。念水源木本之恩·修慎終追遠之事·世出世間·又何閒然。先師聞老人·多劫熏修·堪為人天福田。乘願再來·特整大士門庭。生雖示迹都城·世榮以隻眼而覷破。身遂棲遲海島·佛法以通肩而擔當布濩慈雲·興隆法雨。不愧為普門之功臣·直可作別庵之嫡子。去舊更新·梵宇復輝煌之制。宏宗演教·法源得流通之祥。視人若己·急公猶私。住持法雨·十有餘年。未曾買一畦養老之田·蓋一椽棲身之所。惟欲恢宏祖道·利益將來。日夜焦思·憂勞成疾·功圓果滿·撒手西歸。(德月)嗣德未能·報恩無地。欲崇追薦之儀·兼使後人感發。故將老人所築眾香塘田·撥一百畝·以作法眷春冬公堂祭祀之資·使後之登堂薦獻·禮像投誠者。誠惶誠恐·自愧自慚。各各取則·人人效法。以老人之心為心·以老人之事為事·庶可不愧為老人兒孫矣。凡我同倫·尚勉之哉。

白華庵法譜序此係懸敍下敍事不錄

吾人一念心性·不生不滅·非色非空。豎無初後之迹·橫絕邊表之形。不變隨緣·歷九界而不減。隨緣不變·證佛道而不增。光明洞徹·受用自在。直下與十方三世一切諸佛·無二無別。但由迷真逐妄·背覺合塵。致使生佛懸殊·苦樂迥異。大覺世尊愍之·示生世間·成

等正覺·廣演言教。令其返妄歸真·背塵合覺。復還本有之天真·親證無上之覺道。由是教隨機異·法以人殊。為實施權·備設五乘之階位。開權顯實·同歸三德之法門·雖一雨普潤·四眾均霑。而宏揚流通·惟僧是賴。良由割愛辭親·方能精修淨行。負荷法道·必須洞徹心源。故自教啟西乾·法傳東震。律教揚鑣·禪淨建幟。二千年來·蒙剃度而飲法乳·以斯道而覺斯民者。其世係師承·源源本本·何可得而勝數也。普陀為觀音大士應化之地·歷劫常然·無遷無變。而世間凡夫知見之迹·則自五代梁貞明閒·始建道場。歷宋元明·以迄昭代。高人屢出·天章頻頒。其閒法運·不無否塞。而賴有負荷法道之人·為之調停施設。得以轉否為泰·即塞成通。以故圓通道場·振古如斯·不墜厥初也。

香積會齋僧規約序

竊以僧名福田·普利四生九有。齋能助道·均資三乘六和。由福田故·供之則近除饑饉之因·遠獲應供之果。由助道故·受之則堪修六度之行·用彰三德之身。經所云於食等者·於法亦等財法二施·等無差別者。此之謂也。鍾芳大師·有見於此。遂邀淨友若干眾·人各出洋若干圓。永存普濟庫房·略生少息。以備每年臘月二十五·設齋之費。一日持所立規約過予·祈作一序·冀垂永久。且曰·昔維摩居士·以神通力·過上方四十二恆沙佛土·於眾香國·香積如來所·乞取香飯。於丈室中·普供大眾·以作佛事。令其未得者得·未證者證。芳等愧無如是神力·謹具疏齋·用表微忱。欲與十方三世一切大眾·同仗彌陀六八洪願·共離五濁·咸登九品。永侍普門大士·親證真實圓通耳。予曰·神通人各本具·香飯娑婆豈無。何須更顯神通·高越恆沙·求彼所餘·飽此大眾·然後為得也。當知此齋·師等以實心備辦·大眾以虛心納受。辦者受者·各具眼耳鼻舌身意。而眼耳鼻舌身意·當體本空·是何等神通。所辦所受·復具色聲香味觸法。而色聲香味觸法·直下如幻·是何等香飯。而况根塵既亡·我人豈有。則三輪空寂·一道清淨。其為神通也·香飯也。不離當處·任運徧達於十

方。不越一念。法爾普熏於三際。即心之幻穢頓消。自性之真淨圓顯。當念親見彌陀。臨終定蒙攝受。從茲常聆圓音。恆炙休光。當必速滿果海。入大涅槃。豈第得三摩地。證真圓通而已哉。由是觀之。師等此舉。乃與維摩老居士。並鑣齊驅。無或軒輊。其為功德。當與十方虛空。同其壽量。非筆墨文字。所能形容者也。如或不識因果。廢弛侵沒。則昔人以齋僧錢。蓋安僧屋者。尚墮火枷地獄。況入私囊。以肥己者乎。殷鑑早懸。各宜洞照。

圓通庵萬年簿序代永悟和尚作

實際理地。不受一塵。佛事門中。不捨一法。昔世尊以五時八教。普應羣機。隨彼根器。各令得益。其在前之四時。具說六度萬行種種法門。攝小。則毫善弗遺。應大。則包括法界。迨至法華。則開權顯實。會三歸一。普授作佛之記。大暢出世之懷。說者謂法華一經。乃如來究竟極譚。具明一代時教所以然之線索。如家業之有總帳簿。天子之有九鼎也。茲萬年簿者。亦圓通常住之總帳簿子也。溯吾師祖普信老和尚。欲攝心禪寂。於同治三年。歲在甲子。創建三椽茅篷。於西天門上。不二石側。額之曰圓通。僅足以蔽風雨。庇身心而已。而老人入修禪觀。出睹滄溟。怡情適志。以法為樂。初未億及為精藍也。按山志。圓通庵。在西天門上。萬曆五年。僧圓獻結庵於谷內。後以年深遂廢。昔處谷內。今踞山巔。其名雖同。而其基稍異。殆後有出谷遷喬。直登大涅槃山。常觀大寂滅海者之先兆歟。越五年戊辰。吾師山靜老人。攝吾與永慶師兄。幸蒙大士冥加。二三年來。香火漸興。檀施屢至。遂開拓基宇。改為禪庵。至明年春。先師示寂。吾承師祖慈命。力任院事。而慶兄專修淨業。凡九歷寒暑。三掩禪關。以輔翼之。迄同治癸酉。師祖西逝。其局勢雖未若現今之恢廓宏敞。然已頗有可觀矣。從茲以後。剃度益多。香火愈盛。加以徒某孫某。繼任其事。尤復不惜心力。經之營之。舉凡基址之高者鑿。卑者砌。必使地得其平。人得其用而後已。而殿堂屋廬之宜創者創之。宜修者修之。陋小鄙陋者。廣大壯麗之。咸使煥然一新。成就大觀。以及大而佛像

尊經·中而莊嚴法器·與種種什物。即小而一匙一筋·凡佛事所應用·日常所必需者·罔弗備焉。田產雖無幾許·而亦可供一季之糧。視卓錫無地者·猶少勝焉。噫。吾老矣。來日無多·欲後之人有所承守·不敢暴棄。勉效前人·光揚法道。今將常住所有鉅細什物·分門別類·一一登簿·以垂久遠。夫此庵·非天造地設。乃吾與慶兄·及十方檀越·心血所成。而徒與孫·亦預有力焉。然亦豈徒設云哉。良以欲成佛果·須圓萬德。欲轉法輪·須仗眾緣。今幸眾緣略具·當須常轉法輪·備修萬行·以期萬德之圓成耳。而濟濟後昆·安住其中。無飢寒困苦之憂·有閒適逍遙之樂。可不痛念生死事大·無常迅速。體檀越之誠懇·思建立之艱難。發菩提心·篤修淨行。以冀報答四恩於萬一乎。凡見庵中一針一草·則曰此為我等續佛慧命·自利利他而設。愛之如身上肉·護之如眼中珠。孳孳修持·惟日不足。能如是者·不愧為如來弟子·大士兒孫。則人敬之·神護之。現在福慧雙隆·將來成佛有分。否則袈裟之下·失卻人身。三途一報百千劫·出得頭來是幾時。莫言不道。

永悟和尚公堂序代本人作

夫前之無始·後之無終。包太虛而無外·入微塵而無內。清淨光潔·湛寂常恆。無生無滅·離相離名。在有非有·居空不空者·真性也。至於攬地水火風之身·乃筋骨血肉之聚。方生即滅·纔榮便悴。眾骨支撐·如以木為屋。一皮包裹·猶似泥糊壁。裏面盡屎尿膿血·外頭生垢汗發毛。蛆蟲綦布·蚤虱星羅。假名為人·實我焉在。而且以眼耳鼻舌身意之閑傢俱·奔馳于色聲香味觸法之荊棘林。由是起貪瞋癡之無明·滅戒定慧之正智。五蘊本空·誰肯一照。六塵無性·人皆認真。致令萬苦俱集·一靈永昧者·幻身與妄心也。圓覺所謂一切眾生·種種顛倒。妄認四大為自身相·六塵緣影為自心相者。此也。若論真性·則非聖非凡·無朕無兆。亙古亙今·恆自如如。從何以記其年月·陳其薦獻。若論幻身·則生同傀儡·死作塵土。妄心·則隨境生滅·毫無實義。又何必留鳥迹于空中·繫清風於江上也哉。但以

本山恆規·凡為住持·及有名德僧·皆立公堂·以為後人遺念。予自弱冠·出家于圓通茅篷。意謂有此把茅蓋頭·斗室容膝·足矣。豈知世相無常·隨時遷變。檀信日眾·輸粟布金。年久月深·不知不覺遂變之為梵宇精藍矣。而又闔山法眷·以予篤厚老成·強攀之為法雨主人。然自愧德薄·何足光揚法道。屢次告退只住四年。緬想古人·慚惶無地·又何敢引以為例哉。諸法子徒弟輩·固請不已。因幡然曰·吾生不能宏闡宗風·利益彼等。若設公堂·亦可以作當頭棒喝。令彼春冬二季·懸影祭祀時。忽念曰·此老某某年生·某某年歿。於今又經幾許年月。因知人命無常·速如電光·一息不來·便成後世。從茲發憤修持·求生西方。由是拌除幻妄身心·還復本有真性。與彌陀老子·共優遊於清淨寂滅之域·以永享夫常樂我淨之樂·則亦不無小補云。遂令撥桃花莊田若干畝·使其輪流經管·以充兩季祭祀之資。乃援筆而為之序。

初機淨業指南序

會稽道尹涵之黃公·篤信佛法·精修淨業。欲令同人·咸修淨業。離苦得樂。以淨土諸書·交深義奧·不便初機·及無學問人。因編作白話·縷析條陳·以示要義·名曰初機淨業指南。生死海中·得此指南·則背東向西·捨穢取淨·信願念佛·求生西方。當必一超直入如來地·不復在此世界中·長受生死輪迴之苦矣。既是志同道合·何妨助其勸導。乃為序曰·阿彌陀經云·從是西方過十萬億佛土·有世界名曰極樂。其土有佛·號阿彌陀·今現在說法。又曰·彼土何故名為極樂·其國眾生·無有眾苦·但受諸樂·故名極樂。其無有眾苦但受諸樂者·由阿彌陀佛福德智慧·神通力·所莊嚴故。吾人所居之世界·則具足三苦·八苦·無量諸苦·了無有樂·故名娑婆。梵語娑婆·此云堪忍。謂其中眾生·堪能忍受此諸苦故。然此世界·非無有樂。以所有樂事·多皆是苦。眾生迷昧·反以為樂。如嗜酒耽色·畋獵擣菹等·何嘗是樂。一班愚夫·耽著不捨·樂以忘疲·誠堪憐愍。即屬真樂·亦難長久。如父母具存·兄弟無故·此事何能常恆。故樂境一

過。悲心續起。則謂了無有樂。非過論也。此世界苦。說不能盡。以三苦八苦。包括無遺。三苦者。一苦是苦苦。二樂是壞苦。三不苦不樂是行苦。苦苦者。謂此五陰身心。體性逼迫。故名為苦。又加以恆受生老病死等苦。故名苦苦。壞苦者。世間何事。能得久長。日中則昃。月盈則食。天道尚然。何況人事。樂境甫現。苦境即臨。當樂境壞滅之時。其苦有不堪言者。故名樂為壞苦也。行苦者。雖不苦不樂。似乎適宜。而其性遷流。何能常住。故名之為行苦也。舉此三苦。無苦不攝。八苦之義。書中備述。若知此界之苦。則厭離娑婆之心。自油然而生。若知彼界之樂。則欣求極樂之念。必勃然而起。由是諸惡莫作。眾善奉行。以培其基址。再加以至誠懇切。持佛名號。求生西方。則可出此娑婆。生彼樂極。為彌陀之真子。作海會之良朋矣。或曰。阿彌陀佛。安居極樂。十方世界。無量無邊。一世界中念佛眾生。亦復無量無邊。阿彌陀佛何能以一身。一時普徧接引十方無量無邊世界之一切念佛眾生乎。答。汝何得以凡夫知見。推測佛境。姑以喻明。使汝惑滅。一月麗天。萬川影現。月何容心哉。夫天只一月。而大海大江。大河小溪。悉現全月。即小而一勺一滴水中。無不各現全月。且江河之月。一人看之。則有一月當乎其人。百千萬億人。于百千萬億處看之。則無不各有一月當乎其人。若百千萬億人。各向東西南北而行。則月亦于所行之處。常當其人。相去之處。了無遠近。若百千萬億人。安往不動。則月亦安住不動。常當其人也。唯水清而靜則現。水濁而動則隱。月固無取捨。其不現者。由水昏濁奔騰。無由受其影現耳。眾生之心如水。阿彌陀佛如月。眾生信願具足。至誠感佛。則佛應之。如水清月現也。若心不清淨。不至誠。與貪瞋癡相應。與佛相背。如水濁而動。月雖不遺照臨。而不能昭彰影現也。月乃世間色法。尚有如此之妙。況阿彌陀佛。煩惱淨盡。福慧具足。心包太虛。量周法界者乎。故華嚴經云。佛身充滿于法界。普現一切羣生前。隨緣赴感靡不周。而恆處此菩提座。故知徧法界感。徧法界應。佛實未曾起心動念。有來去相。而能令緣熟眾生。見其來此接引以往西方也。

懷此疑者·固非一二。因示大意·令生正信云。

藥師如來本願功德經重刻序

佛與眾生之心體·了無少異。眾生與佛之心相·天淵懸殊。相既懸殊·則由相所感之受用·亦悉懸殊矣。佛愍其體同而相用懸殊也·由是運無緣慈·興同體悲·種種方便·以施濟度。眾生若知其相用雖殊而本體原同也·固當上慕諸聖·下重己靈·依教奉行·以期復本也。藥師經者·世尊敍述東方淨琉璃世界藥師琉璃光如來·因行果德·顯密攝化之功德也。此經係唐玄奘譯·文理暢順。而八菩薩名·與說呪一段·二皆闕如。東晉帛尸梨蜜所譯之大灌頂神呪經·第十二灌頂章句拔除過罪生死得度經·有八菩薩名。唐義淨所譯之藥師琉璃光七佛本願功德經·有說呪一段文·凡四百二十八字。三經實本一經·以流通已久·致貝葉脫簡·各據所得之梵本以譯耳。而藥師如來拯拔初機·呪力居多。以故前人取帛尸譯本八菩薩名·義淨譯本說呪一段添之·令文義周足。而藥師如來救度眾生之心·亦無遺憾。亦如法華之普門品重頌·華嚴之普賢行願品。合之則稱悅佛心·離之則有闕化導。況此經此呪·舉世受持。若不添入·則誦經者不蒙密呪利益·持呪者不知出自何經。前人此舉·可謂契理契機。故數百年來·依之流通。張瑞曾居士·發心重刻。恐少知見者謂與藏本不同·致生疑慮。因略述源委·以期共知所以耳。

修正管理寺廟條例并護教文稿序

佛法者·心法也。此之心法·乃十法界之根本。不明此法·非但無由親證本有真如佛性·即世間格致誠正·修齊治平之道·亦不能究竟圓滿。何以故。以未得根本·唯事所發之迹象故。是以古今來凡立大功·建大業·輝煌宇宙者·多由學佛得力而來。即宋之周程張殊·發明聖學心法·亦曾取資于佛學。但其門庭知見過甚·不唯不事表彰·反從而闢駁之。則于誠意正心之道·殊為欠缺·可歎也。此法雖人人本具·若未聞佛說·則珠在衣裏·莫由自知。是以一切諸佛·莫不以

流通法道為囑。流通之法，最初須以建立塔廟，印造經像為始。以若無塔廟經像，則無由奉尊儀而修淨行，闡佛道以導羣迷。而一切含識，俱無由瞻禮聖容，培植善根。聞法修持，開發心地也。流通之人，須真修實踐之僧，及有勢力財力之王臣紳商。一名內護，一曰外護。內護則嚴持禁戒，篤修淨業。于禪教律密淨土，或專主一門，或兼修各宗。必使自他得益，幽顯蒙庥。陰翼治道，潛淑民情而後已。外護則不惜資財，廣種福田。普令同人，發起信心。內外相資，法遂流通。若無有道德之內護，則師表未立，人將安仰。若無有勢力之外護，則資斧無出，外侮莫禦。以故如來將入涅槃，以法付囑國王大臣，并及諸天善神。令於後世乘願示生一切國土，流通佛法，普利含識。由是二千餘年，化被各國者，以內護外護，皆有人故。我國自東漢時，方蒙法化。至晉而蒸蒸日上，至唐則諸宗悉備，幾等西天。由宋元明，以至清初，佛日恆輝，法輪常轉。至咸同間，以兵歉迭遭，哲人日稀。國家不暇提倡，庸人濫收徒眾。多有無賴惡人，混入法門，遂致一敗塗地。凡未閱佛經，未遇知識之人，見此遊行人間，造種種業之僧，便謂僧皆如是。從茲一唱百和，以為佛法無益于國，有害于世。莫不以逐僧佔產，改廟為學是務。但此事者，雖未必全昧心理。由不知佛法之所以然，但以己見妄測。致令一班假公濟私者，視為奇貨，欲飽己囊。彼此效尤，勢如燎原。民國初立，屢經緇素高人呈部，祈大總統下令保護。四年，規定保護章程三十一條。猶有詞意含渾，易生弊端處，恐為後患。九年，程雪樓居士，面見大總統，祈其修改。因詳加商酌，規定二十四條。十年五月，公布各省。今夏江蘇教育期成會，復援清末民初之例，以借廟開學，呈王前省長。遂蒙讚許，謂為無戾于法，實衷諸情，審慎周妥，良堪欽佩。令教育廳飭各縣遵照辦理。此令一出，隨即退任，江蘇僧界，大為震驚。鹽城各廟，多被侵奪。僉謂去歲大總統教令公布，王前省長竟若罔聞，極口讚美。若不設法挽救，不但江蘇一省之寺廟，不能保存。而各省同此性質之人，誰不欲仗辦學校之名，以減佛法而占僧產，為最有名譽利益之義務乎。于

是公舉代表三十人，以浩淨退居為首。懇于魏剛長王愚僧二居士。祈其轉達當軸，陳述利害。冀陰翼治道，潛淑民情之法，不至速滅。而江蘇韓省長，固通達政體，深知佛法者。眾僧具文上呈，旋奉批詞，尊重法律，嚴防弊端。一秉大公，毫無偏倚。僧學兩界，均翕然無事。雖未明言取銷王省長前令，而已不啻取銷矣。又以事已達部，復呈文于內務部。部咨江蘇省長，依法辦理。由此滅法之禍，遂得消滅。當此世道人心，陷溺已極。正宜提倡佛法，昌明因果報應，生死輪迴之事理。俾瞞心昧理，肆無忌憚之人，知造惡則長劫受苦，作善則永世受樂。自可少戢噁心，漸發善念。決不敢取快一時，以貽身後無窮之痛苦。當春秋時，諸侯大夫士死，各隨其力，殺人殉葬，而且以多為榮。雖孔孟老莊齊出，亦莫能止。自佛法入中國以來，縱南面稱朕者，亦不敢為。千餘年來，得壽終而死者，何可勝數。彼謂佛法無益于國，有害于世者。徒以忌妒之心，發此未見顏色之謬論。使詳審其故，能不痛哭流涕，悔其失言乎。雖然，總因僧界無人，故致拘墟者妄生侵侮。倘能各各勵志潛修，大明佛法。彼排擊侵侮者，當復護持流通之不暇矣。孟子所謂夫人必自侮而後人侮之，家必自毀而後人毀之，國必自伐而後人伐之者，此之謂也。我僧界宜如何竭誠精修，以期上續慧命，下度迷情乎哉。此事始終所有文字，剛長愚僧二居士，令錄而刊之。并將大總統修正管理寺廟條例，冠之于首，徧布僧界。庶知有公令，不致復有此種情事發生，一時措手無策耳。刻成，妙蓮和尚寄予，祈為序引。妙蓮之人，性情純篤，為剛長愚僧所器重。此事發生，愚僧每令其奔走，不辭勞苦。予素知其志向高潔，頗通教理。又喜其能代人之勞，成人之美，遂為敘其大致云。

江慎修先生放生殺生現報錄序

江慎修先生者，乃前清一代之經學大家。婺源明道潛修之隱君子也。博學多聞，無書不讀。而且一一普悉探其精微，入其閫奧。唯以教育英才為樂，不以富貴利達為事。當六歲時，甫受庭訓，日記數千言。父奇其敏，以十三經注疏徧授之。先生自是精心研究數十年。舉

凡經史百家·天文地理·音韻翻切之學·無不融會貫通。遂以著述發明義蘊為己任。所著近二十種·幾二百卷。當時國家·及名人著述·多皆取為依據。至乾隆三十七年·先生沒已十一年。國家開四庫全書館。凡先生所著·悉皆采入。共一十三種·一百五十餘卷。其餘數種未入者·或撮取綱要於他書中·或其稿甚多·彼此借觀·致令遺佚而不得也。噫·先生可謂學研天人·功參造化·窮理盡性·優入聖域之人傑焉。殆漢鄭康成·宋周濂溪·邵康節之流歟。世之博學多聞·不講躬行實踐·唯以詞章進取為事者。聞先生之風·能不愧死。而且愛惜物命·深信因果。故于放生吃素善報·殺生食肉惡報。隨所見聞·錄以勸世。其裔孫易園居士·擬欲鑄板廣布·冀挽殺劫·囑光作序。光心如背鏡·學等面牆。唯學愚夫愚婦之老實念佛。何能發揮道妙·令拘墟者徹見天日·因茲以生正信而獲實益耶。然以事關劫運·義不容辭。勉為序曰·天地之大德曰生·如來之大道曰慈。人物雖異·心性是同。舉凡三乘六凡·如來視之·皆如一子。何以故。以其皆具佛性·皆堪成佛故。三乘且置。六凡天人阿修羅畜生鬼地獄·雖則高下懸殊·苦樂迥異。總皆未斷惑業·未出生死。天福若盡·即便下降。獄罪若滅·仍復上升。猶如車輪·互為高下。我今幸得人身·理宜委曲設法·護惜物命。體天地好生之德·全吾心惻隱之仁。良以諸物與我·同生于天地之間·同受天地之化育。而且同知貪生·同知畏死。仁人于枯骨·尚且掩而埋之。于草木·尚且方長不折。况肯為悅我口腹·令水陸諸物受刀砧烹煮之苦哉。須知此等諸物·從無始來·亦曾高居尊位·威權赫奕。不知借威權以培德·反致仗威權以造業。竟使惡業叢集·墮于異類。口不能言·心無智慮·身無技術·以罹此難。雖弱肉強食·于事則得。而怨恨所結·能無生生世世·圖報此怨之念乎。人縱不念諸物被殺之苦·獨不懼怨業深結·常被彼殺乎。又不懼殘害天物·天將奪我福壽乎。人惟欲眷屬團聚·壽命延長·身心安樂·諸緣如意。正應發大悲心·行放生業。使天地鬼神·悉皆愍我愛物之誠。則向之所欲·當可即得。若仗我有錢財·我有智力·設種種法·

掩取諸物·以取悅我口腹·不計彼之痛苦。尚得謂與天地並立為三之人矣乎。然我與彼等·同在生死。從無始來·彼固各各皆為我之父母兄弟妻妾子女·我亦各各皆為彼之父母兄弟妻妾子女。彼固各各或于人中·或于異類·皆被我殺。我亦各各或于人中·或于異類·皆被彼殺。為親為怨·相生相殺。靜言思之·愧不欲生。急急改圖·尚悔其遲。况肯蹈常襲故·仍執迷情·以為天生異類·原為供人食料乎。然我尚具足惑業·固無由出于輪迴之外。萬一彼罪已滅·復生人道。善根發生·聞法修行。斷惑證真·得成佛道·我若墮落·尚當望彼垂慈救援·以期離苦得樂·親證佛性。豈可恃一時之強力·俾長劫以無救乎哉。古有高僧·行步不跨蟲蟻。人問其故。答曰·彼此同在生死中·或彼先成佛道·尚望其垂慈度我·何敢輕慢乎。是知佛視眾生皆是佛·眾生視佛皆是眾生。佛視眾生皆是佛·故多方化導之·種種折攝之。縱令絕無信心·亦不棄捨。曲垂方便·令種善根。待其因緣時至·自然發生增長·依教奉行耳。眾生視佛皆是眾生·故聞佛之言·不生感激·反以己之邪知謬見·多方毀謗。甚至拆毀塔寺·焚燒經典。固結魔黨·破壞清修。殆至正智稍開·則便愧悔無及。由茲遂復歸命如來·與崇佛法者·古今來比比皆是。須知父母於逆子·尚生棄捨之心。佛于逆惡不信之流·愈生憐愍。何以故。愍其惑業深重·失本心故。以雖則現時背逆於佛·而即心本具之天真佛性·仍復絲毫不失。如焦模中金像·敝衣中寶珠·蒙塵之秦鏡·在璞之荆璧。愚人但見其外相·而不知其內容。佛則遺外相而論內容·故無一眾生或生棄捨也。然佛尚不輕眾生·眾生何可輕眾生乎。故凡一切水陸眾生·必令各各得所·常得飛走游泳于自所行境。以各樂天真·各盡天年。則此書所說之種種善報·當可具得矣。人既如是·物尚不欲令其失所·何況于人。則互相親愛·互相扶持。自然俗美人和·必致風調雨順·其有不物阜民康·時清國泰者乎。又祈凡我同人·切勿自輕。當思我與如來·同一心性。彼何以惑業淨盡·福慧圓滿·安住寂光·常享法樂乎。我何以起貪瞋癡·造殺盜淫·輪迴六道·莫由出離乎。心性是一·苦樂天淵。

若猶以佛性功德·獨讓如來親得受用者·尚得名為大丈夫哉。

廈門流通佛經緣起序

如來說法·各隨機宜。大根則直示真如妙性·令其了知妙性圓明·離諸名相·本來無有世界眾生。常寂常照·不生不滅。五蘊空而六根清淨·四相亡而一心昭彰。從茲稱性起修·由修證性。雲布慈門·波騰行海。雖慈悲行願·彌綸法界。而復三輪體空·了無自他能所之相。小根則示以三歸·作反邪歸正之本。示以五戒十善·作得生人天之因。遇父言慈·過子言孝·兄友弟恭·夫倡婦隨。恪守倫常·各盡其分。兼以戒殺放生·吃素念佛。諸惡莫作·眾善奉行。根器稍勝者·則示之以四諦十二因緣·令其斷惑證真·了生脫死。又以一切眾生·由身口意·起貪瞋癡。由貪瞋癡·造殺盜淫。以是因緣·輪迴六道·相生相殺·盡未來際·了無止息。雖則示以人天聲聞緣覺菩薩等乘·而自力斷惑·實非易易。況復末世眾生·根機陋劣·不仗佛力·決難解脫。于是特開一仗佛慈力·橫超三界之淨土法門。俾已證聖者·速圓佛果。未斷惑者·帶業往生。但具真信切願·懇切至誠持佛名號。能如是者·萬不漏一。如人墮海·乘救船力·速得到岸。末世眾生·捨此一法·欲出生死·萬無一得。是知如來大法·撫育羣萌。如天普蓋·似地均擎。森羅萬象·無一能出其外·不在其中者。如日月麗天·普照萬國。雖生盲不見光相·亦蒙其照。如時雨普潤萬卉·大根大莖·小枝小葉·悉皆向榮。縱焦芽敗種·亦復平等沐澤。如大海普納百川·大江大河亦入·小溝小渠·乃至一勺一滴亦入。既入大海·則與大海同一鹹味·同一深廣。失彼故名·得此海號。故知佛法鈞陶化育·了無棄物。為諸法之本源·作眾生之恃怙。世出世間一切諸法·無不從此法界流·無不還歸此法界。拘墟者不知佛法·乃十法界公共之法。唯見其捨俗出家之一端·謂為廢棄倫理·沈空滯寂·與世教相乖戾。豈知佛法如太虛之無不包容·如陽春之無不化育。聖以之而為聖·賢以之而為賢。故古之建大功·立大業·勳名動天地·精誠貫日月者·皆自學佛得力而發。即宋之周程張殊·發明聖人心法·亦由學佛而得。以其器量狹

小·門庭見重。不惟不肯表揚·反從而闢駁之·欲以關閉後之學者·悉皆不入佛法。故作此掩耳盜鈴之計。得人之善·認為己功·反謂人不我若。其於正心誠意·致起罅隙·不能究竟圓滿·可不哀哉。佛法傳入中國·將二千年。其間由西竺所譯之經律論·并此土禪教律密淨等諸宗古德之著述·浩如烟海。隨機所近·隨人所樂·以為研窮。或徧研各宗·或專主一門。如城四門·就近而入。所入之門雖異·所入之城則同。如大海之一滴·味具百川。如帝網之一珠·影現千粒。一門深入·諸法悉通。以迄無明淨盡·寂照圓融·三際坐斷·十界平沈·復還本有之天真·以證無上之覺道·固屬上上根人。其次則息貪瞋癡。斷殺盜淫。諸惡莫作·眾善奉行。漸積功德·增長福慧。敦倫盡誼·愛眾親仁。戒殺放生·習成慈善。物尚慈憫·何況乎人·推此風化·以徧世界。尚有互相戕害·競謀殺戮·各欲滅彼種族·以愜己心乎哉。廈門蔡吉堂·林鴻猷·陳得祿·愍劫運之慘淒·欲為挽救。冀同人之開悟·流通佛經。乃按本及繳用以出售·絕不求利。欲啟人耳目·祈予為序。予嘉其誠·用述顛末。須和佛法·以因果報應為下學上達·原始要終之道。今之上無道揆·下無法守·彼此相戕·以殺為樂。只圖自己快意·不顧國之滅亡·民之塗炭者·皆由不知因果報應之所釀成也。予常曰·因果者·世出世間聖人平治天下·度脫眾生之大權也。當今之世·若不提倡因果報應·生死輪迴之事理。欲令天下太平·人民安樂·雖佛祖聖賢齊出·亦末如之何也已矣。

法如庵萬年簿序節錄懸敍

佛法廣大如法界·究竟如虛空。難議難思·莫名莫狀·剋論大綱·不出二諦。約真諦論·則有佛無佛·性相常住。是以圓通道場·歷塵劫而不遷不變。真如法門·盡來際而無替無興。約俗諦論·則法隨緣起·道在人宏。得其人·則闢荆榛而為梵宇·滅狐迹而作師林。直教佛日增輝·法輪當轉。失其人·則即佛地而成業叢·泯經聲而宣塵事。致使普門扃戶·覺路封途。僧與佛法·稱為三寶者。以其續佛慧命·流通法道·非人莫從·唯僧是賴故也。

傳大士傳錄序

眾生一念心性·與佛無二。雖在迷不覺·起惑造業·備作眾罪。其本具佛性·原無損失·譬如摩尼寶珠。墮於圜廁。直與糞穢·了無有異。愚人不知是寶·便與糞穢一目視之·智者知是無價妙寶·不以汙穢為嫌·必於廁中取出。用種種法·洗滌令潔。然後懸之高幢·即得放大光明·隨人所求·普雨眾寶。愚人由是·始知寶貴。大覺世尊·視諸眾生·亦復如是。縱昏迷倒惑·備作五逆十惡·永墮三途惡道之人·佛無一念棄捨之心。必伺其機緣·冥顯加被·與之說法。俾了幻妄之惑業·悟真常之佛性·以至於圓證無上菩提而後已。於罪大惡極之人尚如是·其罪業小者·其戒善具修禪定力深者·亦無一不如是也。以凡在三界之中·雖有執身攝心伏諸煩惱之人。而情種尚在·福報一盡·降生下界。遇境逢緣·猶復起惑造業·由業感苦·輪迴六道·了無已時。故法華經云·三界無安·猶如火宅。眾苦充滿·甚可怖畏。若非業盡情空·斷惑證真·則無出此三界之望。此則唯有淨土法門·但具真信切願·持佛名號·即可仗佛慈力·往生西方。既得往生·則入佛境界·同佛受用。凡情聖見·二皆不生。乃千穩萬當·萬不漏一之特別法門也。時當末法·捨此無術矣。如來以自力他力·通途特別二種法門·普利一切。菩薩荷佛家業·唯以上求下化為事。故於十方世界·隨類現身·隨機說法·和光同事·方便引導。或隱或顯·了無定相。其有內秘聖德·外現異迹。如彌陀之為善導豐干·觀音之為寶誌僧伽·文殊普賢之為寒山拾得·彌勒之為布袋和尚。其言其行·非凡情可測·渺不知其為何如人。及至臨終發露·或由歿後徵驗·方得了知。亦有隱顯相即·本迹俱示者·如彌勒之為傳大士也。有時據其迹而隱其本·自謂凡夫。有時據其本而拂其迹·自稱彌勒。良以眾生心量·過於狹小。若非稍有所得·妄擬聖位·便是高推聖境·甘處凡愚。是故大士以身表率·俾知己證等覺者·尚自謂為凡夫。而妄自尊大·甘處凡愚者·皆當為之猛省也。大士一生所行之事·所說之法·悉皆直指向上一著·而復不遺事善。六度齊修·一法不著。至其受法

弟子·莫不深契真常·頓空蘊界。捨身命財·作大法施。故得道震兩朝·德被異世。由陳至今·千數百年。普令見聞·同種善根。義烏雙林寺·乃大士潛修之所。向有傳錄木板·以屢經鈔錄刊刻·未經明眼人校訂·遂致錯訛不勝其多。奉化孫玉仙居士·至雙林禮謁大士·得其書歸·即欲重刻·以廣布大士之道。祈（光）校訂·以冀蕪穢盡除·而天真徹現。（光）勉竭愚誠·息心正訂。雖未能一無遺漏·庶可還本來面目矣。玉仙又以大士碑記·文深義奧。若無註釋·實難引人入勝·啟人景仰。乃祈黃無言居士·為之詳註。俾若文若義·一一如指諸掌。庶閱者不勞思索·悉知大士之本迹事理·以為龍華三會·得蒙度脫之先導云。

觀河集重刻序

夫心者·世出世間諸法之本也。若能徹悟自心·則觀一切法·悉是自心之所流露。觀一切生滅遷變境界·悉是常住寂滅真如實相。楞嚴所謂觀河之見·無有童耄。肇公所謂旋嵐偃嶽而不動·江河競注而不流·皆示此即生滅而見真常之微旨也。果能了此·則可謂了事凡夫·達本道人。縱譏誚怒罵·皆能為人解黏去縛·令人起死回生。豈必登座豎義·然後為說法哉。孔子曰·二三子以我為隱乎·吾無隱乎爾。吾無行而不與二三子者是邱也·聖人之道·譬如陽春。陽春一到·舉凡大樹小草·無不發榮暢茂。縱焦芽敗種·不能生成·而亦未嘗不蒙煦嫗以受潤澤也。天機深者·見其高堅前後而不可模仿·廣大精微而不可擬議。實則了無奇特·不過日用云為而已。此心之妙·凡聖相同。如來圓滿菩提·眾生永輪六道·皆不離於此心。但以迷悟逆順因緣·致令苦樂升沈天淵懸殊也。長洲彭際清居士·宿根深厚·學問淵博。甫登進士·便悟苦空。視富貴如浮雲·不樂仕進。了心性之實際·力修淨業。亟欲普度迷流·故爾和光同事。致有述懷紀事唱和諸作。雖屬文字·實寓深心。其淑世善民·導迷詮真之意·具發揮顯示於隨機隨境之吟詠間。可謂不據位而行政·不陞座而說法者。哀輯諸作·分為四卷。乃題為觀河集·蓋取楞嚴觀河驗見不遷之義。又冀觀此集者·

勿在文字義理間推測。但觀觀者。觀者既了。河自不流矣。此彭君命名之大意也。劉君朝侍。以其有益於世。為之刊板流通。實為方便導引之勝舉也。祈令為序。予願觀彭君之詩者。當先學彭君之道。其道唯何。曰。妙悟自心。信願念佛。求生西方而已。倘能於此有得。則盡十方世界森羅萬象。皆是現成新詩。否則縱令聲韻鏗鏘。對仗工整。而元氣毫無。如畫壁之鏡。剪綵之華。形雖逼肖。欲令現其光相。舒其芬芳。則斷斷乎不可得也。

觀無量壽佛經石印流通序

法身本體。圓離名相。寂光真境。不屬根塵。非有非空。五眼莫之能覩。非心非色。四智從何以宣。寂照虛通。真如淨妙。萬德具備。一法不形。佛淨常住。尚不可稱。生穢輪迴。豈復能立。此實生佛本具之理體。無上菩提之法源也。此理生佛平等。無有高下。但以眾生。在迷。日用不知。雖具法身。妄受生死。雖處寂光。妄見穢惡。以故如來垂慈。廣說諸經。普令一切眾生。返妄歸真。復本心性。然自力斷惑。現生證道。中下根人。末由成辦。爰有大士。名阿闍世。以大慈悲。欲佛開示仗佛慈力。捨穢取淨。普令上中下根。皆得臨終往生之不思議奇特大法門。特示病行。作大逆惡。囚父禁母。以為發起。致其母韋提希。請佛降臨。願離娑婆。願生淨土。于是世尊放眉間光。徧示諸佛淨妙國土。其母唯願生極樂國。又請眾生得生方法。因茲如來說此十六依正妙觀。但能依教修行。無一不滿所願。非但善人如是。即五逆十惡之人。臨命終時。地獄相現。受知識教。稱念佛名。或滿十聲。或止一聲。亦得蒙佛慈力。帶業往生。誠可謂轉凡成聖之大鑪。暢佛本懷之大法門。其力用超出一代時教之上。若如來不開此法。則末法芸芸眾生。誰能出離苦海乎。是知釋迦彌陀。乘大願輪。興慈運悲。度脫眾生。一則示居穢土。以穢以苦。折伏而發遣。一則示居淨土。以淨以樂。攝受而鈞陶。而阿闍世王。交相讚助。特現惡逆。成就厭離。殆與兩土世尊。砧錘相成。鍛淬相濟。一逆一順。以為末世眾生究竟得度之化儀。其為利益。難盡讚揚。行于非道。通達佛道。

非久證法身者·孰能為之。此經以是心作佛·是心是佛·生佛究竟不二為體。若能於此直下信去·則其人雖未出娑婆·已非娑婆之久客。未生極樂·已是極樂之嘉賓。智海居士劉朝侍·宿有靈根·篤修淨業。因讀此經·觸發孝思。念母夫人張氏·守節撫孤·孝事翁姑。德鎮坤維·身作閨範。篤信因果·長持十齋。淨業正因·頗已具足。惜於生信發願·專持佛號·以求往生·未極致力。由是發心·流布此經。陶玉耕居士·筆法超妙·堪追鍾王·因請恭寫·石印施送。普令見聞·同植淨因。以此功德·令其母神超淨域·業謝塵勞。蓮開九品之花·佛授一生之記。須知此經·與阿彌陀·無量壽二經。乃如來於一代通途教理以外·所立之特別法門。如阿伽陀藥·萬病總治。故無論業之輕重·惑之厚薄。但能信願念佛·無一不獲往生。如摩尼珠·隨意兩寶。故但能都攝六根·淨念相繼。待至業盡情空·心佛雙亡時。則一切法門·河沙妙義·無不融會貫通於自心矣。淨土法門·其妙如是。其有欲上薦先亡·下濟羣品。令一切人·不廢本分職業·各得現生出離生死輪迴者·可不汲汲從事於此法門乎哉。

佛光月報序

佛光者·十法界凡聖生佛·即心本具之智體也。此體靈明洞徹·湛寂常恆。不生不滅·無始無終。豎窮三際·而三際由之坐斷。橫徧十方·而十方以之消融。謂之為空·則萬德圓彰。謂之為有·則一塵不立。即一切法·離一切相。在凡不減·在聖不增。雖則五眼莫能覩·四辯莫能宣。而復法法承他力·處處得逢渠。但由眾生從未悟故。不但不得受用·反承此不思議力·起惑造業·由業感苦。致令生死輪迴·了無已時。以常住之真心·受生滅之幻報。譬如醉見屋轉·屋實不轉。迷謂方移·方實不移。全屬妄業所現·了無實法可得。以故我釋迦世尊·示成佛道·徹證佛光時。歎曰·奇哉奇哉·一切眾生·皆具如來智慧德相。但以妄想執著·不能證得。若離妄想·則一切智·自然智·無礙智·則得現前。楞嚴云·妙性圓明·離諸名相·本來無有世界眾生。因妄有生·因生有滅。生滅名妄·滅妄名真。是稱如來無上菩提·

及大涅槃·二轉依號。盤山云·心月孤圓·光吞萬象。光非照境·境亦不存。心境俱亡·復是何物。為山云·靈光獨耀·迴脫根塵。體露真常·不拘文字。心性無染·本自圓成。但離妄念·即如如佛。是知佛祖種種言教·無非指示眾生本具心性·令其返迷歸悟·復本還元而已。然眾生機有淺深·迷有厚薄。不假種種言教開導·種種法門對治。則迷雲障于性空·何由令其一一徹見心月也哉。以故如來最初成道·演大華嚴。直談界外大法·不與權小所共。俾宿根成熟一類大機·同證真常·誕登覺岸。復以鈍根眾生·未能得益。遂為循循善誘·隨機演說。或以五戒十善·攝彼人天二乘·令其種入佛道之勝因。或以四諦十二因緣六度萬行·攝彼聲聞緣覺菩薩三乘·令其得證佛道之近緣。始自阿含·以迄般若。莫不曲順根性·而為宣說。令其漸次增進·就路還家。佛之本懷·秘而不宣。迨至法華會上·開權顯實·開迹顯本。人天權小·皆是一乘。客作賤人·實長者子。普授三根之記·大暢出世本懷。與最初華嚴·始終互映。可謂一大事因緣·全體咐囑·了無餘蘊矣。又以末世眾生·根機陋劣·斷惑證真·實乏其人。以故特開淨土一門·俾上中下根·若聖若凡·同于現生·出此娑婆·生彼極樂·以漸證夫無量光壽。其深慈大悲·實屬至極無加矣。及至大教東來·宏法大士·各專一門。或禪或講·或律或密。如城四門·就近而入。如藥萬品·對證方服。如諸部之各司其職·贊襄郅治。如六根之互相為用·輔弼一身。雖則各宗一法·實則法法咸通·法法悉備。不過從入手處論·有如是名目耳。至於淨土一法·則如阿伽陀藥·萬病總治。如摩尼寶珠·隨意雨寶。若能都攝六根·淨念相繼。則得三摩地·親證圓通。一切功德·河沙妙義。不假外求·悉現自心。良由以果地覺·為因地心。及至其極·則因該果海·果徹因源。法門之妙·窮劫難宣。有能遇者·何勝慶倖。維揚長生寺可端和尚·宿植德本·久參禪講。于民國八年·由性蓮退居·委令住持。因念華嚴一經·乃如來根本法輪。遂竭力講演·以冀若幽若顯一切眾生·同得發起一乘善根·時經三年·講圓一部。而護法居士·感其至誠。又祈續講·以培人才。因

開華嚴大學院。學生額定四十八名。又思此段不思議光明·徧照法界。固屬如來神通道力·福慧莊嚴。然此光明·人人本具·個個不無。而衣裏之珠·模中之像·達本者雖有·著迹者甚多。忍令同具此光者·多皆長處暗室·不得受用。反承此普照法界·不思議真常圓滿之光·而為生死結業之本乎。於是擬於每月·出報一冊。名曰佛光者·以一念心性·佛如眾生如·一如無二如故。凡如來施化之因緣·心性真常之實際。五戒十善之因果·戒殺放生之感應。世間善行·出世淨業。生死輪迴之苦·因果報應之微。與夫高人哲士之嘉言懿行·著述講章。隨緣記載·以資觀感。雖則真俗並詮·淺深俱備。而粗言及細語·皆歸第一義。固當仁者見之謂之仁·智者見之謂之智。以為入佛封疆之前導·豁發心光之勝緣。倘閱者能知自心原是佛心·則知佛光即是心光。而此心光·寂照圓融。寂而常照·故為無量光。照而常寂·故為無量壽。無量光壽之理體·固一切人之所同具。無量光壽之實證·須待往生西方·面見彌陀·蒙佛授記·圓滿菩提以後·方能徹得。此華嚴歸宗·以十大願王·導歸極樂之深旨也。凡我同倫·幸各諦信。

募修雲谷禪師塔院序

緬維得道高僧·於千百年後。或有見其肖像·讀其著述·經歷其棲遲之地·瞻仰其闕藏之塔。皆能令人生慚愧心·生景慕心。奮發大志·力修淨業。以期遠追宏猷·振興法道。俾如來慧命·相續不斷。不致有負人與天地並稱三才·僧與佛法同名三寶者·明雲谷禪師·即其人也。師乘宿願力·於弘治十三年·示生嘉善胥山懷氏。幼入法門·徹悟自性。平生所修·雖注重於禪。而於性相諸宗·儒道心要·無不融會貫通。故能於禪教衰頹·儒道晦昧之際·俾宗風丕振·心法昭明。其於世道人心·裨益良非淺鮮。其得其傳而融通儒釋·使靈山泗水心法俱彰者·僧則憨山大師·俗則了凡袁公·為最顯著之人也。師滅於萬曆三年·建塔棲真寺側。至四十五年·憨山來禮其塔。見其塔院岑寂·一僧獨奉香火。因囑沈定凡居士·修葺莊嚴·并置長生田·以為久遠之計。迄今已三百餘年矣。今則基址尚在·垣屋無存。致令古德

遺跡·人無知者。近來世道人心·日趨日下。邪見熾盛·正法衰微。若不表彰古德懿範·何由使宗風丕振·魔外歸降乎哉。嘉興 般音居士憂之·擬重建塔院·刊布行實。庶出家在家一切人等·咸知古德芳風。從茲挽回造化之權·命自我立。斷除煩惱之障·佛從心現。則可繼憨山了凡之志·以慰雲谷禪師之心也。但以工程浩大·獨力難成。不得不求助于諸大檀越。果能人各依雲谷命自我立·福自己求之訓·篤實做去。則五福三多·悉萃厥身。天災人禍·絕聞于世。功勳罔測·利益莫名。諒不至惜彼五家所共之財·而不作此三生有幸之福也。因述所以·祈共贊襄云爾。

西方公據重刻序

淨土法門·乃如來普度眾生之特別法門也。如來愍念眾生·示成正覺。俯順羣機·循循善誘。大根則令其悟一心之具造·斷惑證真·以直趣菩提。小器則令其明三世之因果·趨吉避凶·為入道方便。雖則大小不同·權實各異。皆須斷盡見思二惑·方可出離分段生死。倘惑業未盡·道果未成。縱有修持·不能自主。久經生死·進少退多·以道不勝習·業能縛心。譬如坯器未燒·經雨則化。雖有前功·了無所益。以是之故·特開一信願念佛·求生淨土法門。俾若凡若聖·或智或愚·同以深信切願·持佛名號·求生西方極樂世界。此則以己信願·感佛慈悲。感應道交·必蒙攝受。迨至臨欲命終·即得隨佛往生也。既往生已·則已斷惑者·速證無生。具業縛者·亦登不退。從茲親炙彌陀·參隨海眾。薰陶化育·染如來之妙香。障盡智圓·復本具之佛性。俯提劣機·曲護初心·唯此法門·最為第一。如來之恩·廣大周至。雖天地父母·莫能喻其萬一也。昔人欲令同人·各修淨業。因輯經呪文說·及諸應驗·以為一書·名之為西方公據。公據者·即把柄·與左券之謂也。果能受持阿彌陀經·則知極樂世界·無有眾苦·但受諸樂。依正莊嚴·種種功德。阿彌陀佛·現在說法。光壽無量·誓願洪深。諸上善人·俱會一處。皆以修此信願念佛之多善根福德因緣妙行而生。其有不真為生死·發菩提心·以深信願·持佛名號。以

期近則登不退地·遠則圓成佛道者乎。而況六方諸佛·普利眾生。釋迦本師·得無上道。無不資始乎此·而歸極乎此。良以一切眾生·皆具佛性。是心作佛·是心是佛。由其以果地覺·為因地心。故得因該果海·果徹因源。法門之妙·妙無以加。乃華嚴末後歸宗之一著·實如來大暢本懷之圓詮也。有緣遇者·即是多善根因緣。為防疑退·更輯諸圖說應驗。徐子肇珩·宿具靈根。痛二親之早逝·冀九蓮以同登。因發心重刻·廣為流布。以期現生父母·歷劫怨親。普及法界眾生·共入彌陀願海。余嘉彼孝思·敍其大致。倘閱者果不以余言為非·當必有親證此無上甚深大事因緣之一日在。翹冀何極。

樂清虹橋淨土堂序

淨土法門者·乃如來普度眾生·最圓頓直捷廣大簡易之法門也。何以言之。以一切法門·皆須斷盡見思二惑·方了生死。而斷見惑如斷四十里流·況思惑乎。斷見惑·即證初果。若約圓教·則是初信。斷思惑盡·即證四果。圓教即是七信。初果初信·尚有生死。四果七信·方能了脫。而天台智者大師·示居五品。雖則所悟與佛同儔·圓伏五住煩惱·而見惑尚未曾斷。然大師本地·實不可測。而臨終只說登五品者·深慮末世不致力于斷惑證真·唯以明心見性為究竟也。夫明心見性·乃大徹大悟也。若最上上根·即悟即證·則可即了。否則縱悉知未來如圓澤者·尚不免重復受生耳。至于五祖戒再作東坡·草堂清復為魯公·尚未至甚。而海印信為朱防禦女·已屬不堪。雁蕩僧為秦檜·則誠堪憐憫矣。甚矣·自力斷惑證真了生脫死之難也。如來一代所說通途修證教理·雖法門種種不一·絕無具足惑業·能了生死者。唯淨土一門·但具真信切願·以至誠心·持佛名號·求生西方。無論惑業之厚薄·工夫之淺深·皆于臨終·仗佛慈力·帶業往生。既往生已·即已超凡入聖·了生脫死。從茲漸次進修·即得親證無生·以至圓滿佛果耳。此如來悲愍劣機眾生·普令現生頓出輪迴之特別法門也。須知淨土法門·正攝上上根人。是以善財已證等覺·普賢菩薩猶令以十大願王·回向往生·以期圓滿佛果。且以此普勸華藏海眾。

是知回向往生淨土一法·乃圓滿佛果之末後一著也。世有狂人·不審教理。以愚夫愚婦皆能修習·遂謂之為小乘而藐視之。不知其為華嚴一生成佛之成始成終第一法門也。亦有愚人·知見狹劣。謂己工夫淺薄·業力深厚·何能即生。不知眾生心性·與佛無二。五逆十惡·將墮地獄·遇善知識·教以念佛。或滿十聲·或止數聲·隨即命終·尚得往生。觀經所說·何可不信。彼尚往生·況吾人雖有罪業·雖少工夫·校彼五逆十惡·十聲數聲·當復高超多多矣。何可自暴自棄·以致失此無上利益也。如來稱此淨土法門為難信之法者·以其下手易而成功高·用力少而得效速。其圓頓直捷廣大簡易·超出一代通途教理之上。非宿有善根·決難信受奉行也。吾常曰·九界眾生離斯門·上不能圓成佛道。十方諸佛捨此法·下不能普利羣萌。蓋紀實也。今之時·是何時也·乃刀兵飢饉疾疫俱集之時也。雖未至三小災·亦三小災之現象耳。況復邪說縱橫·知識稀少。欲聞正法·頗不易得。有胡天僕居士者·發菩提心·篤修淨業。又欲同人·各得此益·遂極力提倡而勸導焉。其殆以贊天地之化育·代佛揚化·以為天職歟。而一方之人·聞其說法·感此時世·不禁厭苦欣樂之心·油然而生。遂一倡眾和·靡不服從。居士因自捨地基·兼募善信。建念佛堂·開放生池·及藏經樓·功德堂·香積廚·應供堂·居然從地涌出一大道場。念佛堂甚寬大·中供西方三聖立像·以冀行人平時注目·臨終即蒙接引也。正中設說法座·聽者周圍坐。雖至千人·亦不迫窄。俾四遠來者·不至有向隅之歎。藏經樓則備請各處所刻之經·以供發心者受持而研究焉。功德堂則備書所出功德之數目·又統設其位·以期存則福增壽永·歿則直登蓮邦。而既轉法輪·若不輔以食輪·則斷難經久不歸。故特設香積廚·應供堂·以令念佛聽法之人·各得心滿意足而後已。放生池則取彼將烹之輩·畜之法堂之前。不獨活彼色身·兼以經聲佛號資彼慧命。其所建設·皆極周至·約用一萬六千餘圓·已得落成。擬于堯曆八月十五日開講·實為末法不得多見之事。令其友張雲雷·致書于光·祈為序引·冀發起信心而擴充焉。因將如來所說通途特別兩種

法門之所以然·并胡居士之心行·及各種之布置·大概書之·以期閱者咸效法焉。倘見聞者同發此心·則俗美風淳·民康物阜·轉五濁惡世·為清淨蓮邦矣。此光之日夕馨香以禱祝者·願諸上善人·各垂慈憫·則幸甚幸甚。

阿彌陀經直解序

吾人一念心性·直下與釋迦彌陀·無二無別。而釋迦彌陀·已成佛道于塵點劫前。又復數數示生·數數示滅·以行化導。欲令吾人·繼其芳蹤。而吾人以煩惱惑業·無力斷除。直至今日·尚在生死輪迴中·頭出頭沒·渺不知其何所底止。縱令往劫曾聞佛法·依教修行。但以自力劣弱·不能斷惑·依舊常沈溺于生死苦海中·莫之能出。靜言思之·能不愧死。釋迦彌陀·有鑑于此。特開一信願念佛法門·令其仗佛慈力·橫超三界。俾上中下根·同得往生西方。可謂真慈大悲·至極無加矣。其教起因緣·修持法則·具見于淨土三經。而阿彌陀經·言簡義周·易于受持。故古人列為日誦·欲其家喻戶曉·咸沐法澤也。由是諸善知識·各為註釋·若揭日月于中天·固已無義不顯·無機不攝矣。但初機之人·或以文深義奧·難于領會。王顯江居士·特為作一方便·取要解等註之義·以顯淺之語言述之·名為直解·兼附淨土種種疑問。其已立立人·自利利他之心·可謂誠且摯矣。顯蔭法師序之·欲令一切同人·各生真信·老實念佛。因命（光）再序·遂書此以告閱者云。

十三經讀本序

天地以陰陽二氣·化生萬物。聖人以誠明一致·教育羣萌。其為道也·橫布萬邦·豎傳萬世·有識皆遵·無思不服。雖有聖人復生·不能另立一法。亦不過發揮誠明之道·令其徹底圓彰·和盤託出而已。十三經者·二帝三王·周公孔孟·繼天立極·教化萬世·格致誠正修齊治平之大經大法也。悉本天地無私之至理·吾人本具之良知。初非有奇特玄妙·不可企及者。雖夫婦之愚·可以與知與能。以人同此心·

心同此理。堯舜與人同，而人皆可以為堯舜耳。若能遵而行之，則人入聖域，世復大同矣。其世道陵夷，人心澆漓者，由于儒者不知道在躬行，一向逐末。舉凡克己復禮，閑邪存誠之義，置之不論。唯以記誦詞章，擬為進取應世之資。是殆以聖人參贊化育之道，作為博取名利之藝。其誣罔聖人，悖逆天地也至矣。由是讀書之人，心不知書義，而身不行書道。其作文也，則發揮孝弟忠信禮義廉恥之道，直使一絲不漏。而考其居心行事，則絕無此等氣分。直同優人演劇，苦樂悲歡，做得逼真，實則毫與自己不相干涉也。此弊一肇，漸至變本加厲。于是有天姿者，習為狂妄，恥循堯舜周孔之迹，而欲駕而上之。竟至廢棄聖經，競作新書。邪說一起，羣相附和。遂致一班惡劣小人，欲逞自己劫掠姦淫之心，汲汲然提倡共妻共產，而欲實行之。唯恐斯民之不與禽獸相同，而綱常倫理之有礙于己也。致令天災人禍，相繼降作。國運危岌，民不聊生。譬如夜行廢燭，海行廢舟，欲不隕越沈溺，其可得乎。施子肇曾，懼斯道之滅沒也。乃與二三同志，特立國學專修館。聚有志斯道者，俾其專精研究，身體力行，冀其有得，而廣傳焉。唐子文治，十餘年來，殫精斯道。搜集十三經善本，擇其注之簡當者，彙而集之。而復一一抉其微言，標其大義，附于諸經之後，其用心可謂誠且摯矣。施子遂即刻之，以期布之學宮，俾各讀誦而修習焉。刻既成，已與唐子各為序，述其所以。又令予序。予惟十三經之在世，如日月之麗天，有目皆睹。何待粥飯庸僧，特為標指乎哉。雖然，道固無二，仁智見殊。不妨以己之所見，為諸仁智者告。亦未必非窮經希聖之一助也。竊謂十三經所發明之道，乃格致誠正修齊治平之道。闡發格致誠正修齊治平之要，唯大學則次第言之，而曲盡其致。中庸論語孟子，俱皆發揮此義，但不次第循序而說耳。是知四書者，乃易書詩周禮儀禮禮記之注疏，而俾其道大明。孝經，乃推其實行之效。春秋三傳，乃示其遵違得失之證驗也。由是而吾人之本心，羣聖之薪傳，俱得大明，以之繼往聖而開來學。其為功也，與天覆地載之功相等。彼廢經者，是何異欲廢天地覆載而自立乎。其不知事務也甚矣。

循是而求之·舉凡希聖希賢·治國親民之道·無不一一若指諸掌。不欲希聖希賢則已·若欲希聖希賢·則聖賢之道·自備具于吾心與吾身矣。爾雅之所訓釋·乃諸經之總注·俾若文若義·悉得解了也。是則爾雅為解義之初步·而四書乃成始成終之總持法門也。再進而談其要義·則明德為本。而明其明德·又為從凡至聖·以人合天之關鍵。能明其明德·則內聖外王之道備矣。然欲明其明德·必須格去人欲之物·令淨盡無餘。庶即心本具之真知·徹底圓彰。而讀書之能事·只在此幾希間了耳。何等直捷·何等痛快。方知人皆可以為堯舜·夫婦之愚可以與知與能·乃真語實語。以人同此心·心同此理故也。欲世道人心·轉亂為治·反澆為淳·捨此則無術矣。不知施子唐子·以予言為然也否乎。然此且就世間法論·切勿謬謂併出世間法論也。至矚至囑。

以大乘入楞伽經斷食肉品誠神勿享肉食序代安徽黟縣廬智睿居士作

謹按佛說·一切眾生·皆有佛性。由罪福因緣·輪迴六道。若不力修戒定慧·以期斷盡貪瞋癡。及生信發願·念阿彌陀佛·求生西方極樂世界·則無由出離。是則我與水陸飛行·及六道一切眾生·從無始來·無不各各彼此互為父母兄弟妻妾兒女朋友親戚。無不各于未來·得聞佛法·修戒定慧·斷盡煩惱·圓成佛道。以故如來教諸弟子·戒殺放生·勿食諸肉。然世俗迷情·皆以肉食為敬。而不知其為自他同種惡因·致使將來必受惡報也。我今已知食肉過患·豈忍任彼一鄉之人·猶執迷情·以罪業因緣之肉食·累及尊神乎。又恐尊神未能詳知所以·或生瞋怒·降以災禍。則鄉人之迷情更甚·致令鄉人與尊神將來之惡報更深更大·而不易消滅也。是故特將如來所說之大乘入楞伽經斷食肉品·敬化尊鑪。庶得上體佛慈·下憫愚誠。愛惜物命·不享肉食之祭。凡用素者·則錫之福祉。若用葷者·即示以禍殃。俾一鄉之人·同感尊神聰明正直·好生惡殺之德。庶可普扇慈風·以培菩提之道本。挽回劫運·共樂太平于無既也。懇祈明察·則鄉人幸甚·國家幸甚。

揚州普照寺同戒錄序

如來大法·普被九界。上聖下凡·咸資鈞陶。雖法門無量·不易悉說。而總舉大綱·維戒定慧。良以入道之要·初則以戒執身·次則以定靜慮·次則以慧破惑。由是得以斷五住之煩惱·證三德之秘藏·故楞嚴云·攝心為戒·因戒生定·因定發慧·是則名為三無漏學。此之三法·如鼎三足·若缺其一·便難安立。說雖有三·修在一心。以無定慧之戒·非出世之戒。無戒慧之定·非出世之定。無戒定之慧·非出世之慧。是知三法·原是一法。其言三者·以宏揚者注重為名·及修證者獲益判義耳。梵網經云·我是已成佛·汝是未成佛·常作如是信·戒品已具足。又云·眾生受佛戒·即入諸佛位·位同大覺已·真是諸佛子。可知戒之一法·統攝諸法。以故知識宏揚·學人修持·莫不以戒為先務焉。普照寺者·道清老人所開建也。老人示生四川·年方弱冠·即厭塵勞·遂詣峨眉山華嚴頂出家·隨即受戒乃窮參力究·發明心要。欲徧參諸方·開擴心地。經過揚州·為徐凝門外永鎮鄉紳士所識·遂請住持該處之太陽宮小廟·老人察知可建道場·宿緣有在·故允許之·係前清光緒元年也。于是徧募十方·開拓基址·佛殿經樓·傑出雲表。凡叢林所應有·行道所必需者·無不備足。從茲冬禪夏講·大啟度門。善士達人·悉相依止。至二十二年·入都請經·得蒙俞允·及勅賜普照禪寺之額·實為莫大之幸。即于是冬·開壇傳戒·以報國恩而祈民福。迨至民國五年·凡五開戒壇·三啟講筵。而常時修持·雖則禪淨並行·而尤注重于淨土焉。迨至八年·年已八十有四矣。因示寂以歸極樂·與海會聖眾·親炙彌陀·以證無量光壽耳。其得法剃度弟子甚多。爰有高足·厥名稻香·與（光）誼屬莫逆。欲于今冬·出龕起塔。乃于九月十五日開壇傳戒·至冬月初八日圓滿·以報佛恩而資師冥福·命光序之。（光）惟佛教以孝為本。故梵網經云·孝名為戒·亦名制止·孝順至道之法。夫依教奉行·方名為孝。能依教奉行·則凡佛所得者·已悉得之。則即煩惱以成菩提·即生死以證涅槃。方可不辜佛化·不負己靈。為出格之丈夫·作如來之真子矣。若不依教

奉行·則袈裟之下·失卻人身·三途惡道之苦·窮劫未能盡說也。願受戒諸佛子·各各勉旃。

重刻水陸儀軌序

甚矣佛恩之廣大周徧·而靡有子遺也。初成正覺·說所證法。唯法身大士·方能與會。人天凡小·不見不聞。于是為實施權·寢大用小。隨順機宜·循循善誘。待其已斷煩惱·已證真諦。然後種種彈斥·多方淘汰。俾其發大心而冀佛果·不住法而修萬行。迨至根機已熟·則會三歸一·開權顯實。普授作佛之記·大暢出世本懷。從茲了知一切法皆是佛法·一切人皆是佛子·而無復自甘退屈矣。又復憫彼自力劣弱·現在斷難了脫者·特開淨土法門·令其仗佛慈力·往生西方。其有罪障深重·定業不易轉移者·大啟秘密觀道·使彼承三密力·滅盡無餘。然此二法·乃凡聖同修之道·成始成終之法。以其偏顯業係凡夫·頓獲勝益·作如是說。實則十方三世諸佛·莫不由此以圓成佛道·莫不由此以普度羣萌也。迨至法流震旦·梁武御極。由高僧以示夢·俾普度夫含靈。因茲備覽大藏·制斯儀軌。自是流通·以至今日。溯其原始·則以無量威德陀羅尼而為發起。究其纂述·與其修設·則一代時教一切諸法·無不備舉而讀誦修持焉。故其法門廣大·利益宏深。不但使六道凡夫·頓脫業縛。亦兼令三乘聖人·速證菩提。然人能宏道·誠堪契真。若請法齋主·與作法諸師·各皆竭誠盡敬·則其利益·非言所宣。譬如春回大地·草木悉荷生成。月麗中天·江河各現影像。故得當人業消智朗·障盡福崇。先亡咸生淨土·所求無不遂意。並令歷劫怨親·法界含識。同沐三寶恩光·共結菩提緣種。若齋主不誠·則出錢之功德有限·慢法之罪過無窮。僧眾不誠·則是鼓橐籥以為經·交杵碓以成禮。于三寶龍天降臨之際·作鹵莽滅裂塞責之行。其不至罪山聳峙·福海乾枯·生罹災禍·死受譴謫者·何可得也。此書杭垣之板·模糊不堪。天童雖刻·亦難普及。以故維揚萬壽寂公·寶輪裕公等。募資重刻·以冀廣傳。令光紀其年月·故略述原委·與其利弊。俾從事此法者·唯得其益·不受其損。則佛聖歡喜·而福慧

二俱增崇矣。願修法者。其各勉旃。

新昌大佛寺修築放生池募緣序

儒者以忠恕胞與為懷。必須推己及人。以至于物。方有實際。釋氏以慈悲濟度為事。是故憫諸物類。皆具佛性。欲行救援。無奈世人殺生食肉。相習成風。不知其非。致使生生世世。展轉互殺。了無已時。可不哀哉。須知人與物類。同此血肉之軀。同此靈知之性。同生于天地之間。但以彼此宿世罪福不同。致使今生形質靈蠢各異。以我之強。陵彼之弱。以彼之肉。充我之腹。快心樂意。謂為福報。而不知其福力一盡。業報現前。墮彼異類。受人殺戮時。則身不能敵。口不能言。中心憂懼痛楚。方知食肉之事。為大罪過。食肉之人。為真羅刹。雖欲不令人殺而食之。不可得也。故楞嚴經云。以人食羊。羊死為人。人死為羊。如是乃至十生之類。死死生生。互來相噉。惡業俱生。窮未來際。又况多劫以來。更互相生。既無道力以行救濟。忍使彼受刀砧極苦。我享口舌滋味乎。入楞伽經。世尊種種呵斥食肉。有云。一切眾生。從無始來。在生死中。輪迴不息。靡不曾作父母兄弟男女眷屬。乃至朋友親愛侍使。易生而受鳥獸等身。云何于中取之而食。凡諸殺生食肉之人。若念及此。當即怵然驚。憬然悟。寧可自殺。不能殺一切物矣。新昌有山。名曰石城。即山鑿龕。及彌勒百尺大像。乃齊僧護。僧淑。梁僧佑。三師所造者。相好莊嚴。妙無倫媿。其寺為天台西門。智者大師入滅于此。蓋欲表前繼靈山。後輔龍華也。大師一生。隨機說法。尤加意于放生。以台民多業漁捕。乃以襯施。買漁簷一所。為放生池。兼為彼講金光明經。漁者聞法。皆好生去殺。遂各捨江溪簷梁。六十三所。周三百餘里。俱作放生法池。有偷捕者。則立即得禍。至唐時尚然。而世遠人亡。法殘禁弛。遂致大佛寺外之池。亦為漁捕之所矣。馬契慈居士。景仰僧護僧淑僧佑智者之懿德殊勛。欲使同人。以及水陸空行一切物類。各得同盡天年。同生極樂。將來同預龍華三會。特呈憲嚴禁。勒其示文。冀垂永久。然池久未濬。淤泥充滿。兼須外築圍牆。以防盜捕。又須造橋修閘。建亭鋪路。豈

特徒壯觀瞻·實欲來禮佛者·觸境舒懷·上契佛心。庶可消除天災人禍·于不知不覺中。但以工程浩大·不得不募諸十方官紳士商·以及一切善信也。懇祈各發生佛同體·物我不二之心。共出淨資·俾觀厥成。則其功德·當與十方虛空同一壽量矣。

金山江天禪寺傳戒序

如來以三事故·令正法久住于世·眾生悉蒙度脫。三事者何·曰戒定慧。以眾生一向背覺合塵·輪迴六道。今欲令其背塵合覺·趣證涅槃。非戒則無所束縛·必至隨逐塵境·起惑造業。非定則識波奔湧·何能心無所住。非慧則本具之真心何由徹證·幻起之妄惑何由頓滅。故楞嚴經云·攝心為戒·因戒生定·因定發慧·是則名為三無漏學。須知此三·全三即一·全一即三。切勿謂戒但為定慧之初基而已。夫律儀戒·執身不作·可云初基。而定共戒·執心不起。道共戒·業盡情空·真窮智朗。豈非定慧之全體大用·何得唯以初基視之。然定共道共·仍以律儀而為本體。但以持戒功用淺深·而立此二名·初非另有所說之戒本也。世人每以律儀為論·致不知如來制戒大意者·或藐視之。而真戒真定真慧·無從聞熏而冀及·為可歎也。然如來法道·弘範十界。雖宏法大士·各皆三學圓明·而門庭建立·不能不各有專主。或專主于止作持犯·則為律。或專主于修觀講演·則為教。或專主于參究本來·以期徹悟·則為宗。宗名教外別傳·律教乃教內真傳。言別傳者·欲人于言外見本體也。非謂宗迥出於教理之外也。試觀世尊拈華·迦葉微笑。本地風光·徹底顯露。了此·則盡世間所有形形色色·無非世尊所拈之華·無不令人徹見自己父母未生前本來面目。況如來金口所說之無上妙法·便非此華·便不能令人親見本來面目耶。而人天百萬·縱見世尊拈華·悉皆罔措。亦如騎牛覓牛·了不可得。若知直下便是·則多少現成·多少省力。由其迷不知返·如演若之頭·無端狂走。衣裏之珠·枉受貧窮。為可哀也。須知律也教也宗也·此三者全·方可以續佛慧命·傳佛法道。若或有缺·則便不足以上證無上菩提·下度一切含識矣。盧舍那佛·以戒為體。以惡無不盡名淨·

善無不圓名滿。斷惡修善，乃止作二持也。是律為佛身，教為佛語，宗為佛心。心語身三，決難分裂，決難互缺。否則隻翼難飛，單輪莫運。欲自利利他，便難如願矣。金山，乃千餘年來著名道場。雖圓修三法，而注重于宗。故古今于於此大徹大悟者，不勝其多。每間數年，必傳一次戒。一以繼先佛之洪規，一以作後學之懿範。退居青公，住持融公，乃數十年前之故友。今秋至山觀光，二公款留信宿。因言此間常住，明年擬欲傳戒。命光作序，以發揮其義。光于宗于教于律，皆無心得，何能不負所囑。但以平日聞于佛祖古德，而鄙見所領會者，撮略言之，以塞其責。遺教經云，汝等比丘，于我滅後，當尊重珍敬波羅提木叉。如闇遇明，貧人得寶。當知此則是汝等大師，若我住世，無異此也。梵網經云，我是已成佛，汝是未成佛，若能如是信，戒品已具足。又云，眾生受佛戒，即入諸佛位，位同大覺已，真是諸佛子。願受戒諸佛子，各各自知自己本來是佛。以迷背故，反承此佛性功德力，輪迴六道，受諸極苦。如轉輪聖王，夢作蟻子，尋羶階下，自顧藐小。而牀上王體，依舊不失。及至于醒，方知幻作蟻形，了無實體。一切眾生，亦復如是。佛本是而未成，業原無而妄造。高推聖境，甘處凡愚。獨讓釋迦世尊，為一雄猛丈夫，豈不大可哀哉。倘受戒諸佛子，各各勉旃。則不但不負融公傳戒一番婆心，亦可慰如來出世制戒一番聖意也已。

鄞縣至邱隘鎮修諸橋樑徵信錄序

民生日用，事務多端。若不假往來交通，彼此酬酢，則一事無成，而生計將隨之斷絕矣。以故平治道路，為治國平天下之急務。故詩有周道如砥，其直如矢。書有王道蕩蕩，王道平平之說。或謂此喻王政，非指道路。試思道路不修，不但發號施令，有所阻滯。而農工商賈之往來，與夫供職效力之諸務，皆不能速得遂意也。況既無如矢如砥，蕩蕩平平之事，而用喻王政，不幾與譏誹王政相同乎。故周禮設司險候人之職，而月令有修治道路之令。至于護國佑民之正神，如東嶽文昌二帝，則皆示之。不觀修橋補路，行人有益。與修數百年崎嶇之路，

造千萬人往來之橋乎。而且持地菩薩。以平治道路。得證圓通。是知三教聖賢。莫不注重于此也。鄞縣以東。至邱隘鎮。二十餘里。所過大小各橋。共有二十三道。修建日久。漸見殘傷。邑人馬元培先生。于去年發心重修。因募諸善信。各出淨資。乃親董其役。俾一一橋樑。各復舊觀。間有水大河深者。則傍設石欄。以防昏夜及無目者之顛墜。共用洋二千有奇。今工已告竣。擬將橋工。并諸捐款。備錄一冊。排印奉送。以昭誠信。又欲閱者知其利益。祈光發揮其義。以冀人各注意也。然此種書冊。一閱即成廢物。乃附以陸廷燮先生所註之朱柏廬先生治家格言。并老申報所載之常識精華。此二種。皆可以作涉身處世治家教子。與夫小而泛應曲當。大而希聖希賢之法。其用心可謂誠且摯矣。願諸閱者。同以此心為心則其利益。豈思議可能及哉。

淨土釋疑序

佛法深廣。猶如大海。博地凡夫。孰能窮源徹底。一口吸盡。雖然。倘能生正信心。自可隨己分量。各得其益。譬如修羅香象。及諸蚊蟲。飲于大海。各取飽腹而已。如來出世。隨順眾生。為其說法。各令得益。亦復如是。而末世眾生。業障深厚。善根淺薄。心智狹劣。壽命短促。加以知識希少。魔外縱橫。修餘法門。欲于現生斷惑證真。了生脫死。誠為甚難稀有之事。唯淨土一法。專仗佛力。以故不論斷證。唯恃信願。信願若具。雖罪大惡極。將墮阿鼻地獄之流。尚可以仗十念之力。徑蒙佛慈。接引往生。噫。如來大慈普度。一物不遺。唯此一法。最為周摯。由是西天東土。菩薩祖師。高僧鉅儒。莫不以此自利利他。所有著述。極其廣博。欲探究原委者。固非易易也。渭漁居士林師尚者。宿根深厚。篤修淨業。殫精研究。歷有年所。擬欲普引同人。悉生淨土。故于淨土經論著述中。摘其要義。湊集成文。若集腋以成裘。猶采華而作蜜。確對時機。特申妙辯。共成五十七篇。名為淨土釋疑。詞約而精。理深而著。俾閱者無疑不釋。有義咸服。從茲欲不生信發願。持佛名號。求生西方。不可得也。然居士既能集前人之單詞只句。一節一段。復用己意。纂集成文。何不直用己文而

為發揮。蓋欲閱者知此所說·皆有所出。雖是己所纂集·實為經論語錄·及諸著述中·佛菩薩祖師諸善知識之所說。其入人深而感人切·比專用己語·當不啻相倍蓰矣。竊謂為上智說法則易·以其智慧明理·無復疑惑。如良馬見鞭影而馳·嘉禾得甘霖而茂也。為下愚說法亦易·以其心無成見·直下信行。如甘之可以受和·白之可以受采也。唯為中人說法·實為不易。以其知識繁雜·邪正不分。每每以凡情測聖智·以俗見會真理。雖說者種種開導·彼仍復展轉懷疑。是故設為問答·至五十七次之多。直使狐疑淨盡·佛理昭彰。知好歹者·悉皆遵行。可謂殫精竭誠·滅疑惑之健將矣。然羣疑既釋·尚須奮發大志·一念單提。則心王由佛力而常時惺惺·煩惱劫賊·容身無地·欲不歸降·不可得也。煩惱劫賊·既歸佛化。則雖未出娑婆·已非娑婆之久客。未生極樂·即為極樂之嘉賓。如是則上不孤于佛化·下不負于己靈。盡未來際·與海會大眾·親炙阿彌陀佛于寂光淨土之中·豈非所謂雄猛大丈夫哉。願見聞者·咸皆勉旃。

觀無量壽佛經善導疏重刻序

人生世間·禍福吉凶·相為倚伏。其所得損益·唯在人之善用心與否耳。諸佛愍自己與一切眾生·為三苦八苦無量諸苦之所逼惱。因思所受苦報·由于過去惡業所感。而所造惡業·由于當六塵境·不了如幻如化·妄起貪瞋癡心之所致也。是知貪瞋癡之煩惱·乃一切眾生之大怨家。從茲以戒定慧·斷貪瞋癡。復還本具之天真·以成無上之覺道。然則三苦八苦等·實三世諸佛之導師·而一切眾生永離眾苦·常享諸樂之無上良緣也。觀無量壽佛經者·普令一切若凡若聖·同于現生·往生極樂·或頓或漸·證無生忍·以至圓成佛道之大法也。以聖則自力具足·兼仗佛力·故所證入·最為直捷·以故華藏海眾·同願往生也。凡則仗佛慈力·帶業往生·即已超凡入聖·證不退位。從茲漸修·必至圓滿菩提而後已。此經中品戒善世福·下品作眾惡業·及五逆十惡·將墮地獄·由稱佛名·遂得往生也。如是力用·最為洪深。蓋由阿闍世王·乘大願輪·示為惡逆·囚父禁母·而為發起。其

母厭離娑婆·願生極樂。并為未來眾生·求往生法。世尊乃為說此觀想西方依報國土·種種莊嚴。正報佛及觀音勢至·相好威德。以及九品往生·若因若果之十六觀。于第八像觀之首·發明宗要云·諸佛如來·是法界身·入一切眾生心想中。是故汝等心想佛時·是心即是三十二相·八十隨形好。是心作佛·是心是佛。諸佛正徧知海·從心想生。是故應當一心繫念·諦觀彼佛。須知法身入想·理實甚深。心作心是·事本平常·平常非常·甚深非深。能圓悟者·方名達人。于第十三觀·特為劣機眾生·開方便門·令觀丈六八尺之相。第十六觀·又令惡業重者·直稱名號。由稱名故·即得往生。是知相有大小·佛本是一。觀不能作·稱即獲益。于此諦思·知持名一法·最為第一。末世行人·欲得現生決定往生者·可弗寶此持名一行哉。溯自經傳此方·智者·善導·清涼·靈芝·各為著疏·後唯智者一疏獨傳·餘三皆佚。清光緒間·楊仁山居士·由東瀛請來此經善導疏·無量壽經慧遠疏·往生論曇鸞註。皆久佚之法寶·俱為刻行。善導疏不用諦觀等深意·但直釋經文·俾中下根人·易于趣入·及其趣入·不言諦觀·而諦觀自然了了矣。可謂契理契機·善說法要。彌陀化身·殆非虛傳。蓮宗二祖·萬代景仰。奈傳之久遠·錯訛甚多·因息心詳校而重刻焉。

京師第一監獄於甲子元旦普說三歸五戒序

眾生心性·與佛無異。但以迷而未悟·故長作眾生。華嚴如來出現品云·奇哉奇哉·一切眾生·具有如來智慧德相。但以妄想執著·而不證得。若離妄想·則一切智·自然智·無礙智·則得現前。須知智慧德相·與妄想執著·唯在一心·初非二物。迷之則全智慧德相·變成妄想執著。悟之則生妄想執著·復成智慧德相。喻如水結成冰·冰融成水。相雖有殊·體本無二。了此則誰不願斷幻妄之惑業·復本具之心性。而高推聖境·甘處凡愚。執性廢修·以凡濫聖之謬見·皆無由生矣。書云·唯聖罔念作狂·唯狂克念作聖。孟子謂人皆可以為堯舜·堯舜之道·孝弟而已矣。是知不能行孝弟為堯舜·不能克念作聖·與不能復智慧德相作佛者。皆自暴自棄·不肯勉力而為之流也。

如來初成正覺·普為一切凡聖·說梵網經菩薩戒。有曰·汝是當成佛·我是已成佛·常作如是信·戒品已具足。又曰·眾生受佛戒·即入諸佛位。位同大覺已·真是諸佛子。其要全在令人徹了自己介爾一念心性·即是如來所證之菩提道本。既知是已·孰肯隨煩惱染緣·使畢竟清淨之性天·被迷雲惑霧以障蔽乎哉。又以循循善誘·俾小機者先受三歸·以身心歸依佛法僧寶·自可返妄歸真·背塵合覺。次則令受不殺生·不偷盜·不邪淫·不妄語·不飲酒之五戒。則日用云為·無諸罪咎·而身心清淨矣。其有發大菩提心者·再進而為受菩薩大戒·令其理事圓融·福慧并進·以期上求佛道·下化眾生耳。京師為天下首區·故監獄之囚犯甚多。乃以世風日下·兵歎迭遭·致蚩蚩之氓·誤干憲綱·繫閉監獄。豈徒拘束以苦其身心·實欲改過自新·仍作循法之良民也。又以近來佛學昌明·政府特請通法高僧·常至監獄·開示佛法要義·并生死輪迴之因·與了生脫死之法。俾彼各知心是佛心·自當行遵佛行。欲了生脫死·非信願念佛·求生西方·決難如願。彼等一聞·如臨明鏡·妍醜自知。如遇慈母·慶倖莫喻。經聲佛號·無閒晨昏。即監獄為道場·即囚犯為法侶。實為從古未聞之奇事。足徵佛法實為烹凡鑄聖之大冶洪鑪。無論若何之頑金鈍鐵·一入其中·悉皆鑄成微妙莊嚴之佛菩薩像·彼謂佛法無益于國·有害于世者·皆未見顏色之瞽論·以自誤誤人也。而本監獄官·因發大心·特請具德法師·于甲子元旦·普與監獄諸佛子·說三歸五戒。冀其以歸戒制伏身心·以致妄想執著·復歸烏有。而智慧德相·徹體圓彰矣。汝諸佛子·初以干犯國法·致囚監獄。繼由得聞佛法·便染佛香·成佛法器。以惡因緣·成善因緣。非多劫深種善根·萬無如此倖。譬如摩尼寶珠·能隨人意·普雨眾寶。由其不識·擲之園廁。不但無雨寶之功能·而且體質直同糞穢·幸遇智人·知是至寶。從廁取出·種種洗滌·兼用香熏·俾還原質。然後懸之高幢·便可放大光明·隨人所需·而雨眾寶。佛視一切眾生·亦復如是。以故縱令迷之及極·行諸惡逆。如歌利王割截身體·終無一念棄捨之心。而復常伺其機·為之啟迪·今得

度脫。以其所重在佛性。一切惡逆罪垢。皆不暇計慮故也。汝等若能了知如上所說若法若喻。自可不孤佛化。不負己靈。而政府。監獄官。說法說戒僧之一番厚意。亦不虛設矣。尚期努力進修。則幸甚幸甚。

金剛經石刻序

金剛經者。發菩提心。行菩薩道。上求下化之標準也。其曰所有一切眾生之類。我皆令入無餘涅槃而滅度之。如是滅度無量無數無邊眾生。實無眾生得滅度者。以眾生心性。當體即是無餘涅槃。但以迷故。幻成生死輪迴之相。如醉見屋轉。屋實不轉。迷謂方移。方實不移。不過特為點示。俾復本原而已。所謂但盡凡情。別無聖解。但有去翳法。別無與明法者。此之謂也。又令不住色聲香味觸法而行布施。布施乃六度萬行之首。經文簡略。但舉布施為例耳。若能不住相而行六度萬行。則三輪體空。一道清淨。圓離我人眾壽之凡情聖見。徹證常樂我淨之真如妙心。無所住而生心。無所得而作佛矣。實為三世諸佛上成佛道。下化眾生。萬行圓修。一法不立之無上妙法。故受持者。福德果報不可思議也。由是古今名人。多皆受持及以書寫。蓋欲以自覺之道。展轉以普覺斯民也。唐倬子居士天爵者。宿有慧根。篤信佛法。見地高超。書法精妙。特寫此經。刻石流通。以續歐陽詢。趙孟頫。董其昌諸公之志事。其為功德。唯佛能知。因不揣固陋。略述經義。以告閱者。庶可同登覺岸云。

佛遺教經解刊布流通序

甚矣佛恩之廣大周徧而無有窮盡也。何以言之。以一切眾生。皆有佛性。皆可作佛。但以迷而未悟。遂致反以佛性功德之力。妄於六塵境中。起貪瞋癡。造殺盜淫。由惑造業。由業受報。久經常劫。輪迴六道。了無出期。佛於往劫。知此事已。即發大願。欲令盡虛空徧法界一切眾生。同悟本具佛性。同出生死輪迴。同成無上覺道。同入無餘涅槃。從茲普為法界眾生。久經長劫。行菩薩道。但有利益。無不興崇。六度齊修。一法不著。難行能行。難忍能忍。其行施也。國

城妻子·頭目髓腦·悉無吝惜。故法華經云·我見釋迦如來·於無量劫·難行苦行·積功累德·求菩提道·未曾止息·觀三千大千世界·乃至無有如芥子許·非是菩薩捨身命處·為眾生故·然後乃得成菩提道。只此布施一行·尚非劫壽能宣·況其餘之持戒·忍辱·精進·禪定·智慧·以及四攝·萬行乎哉。及至惑業淨盡·福慧圓滿·徹證自心·成無上道·普為眾生·說所證法·直欲同皆得已所得。但以上根者少·中下者多·故復隨機施教·令其隨分得益耳。及其一期事畢·即入涅槃·猶復不捨大悲·於他方世界·示成正覺·以行濟度。如是示生此界他方·固非算數譬喻之所能及。譬如杲日·為照世故·出沒無住。亦如船師·為渡人故·往來不停。且據此番出世·實為周昭王二十六年。及至十九出家·三十成道·說法四十九年·談經三百餘會·固已無機不被·無法不周矣。又以中下根人·自力劣弱·不能現生即出生死。縱有修持·而煩惱未斷·再一受生·迷失者多。因茲特開一信願念佛求生淨土法門·俾彼若聖若凡·或愚或智·同於現生·往生西方。則上根者速成佛道·中下者永出輪迴·實為三世諸佛普度眾生之達道·九界眾生速證佛果之妙法。以但具真信切願·志誠懇切持佛名號·以求往生西方極樂世界。無論工夫之淺深·惑業之輕重·無不蒙佛攝受·令其帶業往生。如船拯溺·無所揀擇。唯信願不真·而心行與佛相背者·則不能蒙佛接引也。佛之愍念眾生·前自無始·後盡未來·上自等覺菩薩·下及六道凡夫·無一人不在大悲誓願彌綸之中。譬如虛空·普含一切·森羅萬象·乃至天地·悉所包容。亦如日光·普照萬方·縱令生盲·畢世不見光相·然亦承其光照·得以為人。使無日光照燭·便無生活之緣·豈必親見光相者·方為蒙恩乎。彼世智辯聰者·以己拘墟之見·闢駁佛法·謂其害聖道而惑世誣民·與生盲罵日·謂無光明者·了無有異。一切外道·咸皆竊取佛經之義·以為己有。更有竊取佛法之名·以行邪法。是知佛法·乃世出世間之道本也。猶如大海·潛行地中·其滋潤流露·則為萬川·而萬川無一不歸大海。彼謗佛者·非謗佛也·乃自謗耳。以彼一念心性·全體是佛·

佛始如是種種說法教化·冀彼捨迷歸悟·親證自己本具佛性而已。以佛性最為尊重·最可愛惜·故佛不惜如是之勤勞·即不信受·亦不忍棄捨耳。使眾生不具佛性·不堪作佛·佛徒為如是施設·則佛便是世間第一癡人·亦是世間第一大妄語人·彼天龍八部·三乘賢聖·尚肯護衛依止乎哉。佛遺教經者·佛一期事畢·臨入涅槃·誠勸弟子·及一切眾生之遺囑也。其文雖略·其義甚周。其令尊重珍敬波羅提木叉·如尊重珍敬世尊·若能如是尊重佛戒·則是常在佛側·無少間隔也。故曰當知此則是汝等大師·若我住世·無異此也。次下所說戒相·及持戒之益·不持之損·及制心節食等法·反復叮嚀·無微不入。雖慈親將欲去世·為兒女計·亦不能如是周到·誠可謂吐心吐膽·一字一血。為佛弟子者·宜何如努力修持·以不負所望。未知佛法者·宜何如感激依行·以不孤深恩。其語雖似專指比丘·其意固已彌綸九法界一切聖凡·靡有子遺。以圓人受法·無法不圓·佛以一音演說法·眾生隨類各得解·豈此煌煌遺教·不被三賢十聖。而佛視一切眾生·猶如一子·當此入滅之時·何忍不加勉勸乎。以向來論者·多以為小機所見·及偏誡比丘·遂致普照九法界之心光·竟局為出家小乘之訓誨·可不痛哉。陳沅蓀居士·宿根深厚·學問淵博。初以未見佛經·亦復追隨韓歐程硃之迹。近數年來·翻閱佛經·始知佛為聖中之聖·天中之天·所有言教·與儒教無不符合。用之於治世·則格致誠正修齊治平之道·方能究竟圓滿。以儒教只言現生·佛教圓談三世·倘真知三世因果·雖日撻而求其不格物致知誠意正心修身·不可得也。世之口是而心非·陽為善而陰作惡者·皆由不知心通法界·與三世因果之故耳。使知之·縱極下劣·亦不肯於明鏡之前·現諸醜相·以自貽伊戚也。惜世多不知·故致為己之安富尊榮·直使殺人盈城盈野·而毫不憫恤·噫嘻痛哉末世人心·殘忍已極·使無如來三世因果之說·則人之得正命而死者·蓋亦鮮矣。若欲出世·亦不須另起鑪竈·但依佛之言教·對治煩惱習氣·俾其淨盡無餘即已。雖身在俗境·不妨斷惑證真·了生脫死·以進趣佛果。如西天之維摩居士·及此土之傅大士·

李長者·龐居士等。即力有不及·又有仗佛慈力·往生西方一法·以為恃怙·豈必盡人捨俗出家·方為佛弟子乎。彼謂佛為棄倫理·背聖教者·皆因未讀佛經·不知佛之所以為佛·而妄以己之凡夫臆見武斷耳。由是言之·欲究竟挽回世道人心·非提倡昌明佛法不可。而感佛之恩·至深且切·又欲一切同人·同知佛恩。取佛遺教經·以普通註釋之法解之·以期政學商農各界人士·同得沐佛慈恩。不致所具佛性·常相迷失·而永劫沈淪生死苦海·莫之能出也。將欲刊行·祈光作序。光以佛之深恩厚德·人多未知·以故略為敘述。至於經中所說·一番大慈悲為眾生心·閱者當自知之·故不詳述。嗚乎·佛之為眾生·雖天地父母·不能喻其恆河沙數之一。吾固昔受韓歐之毒·而作一闡提者·幸未生陷·而入佛法。唯恐與我相同之人·未必如我幸遇佛法·故作此剖心瀝血之語·以期各各上不孤於佛恩·下不負於己靈也已。

心經淺解序

詳夫心佛眾生·三無差別。此無差別之心·虛靈洞徹·澄湛常恆·即寂即照·非有非空·絕凡聖之名稱·無生滅之幻象。離心緣相·故情識莫能測度·超文字關·故語言未可形容。然如來智慧廣大·於法自在·善以語言·顯示離言之道·而且廣略適宜·各臻圓妙。是以大般若廣約佛法眾生法·以明心法·有六百卷之多。此經略約心法·以明佛法眾生法。文僅二百六十字·而十法界因果事理·無不畢具。以約攝博·了無遺義。若約而言之·則照見五蘊皆空·度一切苦厄二句·復為全經樞紐。再約而言之·只一照字·便可法法圓彰·法法圓泯·彰泯俱寂·一真徹露·觀自在菩薩先得我心·我等可不隨學乎。誠可謂如來之心印·大藏之綱宗·九法界之指南·大般若之關鍵·義不可思議·功德亦不可思議。故古今受持讀誦者·徧於宇中·著述宏揚者·多難勝數也。然理雖甚深·詞須逗機·否則契理而不契機矣。季和駱居士·知見圓融·文字活潑·欲令初機易知·故為白話淺解·說理極其透徹·措詞唯取通方。大雲先載·悅可眾心·書冊續刊·永傳徧界。光庸劣無能·曷勝景仰·謹為序引·以助流通云。

觀世音菩薩本迹感應頌緣起序

世出世間一切諸法·皆由時節因緣而為發起·故古德云·時節若至·其理自彰。誠然誠然。(光)以庸劣百無一能·寄食普陀山法雨寺三十二年。昔閱普陀志·見其所載·皆屬道場廢興·以及種種尋常等事。至于觀音大士往劫本迹事理·以及此方感應因緣·悉皆闕略·不禁令人長歎。民國六年·王采臣·周孝懷·陳錫周·三居士來山見訪·王周謂普陀為觀音大士聖道場地·中外景仰·何可久撤講筵·忍令法道寂寞乎。祈師發心講經·我等當為籌備道糧。(光)以固陋力辭。錫周則曰·山志久未修·板已模糊·師若肯修·我當刊刻。(光)曰·此事頗不容易·若照舊例·則文人皆能為之。若將大士往劫本迹修證·及此方感應事迹·一一略敘大端。令閱者咸知大士恩周沙界·慈濟無疆·從茲發起正信·身心歸依·近獲人天之福·遠證菩提之果者·非徧閱大藏·備考羣籍不可。若不發揮大士本迹感應諸事理·則成遺主志賓·捨本逐末·與尋常山經水志何異。何以顯普陀為大士應化道場·又何以顯大士為法界眾生之大慈悲父母·而與娑婆眾生·因緣最深也。然(光)以宿業·致令心無知識·目等盲瞽·尚須懺悔一二年·待其業消智朗·障盡目明時·當不惜身命·勉令成就。如其業重·不能感格·當往江西·求黎端甫居士·代為了此公案。此公學貫儒釋·筆超儕伍·必能發揮大士之慈悲心迹也。次年徐蔚如居士·以文鈔印行·致不加詳察者·謬謂之為知識·從茲信札來往·日不暇給。八年春間·端甫歸西·先所發心·競成空談。十一年春·定海知事陶在東公來山·謂山志流通·令人由信向而改惡遷善·返妄歸真·實為挽回世道人心之根本要務·急宜重修。(光)以陶公護法心切·救世情殷·即令普濟法雨兩寺主人·懇請陶公親任其事。陶公以公事無暇·乃託邑紳王雅三君任之。一切事宜·外有陶公·山有開如退居·商酌料理。(光)以無暇·絕不過問。次年陶公升於杭縣·猶復魚雁往還·商酌其事·若非宿受大士付囑·其能如是也耶。初於修志議成之後·未及一月·江西彭澤許止淨居士來訪·一見即成莫逆。(光)敘昔衷曲·遂以大士頌

見託·彼即允許·若非大士冥垂加被·何有如此之際遇乎·許君乃備搜藏典·及諸羣籍·時經二載·稿方告竣·述成頌文近二萬言·而復逐聯注其義意·俾閱者悉知所以·又節錄各經·以為明證·頌文三卷·經證一卷·共三百七十餘頁·於夏初寄來·頌中義意·許序已陳·茲不復贅·(光)昔本欲冠於山志之首·今以卷帙繁多·特為別行·兼欲徧佈天下後世·倘與志合行·則不易廣播矣·然大士從無量劫來·分身塵刹·其本迹感應·非佛莫知·此數卷頌·不過大地一塵·大海一滴·令不知大士之深慈大悲者·略知梗概·從茲赧然愧怍·勃然奮發曰·吾人之心·與大士之心·無二無別·而大士圓成佛道·久經長劫·又以悲心無盡·不離寂光·垂形九界·普現色身·度脫眾生·我輩從無量劫來·輪迴六道·其親蒙拔苦與樂之恩者·不知凡幾·直至今日·尚為凡夫·上負大士拯拔深恩·下負自己本具佛性·靜言思之·能不愧死·彼既丈夫我亦爾·不應自輕而退屈·由是翻轉凡情·追隨聖迹·克己復禮·閑邪存誠·敦行世善·兼修淨業·久而久之·與之俱化·上焉者·即於現生斷惑證真·了生脫死·下焉者迨至臨終·仗佛慈力·往生西方·能如是·則人人敦禮義·各各識因果·自然干戈息而人禍永滅·雨暘時而天眷常臨矣·陶公所謂挽回世道人心之根本要務者·其在斯乎·所願見者聞者·同發景仰大士之心·而勉力修習·則幸甚幸甚·

教觀綱宗釋義紀重刻序

教海汪洋·莫測深廣·不有指歸·則茫無所趣·故陳隋智者大師·以五時八教·判釋如來一代所說之法·具顯如來出世本懷·唯欲一切眾生同成覺道·但以機器不一·故復隨順機宜·循循善誘·為實施權·以接引之·待其既得權益·則開權顯實·同歸秘藏·方知心佛眾生·三無差別·佛如眾生如·一如無二如之所以然·可謂揭佛日於中天·普照大地·授窮子以果覺·令紹法王·但以文繁·不便初機·蕩益大師·撮取要義·述為綱宗·有意義隱晦者·復為略釋·俾學者悉知如來說教之意·與夫稟教修觀之法·有如導歸寶山·直授摩尼寶珠·從

茲不但了知不生不滅·非有非空之圓妙第一義諦·為如來心印。即人天權小等法·與治世語言·資生業等·無不皆是第一義諦·皆為如來心印。喻如畫龍點睛·立刻飛騰·以法無自性·轉變由心·圓人受法·無法不圓故也。默庵法師·以釋義分註各條之下·又為之紀·以期一目了然。學者得此·既省心力·又易領會·何幸如之。維揚寶輪寺法裕長老·欲重刻廣布·命（光）校其訛字·兼為敘其緣起云。

上海世界居士林佛學研究叢書序

眾生與佛·心性一如·了無優劣·及與增減。而佛則安住寂光·眾生則輪迴生死者·以悟與未悟·及順修逆修之所致也。如來知眾生之皆具佛性·皆堪作佛也·是故示生世間·示成正覺·隨機演說一切權實法門。俾彼利根·直下開示悟入佛之知見·其有鈍根·亦得漸次薰陶而得悟入。待其悟證及極·方復本具佛性·方離凡聖生佛之差別名相·所謂令一切眾生悉入無餘涅槃而滅度之·實無眾生得滅度者。噫·如來度生之心·可謂慈悲至極·無以復加矣。自後諸菩薩祖師善知識·各各潛修密證·宏闡發揮·以上續如來慧命·下作眾生津梁。自法流東震·千數百年·其悟自性而斷煩惱·出生死以證涅槃者·何可勝數。其緒餘尚能移風易俗·勝殘去殺·使民日遷善而不知所以為之者。故古今首出庶物之出格高人·莫不以此自行化他·以期天下太平·萬國咸寧也。及清咸同間·屢遭兵劫·法運遂衰。自後罷除舉業·天姿高者·於各種科學外·兼研佛學·知為世間唯一無二之道。當此世道人心陷溺已極·欲為救援·捨昌明佛學·莫能為力·故咸以提倡佛學為急務。而研究會·居士林·隨處建立。法不執一·隨人之機·或禪或教·或顯或密·而為修持·及與發揮。而又注重於淨土法門·以期悟與未悟·同於現生出離生死輪迴也。良以末法眾生·自力微弱·匪仗佛力·決難即生解脫。華嚴會上·華藏海眾·等覺菩薩·尚以十大願王·回向往生·況末世之學者乎。是知淨土法門·乃十方三世一切諸佛·上成佛道·下化眾生之成始成終法門。上海為全國樞要之地·其居士林諸居士·欲普布佛化·於講經念佛外·季出林刊·以期推廣。

今又繼出佛學研究叢書·若起信論·楞嚴經指要。取深經奧論·以淺顯之語言發揮之·俾初機之人·易於領會·庶無扞格不入之苦·悉獲因指見月之益。從茲相續刊佈·以揚佛日之光·俾一切同人·同悟本具之天真佛性·庶不負如來出世之一大事因緣·而挽回世道人心·亦以是為根據。凡我同倫·各宜資助以期徧界流通云。

金剛經功德頌序

六度者·菩薩上求佛道·下化眾生之要法也。然五度如盲·般若如導·五度無般若·不能究竟到彼岸·不得稱為波羅蜜。而般若如心·五度如身·般若無五度·亦不能究竟到彼岸·不得稱為波羅蜜。若二者具足·則一一度皆可究竟到彼岸·皆得稱為波羅蜜也。金剛一經·乃發菩提心·行菩薩道者·遍修六度萬行之軌範也。以經文簡略·但舉布施為例耳。若不住色聲香味觸法行布施等·故能度脫一切眾生·而不見能度之我·與所度之法·並受度之眾生相。則四相不生·三心叵得·無所住而生心·無所得而作佛矣。以故受持四三二一句者·功德難宣·持全經者·又何待言·是以自古至今·人多讀誦·其頓悟自性·徹證唯心·生預聖流·沒歸安養者·何可勝數。其次則消除罪業·增長善根·轉禍為福·即愚成智者·更加多多也。許止淨居士·取古今載籍中感應事迹·分類述頌·其友劉契淨·又為之註。庶閱者咸知義理淵深·功德廣大·生正信心·勉效前修·隨其功行淺深·亦得種種利益也。經雲·一切諸佛·及諸佛阿耨多羅三藐三菩提法·皆從此經出。倘能發至誠恭敬心受持·便墮未來諸佛數中·願各勉旃。

儒釋一貫序

儒釋無二道·生佛無兩心·以人同此心·心同此理·一切有情·皆稟真如佛性而得建立故。然復生佛迥殊·凡聖各異者·以因地之迷悟不同·修德之逆順各別也。由是儒釋聖人·各出於世·為之宣導·俾一切眾生·返迷歸悟·溯流窮源·以復其固有之本性而已·其發揮雖有權實淺深·方便究竟之不同·而其所宗之理體·所修之工夫·其

大端固無二致也。佛以覺為體。而覺有本覺。始覺。不覺。本覺者。即生佛同具之天真佛性。乃性德也。始覺者。依本覺理。起真實修。對治煩惱習氣。令其消滅無餘之妙智。乃修德也。不覺者。迷背本覺。隨境生著。起貪瞋癡。造殺盜淫。認苦為樂。以迷為德。承佛性力。造生死業。一切在迷眾生。與不依正覺。錯亂修習者。皆是也。本覺凡聖平等。無有高下。始覺工夫淺深不一。悟證地位各別。由名字以至分證。歷外凡以至等覺。皆在始覺範圍之內。由等覺再破一分無明。則修德功極。性德圓彰。福慧具足。煩惱淨盡。圓滿菩提。歸無所得。方為大覺世尊。方證始本合一之最上乘極致。方了修因證果之大丈夫事業。故華嚴云。一切眾生。皆具如來智慧。但因妄想執著。而不證得。若離妄想。則一切智。無礙智。則得現前。所言一切眾生皆具如來智慧者。本覺理性也。因妄想執著而不證得者。逆本覺而起惑造業。輪迴六道也。離妄想則智慧現前者。順本覺而修。漸至圓成佛果也。了此性修理致。則不肯自甘下愚。亦不敢以凡濫聖。而必以實修實悟。以期於實證而後已。儒者以誠明為本。誠即明德。明即明明德之明。實則誠明。即明明德也。明德乃吾心固有之真知。由有人欲之物。遂錮蔽而不能顯現。如雲遮天日。了不見其光相。欲明其明德。必須主敬存誠。克己復禮。則人欲之物。自無容身之地。而本有真知。全體顯露。如浮雲去而天日昭彰矣。真知既顯。則主權得而使者聽命。故意之所念。心之所思。皆歸於真誠無妄。中正不偏矣。此孔子上承二帝三王修己治人之大經大法。撮要述此。以作天下後世希聖希賢之洪範焉。若與佛法互證對釋。則誠也。明德也。乃本覺性德也。明也。明明德也。乃始覺修德也。物。即妄想執著。格物。即離妄想執著。離妄想執著。則得如來智慧。格人欲之物。自能徹底顯現吾心固有之良知與真知也。故曰其發揮淺深雖有不同。其理體工夫固無二致也。是以古今聰明睿智之人。多皆學佛。因得佛之心法。而儒先聖人之心法。方得悉其底裏。以儒者多主於事相。而不致力於悟明心性。若不得佛法為之先導。則自己之心。尚非所知。況聖人之心法乎。以故泥

迹之儒·多闢佛教·以不知佛法雖為出世間法·亦復具足世間一切善法。舉凡倫常修齊之道·固已極力宏闡·毫善弗遺·遇父言慈·遇子言孝·兄友弟恭·夫倡婦隨·隨己職分·各盡其義·固與世間聖人所說無異。然世間聖人·只教人盡義盡分·佛則詳示其盡與不盡之善惡果報。盡義盡分·只能教於上智·不能普攝下愚。若知盡與不盡之善惡果報·縱屬下愚·亦必歆善報而懼惡果·雖不欲盡義盡分·亦必勉力盡義盡分矣。此如來普被上中下三根之法·每有徒矜知解·不務真修·妄謂因果為小乘者·不知如來圓成佛道·眾生常淪生死·皆不出因果之外·唯當人一念心性·不屬因果·而復不離因果。欲迴超乎因果之外·非圓成佛道不可·未成佛而輒撥因果·則永失其善因善果·常造惡因·常受惡果·盡未來際·了無止期·可不哀哉。世固有不知佛而妄闢佛者·亦有頗知佛而陰服膺以陽為闢駁者·此種行為·皆由門庭知見太重·不能著實格物致知·以致意有所不誠·心有所不正也。其言皆足以瞎眾生之智眼·斷如來之慧命。古大人憂之·乘機破斥·使彼作此說者·與受其說之毒者·悉皆深知吾佛教人之所以然·不但與儒教不相悖戾·且大有發明儒教·輔弼儒教之至理極功焉。近來世道人心·陷溺已極·廢棄先聖之法·幾於無可救藥·凡屬憂世之士·莫不以提倡佛學為急務。以佛學注重明心·與因果報應。果能明自本心·決不至於錯因果。果能不錯因果·決可明自本心。既得明自本心·則儒先聖人之心·如來之心·亦可因之俱知矣·此儒釋一貫之大旨也。弘道居士·宿植德本·篤信佛乘·憫拘墟者所見之謬·輯彼古人破斥謬見·合會儒釋·種種言論·以成一書·名之曰儒釋一貫。將欲排印流通·以光最初曾受韓歐之毒·而作一闡提者·因命作序·一以冀其自愍愍他·自傷傷他·一以冀其仗此因緣·以消滅其謗法之罪咎·以克遂夫往生之素志也。以故不揣固陋·勉述所知·雖文不足觀·而意有所本。願見聞者·同皆格物致知·以自明其明德·棄離妄想執著·同證如來智慧。即古人垂訓之至意·弘道輯錄之深心·皆可大暢本懷·不至徒設·而世道人心之轉迴·於茲可以預斷矣·何幸如之。

近代往生傳序

如來調御眾生·隨機說法·雖權實頓漸不同·大小偏圓有異·要皆為令眾生·親證即心本具之真如佛性而已。然此佛性·即心本具·非從外來·不自他得·如取家寶·受用現成·故其證也·乃極易事。無奈眾生久居生死·迷惑甚深·喻如寶鏡·經劫蒙塵·欲令即復本體·徹現照天照地之光·固非一日二日揩摩之功所能得也。如來悲心真切·知眾生自力親證之難·縱有修持·以煩惱未斷·再一受生·不免復迷·從茲墮落者多·超升者少·故特開一信願念佛法門·俾彼若聖若凡·同於現生·仗佛慈力·往生西方。則已證聖者·速登上地·未斷惑者·永出輪迴·較彼唯仗自力·修戒定慧·以迨了生脫死·超凡入聖者·其難易蓋天淵懸殊也。故自華嚴導歸·祇園演說以來·千經萬論·處處指歸·往聖前賢·人人趣向。迨法流東震·遠公大師·倡於廬山·當時羣賢畢集·後世眾哲咸宗·從茲緇素四眾·或圓修萬行以回向·或專持佛號以求生·至於臨終正念昭彰·現諸瑞相以往生者·又何能悉知之而悉見之也。彼往生集·淨土聖賢錄所載·特千萬分之一二耳。而百數十年來·修此法者·又復何限。況近世人士·眼界大開·密修顯化者·實繁有徒。其中以煩惱心·契如來智·出娑婆苦·預蓮池會者·當比前更多。豈可不加紀錄·而令其湮沒乎哉。餘姚楊慧鏡居士·特為搜輯·命名為近代往生傳·其意蓋欲為後之輯往生傳者·備底稿耳·故其稱呼名字·悉本原文·不加修飾·以歸畫一·但取傳信·不任撰修之功。已得若干傳·將欲刊佈·祈予作序。竊維修持法門·有二種不同·若仗自力修戒定慧·以迨斷惑證真·了生脫死者·名為通途法門。若具真信切願·持佛名號·以期仗佛慈力·往生西方者·名為特別法門。通途全仗自力·特別則自力佛力兼而有之。即有深修定慧斷惑之功·而無真信切願念佛求生·亦屬自力。今以喻明·通途如畫山水·必一筆一畫而漸成·特別如照山水·雖數十重蒼蔚峰巒·一照俱了。又通途如步行登程·強者日不過百十里·特別如乘轉輪聖王輪寶·一日即可徧達四大部洲。吾人既無立地成佛之資格·又

無斷見惑任運不造惡業之實證。若不專修淨業。以期仗佛慈力。帶業往生。則恐盡未來際仍在三途六道中。受生受死。莫由出離也。可不哀哉。願我同人。咸生正信。

慈悲道場懺法隨聞錄序 俗稱梁皇懺

吾人之心。體本明淨。由無明故。煩惱遂生。煩惱既生。便成昏濁。而明淨之體。遂為隱沒。實未嘗減損一絲毫也。欲令復本還元。非竭誠盡敬。恭對三寶。懺悔業障不可。諸大乘經。具有令懺悔之文。隨人所宗。述為懺法。如法華。光明。淨土。大悲等。此之懺法。詳於披陳罪相者。以梁武帝為度元配郗氏夫人。墮於蟒蛇之苦。兼欲一切人民同沾法利。特請誌公。并諸高僧。檢閱經文。述為懺法。帝亦時運睿筆。發揮意致。惜帝未悉淨土法門。故於述成之時。郗氏特現天人妙莊嚴身。而為致謝。使帝詳知淨宗。則其夫人當必仗佛慈力。往生西方。高預海會。登不退地。又何得資此大法大心。竟以生天結其局哉。後之禮懺者。悉當注意於回向往生。方獲究竟實益。此懺以大菩提心為本。從茲竭誠盡敬。外慕諸聖。披陳罪咎。內重己靈。故得生佛心融。感應道交。消除歷劫之罪垢。開發本具之心光。其為利益。莫能具宣。文雖顯淺。校比台宗注重理觀。不詳披陳罪相諸懺。為能普被三根也。自昔以來。未有講與註者。蓋以文義顯豁。無須講註。須知法無淺深。唯取利人。律無玄義。以道宣律師之上根利智。尚須十次聽講。及其為註。則不厭其詳。何獨於此法而忽之。觀宗諦公。以時當末法。人多不知自省。遂致所行與所學相悖。因發心講演。以期人各主敬存誠。洗心滌慮。戒慎乎其所不睹。恐懼乎其所不聞。學行相顧。必期於自立於無過之地而後已。方子遠凡。宿具靈根。雖出富室。頗好清修。每聆妙義。悉能領會。此次聽講。隨為記錄。又經寶靜。誠一。常靜。三師為之輔弼。遂得成帙。其父母同預講筵。躬為繕寫。可謂見其子即知其父母。非是父母不生是子也。方子欲排印。祈余作序。余惟修行之要。敬為第一。人能主敬存誠。則一切凡情無由而起。本具聖智自然發現。凡一切人我是非。無明貢高。以及

懶惰懈怠·因循委靡之習氣·皆悉消滅。而况恭對三寶·披陳往罪·則慚愧·恐懼之心·希聖希賢之念·如飢如渴·油然而生。上慕諸聖·下重己靈·痛念我與諸佛·同一心性·彼何以圓證三覺·我何以久輪六道。從茲改往修來·返迷歸悟。譬如摩尼寶珠·墮於圓廁·直下取出·屢次洗濯·俾復本淨。待至淨極·則懸之高幢·必能隨意雨寶。此種大事因緣·若不發揮若文若義之意致·則或有不得實益者·此隨聞錄之所宜普徧流通也。

因果錄序

因果報應者乃人事與天理或順或逆之影響也·故書曰·惠迪吉·從逆凶·惟影響。人雖至愚·斷無幸災樂禍·避吉趨凶·願一切同人斥名唾罵·天地鬼神奪魄殛誅·及死後靈魂永墮三途惡道·受諸極苦·經百千劫·莫之能出者。然其所作所為·多皆反其所願者何也。由世少通人·不提倡因果報應之道·而家襲陋習·唯知以自私自利相傳之所致也。間有所作所為·順乎天理·內而家庭·恪盡己分·外而交際·務益於人。以及種種善舉·悉皆奉行。若恤災賑饑·濟難扶危·戒殺放生·護惜物命·持齋吃素·誦經念佛·以期自他兼利·幽顯均益者·無不家門清吉·子孫興隆·富貴尊榮·令人景仰。歷觀傳記·凡賢哲挺生·功業傑出·或道傳羣聖之心·或德為萬民之望者·其先代皆有利人利物·資幽資顯之懿行陰德焉。然此特凡眼所見之緒餘耳·而其人之神識·或上生天宮·或高超佛國·世間凡夫·又何能悉知之而悉見之耶。因果之理·大發明實維佛經·而儒教經書·亦屢宣說。若書之作善降之百祥·作不善降之百殃。與洪範五福六極之說。及易之積善之家必有餘慶·積不善之家必有餘殃。莫不皆以因果報應之理示人。但以其言簡略·只說現世·及與子孫·未能詳言過去現在未來·輪迴六道三途之事·若不深研精思·或致當面錯過。兼以俗儒每欲各豎門庭·與佛競異·縱令知之·亦不肯提倡。致使賢者莫由樹淑世善民之極功·愚者悉皆懷弱肉強食之惡念·由茲互相攻擊·成千古未聞之殺劫。被殺者人固知其可慘·而殺人者之慘·當更酷烈萬倍·惜世人不

能悉知悉見。其可見者·若被人殺·若滅門絕祀·乃千萬分之一二耳·其在三途所受之苦·則罄竹難書矣·可不悲夫。吾常曰·因果者·世出世間聖人·平治天下·度脫眾生之大權也。即聖教昌明之世·若不提倡因果·尚不能普令愚民潛息隱惡·悉使智者·大積陰功。況今世道人心·壞至其極·廢棄聖經·推翻倫理·邪說橫流·載胥其溺。有心世道者·思欲挽回狂瀾·若不以因果報應為震聾發聵之資·雖佛菩薩聖賢悉出於世·亦莫如之何·況其下焉者乎。無錫金居士昌·有見於此·特記錄近世·及現時各因果事·排印流布。冀人人各懷自利利人之心·以行己立人之道。則習尚正而風俗淳淑·人禍息而天眷常臨。舉此競爭士類·同作義皇上人。因序其大意·以貢閱者。

生西金鑑序後改作淨土清鐘

娑婆世界·以音聲作佛事·生死苦海·非念佛莫出離。而芸芸眾生·迷真逐妄。背覺合塵。久經長劫·輪迴生死。於是動我釋迦世尊同體悲心·特開信願念佛求生西方一門·俾上中下根·若聖若凡·同於現生·往生西方。其成就大機·頓證法身·俯提劣機·速出生死·一代時教·皆莫能及。以故西天東土之出格高人·莫不以此自行化他·由其為入道之妙門·成佛之捷徑故也。二林居士·取佛菩薩立法度生之因緣·與歷代古德僧尼王臣士女·下及物類·念佛往生之事迹·兼錄其宏揚淨土之切要言句·以成一帙·名為淨土聖賢錄。蓮歸居士·又為續錄·皆所以為迷背家鄉者作指南·為不識自己者作寶鑑也。但以卷帙浩繁·不利初機。對鳧居士欲令初機易生信向·於彼正續錄中·略錄事迹顯著者·二百餘條·附之以讚·名曰生西金鑑。冀閱者鑑古而懷景仰·詠歎而悉興起焉·其意固甚深且遠也。昔子房欲破楚軍·徧令軍中同唱楚歌·楚軍聞之·皆動歸思。況當此天災人禍·相繼降作·國運危岌·民不聊生·加以邪說縱橫·魔侶熾盛·邪正莫辨·無所適從之時。一聞極樂世界之劫外風光·本有莊嚴·能不同賦歸歎·以期樂我天真乎哉。倘閱者洞鑑夫娑婆極樂之利害·而反復詠歎之·吾知其求生西方之心·若決江河·沛然莫之能禦矣。

棲真常住長年念佛序

念佛法門·其來尚矣。以吾人一念心性·猶如虛空·常恆不變·雖常不變·而復念念隨緣。不隨佛界之緣·便隨九界之緣·不隨三乘之緣·便隨六道之緣·不隨人天之緣·便隨三途之緣。由其緣之染淨不同。致其報之苦樂迥異·雖于本體了無改變·而其相用固已天淵懸殊矣。譬如虛空·日照則明·雲屯則暗·雖虛空之本體·不因雲日而為增減·而其顯現障蔽之相·固不可以同年而語也。如來以是義故·普令眾生緣念于佛·故曰若眾生心·憶佛念佛·現前當來·必定見佛·去佛不遠。又曰諸佛如來·是法界身·入一切眾生心想中·是故汝等心想佛時·此心即是三十二相·八十隨形好·是心作佛·是心是佛·諸佛正徧知海·從心想生。夫隨佛界之緣·則是心作佛是心是佛矣·若隨眾生各界之緣·則是心作眾生·是心是眾生矣。了此而不念佛者·未之有也。念佛一法·乃以如來萬德洪名為緣·即此萬德洪名·乃如來果地所證之無上覺道。由其以果地覺·為因地心·故得因該果海·果徹因源。如染香人·身有香氣·如螺贏之祝螟蛉·久則化之。即生作佛·轉凡成聖·其功能力用·超過一代時教一切法門之上。以一切法門·皆仗自力·斷惑證真·方得了生脫死。念佛法門·自力佛力·二皆具足。故得已斷惑業者·速證法身·具足惑業者·帶業往生。其法極其平常·雖愚夫愚婦·亦能得其利益·而復極其玄妙·縱等覺菩薩·不能出其範圍。故無一人不堪修·亦無一人不能修。下手易而成功高。用力少而得效速·實為如來一代時教中之特別法門·固不可以通途教理而為論判也。末法眾生·福薄慧淺·障厚業深·不修此法·欲仗自力斷惑證真·以了生死·則萬難萬難。棲真住持蓮仁和尚·有見于此·特于三聖殿·立長年念佛道場·祈余序其意致·以期見聞發心·故為書其大綱如此。

歸宗精舍同修淨業序

如來一代時教·所說一切法門·雖則大小不同·權實各異·無非

欲令眾生斷惑證真·了生脫死·圓彰本有·直成佛道而已。但以眾生根機不一·故致如來隨順機宜·作偏圓頓漸·種種說耳。然眾生輪轉生死·久經長劫·惑業深厚·障蔽妙明·非宿根成熟者·欲于一生取辦·實乏其人。既不能一生取辦·則再一受生·其迷而退者·萬有十千·悟而進者·億無三四。仗自力修戒定慧·以斷煩惱而證涅槃·其難如是。致如來普度眾生之懷·鬱而不暢·眾生速出生死之道·塞而罔通。然如來大慈·必欲令一切眾生·同于現生了生脫死·超凡入聖·遂開一信願念佛求生西方之淨土法門·無論上中下根·悉令現生度脫·乃以己信願念佛·感佛慈悲攝受·感應道交·故獲斯益。其有已斷煩惱者·即可頓證法身·速成佛道·縱令惑業深厚者·亦可仗佛慈力·帶業往生。以故華嚴證齊諸佛之等覺菩薩·尚須以十大願王·導歸極樂。觀經將墮阿鼻之逆惡罪人·猶得以十稱洪名·預諸末品。三根普被·利鈍全收·盡法界一切眾生·但有信願·無一不被其澤·其圓頓直捷·超出一切法門之上。末世眾生·欲了生死·不修此法·泛修其他仗自力之法門·則但可作未來得度之因·斷難獲現生了脫之果矣。廈門王拯邦居士者·宿根深厚·現行精純·諦信因果·篤修淨業。普欲同倫·咸生淨土·遂于本埠太平巖左·建一精舍·以期同志隨己身分·來此念佛·種往生因。于星期日·特請通人·講演淨土法門之所以然·及修持之法則·與夫現生沒後之種種利益·亦可謂具大悲心·有擇法眼者矣。乃致書祈余題額·兼為敘述大意。余惟淨土一法·乃三世諸佛下度眾生·九界眾生上成佛道·成始成終之殊勝法門。高超一切禪教律·統攝一切禪教律·以一切諸法·溯其原始·無不從此法界流·要其終極·無不還歸此法界·因顏之曰歸宗。取一切法門·究竟悉歸此法·如江漢朝宗于海之義。此義于華嚴末後歸宗處明之·有信不及者·請質之普賢菩薩。又凡修淨業·一切善信·必須力敦倫常·恪守己分·戒殺吃素·清心寡欲·諸惡莫作·眾善奉行。以己所行·化導一切·內而父母眷屬·外而鄉黨朋友·俾一切同倫·咸知心是佛心·固當行學佛行·同修佛慈·同念佛名。以期盡此報身·往生西方·

脫幻妄之輪迴·證本具之佛性而已。

臺灣佛教會緣起序

佛教者·一切諸法·一切諸教之大本也。何以言之·一切諸法·由心建立·一切凡聖·由心出生。世間一切諸教·雖皆說心·然其所說·皆屬心之作用·至於不變隨緣·隨緣不變之體·是心作佛·是心是佛·心作三乘·心是三乘·心作六道·心是六道·所以然之極致·悉皆未能發揮。唯我釋迦世尊·徹悟自心·知一切眾生之心·與如來之心·無二無別·但以迷而未悟·枉作眾生。故曰一切眾生·皆具如來智慧·但因妄想執著·而不證得·若離妄想·則一切智·無礙智·則得現前。又曰一切眾生·皆有佛性·我是已成佛·汝是未成佛。此皆最初成佛·於華嚴梵網所說者。由是大根眾生·頓悟自心·入佛知見·小機未能即入·以故俯順機宜·而成熟之。又欲一切若凡若聖·同於現生·出離生死·特開一信願念佛·往生西方法門·普令一切無力斷惑·不能超出輪迴之外者·悉皆仗佛慈力·帶業往生·高預九品之嘉會·親炙彌陀之休光·以迄於究竟徹證自心而後已。如來撫育劣機·其真慈大悲·可謂至極無加矣。然佛法雖名出世間法·實於世間倫常孝弟之道·與夫格致誠正修齊治平之法·悉皆發揮罄盡·毫善弗遺。故古今立大功·建大業·浩氣充天地·精誠貫日月·言為世法·行為世則者·多由學佛得力而來。而聰明睿智·首出庶物之人·莫不恭敬崇奉·護持流通·以其有陰翼世道·顯淑民情·使民日遷善而不知所以為之者之實效故也。拘墟之儒·無此智眼·每肆闢駁·謂佛法蔑倫理而無益於國家·是徒執捨俗出家一機之迹·而不知佛教教人·力敦倫常·恪盡己分·主敬存誠·克己復禮·諸惡莫作·眾善奉行·戒殺護生·信願念佛·以期生入聖賢之域·沒歸極樂之邦·盡世間一切富貴貧賤智愚賢否之老幼男女·無不皆堪依之而修·豈獨為出家者立乎。倘一切人果能依之而修·自可近得出離三界之樂·遠證福慧二嚴之果矣。須知由如來發明心具佛性之理·三世因果之事·不知令許多愚夫愚婦以成賢智·令許多大惡元兇而息陰毒·以故舉行佛法·天

地鬼神悉示休徵·而況於人乎。然即出家一法·亦非蔑倫·以其稟親出家·精修梵行·以己修持功德·為親回向·以冀親之神識·出三界以登九品·悟無生而證本性·校彼徒能奉養·與親長劫輪迴於三塗六道而無所恃怙者·不亦多乎。而況佛令弟子視一切眾生·皆作過去父母親屬想·以慈悲心·行放生業·豈但現生之親·不忍漠然置之·即一切水陸空行諸生物·亦不忍漠然置之·縱令力有不及·猶以悲心善念·為之念佛·以冀彼速出惡道·速生西方而後已。由是言之·人果皆依佛法而行·則勝殘去殺·世道太平矣。近十餘年來·殺劫徧於中外·由茲戾氣·復召天災·水旱風震·相繼降作·世運危岌·民不聊生·憂世之士·思為救援·乃以提倡佛學為急務。人果知三世因果·六道輪迴之實事·與夫吾人一念心性·與佛無二之妙道·誰肯以是心作佛·是心是佛之資·以之作生死業·永墮惡道乎哉。臺灣勝照大師愍世之不知者多·誓欲普利同人·擬立一佛教會·為之提倡講說·俾大眾悉知·初於本會·按期修持·用作表率·以期風行全境·庶可家家觀世音·處處彌陀佛矣。兼復流通各處所刊之經典·俾有信心識文義者·咸得讀誦受持·以實行力敦倫常·恪盡己分·主敬存誠·克己復禮·諸惡莫作·眾善奉行·戒殺護生·信願念佛·以期生入聖賢之域·沒歸極樂之邦·其為利益·莫能名焉。知光具有同心·函祈作序·乃為述其佛教普利一切有情之大致云。

吳淞佛教居士林發隱序

佛法廣大如法界·究竟如虛空·大無不包·細無不舉·本一心以建立·隨機宜而說法。雖則名為出世間法·實則圓具世間一切善法。雖則毫善弗遺·而復一法不著。(不著、謂不以為德、不自滿足、若以不認真行為不著、其誤大矣。)唯其不著·故其行得至究竟·古今凡懿行過人者·多由學佛得力而致·由是即凡夫心·契如來藏·於一一法·悉能達本窮源·親證實相。雖則理致幽深·而復隨根大小·悉皆能入·盡世間無一人不堪修·亦無一人不能修·以人同此心·心同此理故也。須知無量法門·皆須自力斷惑證真·方出生死。求其攝生普

徧·利濟無方·上中下三根同修·初中後始本不二·不斷煩惱·不歷異生·即得了生脫死·超凡入聖者·唯淨土法門為然也。以故上根如文殊普賢之儔·下根如五逆十惡之輩·皆為淨土法門所攝之機。以其至簡至易·至頓至圓·故能如大地之普載萬象·大海之普納眾流也。凡學佛修淨業之人·必須力敦倫常·恪盡己分·父慈子孝·兄友弟恭·夫倡婦隨·主仁僕忠·唯其無愧天職·方立學佛基址。進而敬受三歸·謹修十善·諸惡莫作·眾善奉行·(莫作奉行、當在起心動念處論、若徒在事實上論、則是自欺欺人矣。)戒殺護生·愛惜物命·信願念佛·求生西方。如是之人·世間之寶·生獲令名·沒歸佛國。又須以此·普化一切·由親及疏·由近及遠·俾一切人·同為善人。即俗修真·居廬為政·化殘暴於已著·消禍亂於未萌。由茲俗美風淳·人心丕變·災消福萃·天眷常臨·其為功德·莫能名焉。若或徒竊學佛之名·不務學佛之實·則成佛法之罪人·不但無虛名之可得·且將有實禍以隨其後。譬如童子無知·以價值三千大千世界之摩尼寶珠·換取一根糖吃·糖不飽腹·而失畢生恃怙·欲不飢寒而死·其可得乎。吳淞諸居士·特開佛教居士林·欲令同人·勵志修持·以期各獲實益·祈光著語·以作警策·因為述其大意云。觀此·則知佛法為世間諸法之本·彼拘墟者·由無智眼·不能徹見·遂謂佛滅倫理·無益人國·是何異生盲承天日覆照之恩·得以為人·以不見故·謂之為無·豈不大可哀哉。

佛化隨刊序

佛法者·世出世間一切諸法之本源也。故其道大無不包·細無不舉·語其廣大·則罄海墨而莫書·語其精微·則覓一字而叵得。凡孝弟忠信禮義廉恥之道·格致誠正修齊治平之法·無不詳示無遺。非止談三世因果·明善惡報應·闡發即心本具之佛性·斷惑證真之事理而已。良以一切諸法·悉本於心·唯其徹悟自心·故能建立諸法。知其指歸·縱凡夫皆堪造詣·究其極致·雖聖人有不知能。是以古之聰明睿智·首出庶物之出格高人·莫不護持流通·密修顯化·而唯恐不及

焉。溯自東漢·法傳震旦·求其高人傑出·法道大興者·唯吾秦最為第一。以佛法大興·自晉而始·當時苻秦姚秦·皆都長安·及道安至秦·羅什入關·凡緇素之見越等流·識超儕伍者·皆歸趣而師事焉。迄至隋唐·亦都其地·故其宏宣法道·邁越古今。而當唐之世·諸宗悉備·以國家極意尊崇·故諸宗之首領·多皆住止京師·以其所學所得·陰翼郅治·顯淑民情·其法道之盛·他處何能相比。自後雖都遷他處·而宏宗演教·潛修密證者·亦代不乏人。至清之末葉·經髮匪回匪之亂·人民困難·遂置此道於不問·其殆一線之未絕耳。近十數年來·世道人心·壞亂已極·而亂極思治·否極思泰·凡具通方之知見者·莫不以佛法明因果·示報應·直指心源·發明性體·為挽回世道人心之要道。於是若緇若素·羣起而提倡修持之·以期自他同出迷途·誕登覺岸。由是敦篤倫常·精修淨業·生入聖賢之域·沒歸極樂之邦。以故長安佛教會·蔚然而興·同人以異地而居·非書報莫能達意。故將隨見隨聞之事·所會所悟之理·潛修密證之方法·格言嘉論之訓誨·朋友之所講習·智照之所發揮·分門別類·錄作隨刊。彼此參觀·互相灌輸·庶可正智藉眾論以開發·麗澤由互滋而廣潤。將見知因識果·永息弱肉強食之噁心·盡分敦倫·同懷仁民愛物之善念。去殺勝殘·上溯大同之世·風淳俗美·共作羲皇上人。其為利益·莫能名焉·爰為祝曰·如來大法·為諸法源·一切諸法·無不包含。敦倫致治·發揮無遺·事理因果·各適機宜。緬維秦川·昔號法窟·賢慈密律·悉肇其域。善導法照·特闡蓮宗·普令凡夫·同出樊籠·末世眾生·斷感匪易·唯此一法·堪為怙恃。自晉及唐·五百餘年·震旦法道·莫之能先。從茲以後·代有高人·潛修密證·率多隱淪·性天理老·攝受蓮池·中興淨土·實啟於茲·若無至德·彼肯屈服·古德芳蹤·惜多遺軼。至清末葉·兵火頻興·人民凋敝·幾絕傳宏。近時通人·眼界大開·知非佛法·莫挽劫災。由是聚集·緇素同志·隨機提倡·用建法幟。欲普法利·特出隨刊·麗澤互益·冀悟性天。佛由心作·道在人弘·竭誠若極·草偃風行·光雖庸劣·亦表同情·聊

攄愚悃·以作先聲。願我同倫·各修淨行·庶可即生·超凡入聖。

佛川敦本學校緣起序

儒釋二教·其迹似異·其本原同。有執迹而昧本者·每駁斥佛法·謂為滅倫理而蠹國政。無益於社會·有害於民生·此等世智辨聰之瞽論·如來稱為可憐憫者。不知佛法具世出世·且以世間法論·凡儒教之孝弟忠信禮義廉恥之道·格致誠正修齊治平之法·如來於諸大小乘經中·莫不具說。而世間聖人·只據現生·但令人盡義盡分·佛則具說過去現在未來三世·并詳示其能盡之善報·不盡之惡報。上根之人·但聞義分應爾·自可通身擔荷·中下之人·陽奉陰違·則無法可治。若聞三世因果·知能盡則有善報·不盡則有惡報·人縱愚頑·決無幸災樂禍·趨凶避吉之念。由知三世善惡報應·雖不欲盡義盡分·以冀善報而懼惡報·亦必勉力盡義盡分矣·此但指其最淺近者而論·即可化愚頑為良善·轉澆俗為淳風·況其深遠者之利益·彼世間凡夫·又何能悉知之而悉見之耶。至於論孝·則徧該六道·窮盡未來·故梵網楞伽等經·皆令生孝順心·慈悲心·戒殺放生。以一切眾生·皆有佛性·皆堪作佛·皆於無量劫來·輪迴六道·各各互為父母兄弟妻子朋友。言念及此·理宜令其得所·誰忍以口腹之欲·戕害過去父母·未來諸佛乎。況既造殺業·必受殺報·誰肯以暫時口腹之欲·於未來世·常被彼所殺所食之眾生·一一殺而食之乎。而況近來刀兵大劫·慘不忍言·其因皆由殺生食肉之所致也。人能各依法佛·戒殺護生·吃素念佛·不作殺因·自無殺果·何難勝殘去殺·以成郅治·由世道太平·而父母兄弟妻子朋友之倫·方得各樂天常·各盡義分·而無遺憾·方合佛說孝順心·慈悲心之本旨。由是言之·佛之教孝也·遠且大矣。真達大師·生於佛川胡氏·弱冠即悟世非常·乃出家於普陀山三聖堂·精修淨業·冀生蓮邦·數十年來·父母兄弟·悉皆謝世·承祀無人。本此孝思·推類以及當地苦寒·貧家子弟無力讀書·乃以衣鉢餘資七千餘元·交其族之熱心公益者·立一敦本小學校·俾當地子弟·同得受學。其學規·注重躬行孝弟等·其所讀書·注重五經四書等·略兼

新法·以期敦本重道而無戾時不適用之弊·族人感其義·將其父母等神主·於校中設祠祀之·此校不廢·其祀長存·較彼有子孫或不肖以遺親之辱·或中絕以斷親之祀者·為榮寵而悠久也多矣·又以佛川地屬通衢·每有道路死亡·棺殮無出·特捐一千元·交學校董士置產生息·以其息作棺木掩埋之費·地方貧不能致棺者亦施焉·噫嘻懿哉·真達師之心·可謂平等大公·了無自私自利之見·而族人感之·長時奉其親之香火·彼為子孫謀者·有此利益乎·然光更欲彼族人·得其實益·不妨略摭愚懷·竊謂真達師出家學佛·以衣鉢餘資為本鄉作公益·而本鄉之人·亦當仰其芳蹤·各修淨業·校中正廳·當供西方三聖像·凡校中董士教員學生·朝暮咸行禮敬·以期業消智朗·障盡福崇·方為究竟實益·校中固宜永斷葷腥·方不負僧以十方信施開設學校之義·否則不但不合真達師之本心·亦非所以敦本自愛·俾自己與諸學子·日在佛法中薰陶·而了不得其實益·為可惜也·須知佛法·乃一切諸法之本·而念佛求生淨土一法·又為佛法中至圓至頓·至簡至易·三根普被·利鈍全收·成始成終之無上法門·凡一切人皆宜修習·況在此校者乎·且勿謂僧出資立校·便逼人學佛·此正所謂孝順心慈悲心·欲令在此校之一切人·同皆了生脫死·超凡入聖·為彌陀之弟子·證本具之佛性而已·不觀今之博學多聞·具深遠知見者·多半皆研究修持念佛法門·若居此校而不修持·則成擔麻棄金·到寶山而空手歸矣·可不惜哉·

千佛圖頌井序

心如工畫師·能畫諸世間·佛·正覺世間也·菩薩·緣覺·聲聞·天·人·阿修羅·畜生·餓鬼·地獄·有情世間也·亦名十法界·此十法界·雖則聖凡各異·苦樂懸殊·而其本具之真如佛性·固自一如·但以用心各別·故致有此十種之現相焉·觀無量壽佛經云·是心作佛·是心是佛·作佛者·謂觀想佛像·憶念佛德·及與佛號·是佛者·謂當觀想憶念之時·佛之相好莊嚴·福德智慧·神通道力·悉現於觀想憶念者之心中·如鏡照相·敵體無二·然則心不作佛·則心不是佛·

心作三乘·則心是三乘·心作六道·則心是六道矣。心之本體·如一張白紙。心之作用之善惡因果·如畫佛畫地獄·各隨心現。其本體雖同·其造詣迥異。故曰唯聖罔念作狂·唯狂克念作聖·吾人可不慎於所念所作乎哉。朱曉崖居士·宿具靈根·生即茹素·善繪人物·筆法出神。擬以如來萬德莊嚴妙相·普印於一切眾生八識田中·俾其由此善根·漸漸擴充增長·以迄實證·庶不負各人本具之真如佛性·與如來多方引導之大慈悲心。乃敬繪千佛·石印流通·祈光作序·用示所以。因略發揮其心作心是之義·冀見聞者·咸知去取以致力焉。頌曰·佛由心作·獄由心造·心之力用·最為勝妙。既能作佛·何可造獄·由迷所趣·禍因惡積。曉崖居士·欲施引導·敬繪千佛·以示法要。俾見聞者·咸生景仰·竭誠盡敬·禮供觀想。既睹聖像·即印識田·由此善根·必證心源。將付石印·用廣流通·聊摠所以·表示芹衷。

佛法要論序慎

甚矣眾生之昏迷倒惑·莫能自悟也。背本具之如來智慧·逐幻現之眾生根塵。於空華幻影之聲色貨利·起愛憎執著之貪瞋癡心。貪瞋癡既起之於心·殺盜淫便作之於身。自茲久經長劫·互相報復·從苦入苦·無所底止。縱或戒善禪定自修·得生人天善道·而惑業未斷·福盡猶復墮落·輪迴六道·了無已時。然得人天者如客居·墮三途者如家鄉·如是則不但三途可畏·雖人天亦復可畏也。於是大覺世尊·特垂哀憫·示生世間·成等正覺·隨順眾生·說種種法。大根則直說一心具造之理·令彼親得證悟·小根則詳示三世因果之事·令彼漸次修持。既知此理此事·誰肯懷珠作丐·求樂得苦。其背塵合覺·返迷歸悟·以期復我本具之天真佛性·不容已也。雖然·煩惱深厚·未易消除·非多劫善根成熟者·實難現生即得超出輪迴之外也。故我世尊·以大慈悲·特開一仗佛慈力往生淨土法門·俾彼上聖下凡·同於現生·往生西方·實為撫育保綏之要道·亦是速證菩提之妙法。以一切諸佛·非此法莫能圓滿菩提·一切眾生·非此法莫能即出生死。下手易而成功高·用力少而得效速。由其以果地覺·為因地心·故得因該果海·

果徹因源也。近來世道人心。壞至及極。廢經廢倫。競立新法。昧因昧果。任意妄為。因茲天災人禍。屢屢降作。匪盜縱橫。民不聊生。憂世之士。怒焉傷悲。達庵居士馮寶瑛者。宿植德本。篤信佛乘。徹悟自心。深入經藏。憫斯人之迷昧本心。述救世之佛法要論。種種發揮。契理契機。俾知吾心固有之佛性。錮蔽於幻妄所起之惑業。因茲於三途六道中。受生受死。故致其形陋劣。其識暗昧。其受用困苦艱難。危險逼迫。譬如置惡陋之相於明鏡之前。斷無微妙莊嚴之善影可得。從茲洗心滌慮。篤修戒善。及與禪定。以作出世之因。又復發四宏誓願。與大菩提心。自行化他。共修淨業。以期一期報盡。徑生西方。親炙彌陀。參隨海眾。速證吾心本具之佛性。普度法界無邊之眾生。如是則上不孤於佛化。下不負乎己靈。而達庵著論之深心。與諸君流通之至意。亦可暢慰而無遺憾焉。

普陀體仁施棺會緣起序

掩骼埋胔。政出月令。澤及枯骨。恩施周文。而况身心並濟。存沒咸恤之佛法乎。普陀為觀音大士道場。歷朝欽敬。舉世尊崇。故得三寺鼎立。眾庵綦布。中外朝謁者。實繁有徒。凡工匠僕使負販鬻力之人。常逾千數。若至香會。則其數加倍。是故山中諸長老。體佛慈懷。特開醫院。以療治一切有疾病人。或有負販鬻力之人。卒遇死亡。無有棺材。殊難妥亡靈而宏慈化。况復海中屢有漂來之死屍。兼夫遠方苦行進香者。偶有死亡。即宜殯殮。否則或致潰爛。其於恤死衛生之道。皆有遺憾。真達大師遂發心施棺。又念若不設法。後難永繼。民國五年。楊君叔英。祝君蘭舫。袁君祖懷。曹君振聲等來山。因與談及此事。諸君共輸洋二千元。真達大師自捐四千元。去年又與普濟了信。法雨達圓。海岸蓮曦。紫竹廣德。洪筏願來。洪筏戒如。報本瑩照。鶴鳴清福。普慧坤山。柏子極得諸師。及劉君寄亭。張君宗富二居士。共同商酌辦法。因起一會。名曰體仁。以仰體佛慈。仁濟亡靈。俾亡者無暴屍之慘。山僧無傷慈之誚。諸公皆各出洋一百元。並上所捐。共七千二百元。用置恆產。請示立石。特請本山在會諸師。

輪流經理。以歲所收租金。盡數作施棺之費。庶可永傳無替。如是則以後之貧窮亡者。咸受其福。而圓通道場。預有光榮。凡出資及經理置辦之人。同皆消除宿業。增長善根。現生則福壽雙隆。為斯世之表率。臨終則形神俱妙。入佛國之封疆。欲後之人悉知。故為述其緣起。俾億萬斯年。永用施行。以副大士救度眾生之心。亦不負諸大師。諸居士。恤亡護教之一番至意云。

三聖堂萬年簿序

法不孤起。道在人弘。勝地名藍。唯人是賴。得其人。則荆棘林便成旃檀林。失其人。則獅子窟轉作野狐窟。三聖堂者。創自明萬曆三十年。時僧大方結茅於此。適張隨党禮二太監。奉旨督造藏經閣。閑步其地。飲其泉而甘之。乃詢其由。知其極旱不涸。寺中遇旱祈雨。必取水於此泉。而輒獲膏雨。遂題之為八功德泉。因出資命建西方三聖殿。以八功德水。乃西方極樂世界七寶池中所有也。至清康熙間。僧海安重建。自後年久傾頽。咸豐初。承恩堂顯法公居此潛修。改名如意庵。乃數楹小屋而已。光緒初。四世孫華德公。募諸滬上洪君某。遂建三聖殿。復原名。自後世道太平。兼以輪船火車俱通。菩薩香火。日見興盛。庵中工事。略有端倪。華德公欲息心以專修淨業。以庵事交其徒長汀師。令其孫真達師輔之。遂大為建造。及汀師去世。達師更不惜心力。宜修者修。宜建者建。遂成一大精藍。後以操勞既久。意欲靜養。因交與明教師監理數年。今明教師又退。達師因念人壽幾何。本庵經幾代住持。用數十年之心力。方得殿宇巍峨。寮舍宏敞。庵僧得以清修。香客得以寄寓。當此之時。不將庵中規矩課程。與夫經像莊嚴。法器什物。書之於冊。以遺來者。恐年歲既久。來者不知。或至規矩廢弛。什物遺失。致前人建立道場一番苦心。悉付東流。徒令後人安住其中。虛消信施。不修道業。豈不為前人之遺憾。而圓通道場。因之削色。致普門大士含悲于常寂光中也。因令光略敘此庵之緣起。而凡諸規矩什物等。一一詳記。庶後之人有所遵守焉。

蔡伯倫居士嚶鳴集序

人生世間·固宜各盡其倫。否則名雖為人·實與橫行之異類·有何區別。孟子云·人皆可以為堯舜。佛經云·一切眾生皆有佛性·皆堪作佛。其為堯舜作佛之要·在乎力行孝弟·與夫返妄歸真而已·其資之以成始成終者·在於克己復禮·閑邪存誠·諸惡莫作·眾善奉行而已。近世新學派·競學歐風·廢經背倫·以至公然提倡仇孝公妻裸體等·直欲人與禽獸無異·其喪心病狂也甚矣。伯倫居士·寄居臺灣·已三世矣·當弱冠時·即欲歸本祖國·以母氏不欲遠徙·勉留夷邦·服職多年。及母氏服闕·幡然來歸·可謂特立獨行·敦倫盡分之士也·僑寓滬上·以相為業·凡遇來者·無論其相之善惡·皆勉以修德積善·以祈善者益善·不善者亦善。深合命自我作·福自己求·與夫有心無相·相隨心生·有相無心·相逐心滅等義。而且於議論中·輒諄諄於三世因果報應·與夫淨土橫超法門·俾一切人由問相而得入聖賢之域·以及往生極樂之邦·其挽回世道人心也大矣。固知有志於濟世濟人者·雖不居位行政·亦可施行也。因為易其名曰伯倫·不知北崙居士以為然否。

教誨淺說序

家庭教育·因果報應·乃現今挽救世道人心之至極要務。若不從此著手·則凡所措置·皆屬枝末·皆可偽為。唯從小便教以敦倫盡分之道·因果報應之理·則習與性成·及長而不為賢人者·無是理也。語云·天下興亡·匹夫有責·匹夫身賤名劣·何得有此責任。須知國家天下·由一人一家而積成。彼有權力者·同室操戈·無權力者·聚黨劫掠·與夫蕩檢踰閑·作奸犯法·只圖暫時之僥倖·不顧後來之禍福者·皆由從小未受賢父母之善教。不知利人即是利己·害人甚於害己·作善者其家必昌·歿而神超善道·作惡者其家必亡·歿而神墮惡道之所致也。使知聲和則響順·形直則影端·種瓜則得瓜·種豆則得豆·既造如是因·必感如是果·決不至為求自己安富尊榮·致令殺人

盈城盈野·以及國運危岌·民不聊生也。是故建大功·立大業·浩氣塞天地·清操皎日月者·皆抱己立立人之心·自利利他之願。故得千百年後·人皆景仰。無奈世人見識褊淺·每多悖道而馳。幼既無賢父母之善教·長又無賢師友之提攜·從茲越理犯分·致墮監獄·雖屬自取·實堪憐憫。於是各獄皆立一教誨師·日與監犯講說為人所當盡之道·因果無或爽之理。冀彼洗心滌慮·改過遷善·勉為良民·轉相勸化·俾若自若他·同歸聖賢之域·庶國家天下·永享太平之福矣。邵子慧圓·向膺漕河涇監獄教誨師職·其開導監犯之稿·有數十篇·約十餘萬言·皆勸其守分安命·敦倫盡分之說·而且引經援史·據古證今·文雖淺而意旨實深。雖特為監犯說·而一切人俱宜觀覽而依行焉。同志者以其有益·因付排印·祈光作序·以為響導。光因將挽救世道人心之要·為之點出·俾舉世之人·同注重於家庭教育·與因果報應。而家庭教育·母教最要。使賢母從兒女小時·以身率其敦倫盡分之事·又日為宣說因果報應之理·其兒女決定皆成賢人·又何有越理犯分·傷天損德等行為乎。所願匹夫匹婦·各任其責·庶可賢人傑出而匪徒革心·禮教興行而天下太平矣。明理達人·當不以吾言為謬妄也。

橫超蓮社緣起序

法華經云·三界無安·猶如火宅·眾苦充滿·甚可怖畏。況當此互相鬪爭·弱肉強食·殺人之法·無奇不有·而復種種天災·頻相見告之時乎。有智識者·因茲提倡淨土法門·以期一切同倫·同得出此三界·登彼九蓮也。若論豎出·非力修戒定慧道·斷盡煩惱不可。倘煩惱稍有未盡·則三界依舊莫出。況末世眾生·善根淺薄·壽命短促·修者縱有億億·出者難得一二。以其唯仗自力·是故難得實益。若論橫超·但依淨土法門·生信發願·念佛名號·求生西方。兼以敦篤倫常·恪盡己分·諸惡莫作·眾善奉行·則萬不漏一·咸得往生。既往生已·則了生脫死·超凡入聖·永離眾苦·但受諸樂矣。功夫成熟者·固登上品·臨終方念者·亦預末流。此則全仗佛力·其利益與唯仗自力者·天淵懸殊。師宏居士之妻師湯·欲與閨閣英賢·常時修持淨業·

以期同于現生。出此火宅。遂于附近。建一蓮社。半由自捐。半由人助。其工既成。問名于光。因題之曰橫超。冀一切鬚眉丈夫。貞靜坤倫。怖畏火宅。欲出莫由者。同皆依此而修。庶可長揖娑婆。速達極樂。一超直入如來地。永作逍遙自在人。故為敘述所以云。

觀世音菩薩本迹感應頌重刻木板序

眾生之心。與佛無二。雖迷真逐妄。背覺合塵。起貪瞋癡。造殺盜淫。輪迴六道。了無出期。而其寂照真常之本體。仍然如故。毫無損失。以故佛視一切眾生皆是佛。憫其業障深重。不能直復本體。故以種種方便。令種善根。先以欲鉤牽。後令入佛智。由是久成佛道之正法明如來。而復不離寂光。垂形九界。隨類逐形。尋聲救苦。應以何身得度者。即現何身而為說法。其現餘法界種種身。皆屬秘密。現菩薩法界之觀世音身。則屬顯露。以故十方諸佛。皆讚觀世音菩薩為大慈大悲施無畏者。以期九法界一切眾生。同生信向。同蒙攝受也。由菩薩證窮法界。圓彰自性。徹悟唯心。故能悲運同體。慈起無緣。徧法界感。徧法界應。隨彼所感之誠之大小。俾彼各得相當之利益。如法華普門品。楞嚴觀音圓通所說。及此方種種感應事迹。如本書所頌者。何可得而思議也。良以菩薩之心。猶如虛空。無所不徧。但以眾生在迷。不生信向。譬如虛空。以物障之。便成隔礙。若穿一小孔。即得一小孔之空。穿一大孔。即得一大孔之空。若完全撤去障蔽之物。則與普含萬象之虛空。渾合無間矣。是以眾生小感則小應。大感則大應。故楞嚴云。求妻得妻。（求妻者。求賢慧貞良之妻也。否則妻何得向菩薩求。）求子得子。求三昧得三昧。求長壽得長壽。如是乃至求大涅槃得大涅槃。所言求妻得妻等者。即穿小孔得小孔之空。穿大孔得大孔之空也。其求大涅槃得大涅槃者。即完全撤去障蔽之物。便與普含萬象之虛空渾合無間也。金剛經所謂我應滅度一切眾生。滅度一切眾生已。實無眾生得滅度者。以眾生心體。即是無餘涅槃。本來無失。又何有得。菩薩特以種種方便。令其消除幻業。復還本體而已。又以眾生迷惑深重。不能頓發大菩提心。為接引初機令其入勝故。隨

彼凡情·滿彼所願。待其善根既熟·即可直得究竟真實利益·此菩薩隨類現身·隨心滿願之本旨也。本書付排鑄板·擬印數十萬部·俾薄海內外之人·咸得受持。現已任及七萬多部·則將來之徧界流通·人沐慈化·當可做到。但以字小·不便老人·為一憾事。無錫華慧可居士·宿植德本·篤信佛法·一見此書·歡喜讚歎·若獲至寶·慶幸無已。愷出五百圓·命刻木板·冀一切人皆能閱·一切時皆可印可請也。其殆宿世曾受菩薩付囑·以布慈化而利有情者·噫嘻懿哉。

阿彌陀經白話解釋序

淨土法門·實為十方三世一切諸佛·上成佛道·下化眾生之通規·亦為末法時代一切眾生·仗佛慈力·即生了脫之要道。良以如來所說一切法門·無非令眾生出生死·成佛道耳。但以上根者少·中下者多·故能於即生了脫者·雖在正像·尚不多見·況末法人根陋劣·壽命短促·知識希少·邪外縱橫之時乎。由是如來預鑑機宜·特開淨土一門·俾一切若聖若凡·上中下根·同事修持·同於現生往生淨土。上根則速成佛道·下根則亦預聖流·較彼一代所說仗自力法門·下手易而成功高·用力少而得效速。以佛力法力不可思議·加以眾生信願行力·則無論功夫淺深·罪業輕重·皆得蒙佛慈力·接引往生也。以故如來于諸大乘經·咸皆帶說·如華嚴法華楞嚴等。其專說者·則有阿彌陀經·無量壽經·觀無量壽佛經。此三經中·凡彌陀之誓願·淨土之莊嚴·三輩九品之生因·十方諸佛之讚歎·悉皆顯示無遺。而阿彌陀經·言義周·最易受持·由是古人列為日課·無論若宗若教若律·皆于暮時讀誦·是舉天下之若僧若俗·無不以淨土為歸者。然雖如是行持·若不諦審佛祖立法之所以然者·猶然不以求生西方為事·殆所謂日用不知·習矣不察者乎。即通宗通教之高人·尚多崇尚自力法門·不肯仰仗佛力·其志固高·其事實難即生做到。倘惑業未能淨盡·再一受生·多半迷失·不但所期皆成畫餅·且有因福造業·後生墮落之虞·由是言之·誠堪畏懼。須知淨土法門·乃一代時教中之特別法門·不可以與通途法門並論·若不明此義·以仗自力通途法門之義·疑仗佛

力特別法門之益·而不肯信受·則其失大矣。佛說難信·蓋即指此·若無此執·則誰不信受奉行焉。近來世道人心·陷溺已極·無可救藥。凡有具正知見之偉人傑士·莫不以提倡因果報應·生死輪迴·為挽回狂瀾之據·精修淨業·求生西方·為究竟安隱之法。一倡百和·無不率從·由是吃素念佛·改惡修善者·日見其多。所可惜者·普通善信·未嘗學問·雖日讀彌陀經·究不知所說者為何義。縱有疏鈔·要解等注·亦非彼所能閱。黃智海居士·利人心切·取疏鈔要解之義·以白話解釋之·俾彼稍識字者·亦得了知經義。由是更加精進·竭誠修持·并以轉化有緣·則現生身心清淨·優入聖賢之域·臨終感應道交·直登極樂之邦·其為利益·莫能名焉。爰書大義·以貢閱者。

欲海回狂普勸受持流通序

天下有極慘極烈·至大至深之禍·動輒喪身殞命·而人多樂於從事·以身殉之·雖死不悔者·其唯女色乎。彼狂徒縱情欲事·探花折柳·竊玉偷香·滅理亂倫·敗家辱祖·惡名播于鄉里·毒氣遺于子孫·生不盡其天年·死永墮于惡道者·姑置勿論。即夫婦之倫·儻一沈湎·由茲而死者·何可勝數。本圖快樂·卒致死亡·鰥寡苦況·實多自取·豈全屬命應爾哉。彼昵情牀第者·已屬自取其殃·亦有素不狎昵·但以不知忌諱·冒昧從事·致遭死亡者·亦復甚多。故禮記月令·有振鐸布告·令戒容止之政（容止、即動靜、謂房事也。）古聖王愛民之忱·可謂無微不至矣。（忌諱、壽康寶鑑詳言之、俱宜購閱。）吾常謂世間人民·十分之中·由色欲直接而死者·有其四分。間接而死者·亦有四分·以由色欲虧損·受別種感觸而死。此諸死者·無不推之於命·豈知貪色者之死·皆非其命。本乎命者·乃居心清貞·不貪欲事之人·彼貪色者·皆自戕其生·何可謂之為命乎。至若依命而生·命盡而死者·不過一二分耳。由是知天下多半皆枉死之人·此禍之烈·世無有二·可不哀哉·可不畏哉。亦有不費一錢·不勞微力·而能成至高之德行·享至大之安樂·遺子孫以無窮之福蔭·俾來生得貞良之眷屬者·其唯戒淫乎。夫婦正淫·前已略說利害·今且不論。至于邪

淫之事·無廉無恥·極穢極惡·乃以人身·行畜生事。是以豔女來奔·妖姬獻媚·君子視為莫大之禍殃而拒之·必致福曜照臨·皇天眷佑·小人視為莫大之幸福而納之·必致災星莅止·鬼神誅戮。君子則因禍而得福·小人則因禍而加禍·故曰禍福無門·唯人自召。世人苟于女色關頭·不能徹底看破·則是以至高之德行·至大之安樂·以及子孫無窮之福蔭·來生貞良之眷屬·斷送于俄頃之歡娛也·哀哉。安士先生欲海回狂一書·分門別類·縷析條陳·以雅俗同觀之筆·述勸誡俱摯之文。于古今不淫獲福·犯淫致禍之事·原原委委·詳悉備書·大聲疾呼·不遺餘力·暮鼓晨鐘·發人深省·直欲使舉世同倫·咸享福樂·各盡天年而後已。須知其書·雖為戒淫而設·其義與道·則舉凡經國治世·修身齊家·窮理盡性·了生脫死之法·悉皆圓具。若善為領會·神而明之·則左右逢源·觸目是道。其憂世救民之心·可謂至深切矣。是以印光于民國七年·特刊安士全書板于揚州藏經院·八年又刻欲海回狂·萬善先資·二種單行本。十年又募印縮小本安士全書·擬印數十萬·徧佈全國·但以人微德薄·無由感通·只得四萬而已。而中華書局私印出售者·亦近二萬。杭州漢口·俱皆仿排·所印之數·當亦不少。茲有江蘇太倉吳紫翔居士·念世禍之日亟·彼新學派·提倡廢倫廢節·專主自由愛戀·如決江隄·任其橫流·俾一班青年男女·同陷于無底欲海漩渦之中。遂發心廣印欲海回狂·施送各社會以期挽回狂瀾。然眾志成城·眾擎易舉·懇祈海內仁人君子·大發救世之心·量力印送·并勸有緣·普徧流通。又祈父誨其子·兄勉其弟·師誡其徒·友告其侶·俾得人人知其禍害·立志如山·守身如玉·不但不犯邪淫·即夫婦正淫·亦知撙節。將見鰥寡孤獨·從茲日少·富壽康寧·人各悉得·身家由茲清吉·國界于以安寧·穢德轉為懿德·災殃變作禎祥。畢竟不費一錢·不勞微力·而得此美滿之效果·仁人君子·諒皆當仁不讓而樂為之也。爰述大義·以貢同仁。

壽康寶鑑序

人未有不欲長壽康寧·子孫蕃衍·功業卓著·吉曜照臨者。亦未

有欲短折疾病·後嗣滅絕·家道傾頹·凶神莅止者。此舉世人之常情·雖三尺孺子·莫不皆然。縱至愚之人·斷無幸災樂禍·厭福惡吉者。而好色貪淫之人·心之所期·與身之所行·適得其反·卒至所不欲者悉得·而所欲者悉莫由而得·可不哀哉。彼縱情花柳·唯此是圖者·姑勿論。即夫婦之倫·若一貪酒·必致喪身殞命。亦有并不過貪·但由不知忌諱（忌諱種種·詳示書後·此不備書）冒昧從事·以致死亡者·殊堪憐愍。以故前賢輯不可錄·備明色欲之害·其戒淫窒欲之格言·福善禍淫之證案·持戒之方法日期·忌諱之時處人事·不憚繁瑣·縷析條陳·俾閱者知所警戒·其覺世救民之心·可謂懇切周摯矣。而印光復為增訂·以名壽康寶鑑·復為募印廣布者·蓋以有痛于心而不容已也。一弟子羅濟同·四川人·年四十六歲·業船商于上海。其性情頗忠厚·深信佛法·與關綱之等合辦淨業社。民國十二三年·常欲來山歸依·以事羈未果。十四年病膨脹數月·勢極危險·中西醫均無效。至八月十四·清理藥帳·為數甚鉅·遂生氣曰·我從此縱死·亦不再吃藥矣。其妾乃于佛前懇禱·願終身吃素念佛·以祈夫愈。即日下午病轉機·大瀉淤水·不藥而愈。光于八月底來申·寓太平寺·九月初二·往淨業社會關綱之·濟同在焉·雖身體尚未大健·而氣色淳淨光華·無與等者。見光喜曰·師父來矣·當在申歸依·不須上山也。擇于初八·與其妾至太平寺·同受三歸五戒。又請程雪樓·關綱之·丁桂樵·歐陽石芝·余峙蓮·任心白等諸居士·陪光吃飯。初十又請光至其家吃飯·且曰·師父即弟子等之父母·弟子等即師父之兒女也。光曰·父母唯其疾之憂·汝病雖好·尚未復原·當慎重·惜未明言所慎重者·謂房事也。至月盡日·于功德林開監獄感化會。彼亦在會·眾已散·有十餘人留以吃飯·彼始來·與司帳者交代數語而去·其面貌直同死人·光知其犯房事所致·切悔當時只說父母唯其疾之憂·未曾說其所以然·以致復濱于危也。欲修書切戒·以宄繁未果·九月初六至山·即寄一信·極陳利害·然已無可救藥·不數日即死。死時關綱之邀諸居士皆來念佛·其得往生西方與否·未可知·當不至墮落耳。

夫以數月大病·由三寶加被不藥而愈·十餘日閒·氣色光華·遠勝常人·由不知慎重·悞犯房事而死·不但自戕其生·其孤負三寶之慈恩也甚矣。光聞訃·心為之痛·念世之不知忌諱冒昧從事·以致殞命者·其多無數。若不設法預為防護·殊失如來慈悲救苦之道。擬取不可錄而增訂之·排印廣布·以期舉世咸知忌諱·不致誤送性命。一居士以母氏遺資千六百元·擬印善書施送·光令盡數印壽康寶鑑·以拯青年男女于未危·則以羅濟同一人之死·令現在未來一切閱此書者·知所戒慎·并由展轉流通·展轉勸誡·庶可舉世同享長壽康寧·而鰥寡孤獨之苦况·日見其少。如是則由濟同一人之死·令一切人各得壽康·濟同之死·為有功德·仗此功德·回向往生·當必俯謝娑婆·高登極樂·為彌陀之弟子·作海眾之良朋矣。孟子曰·養心者莫善于寡欲·其為人也寡欲·雖有不存焉者寡矣·其為人也多欲·雖有存焉者寡矣。康健時尚宜節欲·况大病始愈乎。十年前一鉅商之子·學西醫于東洋·考第一·以坐電車·未駐而跳·跌斷一臂·彼係此種醫生·隨即治好。凡傷骨者·必須百數十日不近女色·彼臂好未久·以母壽回國·夜與婦宿·次日即死。此子頗聰明·尚將醫人·何至此種忌諱·懵然不知·以俄頃之歡樂·殞至重之性命·可哀孰甚。前年一商人·正走好運·先日生意·獲六七百元·頗得意。次日由其妾處·往其妻處·其妻喜極。時值五月·天甚熱·開電扇·備盆澡·取冰水加蜜令飲·唯知解熱得涼·不知彼行房事·不可受涼·未三句鐘·腹痛而死。是知世之由不知忌諱·冒昧從事·以至死亡者·初不知其有幾千萬億也。而古今來福最大者·莫過皇帝·福大壽亦當大·試詳考之·十有八九皆不壽·豈非以欲事多·兼以不知忌諱·以自促其壽乎。而世之大聰明人·每多不壽·其殆懵懂于此而致然乎。光常謂世人十分之中·四分由色欲而死·四分雖不由色欲直接而死·因貪色欲虧損·受別種感觸間接而死·其本乎命而死者·不過十分之一二而已。茫茫世界·芸芸人民·十有八九·由色欲死·可不哀哉·此光流通壽康寶鑑之所以也。願世之愛兒女者·以及為同胞作幸福防禍患者·悉各發心印送·展轉流傳·

俾人各悉知忌諱·庶不至誤送性命·及致得廢疾而無所成就也。彼縱情花柳者·多由自無正見·被燕朋淫書所誤·以致陷身于欲海之中·莫之能出。若肯詳閱·則深知利害·其所關於祖宗父母之榮寵羞辱·與自己身家之死生成敗·并及子孫之賢否滅昌·明若觀火·倘天良尚未全昧·能不觸目驚心·努力痛戒乎。將見從茲以後·各樂夫婦之天倫·不致貪欲損身·則齊眉偕老·既壽且康。而寡欲之人恆多子·而且其子必定體質強健·心志貞良·不但無自戕之過失·決可成榮親之令器·此光之長時馨香以禱祝者。願閱者共表同心·隨緣流布·則人民幸甚·國家幸甚。

闢自由結婚邪說文序（代撰）

人稟天地陰陽之氣·受父母精血之質而生。其初生以至三四歲·一舉一動·皆須父母撫育。自後雖能自行動·而諸凡事理·皆須父母安排教導·否則便不能生存于世。及其年長·則父母為之擇配·俾得享男女居室之樂·以期內外相輔·得以奉父母而盡子職·綿世系而防老死。此天地固然之道·聖人法天制禮·俾人各守彝倫·以盡人道與子道耳。若不依聖人之禮·與父母之命·唯以兩情愛戀而為夫婦·則與禽獸何異。彼不知好歹者·專效歐洲惡風·盛倡自由結婚·何不倡初生即不受父母撫育教導·而自由成立為人乎。彼若能一生于世·即自由成立·絕不受父母撫育教導·則自由結婚·實為至當之理事。若不能如此·唯年長能以自力致男女愛戀為標準者。即為逆天悖理侮聖蔑倫之極重罪人。以其心行·與禽獸無殊焉。無錫楊章甫居士·作文闢之·因為序引·以發所未發·冀倡此說者·咸覺悟云。

跋

歸心堂跋

夫心者·即寂即照·不生不滅·廓徹靈通·圓融活潑·而為世出世間一切諸法之本。雖在昏迷倒惑具縛凡夫之地·直下與三世諸佛·敵體相同·了無有異。故曰心佛眾生·三無差別。但以諸佛究竟證得·

故其功德力用·徹底全彰。凡夫全體迷背·反承此功德力用之力·於六塵境·起貪瞋癡·造殺盜淫。因惑造業·因業感苦。惑業苦三·互相引發。因因果果·相續不斷。經塵點劫·長受輪迴。縱欲出離·末由也已。喻如暗室觸寶·不但不得受用·反致被彼損傷。迷心逐境·背覺合塵·亦復如是。如來憫之·為說妙法·令其返妄歸真·復本心性。初則即妄窮真·次則全妄即真。如風息波澄·日暖冰泮·即波冰以成水·波冰與水·原非二物。當其未澄未泮之前·校彼既澄既泮之後·體性了無二致·相用實大懸殊。所謂修德有功·性德方顯。若唯仗性德·不事修德·則盡未來際·永作徒具佛性·無所恃怙之眾生矣。故般若心經云·觀自在菩薩·行深般若波羅蜜多時·照見五蘊皆空·度一切苦厄。夫五蘊者·全體即是真如妙心·但由一向迷背·遂成幻妄之相。妄相既成·一真即昧·一真既昧·諸苦俱集。如風動則全水成波·天寒則即柔成剛。照以甚深般若·則了知迷真成妄·全妄即真。如風息日煖·復還水之本體耳。故知一切諸法·皆由妄情所現。若離妄情·則當體全空。以故四大咸失本性·六根悉可互用。所以菩薩不起滅定·現諸威儀。眼根作耳根佛事·耳根作眼根佛事。入地如水·履水如地。水火不能焦濡·虛空隨意行住。境無自性·悉隨心轉。故楞嚴云·若有一人發真歸元·十方虛空·悉皆消殞·乃照見五蘊皆空之實效也。歸者·歸投·歸還·即返照迴光復本心性之義。然欲返照迴光復本心性·非先歸心三寶依教奉行不可。既能歸心三寶依教奉行·自可復本心源徹證佛性。既得復本心源徹證佛性·方知自心至寶·在迷不減·在悟不增。但以順法性故·則得受用·違法性故·反受損傷·而利害天淵迥別耳。師導周居士·欲令子子孫孫·世奉佛法·乃以歸心名堂·請題其意義·因書此以塞其責云。

梵網經心地品菩薩戒疏注節要跋

佛法廣大如法界。究竟如虛空。剋論其要·唯戒定慧三法而已。然此三法·互攝互融·不容獨立。而初心入道·則持戒一事·尤為要務。故楞嚴云·攝心為戒·因戒生定·因定發慧·是則名為三無漏學。

是以如來初成正覺·即說梵網經菩薩戒。俾一切菩薩·並梵釋諸天·與夫王臣士庶·若僧若俗·迨及娼優奴婢·三途惡道一切眾生·同皆受持。是知此戒·乃如來煉聖烹凡之大冶洪鑪也。良以六道眾生·雖則尊卑貴賤·種種不同。而一念心性·尚與三世諸佛·無二無別。但由宿世善惡各異·致使今生果報不同。如來鑑本遺迹·以故普勸受持。倘能依教奉行·則宿世惡業·可以頓消。現生福慧·速得圓滿。初則了妄即真·次則唯真無妄。自可復本心源·親證妙性矣。故云眾生受佛戒·即入諸佛位。位同大覺已·真是諸佛子。又云汝是當成佛·我是已成佛。常作如是信·戒品已具足。此如來金口為一切眾生所保任者·可不信乎。無名居士宿植德本·篤修淨業。欲令自他同出苦輪·選淨土著述之切要者·輯為淨土津要。既而又輯續編·擬以梵網經弁之於首。又以經文深奧·不易窺測。開遮持犯·難以解了。不有注解·實難普益。乃以清陳熙願所節略之梵網經疏注節要見選。則若文若義·自可一目了然矣。夫宏闡淨土·何以首列梵網。良以欲生淨土·當淨其心。隨其心淨·則佛土淨。欲淨其心·非持佛淨戒不可。果能持戒·則貪瞋癡心·不發現行。戒定慧道·徹底圓彰。恆沙功德·無量妙義·不求自得·具現心中。所謂戒為法界·一切法趣戒·是趣不過。况又加以真信切願·執持阿彌陀佛萬德洪名。則能念之心·與所念之佛·相冥相契。現生固已心佛不二·臨終不生淨土·將何生乎。縱令根機陋劣·未能如是·而以嚴持佛戒之清淨身心·真為生死·發菩提心·以深信願·持佛名號。迨至臨終·感應道交·蒙佛接引·往生西方。即使帶業往生·固已永脫輪迴·高超三界。常時親炙彌陀·自可速證法身。况已業盡情空者哉。其有自詡高明·藐視戒律·及與淨土·謂自性清淨·有何善惡持犯自他淨穢。但任天真·即如如佛。從茲口口談空·步步行有。聽其言·則高出九天之上。察其行·則卑入九地之下。生為法門之敗種·死作泥犁之主人。較彼帶業往生者·尚天地不足以喻其否泰·况上焉者乎。其有欲現生親得實益·臨終決定往生者。請從持戒念佛真實行去·自可不虛所望矣。

石印異僧守松草書心經跋以字迹相連不能割裂故未印

此經文雖略·理極宏深·性相互融·而真俗雙泯·萬法森羅·而一道清淨·是以觀照一起·頓空五蘊聚落·實相圓彰·誕登四德彼岸·語其廣大·罄海墨而莫詮其義·語其精微·覓一字而了不可得·至圓至頓·最妙最玄·誠為諸佛之師·菩薩之母·六百卷般若之關鍵·一大藏聖教之網宗·良由大覺世尊·鑑機說法·智慧自在·或博或約·妙理咸具·譬如月麗中天·影現眾水·不但大江大海·悉現全月·即小而一勺一滴·無不各各皆現全月·而無或欠缺·猗歟懿哉·由眾生具有生佛平等之妙心·感如來說此真空實相之妙經也·以故自唐至今·聞人名士·每事書持·多有讀至數千萬徧者·異僧守松·擬將此經·普納含識八識田中·以為將來成佛種子·運不思議絕妙神筆·書寫流通·友人以此帖見贈·擬欲石印·以廣其傳·又恐或未盡識·因離句楷書經文於後·爰跋數語·以企自他遠離顛倒夢想·究竟涅槃耳·須知此經在處·即佛所在·消除災障·致多吉祥·務須恭敬供養·受持讀誦·毋或褻黷·自取罪咎·則度一切苦·成無上道·若操左券而取故物矣·

清世宗御製普陀法雨寺碑文跋乙卯年代趙希伊作

清世宗憲皇帝·夙植德本·乘願再來·深入經藏·直達禪源·宗說皆通·悟證鄰極·秉靈山泗水之薪傳·闡即心即佛之妙道·自法流震旦·二千年來·於皇帝中·最為第一·若非久證法身·現茲末世·即俗明真·廣度含識者·其能如是也耶·佛法普利眾生·大士隨機赴感·廣大如法界·究竟如虛空·非大智慧·莫能形容·清世宗以時雨潤物之義·極力發揮·可謂妙契佛心·罕譬而喻矣·予昔讀浙江通志·見此碑文·不勝欽佩·定海廳志·亦復具載·今春來禮大士·見碑前供一玉佛·而為龕所蔽·無由觀光·以玉佛來儀時·權供碑前·後以建殿無地·遂致常住·查之山志·復失此板·悵何如之·因秉燭恭錄·乃祈寺主·刻於木榜·懸之亭內·又補刻志板·各述緣起·庶將來君子·皆得同沾法雨·共證真常云耳·

六度室跋代唐侏子作

布施持戒忍辱精進禪定智慧·名為六度·亦名為六波羅蜜。梵語波羅蜜·華言到彼岸。謂由此六法·於生死此岸·度煩惱中流·到涅槃彼岸故也。然五度如盲·般若如導。五度無般若·不能究竟到彼岸。而般若如目·五度如足。般若無五度·亦不能究竟到彼岸。二者具足·則一一度皆能到彼岸·皆得名為波羅蜜也。開如和尚·以此名室·可謂知法。而其志與行·亦可想見。爰書此三字·并略述義意而贈之。

心歸淨處跋與劉智空居士作

夫心者·靈明洞徹·湛寂常恆。有典有則·獨為萬象之主。無名無相·混融諸法之中。不垢不淨·無一塵之可立。即色即空·具五眼而莫見。處尚不有·淨從何來。淨處既無·歸將安寄。實際理地·不受一塵。說個心字·早成疣贅。若能於此直下契入·則其心之全體大用徹底圓彰·了無餘蘊。即可名為無心道人。即可與蘊空大士·比肩齊立·把手共行。普赴眾感·現身說法。月印千江·風鳴萬籟。徧法界感·徧法界應矣。設或根機陋劣·未能證入。且約生滅門中·指其趣證之方。既由迷心逐境·向外馳求。全智慧德相·變成妄想執著。固當唯精唯一·執持彌陀聖號·真信切願·企其往生西方。持之久久·心佛一如。不離當念·徹證蘊空。妄想執著既滅·智慧德相亦泯。隨其心淨·則佛土淨。不離當處·冥契寂光。唯此一處·方是吾人究竟安身立命之處。願吾徒智空·普與法界眾生·同賦歸歎·則幸甚幸甚。

項伯吹先生定海縣監獄講經參觀記跋

為政貴得大體。得大體則事無大小·皆有成效。否則但具儀文·而難得實益矣。大體維何·曰唯誠而已。當事者行政·果出於誠。雖異類尚能感化·況人為萬物之靈乎哉。故虎不入境·魚徙他方等異徵·載於史冊。而大學釋書如保赤子曰·心誠求之·雖不中不遠矣。以保赤子之心保民·謀無不中。其言雖與不遠者·唯恐人致誠未極·乃反激其致誠之心必至其極。係決斷語·非疑豫語。定海邑令在東陶公·

學道愛民·窮理盡性·於儒釋聖人心法·大有所得。其居心行政·唯以己立立人·自利利他為本。甫下車·即痛念愚民失教·犯法囚監之苦。其原在於不知因果報應·福善禍淫。及生死輪迴·三途惡報等事。一本利己之野心·不懼害人之惡報·故陷乎此。因擬欲與彼宣講三世因果·六道輪迴·三途苦楚·佛國安樂等。庶彼恍然驚怖·頓革先心。翕然信從·聿修後德。以知吾人一念心性·與堯舜無二·與佛無二。誰肯舐刀頭之微蜜·而取割舌之禍。以隨意兩寶之摩尼寶珠·俾永沈圓廁。不但了無所用·而且常與大糞同其臭穢乎哉。從茲敦行孝友仁慈·及戒定慧道。縱不能即生便與堯舜及佛之道德相齊。然希驥之馬·亦驥之乘。希顏之士·亦顏之徒。當仗佛慈力·帶業往生·以成就超凡入聖之最勝因緣。使聖賢佛菩薩垂訓教人之真語實語·不付東流·其心方愜。夫因果報應·實儒教聖人治天下之大權。但其言約略·遂致儒者習矣不察·漠然置之。致使上焉者·只作自了漢·而不能移風易俗。下焉者即便肆意橫行·以期享一時安樂。因茲世道人心·日趨日下·不可救藥。乃命普陀前後兩寺住持·擇山中戒行精嚴·經教通明僧·為教誨師。兩寺住持祈選在家通人·以充此任。陶公謂以言教者訟·以身教者從·教化獄囚·不徒在於能宣說也。遂舉智德法師應聘。至開講日·其佈置·與其演說·及所擬之章程·無不一本於誠。居然以監獄為道場·以獄囚為法侶。為定海立縣以來之所未有。良以陶公知獄囚以失教而犯法·一本格物致知·明明德·止至善·及人皆可以為堯舜·人皆可以作佛之意·而為此舉。可謂知大體·本赤誠·不愧為民父母矣。而又不以（光）之不才見棄·以項君之參觀記寄示於（光）。閱之·不勝欣忭·遂忘其固陋·略跋蕪語。企閱者知教化獄囚之宗旨·並陶公之誠。想必有踵其事而為之者·當不止一二三四五六七也。雖然·其說法固不必盡用僧人·其所說若不以三世因果·六道輪迴·三途苦楚·佛國安樂為本·縱令妙義能感天華·亦無實效。何也·以其無可動於中·而如風過樹·泛泛然與己不相干涉故也。

往生論註跋

生死·吾人第一大事也。淨土法門·了生死無上妙法也。一代時教·浩若淵海。其究竟暢佛普度眾生之本懷者·唯淨土一法而已。以下凡信願念佛·即可帶業往生。上聖若肯回向·速得圓成覺道。仗佛慈力·與唯仗自力·其難易固日劫相倍。天親菩薩廣造諸論·宏闡佛乘。復宗無量壽經·作願生偈論。示五門修法·令畢竟得生。具顯禮拜·讚歎·作願·觀察·回向之法。于觀察門·詳示淨土莊嚴·如來法力·菩薩功德。凡見聞者·悉願往生。曇鸞法師·撰註詳釋。直將彌陀誓願·天親衷懷。徹底圓彰·和盤托出。若非深得佛心·具無礙辯·何克臻此。夫淨土一法·為一切諸法之所歸趣。以故華嚴證齊諸佛之等覺菩薩·尚須以十大願王·回向往生。則文殊·普賢·馬鳴·龍樹·智者·慈恩·清涼·永明等·自行化他·同歸淨土者有由來矣。知此·則唯執自力·不仗佛力者·可以悚然驚·憬然悟。以期現生即得出此娑婆·生彼極樂。與觀音勢至等諸上善人·俱會一處。常時親炙阿彌陀佛·以冀證無生忍·圓滿菩提而後已也。吾言不足信·請質之普賢菩薩·自可無疑矣。

大總統教令管理寺廟條例跋

昔如來將入涅槃·以其法道·付囑國王大臣·令其護持流通。良以僧眾捨俗出家·精修梵行。既乏資財·又無權勢。縱能宏揚法化·難免外侮侵陵。若得王臣護持·則法化廣被·外侮不生。以其強暴橫逆者·息影而匿迹。調柔良善者·起信而投誠。故得大張教綱·撈攬苦海之魚。丕振宗風·徹見自心之月。內護外護·相需而行。則如來法化·自可橫徧十方·豎窮三際。普令含識·同沐法澤。良由因聞佛法·方知從無始來·迷背本心。起貪瞋癡·造殺盜淫。致使長劫輪迴生死·莫由出離。既知此已·便欲滅除苦因·企得樂果。從茲反迷歸悟·兢兢業業。於心·則息貪瞋癡。於身·則戒殺盜淫。改惡修善·近則感人天之福樂。斷惑證真·遠則成菩提之覺道。由是恪遵佛教·

嚴持自心。雖在暗室屋漏。長如面對佛天。人懷善念。國息刑法。陰翼治道。消禍亂於未萌。顯輔政猷。敦仁愛而相睦。由斯利益。西竺此土。歷代王臣。水遵佛囑。莫不崇奉護持。惟恐流通傳布之不廣也。溯自東漢。法流中國。歷千八百餘年。莫不如是。迨至清末。法道衰微。哲人日希。庸人日多。加以國家多故。不暇提倡。僧徒率多安愚。不事清修。教網既弛。外侮自臨。由是一班無信根人。覬覦僧產。無法可設。遂借開辦學堂。以為口實。每有改佛寺以為學堂。奪僧產以飽己囊者。紛紛不一。及至民國初年。國基甫立。風潮愈甚。同人憂之。遂林立佛教會。屢懇政府保護。故於四年。遂有管理寺廟三十一種條例頒布。其意雖善。但以未加詳審。倘施行之人。稍挾偏私。則弊由是生。便成大礙。凡屬法門緇素。莫不慮其後患。故屢有意見書。懇其修改。九年秋。程雪樓居士察其利害。又以意見書面呈大總統。既蒙俞允。批交內務部集議。十年春。方始修正為二十四條。詳審斟酌。有利無弊。仍呈請大總統。以教令公布施行。然政府頒布。不能盡人皆見。而北京法源寺住持道階法師。護教情重。遂擬急刊流布。以期僻山窮陬之處。緇素咸知。無或疑慮。問跋於余。以資鼓勵。余曰。如來法道。雖藉外護之力。必須內護有人。始獲實效。譬如外有金城湯池。雖則堅不可破。熱不敢近。而內中主帥昏愚。撫民御兵。各失其道。則士卒百姓。皆成叛黨。縱有金城湯池。亦何裨益之有。倘主帥明哲。善得士卒人民之心。仁政所及。誰不頌戴。四遠聞風。悉來歸服。則舉寇讎皆為赤子。盡叛逆悉作良民矣。懇祈同衣。各各發菩提心。力修定慧。以如來無上妙道。自行化他。則人各感佛慈恩。仰僧懿行。自然無信心者。發起信心。有信心者。力行佛道。將見轉殘忍為仁慈。兵戈永息。變澆俗為淳風。世運昇平。如是則上不負國家護持之至意。下不負自己學佛之深心。而佛恩親恩。皆堪報答於萬一。凡我同衣。尚期勉旃。

藥師如來本願經重刻跋

佛與眾生。心體是一。而其所受用。天淵懸殊者。以其用心不同

之所致也。佛則唯以無緣大慈·同體大悲·度脫眾生為懷·了無人我彼此之心。縱度盡一切眾生·亦不見能度所度之相。故得福慧具足·為世間尊。眾生則唯以自私自利為事·雖父母兄弟之親·尚不能無彼此之相·况旁人世人乎哉。故其所感業報·或生貧窮下賤·或墮三途惡道。即令戒善禪定自修·得生人天樂處。但以無大悲心·不能直契菩提。以致福報一盡·仍復墮落·可不哀哉。是則唯欲利人者·正成就其自利。而唯欲自利者·乃適所以自害也。藥師如來本願經者·乃我釋迦世尊·愍念此界一切罪苦眾生·為說藥師如來·因中果上利生之事·實為究竟離苦得樂之無上妙法也。眾生果能發慈悲喜捨之大菩提心·受持此經·此呪·及此佛名號。推其功效·尚可以豁破無明·圓成佛道。况其餘種種果位·種種福樂乎哉。然在佛心·固欲以無上覺道·全體授與一切眾生。而眾生智有淺深·固不得不隨其所樂·令彼所求各各如願也。須知藥師一經·及與佛號·并其神呪。即釋迦藥師·所得之阿耨多羅三藐三菩提法。凡至誠受持者·即是以佛莊嚴而自莊嚴也。故玉琳琇國師·常持此經·及此佛號·以是禪教律淨之總持法門。故受持者·或生淨琉璃世界·或生極樂世界。待至豁破凡情·圓成聖智·則直契寂光·東西俱泯。而復東西歷然·隨願往生。則與彌陀藥師·同歸秘藏。是名諸佛甚深行處。聖聰大師·以心安和尚所書之本·刻板流遍。欲令受持者發起正信·祈簡明以告之。又此經係唐玄奘法師所譯。其八菩薩·但舉其目·未標其名。說呪一段·又復缺略。後之知識·欲令經義完全·故依七佛本願經·添入說呪一段·共四百二十八字。依灌頂第十二經·添入八菩薩名。以三經原是一經故也。須知在昔貝葉·唯屬鈔寫·或有遺亡·以致譯文全缺互異。後人添入·深契佛心。故諸註者·咸皆宗之。恐以藏本對校·致生疑慮。故併書緣起·以慶完璧云。(說呪一段從說呪前復次曼殊室利起至所求願滿乃至菩提止)

聞經室跋

四大本無·五蘊皆空·根塵迴脫·心境俱寂·何者是經·何者是

聞·何者是室。一念不生·前後際斷·靈光獨耀·覲體全真·何者非經·何者非聞·何者非室。能如是會·名善聞經。否則當讀誦時·竭誠盡敬·如對聖容·親聆圓音·自可契入深固幽遠之經藏·親見本具之佛性矣。願吾徒契覺·篤信此語而契悟焉·則幸甚。

信願念佛決定往生淺說跋

淨土法門·為諸法之歸宿。猶如大海·盡世間所有江河溪澗之水·莫不趣入其中。然一至其中·則同得海名·同成鹹味。雖深廣之極·莫能窮其邊底·自淺而易見處論·其名體味性·固與深不可測處·無二無別。自世尊宏開此法以來·不知幾何恆河沙恆河沙數眾生·依教修行·往生西方也。良由歷代菩薩祖師善知識·上宗佛意·下順機宜·循循善誘·令知所以。故得宿具善根者·同得出此娑婆·生彼極樂也。童蓮國居士·欲令同人·同生正信·同發切願·持佛名號·求生西方。以古德所說·率皆文深義奧·初機不易領會。乃宗其義意·而以淺近之語言出之·因名之為淺說。須知能說之文雖淺·所說之法·乃九界同歸·十方共讚·千經俱闡·萬論均宣之無上甚深第一法門也。閱者倘不以淺近忽略而依行之·則雖未出娑婆·已非娑婆之久客·未生極樂·即為極樂之嘉賓矣。

蓮榮堂跋

蓮之為物·雖出淤泥·體常清淨。人能一切不著·樂我天真·富貴貧賤夷狄患難·視若幻化·素位而行·自適其適。其淫移屈怨之情感·畢竟不生·庶幾與蓮相似·榮何如之。再進而論之·一切諸法·悉屬生滅。勿道世間富貴尊崇·不足為榮·即令得作天帝·乃至上生非非想天·亦不足為榮。何以故·以天福一盡·復降人間·既生人間·難免造業·既造惡業·必墮惡道·長劫輪轉·無有出期·辱莫斯甚·榮於何有。所可榮者·斷盡煩惱·成菩提道·現身法界·度脫眾生而已。然在凡夫地·於現生中·斷難如是。固當真為生死·發菩提心·以深信願·持佛名號·以期往生西方極樂世界九品寶蓮華中也。果能

如是。則臨命終時。感應道交。蒙佛接引。即得往生。從茲永離八苦。常享四德。親炙彌陀。參隨海眾。聞法受記。速證無生。不但自己如是。倘能具大慈悲。發大誓願。廣修眾善。普化一切。以此功德。奉為父母祖宗回向。亦得承斯善利。同生西方。又況既生西方。證無生忍。則成無上道。獲大涅槃。乃決定必得之事。其為榮也。又何加焉。蓮榮之義如是。祈顧名思義而實行焉。則幸甚。

鄧璞君義莊跋

人未有不為自身及與子孫謀者。而謀之之道。固宜參詳。若為眾為公。則其福澤綿長。為己為私。便如春露秋霜。倘或加以機械變詐。則何異服砒鴆以求長生。無不立見其死亡。且令神識永墮惡道。備受禍殃。本欲利己。卒成自戕。雖屬自取。實可悲傷。宋範文正公置義莊以贍族。欲令族人恆受其利。故八九百年。長發其祥。璞君居士。上承父母之志。踵文正之遺芳。且令其子若孫併族中受贍者。咸念阿彌陀佛。求生西方。是蓋財與法同施。色身與慧命同襄。其若自若他之福澤。殆與虛空同壽而無央。乃為發其隱義。俾其子孫與族人。并見聞者。同沐佛光。

印光法師文鈔卷第四

記

釋迦如來真身舍利來儀記代撰

中天調御·釋迦世尊·塵點劫前·早成正覺。泯三際而住寂光·常享四德。愍九界而示受生·頻垂八相。從初出世·乃至涅槃。演偏圓頓漸之法·施種熟解脫之益。六道四生·三乘五性·聆圓音而悟道·睹妙相以明心者·雖盡世界微塵·莫能窮其數量。然機薪既盡·應火亦息。晦迹歸真·不現滅度。又以利益未來·悲心無盡。碎定慧所生丈六之金身·成金剛不壞八斛之舍利。于是八國均分·各起寶塔·普令含識·廣種福田。後一百年·摩竭提國有阿育王·統王閻浮·威德自在。一切鬼神·皆為臣屬。啟其祖阿闍世王所藏舍利·役使鬼神·以七寶眾香為末·造成八萬四千寶塔·供養舍利·散布南洲。凡佛法未至之處·則安置于地中。東震旦國·有十九處。大教西來·次第出現·即今五臺育王等是也。涅槃經云·若人以深信心·供養如來全身舍利·或供半身·四分之一·萬分之一·乃至如芥子許·是人福德·與供養佛·無二無別。以佛舍利·即佛色身·皆由無作誓願·同體慈悲之所示現。是以人天獲得·悲喜交流·竭盡心力·恭敬供養。(福)如來出世·尚在沈淪。今得人身·法已衰替。昔人履險涉危·尚多往求正法。現今水陸俱通·敢不巡禮聖迹。遂于光緒三十年乘輪西邁·觀光暹羅·次及緬甸·後至錫蘭。此三國者·佛法大興。僧眾雖多·不立煙爨。舉國奉佛·設食待僧。凡遇禮拜之日·商賈悉皆罷市·同禮寶塔·共植來因。佛世芳規·庶幾髣佛。次至中印度·伽耶王舍·恆河雙林·顯著聖迹·逐一巡禮。惜世遠人亡·法替教弛。不聞降魔制外之音·但見荒煙蔓草之迹。緬想昔年·為之痛息。回至錫蘭都城·適值重修寶塔·中藏舍利·百有餘粒。懇祈數粒·福我東人。彼言舍利我國福田·此塔國王所建·何敢違佛犯法·私與外人。因日日禮塔·冀佛冥加。輒痛哭流涕·悲不自勝。如是十有二日·感動彼心·稟明

國王·許十二粒。既滿我願·彌感佛恩。即回中國·相宜安置。普陀山靈石庵·乃善財參觀音之聖道場地·因留三粒·監院靜明·修木浮圖而供養之。請九粒于四川寶光·龍興·廣德·三寺供養。按西域記·僧伽羅國·即古師子國·在大海中·近南印度·即錫蘭國也。國東南隅·有楞伽山·巖谷幽峻·乃如來說楞伽經處。昔阿育王弟摩醯因陀羅出家證道·遊化此國·建立塔廟·大興佛法。此塔乃其創建耳。夫如來舍利·神變無方。濟度幽顯·覆被人天。見聞瞻禮·皆植福壽之因。供養恭敬·併感尊貴之果。迷雲盡而性天朗耀·罪霧消而慧日昭彰。三覺圓滿于初心·萬德具足于當念。以如是因·獲如是果。凡我同倫·幸鑑愚忱。

釋迦如來玉像來儀峨嵋山萬年寺毘盧殿記代撰

竊以諸佛出世·各有時節因緣。像教流通·徧周十方三世。溯我釋迦世尊·塵點劫前·早成正覺。住寂光清淨之土·證法報圓融之身。又以愍念眾生·悲心莫置。方便施化·應迹無窮。孺慕深而慈親至·本不生而數數示生。機薪盡而應火亡·原無滅而頻頻現滅。如是垂迹·豎窮三際·橫徧十方。惟本高而迹廣·類源遠而流長。且據此番成道·時當周穆二年。造像功德經云·如來欲示孝道·升忉利天三月安居·為母說法。優陀延王渴仰于佛·以紫旃檀雕佛形像·承事供養·如佛無異。及至九旬已滿·佛降人間。乃謂王曰·汝初為軌則·造佛形像。令諸眾生·得大利益。汝之功德·無能及者。若人以金銀銅鐵等物·雕鑄塑畫佛像·乃至極小如一指大。此人現生滅無量罪·獲無量福。後世尊貴豪富·信樂正法·展轉修習·至成佛道。由是各國王臣·俱造佛像。至阿育王所造最多。迨夫大教東流·每有金石佛像·浮江漂海而來·涌地裂山而出者·載諸傳記·多難具陳。懿哉世尊·慈隆即世·悲臻末劫。絕攀緣而赴眾感·如一月普印于千江。住真際而應羣機·猶一雨徧潤乎萬卉。善根未種未熟未脫者·令其即種即熟即脫。應以像身得度者·即現像身而為說法。天覆地載·莫喻斯恩。粉骨碎身·罔酬此德。清福大師宿植德本·篤修淨業。往遊印度·巡禮聖迹。

迴至緬甸·謹選美玉·雕佛三尊·請回中國。法體瑩淨·妙相莊嚴。豈良工之能琢·疑古佛以再來。以本寺乃普賢菩薩聖道場地·歷朝敕建·四眾歸崇。佛殿與峯巒齊峙·皇文共日月爭光。本殿又為十方常住·僧眾雲集。一志精修道品·無時不啟度門。因送一尊·供大殿內·普令緇素·恭敬供養。當知此像·即佛真身。非玉非石·即色即空。直須一心歸命·畢世投誠。朝斯夕斯·念茲在茲。若能一念冥符·方知相離相。其或六根解脫·自可心心印心。從此復本歸元·塵消覺淨。五蘊空而五眼具·三惑斷而三德圓。于是波騰行海·雲布慈門。四攝齊施·一法不著。盡來際以展轉傳持·俾慧命以永劫常住。是真佛弟子·可謂知恩報恩。

陝西南五臺山大覺巖西林茅篷專修淨業緣起記

真如法性·生佛體同。迷悟攸分·苦樂天殊。故我世尊特垂哀愍。雖於塵點劫前·早成佛道。又復悲運同體·慈起無緣。不違寂光·示生濁世。出家修行·成等正覺。拯彼迷流·同登覺岸。說法四十九年·談經三百餘會。隨順機宜·循循善誘。大機則示以五蘊皆空·六塵即覺·畢竟一法不立·直下萬德圓彰。小機則曲垂接引·為實施權·令其漸培佛種·以作得度因緣。如上隨機所說種種法門·雖則大小不同·權實各異。皆仗自力·斷惑證真·方出生死。故於如來普度眾生之懷·未能究竟舒暢。由是於諸法外·又復特開信願念佛求生淨土一門。指極樂世界·以為本有家鄉。指阿彌陀佛·以為無上慈父。令其發菩提心·持佛名號·以深信願·求生西方。果能拳拳服膺·念茲在茲。則以己信願·合佛誓願。生佛相契·感應道交。現生則業障消滅·福慧增崇。臨終則蒙佛接引·託質寶蓮。其有惑業已斷·則即登補處·速證佛乘。縱令博地凡夫·通身業力·亦可仗佛慈力·帶業往生。既往生已·即得迴出凡流·高預海會。惑不期斷而自斷·真不期證而自證。此之法門·全仗佛力。喻如跛夫日行數裏·若乘轉輪聖王輪寶·則頃刻之間·徧達四洲。是輪王力·非己力也。畢世修行者·固然如是。即五逆十惡極重罪人·臨命終時·地獄相現·若能志心念佛·即得蒙

佛接引。良以佛視眾生。猶如一子。於善順者固能慈育。於惡逆者倍生憐愍。子若回心向親。親必垂慈攝受。又復眾生心性。與佛無二。由迷背故。起惑造業。錮蔽本心。不能彰顯。倘能一念回光。直同雲開月現。性本不失。月屬固有。故得歷劫情塵。一念頓斷。喻如千年暗室。一燈即明。此實一代時教最妙之法。上聖下凡共由之路。徧透九界之機宜。極暢如來之本懷。猗歟懿哉。何可得而思議也。及至大教東來。廬山創開蓮社。一唱百和。無不率從。千五百餘年來。潛修顯化者。多難勝數。舉其尤者。元魏則有曇鸞。陳隋則有智者。唐則有道綽。善導。懷感。飛錫。承遠。法照。少康。大行。如上諸師。悉皆道超十地。德震九重。無一法而不通。唯此法以是尚。宋則有永明。昭慶。四明。長蘆。永明則匯禪教律。歸於一心。作四科簡。徧讚淨土。昭慶則血書華嚴。社結淨行。宰輔牧伯。爭先歸依。四明則鈔述妙宗。理極觀道。長蘆則擬結蓮社。大聖書名。明則有楚石。妙叶。蓮池。蕩益。清則有省庵。夢東。莫不宗說兼通。行解相應。專重淨土。普勸修持。在昔之時。禪宗諸師。多事密修。殊少顯化。自永明後。率多明垂言教。切勸往生。如死心新。真歇了。中峯本。天如則等。至於宰官居士。若劉遺民。白居易。文彥博。楊無為。王日休。袁宏道。周夢顏。彭紹升等。或給社以精修。或著論以敷宣。如上若聖若賢。若緇若素。異世同音。極力弘闡。故得蓮風大振。徧徧中外。滔滔然如百川萬流之朝宗於海。良由華嚴法身大士。證齊諸佛之後。尚以十大願王回向往生。觀經五逆十惡。將墮阿鼻之時。若能十稱佛名。即得高預末品。故得無機不被。無法不攝。如天普蓋。似地均擎。森羅萬象。無一不在其中。能出其外者。誠所謂九界眾生離此法。上不能圓成佛道。十方諸佛捨此法。下不能普利羣生。由是恆沙如來。出廣長舌以讚揚。諸宗尊宿。發金剛心而流布。南五臺者。係觀音大士降伏毒龍。現比丘身所開道場。自隋至今千三百餘年。其間高人軼事。以屢更滄桑。悉皆煙沒。無由而知。至明季時。有性天文理老人。隱居無門洞。(俗訛為湘子洞)後因遊方至杭州。住於黃龍

庵。蓮池大師在家時·即與夫人湯氏歸依座下。繼則依之披剃。不久老人復返長安。蓮池中興淨宗·其源實發乎此。理老若非出格高人·蓮池豈肯屈身座下·始終依止乎。事載雲棲法彙·蓮池及太素塔銘中。夫觀音大士·輔弼彌陀·度脫眾生。此山又為中興淨宗發源之地。其主其山·皆與眾生有大因緣。鶴年居士高恆松者·出身江蘇·篤信佛乘。纔登仕版·即棄簪纓。備詢宗匠·效善財之徧參。普禮名山·同紫柏之遊歷。至止此山·已經二三。於民國三年·糾合秦僧·修普同塔於大臺之下。俾十方禪侶·死有所歸。復建二靜室·專修淨業。以期若存若亡·咸獲往生。後於禪悅之暇·遊於靈應攝身二臺之下。(攝俗訛作捨)見其巖高峻·其地平敞。恍悟宿世曾住此處·遂名其巖曰大覺。因建茅篷二座·專修淨業。以遠宗廬山·近法雲棲·決志西歸·故曰西林。(量)出家此山·曾侍大士香火。後以參叩知識·雲遊諸方。迄今三十餘年·道業未成。以故久寄海上·無顏復回故鄉。一日居士自長安來·令將淨土法門·及此山此篷作一緣起。擬先刷印若干張·俾見聞者開發信心。繼則立石篷中·以垂永久。因喜不自勝·撮略述之。雖詞旨拙樸·無補法道·亦不暇顧云。

書華嚴經訟過記代寬慧師作

大矣哉華嚴經之為教也。稱法界性·說常住法。依真如心·示即具體。理超象外·道契寰中。寂照圓彰·能所雙泯。離凡聖之假名·絕生佛之稱謂。然而珠在衣裏·迷者不知。不得不於無可修中論修·無可證中論證。故有五十二位之次第·信解行證之淺深。所謂全性起修·全修在性。及至圓證妙覺·不過復其本體。於本體外·了無所增。但以智斷究竟·徹露本地風光。圓滿菩提·實無一法可得。因該果海·果徹因源者·此之謂也。十方諸佛成道·無不說此法門。十方菩薩修行·無不依此軌範。文雖八十一卷·六十萬餘言。而恆沙法門·包括淨盡。無邊妙義·顯示無遺。全事即理。全修即性。全多即一。全他即自。故云十世古今·始終不離於當念。無邊剎土·自他不隔於毫端。故得受持誦讀·罪山崩而福海洪深。書寫流通·迷雲散而慧日朗耀。(慧)

宿生多幸·得入法門。往業甚深·心不契道。擬欲書此不思議甚深大經·懺除宿業。蒙寂山和尚·諦閑法師·及諸善知識·提獎贊助·得遂其願。但以少閱經教·未諳規程。雖常然香燈·隨書隨禮。而字體隨便·不甚端整。孤陋寡聞·有過不知。時歷二周寒暑·已書六十餘卷。一日有一老宿見而呵曰·汝發心寫經·擬欲資之以懺宿業·顯本有·超凡入聖·了生脫死。其所希望·大不可言。如此草率·何以能上感三寶·下契自心。斷煩惱以證真常·生安養以侍導師。豈不孤負自己一番苦功·與諸師贊襄之莫大恩德也耶。汝取華嚴感應傳讀之·見德圓修德等古德書經之懿範·與彼所獲之利益·能不愧死。(慧)聞命之下·痛如割心。深恨最初不遇此老。因頓改前非·竭誠盡敬。雖拙樸仍舊·而恭謹篤至。一部筆法·前後不同。恐閱者見怪·故述緣訟過。亦冀一切四眾·受持讀誦一切經典·悉皆竭誠盡敬·無或怠忽。如對聖容·親聆圓音。庶(慧)之罪過·藉以消滅。而當人之福慧速得滿矣。

重修普陀太子塔兼造荷華池欄杆碑記代了餘師作

一切眾生·一念心性·與三世諸佛·無二無別。但以無始至今·從未悟故·迷真起妄·背覺合塵。反承此不生不滅常住佛性·而為起惑造業·輪迴生死之本。如來憫之·隨機說法。普令三根·隨分受益。又以法音有間·塔像常存·故令四眾·建立塔像。企其瞻禮投誠·漸種善根。一覲聖容·永為道種。以作返妄歸真·背塵合覺·消除惑業·復本心性之最勝因緣。普陀乃大士示迹之勝地·歷朝祝嘏之道場。自五代梁貞明間開山·迄今千有餘年。普門常啟·宗風不墜。允為震旦佛國·東南福地。當元季時·有孚中信禪師者·道高一世·德感九重。五坐道場·宏闡宗乘。王公大臣·多從問道。於天歷時·住持普陀。至元統間·購太湖石·覓上妙工·造多寶佛塔一座·於寺東南隅。其高五層·計九丈六尺。上三層四面·各雕佛菩薩·羅漢聖像。慈容妙麗·儼然如生。精工妙手·悅人心目。宣讓王嘗從師問道·發心施資·故俗稱為太子塔焉。迄今五百八十餘年·歲月經久。兼以大海之中·

鹹霧颶風·烈日嚴霜·摧殘諸物·最易敗壞。故其塔頂已脫·聖像殘缺·石縫裂開·勢將崩倒。竊念前人建立·原為國民植福。忍令破壞倒塌·以泯滅古迹·與眾生福田乎。但以僧等財法俱貧·莫由措辦。戊午六月·適值錫周居士陳公性良來山·擬建道頭牌坊。吾友印光·偕（餘）與法雨住持了清·共謂之曰·公宿承佛囑·宏護三寶。今太子塔·勢將崩倒。僧等愧無德能·無從設法。願不惜鉤力·為之重新。或可置彼修此·以急先務。伊應之曰·吾願已發·勢難中止。然既蒙見委·當努力代為諸師·募緣倩工·勉負責任。因具疏詳述愚誠。仗彼福力·蒙前大總統黎公·前大總統馮公·今大總統徐公·各出淨資·以增輝普陀·唱導四眾。一時名公偉人·悉發信心·協力贊襄。故於今春三月·隨即開工。俾多寶佛塔·又復從地湧出。普濟寺前·常見珍池欄楯。又開拓地基·創建塔院。築正室五楹·偏廈四間。凡所需用·悉皆具備。安一淨行頭陀·長時奉侍香火。定海縣知事馮公秉乾聞之·不勝歡喜·隨即出示保護。可謂宿具靈根·不忘付囑者也。從茲入普門者·親見多寶。修淨業者·常遊珍池。其功德利益·當與虛空同其壽量。非筆舌所能形容也已。功既成·乃述其緣起·勒之貞珉·永垂不朽。

普陀海岸道頭創建水泥牌坊重修迴瀾亭碑記代了餘師作

觀音大士·誓願洪深·慈悲廣大。於十方無盡世界·普現色身·隨機說法。諸大乘經·悉載其事。然即就此方應凡夫機·所示之迹·亦復多難勝數·妙不可測。況普應六道·及界外三乘之大機乎。若非圓證法身·何能有此大用。錫周居士陳性良·沐恩甚深·報恩心切。擬欲同人·咸深感想。因建水泥牌坊一座於海岸。蓋欲示人以苦海無邊·回頭是岸。生死海中·唯有大士可為恃怙。因略敘伊沐恩之事·勒之貞珉。企後之來哲·同生信心·同蒙覆庇。庶可即妄明真·消人我之幻執。識心達本·證寂照之佛性矣。錫周居士·賦性忠厚。初唯講求儒道之旨·於如來大法·及三世因果之理·尚未深信。夫人胡氏·宿有信心。禮佛誦經·寒暑疾病·修持不懈。年三十餘·長子不育·

行善益力。不久復有娠。將及誕期。乃得大病。二十九日不進飲食。不能言語。不能轉側。身瘦如柴。體熱如火。名醫束手。殆無生理。一夕夫人夢一老媪。手持數莖蓮華。謂曰。汝由宿業。膺此惡疾。幸植善根深。以故我從南海。來安慰汝。隨以蓮華周身拂拭。曰拂汝業障。好生嘉兒。遂覺身心清涼。爽快莫喻。因即甦醒。通身流汗。而熱退身安。顏色溫和。直與好人。等無有異。次日即生一子。適為三月三日上巳嘉辰。經此燒熱飢餓二十九日。而兒體豐滿龐厚。與無病者所生無異。今年此子已十歲矣。噫嘻異哉。居士荷蒙大恩。直同生死肉骨。方知佛經所說菩薩不思議利生之事。真實不虛。惜拘墟之士。以凡夫知見。肆口謗黷。適形其無知無識。坐井觀天。徒為大悲主憐憫悲傷。而無從救度耳。哀哉。由茲信向之心。十分懇至。去歲來山。擬修牌坊。吾友印光以太子塔將頹。勸令置此修彼。然伊願心已發。勢難中止。故於今春。兩工並興。兼建塔院。及寺前池畔欄杆。並重修涼亭。需費五萬有奇。雖亦廣乞名望大老。各出淨資。襄成盛舉。然塔之崇高。池之莊嚴。坊亭之壯闊。鳩工選材。役夫無算。無一非居士慨輸巨款。獨力經營。以成就此功德莊嚴。信心宏願。吁。可敬矣。捐助善士。悉載塔院碑中。茲特書此菩薩應化無量百千大海中一滴之相。令諸同人。生正信心。各各恭敬供養。稱念名號。豈但常蒙加被。逢凶化吉。遇難成祥已哉。倘能竭誠至極。何難斷惑證真。超凡入聖。將來亦可如菩薩豎窮三際。橫徧十方。普現色身。度脫眾生也已。又觀音大士。乃過去古佛。以大悲心。垂形九界。應以何身得度者。即現何身而為說法。但以眾生機劣。無由得見本相。凡蒙祐者。多皆見為老媪。蓋以隨順劣機。顯示婆心。若謂實屬女身。則于菩薩上同下合之道。毫未夢見在。

無著老人創建常明庵緣起碑記代化宏師作

寂滅真宗。唯心本具。圓通妙道。非人莫宏。興梵刹以闢普門。布慈雲而注法雨。于法運垂秋之際。振將絕欲墜之宗。唯我先師無著老人其人焉。師諱立山。法名滿圓。別號無著。道光五年乙酉。葭月

二十五日·示生於松江金山顧氏。父即福本悟公。行年十四·父即出家。心欲隨之·以母在不果。及至弱冠·禮父祝髮。詣大崇福·受具足戒。以寇據南京·不便參方。遂住普陀·或居松江。晦迹韜光·無心應世。至同治庚午·掩關於伴山庵。日禮華嚴·徧參海眾。時法雨寺·雕敝已極·住持虛席。本山尊宿信真和尚·率諸法眷·叩關請師。辭不獲已·遂允許之。壬申春進院。寺產素薄·香積不充。破屋頽垣·荒涼滿目。師傷之·以興復為己任。竭力經營·整理修葺。四方檀信·布金恐後。不數年間·百廢具舉。雖未全復當日舊制·而大局已有可觀矣。久之·意欲憩息·專修淨業。因築庵于寺西清涼岡之麓·額曰常明。蓋取心性寂照圓融·橫徧豎窮之義·欲人修因以克果也。光緒甲申春·退居是庵。決志西歸·念佛不輟。又令庵內二時課誦·二時念佛。永為恆規·寒暑無間。置稻田三百二十二畝。除撥無著公堂一百畝·餘者永為常住念佛資糧。又化開等置田四十四畝·以助念佛諸師衣單之費·其詳列後。老人嘗曰·末世眾生·障深根鈍·向上一著·不易湊泊。大悟尚難·何況實證。唯淨土一法·三根普被·利純全收。上聖下凡·皆當修持。良由此法·全攝果覺·以作因心。因該果海·果徹因源。即世相以達實相·以凡心而契佛心。所賴繇佛法·翼國政·感人心者·唯此一法耳。汝輩當恪遵之·毋或廢弛。庶可不負四恩·均資三有。後之當家·若有廢此成規者·非我弟子。即會同法眷·立時擯黜。毋或容隱·以負我心。至己丑年臘月初一·安然神逝。僧臘四十六年·世壽六十五歲。所度弟子數十人·能繼迹者·唯有化聞。宏等雖列門牆·未登閫奧。其所悟處·不得而知。不敢推高以濫聖·亦不敢就下以屈賢。姑摭其言行大綱·以明此庵之緣起云。(按法雨寺·自明萬曆八年開山·前清兩次敕建·洪楊之亂·衰敗不堪·無著乃復重興耳)

砌普陀山仙人井功德碑記代戒如作

圓通大士·永劫常住此山。超塵仙人·不時安居斯地。雖像教未至·凡俗莫覩夫慈容。而應身所居·仙真恆瞻乎佛日。故秦之安期生·

漢之梅子真·晉之葛稚川等·悉皆寄寓茲山·修真養道。所飲甘泉·名仙人井。及至梁貞明間·始建道場。則大士宏慈·由天章而廣被。仙人古迹·隨佛法以流傳。其井前鄰大海·上覆土窟。入地丈餘·從下湧出。極旱不減·大澇不增。酷暑則涼·嚴寒則燠。質沈重而清澄·味甘美而潤澤。信士飲之·多愈沈疴。故閩粵吳楚之朝禮此山者·必瓶貯攜歸·以為法藥。若非大悲法水·從菩薩大慈悲心中流出。俾飲者近愈疾病·遠證菩提。其能靈驗遠著之若是耶。四明杏村干居士·來山進香·飲水而甘。詢其名義·稱歎不已。遂愷然施資·命(衲)經理。用石砌井·兼鋪井道。上建一龕·中供大士·左奉龍王·右安仙人。欲後之取此水者·行清淨道·徹法源底。見觀音于當處·培佛種子將來。醍醐入口·疾病離身。心地清涼·永無熱惱之逼迫。前程遠大·常登仁壽之康莊。(衲)嘉其誠懇·略敘顛末。勒諸貞珉·以告來哲。

江蘇興化劉莊場貞節淨土院碑記

佛法者·九法界公共之法也。無一人不堪修·亦無一人不能修。以凡有心者·無不同具佛性。但以迷而未悟·反承此佛性功德之力·起惑造業·輪迴六道。經塵點劫·莫能出離·豈不大可哀哉。然以生佛同體之故·遂感如來出世·為之倡明。由茲捨俗出家·力修定慧·斷惑證真·了生脫死者·何可勝數。亦有居塵學道·即俗修真·親證法身·誕登道岸。如維摩居士·傅大士·龐居士等·全家修持·俱證聖果。此諸大士·為物作則。足知其人皆可修·修必獲益也。故自法流東土·王臣士庶·閨閣英賢。不離塵勞·精修淨業。遂得親見佛性·斷惑證真·與夫感應道交·蒙佛接引·帶業往生者·又何可得而勝數也。鶴年居士高恆松者·江蘇興化人也。宿植德本·篤信佛乘。年當弱冠·即慕真修。棄俗世之纏縛·事選佛之宏猷。于是徧歷叢林·諮參宗匠。冀其頓明自性·徹悟唯心。報答四恩·濟度羣品。高堂奉養·託之夫人。數月一歸·以修定省。而夫人某氏·賦性賢淑·克盡孝道。雖復于歸·志慕清修。以故居士無失養之憂·高堂得底豫之樂。若非

宿願所結·其能如是也耶。及至椿萱凋謝·遂得無所顧慮。如天際野鶴·任意飛騰。由茲五臺峨嵋·天台雞足·所有名山聖道場地·每多一再巡禮。獨于終南觀音大士道場·更有深契·恍悟宿世曾住此山。足見多生多劫·久修佛道。不于一佛二佛·三四五佛而種善根也。民國十年·自雞足歸·回家祭掃。見夫人已老·孤身無依。念其代已奉親之勞·憫其守節清修之志。因將本宅·改為貞節淨土院。以其令貞女節婦居之·專修淨業·求生淨土·而立名焉。鄉紳好義者·為之稟縣出示。凡高氏子孫·及各界人士·不得干預。以此院係私業義幣所建·與庵廟性質各別。原產若干畝·增置若干畝。歲所收租·以供院中人衣食之費。量入安人·庶無虧空。其修建之費·皆居士摯友之所攸助。正室三楹·以作佛殿。內供西方三聖坐像。俾諸人于中·朝暮禮誦·以備往生資糧。兩旁廂房·悉為安宿之所。其來住者·貞女節婦·皆無所擇。但須長齋念佛·決志往生。性情柔和·無諸乖戾。不事妝飾·不茹葷酒·斷絕俗親·不妄遊行者·方可。否則概不許住。又于每年夏冬·兩佛誕日。延請通法女士·講說旬日。庶修途宗旨·各各悉知。不至以了生死法·獲人天福。此則上宏下化·一舉兩得。即悲成敬·二田兼備。是以此議一成·而好義諸友·樂為損輸。如廣東簡照南·簡玉階·潘達微·李柏農·黎乙真·及滬上諸居士·各隨心力·出資相助。以其事與恤嫠局相同·其利益則天地懸隔故也。彼不過令其身有所託·不致飢寒。而飽食終日·無所用心。不誦經呪·不戒酒肉。唯恤現生之志·不計沒後神識之歸于何所。居此院者·鎮日持佛名號·晨昏懇到懺悔。豈但生有所託·不虛度日。兼令沒有所歸·永出輪迴。意美法良·猗歟懿哉。此法既興·後必有通法義士·行之于恤嫠局。庶可貞節英賢·同預蓮池海會。其為功德·無能名焉。

陳聖性貞女貞孝淨業記

真如法性·生佛體同。迷悟攸分·凡聖迥別。欲復本行之心性·須斷幻妄之惑業。欲斷惑業·非嚴持淨戒·力修定慧不可。戒定慧三·力極功純。則妄惑徹底消滅·本心全體顯現矣。譬如磨鏡·垢去明存。

明本鏡具·非從外來·特仗揩磨之緣·以顯發耳。雖然·仗自力修行·斷惑證真·頗不容易。斷見惑如斷四十里流·况思惑乎。見惑一斷·即證初果·預聖流。尚須七生天上·七反人間·方可斷盡思惑·以證四果。雖云十四番生死·而天上壽長·固不易以年月論也。初果聖人·欲了生死·尚如是之難。况具足惑業之凡夫乎。若證四果·則生死根本永斷·超出六道輪迴之外。若發大悲心·入世度生·則乘願示生。非如具足惑業者·隨善惡業力所牽·升沈于六道之中·自己一毫作不得主也。自力了生死·非宿根深厚者不能。末世眾生·何能企及。于是如來特開一淨土法門·俾一切若聖若凡·上中下根·同于現生了生脫死。其慈悲救護之心·至極無加矣。其修持之法·亦須嚴持淨戒·力修定慧。而兼以生信發願·持佛名號·求生西方。信願真切·念力精純。現生亦可證聖·臨終直登上品。則入菩薩位·證不退地矣。縱根機陋劣·未能如是。但能至心念佛則心佛相契·感應道交·臨命終時·必蒙佛慈接引·帶業往生。下至五逆十惡之人·臨終地獄相現。若心識不迷·有善知識教以念佛。其人生大怖畏·生大愧悔。雖念數聲·即便命終。亦可仗佛慈力·接引往生。一得往生·則永出輪迴·高預海會。漸次進修·必證佛果。仗自力了生死·如彼之難。仗佛力了生死·如此之易。凡有心者·皆能念佛·皆可往生。有血性漢子·決不肯令本具之真如佛性·背悟淨緣·隨迷染緣·長劫輪迴于六道之中·而莫之能出也。陳聖性貞女者·原籍安徽懷寧縣人也。父仲齡·業商於揚州甘泉·遂家焉。母高氏。貞女生於清咸豐九年。姊妹三·長即張紹春之母·貞女居仲·與其妹皆自幼茹素·不食葷腥。是蓋具有夙根者。其弟三·長樹聲·前清江西候補知縣。次茂之·三茂如·皆業齏。貞女年及笄·父故·母欲為之擇聘。貞女即痛哭流涕·誓願為北宮之女嬰兒子·撤其環瑱以養其母·至老不嫁。其妹則以出家焚修為職志·貞女則以居家侍奉為職志也。母知其志不可奪·遂任之。母有潔淨癖·其飲食衣履衾枕牀帳之屬·無不日新又新。雖地板仰篷亦必一日一揩·三日一滌。故凡婢媪之任使·皆不稱意。惟貞女則烹

紉浣濯·能體親心·力役服勞·不容旁貸·暇則念經禮佛·日無虛曠·縱佳節盛會·亦從不出門遊觀·其盡心孝養·篤修淨業也如此·非特恪遵女訓·實乃真奉佛法·後復歸依三寶·受菩薩優婆夷戒·聖性乃其法名也·及母去世·痛極終天·此後依弟而居·修持愈謹·近數年來·紹春信佛日篤·曾來其家·喜其志道相同·遂不復歸·過年餘·諸弟強迎歸·未幾·自知不久住世·以諸弟·及弟婦·唯知世禮·不解佛法·恐臨終彼等悲戀·亂其正念·致失利益·遂至其妹之尼庵·以期正念往生·未久·示微疾·促紹春與三弟至·命請具德僧為薙髮作尼·兼為說戒·又令死必火化·俾一物不存·脫體無依方好·紹春許之·遂沐浴·著法服·端坐念佛·紹春令諸尼·及諸弟·同念佛相助·諸弟悲不自持·紹春力誡勿亂正念·諸弟遂皆忍悲念佛·久之·氣絕·紹春仍令大眾一心念佛二小時·其面相轉加光華·遠勝生時·其一生修持之力·于此發現·當必往生西方·親預海會·否則何克有此瑞應耶·時在民國十年十二月十七日丑時·世壽六十有三·雖臨終剃髮為尼·以無幾日·兼欲顯彼一生守貞盡孝之懿德貞心·故仍以貞女稱焉·今春紹春來普陀·禮大士·詳述其事·祈余作記·以發其潛德之幽光·余按觀無量壽佛經·淨業正因有三·一孝養父母·奉事師長·慈心不殺·修十善業·此四種屬世善·二受持三歸·具足眾戒·不犯威儀·此三種屬戒善·三發菩提心·深信因果·讀誦大乘·勸進行者·此四種屬慧善·前二大小隨人·此則唯屬大乘·此十一事·若全若半·乃至一事·以深信願·回向淨土·皆得往生·况貞女且有多分·兼以平生專心念佛·豈得不生·其預知時至·并氣絕後面相轉加光華·足可為證·因將淨土法門所以·及貞女貞孝淨業懿行·略述大端·以冀閨閣英賢并一切善信·聞風興起·各守己分·兼修淨業·則父慈子孝·兄友弟恭·夫倡婦隨·主仁僕忠·愈修淨業·愈敦倫常·生益得其令名·沒即託質淨土·視彼唯知世諦·不解佛法·業識茫茫·無本可據·徒具佛性·全體迷失·輪迴於六道之中·墮落于三塗之內·盡未來際·了無出期者·不可同年而語矣·凡見聞者·各宜勉旃·

烏程周夢坡居士夫人誕期放生碑記

一切眾生·一念心性·與三世諸佛·了無二致。但以迷而未悟·故長劫輪迴於六道之中·永無底止。雖則人天善道·校三途惡道·苦樂懸殊。然皆隨善惡業力·常相輪轉。則善道不足恃·惡道誠可怖。豈可不培植善因·妄造惡業。恃己之強·陵彼之弱。取水陸空行一切眾生·殺而食之乎。在昔佛教未來·儒宗聖人·皆以世間倫常設教。於吾人本具佛性·及六道輪迴·升沈轉變。與夫斷惑證真·超凡入聖之若理若事·皆未發明·故不禁殺。然其不忍之心·已彰明較著·垂訓於世。如書之鳥獸魚鼈咸若。論語之釣而不綱·弋不射宿。孟子之見其生·不忍見其死。聞其聲不忍食其肉。禮之諸侯無故不殺牛·大夫無故不殺羊·士無故不殺犬豕·庶人無故不食珍。珍·即肉也。足知殺生一事·儒宗亦非不戒。但以教道從權·姑未永斷耳。夫有故而殺·則其殺者固少。無故不食肉·則其食肉者·年無幾日矣。後世教道衰替·習為殘忍·遂以肉食為家常茶飯。只圖悅口·不一省其物類之苦·可不哀哉。及至佛教東來·則一切眾生·皆有佛性。及迷之則生死輪迴·了無已時。悟之則徹證涅槃·永劫常住之實理實事·究竟闡明。方知絃紃異類·皆是過去父母·未來諸佛。不但不敢殺而食之·又思令其各得其所。由是聖君賢相·哲士鴻儒·多皆仰遵佛訓·俯培己仁。或茹素而斷葷·或戒殺而放生。其嘉言懿行·載諸史冊。亦企後人同修慈心。愍彼物類·同具佛性。由惡業因緣·墮於畜道。我今幸生人道·若不加憐恤·恣意殺害。難免來生後世·怨怨相報。楞嚴經云·殺彼身命·或食其肉。經微塵劫。相食相誅。猶如轉輪。互為高下·無有休息。除奢摩他·及佛出世·不可停寢。然奢摩他道·殊不易得。如來出世·亦不易逢。敢不近法先賢·遠遵佛教。推吾惡死之心·拯彼待烹之輩。以祈消除宿業。培植善根。永斷殺害之因·同證長壽之果哉。烏程夢坡居士周慶雲者·南潯望族也。樂善好施·世德相承。其祖母許太夫人·賦性慈善·福壽雙全。自六十以來·每逢生日·必誡諸子·毋事舉觴。令以其費·作濟貧救難·恤嫠育嬰·施

衣施藥·種種善事。懿德令聞·一鄉欽仰。至七十九歲·特以五百緡錢·起放生會。諸子仰體母慈·敬敘其事·勒石家廟。以期本宗子孫·并諸見者聞者·同發善念·修長壽因。而居士與其德配張夫人·恪守家規·篤信佛乘·唯以利人濟物為懷。今其夫人年周華甲。亦欲仰嗣徽音·出資五百圓·於杭州西溪秋雪庵·起放生會·以代祝壽之儀。而其子若孫·亦能先意承志·以悅其親。居士又欲豎碑一通。企聞風興起·共挽劫運。因以其事·委光敘述。光自愧財法俱貧·無補世道。而一念愚誠·唯欲世人同發慈心·共修淨業。生為娑婆無負欠人·沒入極樂蓮池海會。因忘其固陋·略述戒殺放生之所以·并周氏世德之大略云。

循陔小築發隱記

孝之為道·其大無外。一切諸善·無不彌綸。然有世出世間·大小本迹之異。世間之孝·服勞奉養以安其身·先意承志以悅其心·乃至立身行道以揚名于後世。雖其大小不同·皆屬色身邊事。縱令大孝格天·究于親之心性生死·無所裨益。所謂徒徇其迹而不究其本。況乎殺生以養以祭·俾親之怨對固結·永劫酬償不已者乎。出世間之孝·其迹亦同世間服勞奉養·以迄立身揚名。而其本則以如來大法·令親熏修。親在·則委曲勸諭·冀其吃素念佛·求生西方。吃素則不造殺業·兼滅宿殃。念佛則潛通佛智·暗合道妙。果能深信切願·求生西方。必至臨命終時·蒙佛接引·託質九蓮也。從茲超凡入聖·了生脫死。永離娑婆之眾苦·常享極樂之諸樂。親沒·則代親篤修淨業·至誠為親回向。心果真切·親自蒙益。若未往生·可即往生。若已往生·高增蓮品。既能如是發心·則與四宏誓願相應·菩提覺道相契。豈獨親得蒙益·而已之功德善根·蓮臺品第·當更高超殊勝矣。而況以身說法·普令同倫發起孝思乎。此其孝方為究竟實義。非若世間只期有益于色身及現世·竟遺棄其心性與未來而不論也。是知佛教·以孝為本。故梵網經云·孝順父母師僧三寶·孝順至道之法·孝名為戒。又于殺盜淫各戒中·皆言應生慈悲心·孝順心。于不行放救戒中·則云

一切男子是我父·一切女人是我母·我生生無不從之受生·故六道眾生·皆是我父母。而殺而食者·即殺我父母。由是言之。佛教之孝·遍及四生六道。前至無始·後盡未來·非只知一身一世之可比也。知是而不戒殺放生·吃素念佛者·豈究竟至極無加之孝乎哉。杭垣紫蔭張公·孝思無既。親沒數十年·每一念及·尚復揮涕。因念親故·專念佛名。蓋以我此色身·即親之身。我既為親念佛·親必蒙佛攝受也。其孝也·可謂兼世出世而兩全之也。而有其父必有其子。其令嗣馨谷·善體親心·篤修淨業·廣行眾善。初則徧請名賢·發揮祖母費太孺人·苦節撫孤·德鎮坤維之賢。刻其文為旌節錄。冀所以慰祖母之貞靈·而安父終身孺慕之孝思也。繼則以父常時思慕·因築一室·羅植松竹·額曰循陔小築。中供祖母之像·四壁鋪張名賢題詠。以期其父常奉顏色·而致其如在之誠也。又以循陔小築·徧求名賢題詠。一以彰其父之孝思·一以冀感發于同人。深合觀經孝順父母·奉事師長·慈心不殺。修十善業之道。既有淨業正因·必獲往生實果。然則紫蔭公之父子·及諸眷屬。雖則尚居娑婆·實皆西方極樂世界中之諸上善人也。世之欲孝其親者·可不以此為法乎哉。

佛頂山路旁造鐵欄杆碑記代文質和尚作

圓通大士·誓願洪深。法界有情·等蒙攝受。一切處普門示現·真智無方。東南海補怛名山·應迹有在。無方故逐形隨類·施同體之慈悲。有在故航海梯山·報罔極之恩德。由是歷朝欽敬·舉世尊崇。無非欲祝同康以翼郅治·消災厲以福黎元。固茲三寺鼎立·眾庵綦布。各宏祖道·共闡佛心。惟慧濟一寺·基踞山巔·名曰佛頂。紆屈數里·路由頑石以砌地。盤桓千仞·人若歷梯而登天。每至香期·來往繹絡。足履滑石·甚屬危險。前住持文正·募諸檀信·鋪以石條。即彼險道·變作康莊。雖仍巍巍陡峻·而復步步坦平·但以旁無遮護·回避猶覺惴惴。大護法大椿祝公·宿植德本·篤信佛乘。秉居塵為政之權·行即俗修真之道。適來進香·睹此景象。遂發大心·徧豎鐵欄。普令來者·登圓通場·行安隱道。得大無畏·不勞每步看腳下。獲大總持·

了知佛階在箇中。由金繩路。逢左右原。自下地宛轉扶掖。一直至山窮水盡。從茲入于佛慧。親見觀音。如斯功德。直與普門施無畏力。同體相用。當必由斯頓超十地。圓滿三覺。豈止身心安泰。吉祥萃于厥躬。瓜瓞綿延。余慶覃于後裔而已哉。

濟南淨居寺重興碑記

實際理地。了無生佛之名。修持門中。乃有凡聖之號。心體本寂。因煩惑而昏濁頓現。妄性原空。由覺照而真常獨存。是知不變隨緣。十界之升沈迥異。隨緣不變。一心之體用無殊。然此心此理。含生共具。而徹悟徹證。唯佛一人。故我世尊。示生世間。成等正覺。隨機說法。大根則直示一真法界。令其無住生心。以迄斷惑證真。小器則詳談三世因果。令其趨吉避凶。而為入道方便。雖千機並育。法無定相。而萬派朝宗。咸歸覺海。舉凡格致誠正修齊治平之道。與儒教規程無異。至于明心見性真窮惑盡之事。則儒教發揮未及。以一則隨順世情。一則直示心體。若究其本。則靈山泗水。同居一地。東魯西竺。實無二天。由是古之王臣。無不宏護。今之賢哲。悉皆研窮。以其能陰翼治道。顯淑民情。消禍亂于未萌。證本具之佛性故也。濟南為齊魯名區。文獻之邦。當唐宋法道盛時。固已梵剎相望。迄今世遠年深。人亡教弛。幾多叢林。悉皆湮沒。縱有寺宇。盡成子孫。不但當地緇素。末由聞法。兼以來往僧侶。無處安息。對鳧居士潘公守廉者。宿承佛囑。乘願再來。讀書明理。學道愛人。昔年之善政。一一載于口碑。戒殺放生。吃素念佛。近歲之修持。種種勒諸心版。其救難濟貧。護法安僧之誠。直可以追給孤而繼文正。每念末世人民。如盲無導。以為省會之地。絕無十方叢林。則高僧無緣蒞止。正法莫由宏通。其三世因果之理。一心具造之道。或幾乎息。將何以拯世俗之沈溺。登斯民于覺岸乎哉。于民國七年。與濟寧普濟庵德馨退居相商。馨師令本庵方丈健慧。赴省覓地。見東關淨居寺故址十餘畝。可作道場。其寺建于北宋。現成荒丘。僅存佛殿三楹。亦復勢將傾頹。首事欲修。苦無其力。適值慧師以募地開建叢林告。彼固素服潘公馨師慧師之德。

遂欣然奉送。且稟縣立案，以為證據。潘公以古稀高年，遂走京師。祈國務總理翼卿靳公，為之提倡。靳公即捐二千元。時潘公令嗣復，任財政總長，闔潭共捐五千元。又隨緣樂助，約六千元。遂于九年春開工，至秋落成。時值榆關田蘊山督軍，建節山左。篤信佛法，慨捐千元，極力提倡。并派代表，前往督飭，故得速觀厥成。計修佛殿，天王殿各三楹。其周圍之祖堂，伽藍殿，方丈，念佛堂，禪堂，齋堂，大門，客堂，客廳，廚庫等，共五十餘間。雖無所謂危樓迴帶，閣道傍出之概。亦可以行參禪念佛，宏法利生之道矣。至九月十九，為佛像開光，成立道場，懸掛鐘板。其焚香禮佛者，肩摩踵接。時有孺子墮井，蒙佛救護，安臥家中之異。後有老人痼疾，夢人令飲井水即愈之祥。至十年，濟寧大旱，而瘟疫盛行。羣取此水，以飲以禱。則甘霖普沛，瘟疫頓息。于是咸稱聖水，因建八角亭以覆之，特勒碑記其事。噫嘻異哉。誠之所至，金石為開。此固潘公馨師慧師之誠，發起諸人之誠，以成此道場。而眾誠相感，故佛慈俯應，以有此不可思議等事。足徵心佛眾生，三無差別。是心作佛，是心是佛。感應道交，有如影響。然寺雖成立，僧無養贍亦不能安居行道。潘公又復募金一萬二千元，存魯豐公司，按一分二釐起息。每月得洋百四十四元，以作寺中火食，及諸凡應用。則可供常住僧二十人，及挂單僧十人。後若有大慈善家，再捐巨款，則規模即可按資開擴矣。寺成之後，馨慧二師，相繼歸西。因請天目退居能和老人，暫為維持。今請兗州華嚴寺妙蓮和尚為住持。寺中修持，專主淨土。不傳戒，不應酬經懺。信心施主來寺念佛，或打佛七，以薦先靈，以祈福壽，則無拒。以淨土法門，乃一切諸法歸宗結頂之法。下手易而成功高，用力少而得效速。為如來普度眾生之無上妙道，實凡聖同登覺岸之特別法門。末世眾生，根機陋劣。修餘法門，難得實益。以一切法門，皆仗自力。唯茲淨土，全仗佛力。仗自力，須斷惑證真，非最上利根，不能現生了脫。仗佛力，具真信切願，縱最下鈍根，亦可帶業往生。二法相校，其難易遲速，奚啻天淵。所以十方諸佛，出廣長舌以讚揚。兩土聖賢，發金剛

心而流布。撮舉大要。以告同人。倘能諦信。利益無盡。施資芳名。具列碑陰。仗此功德。必得現生福壽增榮。臨終彌陀接引矣。

常明庵萬年念佛會碑記

即彼凡情。顯如來藏。以果地覺。為因地心。導六趣以登九蓮。超三界以享四德。于五濁熾盛之際。作一生圓滿之宗者。唯茲念佛一法為然也。昔立山老人。重興法雨。十有餘年。既欲退居靜室。專修淨業。因築是庵。以為己及徒輩。盡報投誠。期歸安養之所。境界寂靜。隔絕塵囂。規矩嚴肅。毫無方便。非不貪世緣。甘受淡薄。篤志修持。求生淨土者。不能住焉。前清宣統二年。值了諦師當家。有居士陳樂之。顧壽彭等。來山進香。寄居是庵。見其肅肅庵規。濟濟僧眾。遠接匡廬之蓮社。近承雲棲之淨宗。了諦師又為詳談念佛一法。事雖簡易。理極圓頓。三根普被。利鈍全收。為如來一代時教無量法門中之最上宗要。一切法門。恆沙妙義。無不從此法界流。無不還歸此法界。以故吾祖立山老人。建立此庵。用接後昆。彼等一聞。遂發大心。糾合同志數十人。人各輸洋若干圓。立一萬年念佛會。即于次年二月十九日為始。至二十五日圓滿。其夜設放施食。普濟孤魂。永為定例。一無容改。其庵將此淨資。除建會費用外。盡數置產。所收租課。充續建之法費。其有餘盈。助常住之道糧。誠恐歲久無稽。用勒貞珉。庶億萬斯年。無或廢弛。將見常明道場。香火日盛。十方檀越。信心愈隆。同入佛會。同念佛名。同生佛土。同成佛道。功德利益。何能名焉。其規矩等。詳列于後。

普陀普濟寺化身塔記

古人云。死生亦大矣。豈不痛哉。竊謂不知其由。雖痛何益。須知一切眾生。隨業流轉。受生六道。生不知來處。死不知去處。由罪福因緣。而為升降。展轉輪迴。了無已時。如來憫之。示以由惑起業。由業感苦之因緣。以及常樂我淨。寂照圓融之本體。令其了知由無明故。遂有此身。即此色身。全屬幻妄。不但四大非有。兼復五蘊皆空。

既知蘊空·則真如法性實相妙理·徹底圓彰矣。又恐或有執情固結·未能解脫。俾捨報之後·用火焚化。庶可令未離著者·速得離著。已離著者·速證法身。兼使現前大眾·悟知此身·無有真實。用彼之身·以作證明。所謂應以灰身滅迹得度者·即現灰身滅迹而為說法。焚化之制·蓋由此設。凡屬僧徒·悉皆遵行。當唐宋法道盛時·在家通人·亦多遵行·不獨唯僧為然也。普陀·為觀音大士道場。普濟法雨·為十方共住叢林·來往僧眾·實繁有徒。凡有亡者·悉用火化。而化身之窰·法甚拙樸。不但多費柴火·且致骨雜灰土。同生諸居士·宿根深厚·篤信佛法。發菩提心·行利濟事。遂仿外國之法·研究斟酌·必期合宜。特備工料·與前後兩寺·各造一座。以其形若塔·故名為塔。每塔費千有餘圓·可謂真實功德矣。塔甫成·適有往生者·不三句鐘·焚化淨盡。而骨灰悉存鐵函·了無零落灰土中者。因茲大眾歡喜·祈勒石志之。銘曰·受身之始·厥由無明。迷本真如·妄生愛情。愛情既起·幻質斯託。遂認為我·永不能覺。如來愍之·特設方便。俾彼存亡·俱離我見。身既叵得·我從何有。圓滅四相·頓空五蘊。生滅既滅·寂滅現前。真如法性·復彼本然。離幻妄相·發菩提心。回向淨土·覲光壽尊。聞法受記·證無生忍。乘大願輪·度諸可愍。令彼一切·同生西方。咸于未來·作法中王。

普陀法雨寺化身塔記

甚矣·眾生之我執堅固而難破也。祇此色身·本地水火風四大所成·而妄執為我。如油入面·永不能出。反將不居陰界·不屬凡聖之真我·全體迷背。如鏡蒙塵·莫能照鑑。故華嚴經云·一切眾生·皆具如來智慧。但因妄想執著·而不證得。若離妄想·則一切智·無師智·則得現前。是知眾生心性·與佛同儔。特因執著·莫能受用。可不哀哉。以故如來種種說法·令其了知從前妄認四大為自身相·六塵緣影為自心相之非。則常樂我淨之真身·寂照圓融之真心·自可全體顯現矣。又以身相聳然·根機鈍者·亦難了悟其妄·不生執著。迨其捨報之後·一經火化·頓成烏有。則存者亡者·皆可悉悟其四大假合

之身為非身矣。同生諸居士·宿有靈根·恪修淨行·利人心切·護法情殷。以向來之化身窰·不甚適宜·擬欲改良·殫精研究·仿外國之法而變通之·與法雨普濟各造一座。其形類塔·名化身塔。所費計千餘圓·意美法良·功德無量。銘曰·眾生迷背·非我計我。如蠶作繭·如蛾赴火。本有真我·反不顧問。四大幻質·唯此是認。如來悲愍·種種開導。兼令火化·俾全智照。既知其妄·即識其真。得無礙智·見本有身。乘此智身·回向淨土。獲無量壽·居諸補處。不違安養·徧入十方。普令迷徒·歸本家鄉。由是眾生·咸復本性。福慧圓足·續佛慧命。願此功德·普及一切。法界有情·俱登正覺。

鎮海李太夫人然燈照海記

一切眾生·具有佛性常光。舉凡明暗通塞遠近·悉皆徹照無遺。固不假日月燈明·方能有見也。無奈眾生迷昧本性·背覺合塵。致此佛性常光·變作煩惱無明。不但暗塞遠處不能見。即近在目前·若無日月燈光·雖泰山亦不能見·況其他乎。由是輪迴生死苦海·如盲無導·了無出期·可不哀哉。大覺世尊愍之·為說種種契理契機之法·使其返妄歸真·背塵合覺·以復其本具之真如佛性。又恐根基稍劣·現生未能斷盡煩惱·再一出世·復成迷昧。遂開一仗佛慈力·往生西方之淨土法門。無論上中下根·但能具足真信切願念佛名號者·則決定往生·萬不漏一。實為如來普度眾生之無上第一妙法。猶如乘大火輪·于大海中·普拯沈溺·同登彼岸。有緣遇者·幸何如之。鎮海李太夫人者·雲書之母也。宿根深厚·現行精純。篤修淨業·廣行方便。不獨母儀閨壺·德鎮坤維。實堪表率鄉閭·力護聖教。普陀懸峙大海·為觀音大士應化道場。其最高處·名曰佛頂。登峯四望·海闊天空。誠堪開擴心懷·增長智識。清光緒三十年甲辰歲·趙君馥疇·屠君景三·于此造一燈塔。俾常夜然之·以破船行迷方之險。又建三楹佛堂·令凡來此妙高峯頂者·一一親見觀音。太夫人亦為攸助若干圓。繼念此燈·原屬佛光。不但令來往船筏·不迷方向。兼復使四遠見者·憶念大士。欲供永年燈油·以淨業純熟·即便西歸。因囑其子雲書為之

設法。癸亥春。山靈欲令規模廓大。兼使後來之人。同種善根。遂假祝融之力。以撤去舊建佛堂。慧濟寺僧。復為募建。雲書遂以七年長期公債票五千圓。施于慧濟寺。指定專供燈塔燈油之費。該票利息周年六釐。計銀三百圓。俟抽籤還本時。即將此銀。用置田產。以所收租。充燈油費。佛頂常住。此燈不滅。而賢母孝子之心光。亦隨佛光常昭明于億萬斯年也。彼世之追逐聲色。揮金如土。至於父母兄弟。皆不過問者。聞雲書之風。能不愧死。余故樂為之記。蓋欲一切眾生。同以佛法之明燈。破除煩惱之昏暗。由茲共出生死苦海。同歸極樂家鄉。作彌陀之真子。為大士之良朋而已。

重修百丈大智懷海禪師塔院記

自世尊拈華。迦葉微笑。正法眼藏。涅槃妙心。遂得永傳。而西天四七。東土二三諸祖。心心相印。固已騰輝竺震矣。迨至南嶽讓下。出馬祖一。其啟迪之法。超越常格。機用無方。善巧莫喻。即彼迷情。示本覺心。不離當念。超凡入聖。如驚天霹靂。聞之則喪身失命。如甘露醍醐。嘗之則起死回生。不但如來大教。悉彰常住真心。且令山河大地。全顯法王妙體。直教舉世間形形色色。咸歸本地風光。盡宇宙法法頭頭。親見當人自己。故得會下傑出八十四位知識。而懷海禪師。實為第一。當野鴨飛去。鼻頭扭回。振威一喝。耳聾三日時。直如金像脫模。光明徧照。師子出窟。威猛無敵。遂于百丈山。大開選佛之場。以一法不立之洪鑪。鑄萬德本具之佛體。其自行化他也。則律教蓮圓修無間。戒定慧一道齊行。其隨機說法。了無轍迹。而靈光獨耀。迴脫根塵。體露真常。不拘文字。心性無染。本自圓成。但離忘念。即如如佛一段。最為親切。深慮法久弊生。嚴立清規。預為防範。殆稟佛律制。以期因時適宜耳。遂為天下叢林金科玉律。而天下師表閣。由茲建焉。其律身也嚴。作務必先眾。或有阻之。則不食。故有一日不作。一日不食之訓。其誠眾也摯。故有不昧因果一語。令彼悞道不落因果者。立脫野狐業報之身。若約實際理體而論。則凡聖生佛。因果修證。俱不可得。若據修持法門而談。則如來上成佛道。

眾生下墮阿鼻·皆不出因果之外。明理性不廢事修·則為正知。執理性廢棄事修·則成邪見。毫釐之差·佛獄立判。前百丈主人·欲拯末世狂慧之墮落·不惜現身示報。實與百丈禪師·砧錘相成·煅淬相濟。俾後之禪者·徹悟不涉因果之理·實行修因證果之事·以期究竟徹證而圓彰焉。此兩百丈之深心·學者不可瞞盱讀之也。其山屬江西奉新縣·其寺當百丈創建後·即敕賜為壽聖禪寺。憲宗元和九年·百丈示寂·壽六十六歲。穆宗長慶元年·敕諡大智禪師·塔曰大寶勝輪。塔距寺二里許·自唐迄今·千一百餘年·其法道不無興衰。賴有負荷法道之人·為之住持·故得寺塔常存·宗風依舊。清末以來·屢罹兵災·加以荒歉·以致寺無高人·塔院頽敗。民國八年·歲在己未·寺主自成師·不忍祖道湮沒·躬請先勤和尚住持·永為十方傳賢叢林。至十二年·先勤交與了然。二人係法門摯友也。同念祖師塔院·破敗不堪。乃具啟募于諸方同衣·得洋若干圓。遂將塔殿獻殿·揭底重修。而院牆僧寮·悉令完好·共用洋若干圓。餘者贖回田地若干畝·以供塔院住僧道糧。夫剝極則復·否極則泰。先勤了然二師·先後住持百丈·殆非偶然。塔院既修·欲發揮百丈道要·與寺塔興復之由·命光記之。光愧不知禪·姑就百丈故事·及現事·而直言之。俾未來諸賢哲·有所考稽焉。又自世尊入滅以後·凡諸寺宇·莫不以佛為主·而特立其殿于寺之正中。百丈立清規·幾祝釐祈禱佛誕等·皆于大殿誦經·而朝暮課誦·更不待言。自宋高僧傳·以前立佛殿·後樹法堂·訛作不立佛殿·唯樹法堂。而楊大年作清規序·遂踵其謬。不思若無佛殿·凡諸祝釐祈禱等·當于何處施行。將寺中并無一佛耶·抑供佛于偏殿耶。無一佛·則與外道無異。自居正位·供佛偏殿·以行祝釐祈禱等事·則與蔑國慢佛何殊。只此最極顯著之訛·自宋及元明清·年將近千·無人表正。俾百丈禪師·橫遭誣讎·豈不令人痛心疾首。證義記改作不立餘殿·先樹法堂·亦不成話。此乃一時急先之說·豈可以為永垂定範。故將事理略表於此·以期後賢知宋僧傳·及各藏清規序之訛。俾百丈禪師·大暢本懷于常寂光中·則幸甚幸甚。

重造小白嶺五佛鎮蟒塔功德碑記代撰

大覺世尊·視諸眾生·猶如一子。以其一念心性·原與三世諸佛·無二無別。由迷背故·不但不能親得受用·反承此不生不滅常住佛性之力·起惑造業·輪迴六道·久經塵劫·莫能出離。因茲示生世間·成等正覺·隨機說法·令得度脫。其有善根未熟·併未來世一切眾生·皆亦已作得度因緣·所謂流通經教·徧示未來。及其一期事畢·即入涅槃·以大慈悲·化火自焚·碎萬德莊嚴之法身·為八斛四斗之舍利·為令眾生·禮拜供養·增長福田·作成佛因。由是天上人間·龍宮海藏·各分舍利·起塔供養。人間一分·八國均分·阿闍世王·獨得八萬四千·供恆河中·設立劍輪·而為守護。百年之後·有其曾孫·名為阿育·統王閻浮·威德自在·承佛遺囑·振興佛法。取其舍利·役使鬼神·以七寶眾香為泥·一日之中·造就八萬四千寶塔。將欲徧布南洲·耶舍尊者·以手障日·五指放光·為八萬四千道·令諸鬼神·各捧一塔·隨光而趨·至光盡處·即為安置。凡佛法未至之處·皆置于地中。迨後法化傳通·悉皆次第出現·如育王五臺等塔是也。良以眾生在迷·不了六塵當體即是真如實相·因茲起惑造業·長劫沈淪。諸佛設教·不過就彼所迷之六塵境界·一一示其當體即空即假即中·令其轉迷為悟·識心達本。故楞嚴云·五陰六入十二處十八界·皆如來藏妙真如性。三祖云·六塵不惡·還同正覺。東坡云·溪聲即是廣長舌·山色無非清淨身。如是則見色聞聲·皆堪識心達本·況如來金口所說之經·及真身舍利·併其形像乎哉。雖此方教體·在于音聞·然其聞法獲益者·固不如見相獲益者之普徧常恆也。以故三世諸佛·無不令人建立塔廟·造佛形像。以其一經觸目·八識田中·已種成佛種子·從茲漸漸增長·畢竟得成覺道。由是歷代聖君賢相·通方哲人·多皆建立塔廟于名山勝地·令見者聞者·同種善根·此震旦塔廟之來源也。四明鄞縣東·小白嶺鎮蟒塔者·縣志·及天童寺志·皆云唐會昌初·其嶺有巨蟒·作祟肆毒·行人患之。時天童住持·厥名藏奩·滅後敕諡心鏡禪師。乃五洩之子·馬祖之孫·洵屬大士乘願示生·一

生奇迹·動人景仰·實天童開宗之始祖也。聞其妖異·即往度脫·先施以食·令身安樂·次為說法受戒·令心開悟兼有所依。所施之食·原屬有餛飩頭·以法力故·化為無量·蟒食不盡·悉變為石·徧布山間·及與地中。令其遺迹·為餛飩石·表白裏黑·形質酷肖。其蟒既受法食·又聞法要·遂得消除業障·脫離蟒身。師即依法焚化·拾其餘骨·瘞于嶺岡·建塔其上。六楞七層·高十餘丈·中藏佛像·及諸經呪·以期其蟒·仗佛慈力·速證法身·凡彼種類·皆不興作·以故名為鎮蟒塔焉。又期人天鬼神·瞻禮供養者·植菩提之勝因·結成佛之遠緣。自唐及今·千有餘年·風雨漂搖·霜雪陵轍·傾頽已半·勢將全倒。凡屬見聞·莫不嗟歎謂保存古迹·開墾福田者·何竟寂無其人耶。清末天童住持寄禪·亟欲重修·未及動工·費志西逝。繼席淨心·其志更切·以寺中工程甚多·力不暇及。今住持文質·急欲了此公案·乃與淨師·戮力同心·各出衣資·併募檀信·襄成勝事·由是緇素歡喜·隨力贊助。肇始于民國八年己未冬·告成于十二年癸亥夏·凡五易寒暑·故得復見寶塔·從地涌出。唯舊塔六楞實心·今作八楞空心·蓋擬如來眉間白毫·八楞中空·具足光明·眾生蒙光照觸·直下離苦得樂·近生人天·遠預聖流之義。于最上層·供五方五佛·取毘盧法身·位居十界極頂·具足四智菩提。又示從凡夫地·冀證佛果·必須腳踏實地·遵修道品·漸次增進·斷惑證真·直至智斷究竟·方可徹證本有法身常樂我淨四德實義。頂用銅鑄·作瓠（盧瓜）式·底節中空·內貯佛菩薩像·及大藏經目·併大乘經呪·以表一體三寶·三德秘藏·不離當處·究竟圓彰。又經是如來法身舍利·像屬如來報化二身·冀瞻禮圍繞·供養讚歎者·于未來世·同證如來所證功德。中上二節·實以淨沙·用鎮其顛·其級七層·高十餘丈·巍巍然為覺道之宏標·蕩蕩焉為迷途之良導。塔之周圍·高築院牆·庶蕪穢不入·而易為守護。塔之前面·建屋數楹·安一淨行頭陀·長時奉侍香火。共用銀圓五萬有奇·功德芳名·另刻于石。以此功德·恭祝國基水固·治道遐昌·佛日增輝·法輪常轉。凡倡首經營·出資運力·併現在未

來·見聞瞻禮·竭誠盡敬·供養讚歎之人·同皆惑障冰釋·吉慶雲臨·富壽康寧·備膺厥躬·戒定慧道·悉具當念·業盡情空·見本來之面目·福足智朗·證常住之法身·生作娑婆自在之人·沒入蓮池清淨之會。如是則庶可滿淨文二師造塔之本願·而亦不負出資檀信贊成之盛心也。因敘緣起·用勒貞珉。

金陵妙悟律院垂裕記

如來大法·以真如實相為體。此體生佛皆具·在佛不增·在生不減·但以佛則究竟證悟·生則徹底迷失·致使升沈迥異·苦樂懸殊耳。如來愍之·隨順機宜·說種種法·令其返妄歸真·背塵合覺。其法之大宗有五·曰律曰教曰禪曰密曰淨。律者佛身·教者佛語·禪者佛心。佛之所以為佛·唯此三業。眾生果能依佛律教禪以修持·則眾生之三業·遂轉而為諸佛之三業。三業既轉·則真如實相·自可親證矣。猶恐障深業重·不易成就·故以陀羅尼三密加持之·則轉識成智·轉煩惱成菩提矣。又恐根器或劣·現生不能了脫·再一受生·難免迷失·則生死輪迴·窮劫莫出·由是特開信願念佛求生淨土一法·俾上自等覺菩薩·下及逆惡罪人·同于現生·往生西方。則上聖速成佛道·下凡得預聖流·此如來撫育一切九法界眾生之宏規也。然宗雖有五·道本一貫·五宗圓具·方可隨機各宏一宗·便可上續如來慧命·下啟羣生昏蒙。否則單輪隻翼·何能行遠飛空乎哉。律為教禪密淨之基址·不持律·則教禪密淨之真益不得·如修萬丈高樓·地基不堅固·則未成即壞。淨為律教禪密之歸宿·不念佛求生西方·則律教禪密·皆難究竟。以淨土法門·乃十方三世諸佛·上成佛道·下化眾生之成始成終法門。所以華嚴證齊諸佛之等覺菩薩·尚復以十大願王·回向往生西方·以期圓滿佛果。況其餘一切聖賢·與未斷見思之凡夫乎哉。妙悟律院·向以持律念佛為修持。住持安靜和尚·切恐後人昧厥宗猷。則興此院之明禪老人·及己之一番苦心·便歸滅沒。祈（光）敘述大意·以為後來住此院之大眾誡。按此院·乃前朝古剎·清咸豐時·已敗壞不堪。兵燹後·只在破屋三間。明禪老人不惜心力·為之興復。

又得安靜師之繼述·則成一淨業道場。但以產業無多·不能普納海眾·而朝暮課誦·經聲佛號·固與諸方叢林·了無有異也。當最初建立時·地痞輒來攪擾·意欲侵佔·明老持之以忍·遂得消其戾氣。後猶佔去院右若干地·不久則家敗而不能有·售與他人·其人亦不能有·乃售與本院。因開溝渠·掘出鉢鈴等法器·知道場地基·龍神守護·佔者俱不吉祥·復得歸還原主耳。愚人不知因果·每欲侵佔寺產·而不知其龍天懷鎮·冥冥之中·折福折壽·所損實重也。刻論因果·俗人尚輕·僧人更重。但俗有身家·其報易見·僧止一己·其報難知。凡僧之住此院者·各須真為生死·發菩提心·嚴持禁戒·篤修淨業。如是則生為世間福田·沒入蓮池海會。倘或飽食終日·無所用心·則其人格·便成下流。若更破齋犯戒·敗壞佛門·則成魔王眷屬·地獄種子矣。此院乃明安二師·及施主心力所成·安住其中·不肯修持·便與侵佔常住無異。古德云·十方一粒米·大如須彌山·吃了不修道·披毛戴角還。若更身主其事·暗相偷竊·則一氣不來·直墮阿鼻地獄·上火徹下·下火徹上·經百千劫·常受焚燒·莫由得出·豈不大可哀哉。安靜長老·痛念法弱魔強·欲振興僧眾之奮修心·欲消滅俗眾之侵佔念。冀彼俗則五福備膺·克昌厥後·僧則三學圓明·丕振宗風。故令作此垂裕之記·以期此院永興無替·常宏法道·則法界眾生·同蒙利益矣。

甲壽徑緣起碑記

四明多佳山·而太白為最·天童選佛場·適居其中。自西晉惠帝永康元年·義興祖師·在此結茅潛修·感太白星變為童子·以供役使·從茲成大道場·故名其山曰太白·名其寺曰天童。至唐而法璿心鏡等師·宏禪宗直指之道·愈加恢闊。自後千三百年來·法道常興·宗風不墜·至今猶推為禪宗首剎·蓋以負荷法道·代有其人故也。誠可謂得最勝之地·方可宏最勝之道·建非常之事·必須待非常之人·地靈人傑·兩適其會·殆有大因緣·非偶然也。由天童寺左轉里許·即為玲瓏巖·其峰巒奇峭·如削如畫·凡騷客遊人至此·無不興遺世脫塵

之想。自此曲折而上·經大溪流·小溪流·至磐陀石。再上至悟心洞·飛來峰·拜經臺·觀音洞·善財洞·路幾二里·固已經數次曲折矣。而極目千里·確有登東登泰之致。況乎遙觀大海·天水冥同·令人心胸開廓·似非人間世者。然路徑未闢·登陟殊艱·頗為遺憾。夢坡居士周慶雲者·宿根深厚·現行清高·世德相承·熱心公益。於癸亥秋·壽值華甲·遂來天童·作諸佛事。以祈先亡祖禰·同生西方·現在眷屬·俱增福壽。一日遊玲瓏巖·見其山境勝妙·大暢所懷·而路徑崎嶇·深拂興意。遂慨然發心修築·託其友方君佩紳經理·淨心退居督工·以十閱月告竣。自玲瓏蓬前起·至善財洞止·計一百五十丈有奇·需銀一千一百五十餘圓。又建石坊一座·需銀四百圓。乃名其經與坊·皆曰甲壽。過大溪流·路傍有泉·亦名之為甲壽。竊謂甲者·首也·既云甲壽·當無有超出其上者。以人生百年·如日過隙·留此遺迹·以伴名山·冀彼來者·同皆著眼。或謂世間諸法·生滅無常·稱為甲壽·豈即能不生不滅耶。須知佛法·無所不在·何得離世間法·以說佛法。果知見此坊·行此徑者·則此坊此徑·即不生不滅無始無終之佛法。昔世尊至因地布髮掩泥處·指曰·此處宜建一梵剎·時賢于長者·持標於佛指處插曰·建梵剎竟·即時諸天·散華讚歎。且道建坊築路·與插標建剎·是同是別。若道是別·則古今豈有二致·若道是同·則何得斥為生滅。夫法無生滅·生滅在人·有具眼者·見此坊此徑·當必直下親見自己本來面目·其為壽也。盡未來際·亦無有窮。其或未然·且依經所說·生信發願·念阿彌陀佛·求生西方·則仗佛慈力·速得親證·甲壽之義·如是如是·具眼者當不以吾言為謬也。

九江居士念佛林蓮社緣起碑記

念佛一法·乃如來一代時教中之特別法門·實為十方三世一切諸佛·上成正覺·下化眾生之成始成終無上要道。今特立以為林者·緬維遠公東林結社·開念佛之先聲·了義居士·深知此法契理契機·遂於千餘年後·極力提倡·重興蓮社·追彼芳蹤。雖知自他智慧淺薄·迷惑深厚·而不容已者·以人同此心·心同此理·倘能認真提倡·自

可同聲相應·固無所論其古今難易也。因茲不辭勞瘁·策厲進行·不遺餘力·以冀遠近見者聞者·同皆興起·提倡舉行·以至徧周寰宇·豈區區為此一處計乎。然宏揚佛法·道場為本·初則借寓他庵·不但不能持久·而且地址偏僻·往來不便·遂於癸亥年·捨己住宅·為念佛林·其願力之勇毅宏深·實為罕有。其宅四重·臨街一重·向租米鋪·年得二百餘元·以供林中零用。二重作招待·及會計之所。三重作大殿·中供西方三聖接引像·以常時禮拜瞻仰·臨終自易於感通也。四重為淨土延生堂·備列捐款各人父母牌位·以期存則福增壽永·沒則直登蓮邦。且各有樓·以為閱經坐禪之所。居士既發此心·同社之人·悉生景仰·各隨其力而為培植·或造佛像·或置莊嚴·及諸供具·凡道場所應用者·罔不備焉。從茲修持講演·既得其所·將見善信源源而來·遠近各各相效·於以祛凡情而了佛性·挽劫運以致太平·生為聖賢之徒·沒預蓮池海會。庶不負世尊說法·歷代諸善知識宏揚·及了義居士捨宅提倡之一番大慈悲心·與自己即心本具之真如佛性也。原夫淨土法門·理極宏深·唯佛與佛·乃能究盡。勿道博地凡夫不能測度·即久證法身之菩薩·亦不能盡知。以故世尊說此法門時·十方恆河沙數諸佛·出廣長舌·同聲讚歎·普令眾生·同生信心·且深歎釋迦世尊能為甚難稀有之事。世尊亦自謂我於五濁惡世·行此難事·得阿耨菩提·為一切世間說此難信之法·是為甚難。而普賢菩薩·令華藏海眾·同以十大願王·回向往生·非成始成終之要道·能如是乎。是故千經萬論·處處指歸·往聖前賢·人人趣向·如羣星之拱北·眾水之朝東也。念佛之人·能如是信·若不往生者·日月當逆行·天地當易位矣·有是理乎。願見聞者·同皆勉旃。

五臺山秘魔巖中庵石窟接引佛裝金記

五臺·為文殊菩薩·與萬菩薩·歷劫常住之聖道場地·華嚴經名為清涼山。蓋即此凡聖同居之地·在菩薩分上論·即是常寂光淨土·圓離一切煩惱熱惱·究竟清涼也。秘魔巖秘密寺·乃木叔和尚。以木叔直示祖師西來意處。凡聞名者·無不生景仰冀慕之心·況身歷其境

者乎。去寺不遠。曰中庵。旁巖建立。其巖高數十丈。其巖窟頗寬大。高深。就中塑一接引佛像。高二丈餘。極其圓滿莊嚴。蓋欲來者同禮慈容。同念聖號。臨終同蒙接引往生西方耳。思泰大師。未出家前。至此禮佛。發願為佛裝金。後出家受具。遂募諸善信。以了此願。共用銀二百餘圓。祈予略將生佛同異之致。彌陀普度之慈。為之發揮。以示來者。竊惟吾人一念心體。與佛無異。由迷而未悟。故其心相。則天淵懸殊也。然相雖懸殊。體仍無異。如太虛空。虛明洞徹。了無滯礙。由雲霧塵霾故。便成晦塞昏濁之相。須知即此正晦塞昏濁之時。其虛明洞徹之體。仍復如故。是以諸佛憫眾生具此真如佛性。由迷背故。反為起惑造業受苦之本。因茲多方引導。令其返本還元。求其下手易而成功高者。無如信願念佛求生西方也。以眾生信願持名。感彌陀慈悲攝受。故無論上中下根。同得仗佛慈力。往生西方。校比仗自力斷盡煩惱。方了生死者。不可同年而語矣。以故佛為眾生現種種身。以作得度因緣。須知此像。即佛真身。以眾生機劣。見之為像。以佛而論。則身土不二。理智一如。何一法非佛真身。而況此萬德莊嚴之妙像乎。蒲衣童子云。此山一草一木。皆具文殊智慧德相。豈此佛像不具如來智慧德相乎。但以眾生機劣。應以像身得度。特現像身而為說法耳。果能深信此理。不但此像即是真佛。而六道一切眾生。一一皆是真佛。當憫其愚迷。多方開導。俾其同念佛名。同生佛國。待其見佛聞法。證無生忍時。方知自己本來是佛。今始親證。彼以強陵弱。殺彼之身。悅我之口。及互相競爭。殺人盈城盈野。不但不生痛傷。而且以為得意者。其迷背罪過。無可為喻。其將來受苦。何其有極。思之。誠可畏也。故謹以此理為全體是佛。而徹底迷背者告。冀其立即醒悟。勿負如來現身接引之慈。則國家幸甚。眾生幸甚。

岳運生居士往生記

一切眾生。皆有佛性。皆堪作佛。但由迷悖自性。以致輪迴生死。無有了期。如來欲令復本心性。隨順機宜。說種種法。然欲仗自修持力。於現生中。做到真窮惑盡。以出輪迴而了生死者。末世實難多見。

唯修淨土法門·無論上中下根·老幼男女·但具真信切願·以至誠心·念佛名號·求生西方·兼以諸惡莫作·眾善奉行·待至臨終·即得蒙佛接引·往生西方·則萬不漏一·以仗佛慈力·獲此巨益·如乘輪船以渡海·非自己本事能然也·以故歷代諸菩薩祖師善知識·悉皆極力提倡此法·以其是了生死之捷徑·成佛道之要法故也·岳運生居士者·步雲之父也·名泰元·字運生·事親至孝·樂善好義·天性忠厚·無所適莫·步雲於數年來·頗於佛法·生正信心·吃素念佛·唯誠唯謹·因勸其父母·同皆吃素念佛·求生西方·并以顯淺易解之淨土書·為之解說·令其常看·其父遂知自心本具佛性·但以惑業障蔽·不得受用·幸有此仗佛慈力法門·俾我等少善根劣機眾生·於現生中·即得橫超三界·高預九蓮·何幸如之·從茲心心憶念·冀遂所懷·至今七月初·略示微疾·初八日早起·念佛畢·囑步雲速備衣棺·吾將去矣·待衣棺備齊·乃沐浴著衣而臥·步雲戒其家人·切勿哭泣·令失正念·同聲念佛·以助往生·又勸其父·隨聲心念·雖不聞聲·其口輒動·久之遂止·蓋已去矣·又復念三小時·方始哭泣·而其父面帶笑容·室浮異香·三日入殮·相貌如生·其為往生·可決斷矣·步雲日與家人·靈前念佛·以冀蓮品增高·無生速證·藉報劬勞之恩·以盡人子之分·又步雲以才小職卑·薪水無幾·仰事俯畜·頗形拮据·向蒙其表叔茅少甫將軍·貼補所需·此次衣棺葬費·皆係少甫所出·少甫公正廉明·清風高節·忠於國而孝於親·推其遺愛·故能視步雲如子·而步雲感其悃蒙·故亦視少甫如父·步雲吃素之因緣·實由少甫而始·少甫若能由步雲而篤修淨業·吃素念佛·以期生入聖賢之域·沒歸極樂之邦·則相得益彰·兩全其美矣·因并記之·以為世勸·

汪含章夫人往生記

道之在人·如水之在地·無處不有·苟不加穿鑿之功·則其水決難發現·眾生心性·與佛無二·由無明錮蔽·致佛性功德·莫由顯現·故華嚴經云·奇哉奇哉·一切眾生·皆具如來智慧·但因妄想執著·不能證得·若離妄想·則一切智·自然智·即得現前·如來一代所說·

皆為對治妄想執著之法藥。而念佛求生淨土一法。尤為圓頓直捷。以其以果地覺。為因地心。故得因該果海。果徹因源。自法流震旦。一切四眾。由念佛而往生西方。徹證本具佛性。以圓成覺道者。不知有幾千萬億也。汪含章夫人者。江易園居士之德配也。宿根深厚。賦性淑賢。其事父母。奉翁姑。相夫教子。律己持家。皆足為閨閣法。而且居心仁慈。故於惠施貧乏。救放生命。每每行之。此諸善舉。悉由勤儉而得。使其好逸妄費。將有自顧不暇之慮。況能濟人利物乎哉。易園多年職任教育。唯欲培植真正人才。不惜心力。為之講授。積勞成疾。於民國八年。臥病不起。醫藥罔效。勢甚危險。有友人以息心念佛相勸。漸獲痊癒。既又徧閱佛經。方知佛為大聖人。其教有不可思議之事。且悲昔之不知。幸今之得聞也。於是勸其父母。與其夫人。并及兒女。同修淨業。由是夫人虔持佛號。兼誦彌陀普門大悲等經呪。決志求生西方。去歲十月有疾。當痛苦時。輒發大願。願速往生。見佛聞法。證無生忍之後。乘佛慈力。回入娑婆。度苦眾生。心極懇切。月晦之夕。語侍疾者。樓上佛堂。木魚聲甚清亮。屋牀壁間。皆金字經。光明照耀。汝曾見聞與否。又三日前。其姑夢金光滿室。光中菩薩。不計其數。意謂其媳之病。當速痊癒。須知此皆淨業純熟。淨境現前之象。至次日十一月朔未時。結跏趺坐。念佛而逝。逝後神色端嚴。了無死相。通身悉冷。頭頂猶溫。先時兩腿腫脹。不能動屈。及至將逝。遂如平時。故得跏趺而逝。如入禪定也。易園率其兒女。并諸道友。至誠念佛。助其往生。過五句鐘。方始安置。設祭待客。概不動輦。村人欲送公祭者。易園止之。令每日來一班人。念佛一期。約二句鐘。一則免人虛費。二則實益亡人。三則曲引諸人。同種善根四則冀開風氣。普播佛恩。實為喪事最善新例。凡有信心者。各當依行焉。殯殮之後。易園以書寄普陀法雨寺。并匯百圓。祈光相宜為作佛事。以祈未往生則即得往生。已往生則高升蓮品。光令念佛堂十六人。打一佛七。又為開示念佛法門之利益。與易園居士之真誠。諸師聞之。悉皆竭誠盡敬。至三七日。其姑祝曰。媳逝多日。生西也未。

願託夢見告·以慰我心。是夜其子有朋·夢信報紛至·乃取一信·往樓上佛堂看。見佛堂中懸一大燈·光明四徹·遠逾電燈·開函見畫一張·中有大紅蓮華·華有臺座·華下列小字兩行·不復記憶·周圍有眾多小華·華下之水·其色如銀·此日即法雨佛七圓滿之日也。得此數徵·可知決定往生。夫眾生之心·與阿彌陀佛之心·覲體相同·若以信願憶念相感·必致彌陀慈悲誓願攝受。故此間發心念佛求生西方·西方七寶池中·即生一朵蓮華·倘精進不退·則其華漸見廣大·待至其人臨終·佛與聖眾·即執此華·接引往生。宋荊王夫人·篤修淨業·姬妾使侍·無不率行·有一姬妾·無疾化去·夫人夜夢亡妾·殷勤致謝。又引其西行·見一寶池·其量廣大·中一大華·光明殊勝·妾曰·此夫人生處也·其中周圍所有之華·皆蒙夫人教·及展轉相教以發心者。夫人醒已·悲喜交集·未幾·值誕生日·念佛立化。有朋所夢·與此相仿·但汪夫人無荊王夫人之功夫·及化導之權力·故其境遠遜。而有朋未到淨業純熟之時·故只見其畫·不能親見其境。以如是因·感如是果·因不虛棄·果無浪得·於此益信。願見聞者·各共勉旃。

徐母楊太夫人生西記

一切眾生·皆有佛性·皆堪作佛·固無論天人修羅鬼畜地獄·況男女貴賤·智愚賢否乎。其升沈六道·輪迴不息者·由迷之淺深·與業之善惡·以為因緣·而一念佛性·固未嘗因此或有增減也。以迷而不知·不但不得受用·反承此佛性功德之力·作起惑造業·因業感苦之本。豈不大可哀哉。如來愍之·令其返迷歸悟·斷惑證真·以迄親證本具佛性而後已。又以眾生無力斷惑·縱有修持·不能現生即了生死·再一受生·多皆迷失·則盡未來際·解脫無期矣。於是以大慈悲·特開一信願念佛求生西方法門·俾一切若凡若聖·同於現生·仗佛慈力·了生脫死·校彼專仗自力者·其難易遲速·天淵懸殊也。以故自古迄今·緇素四眾·修此法門·往生西方者·不勝其多·即近時亦常見之。安徽（石隸）縣徐母楊太夫人者·徐居士國治之生母也。其性情孝慈柔善·明敏果決·事父母·事舅姑·相夫教子·持家處事·一

一皆悉堪作閨閣典型·女流師範·方之古烈女母儀·賢仁·明智諸傳·殆無愧焉。幼即奉佛·老而彌篤。其子三·曰國華·國鈞·國治·各受職於政商二界。國治在天津·欲長侍膝下·於民國十年·迎養至津·遂持長齋·受優婆夷戒。從茲念佛益精進·頗有瑞徵·恐不求一心·專希瑞相之愚人受病·故不錄。是秋·安徽水旱奇災·省長電調國治襄辦賑務·以八年在京·辦有成績故也。國治不忍遠離·夫人責以大義·促令速去·以救災黎。國治在皖年餘·夫人有病·不許書信言及·恐遠道來省·致誤賑務·並囑國華國鈞勸募·以己私蓄·傾囊相助·蒙大總統題頒匾額·與慈惠徽章。十一年賑務畢·皖憲仍繫維國治·乃復迎養皖垣。以年已七十有四·精神衰頹·親戚中有勸開齋者·夫人曰·我寧茹素而死·不食肉而生也。至今春·病日篤·而神智清明·念佛不輟。謂國治曰·余於世事·艱苦備嘗·故無戀慕·心中唯有念佛一事而已。又曰·每一發熱·痛苦異常·一想到西方極樂世界·則頓覺清涼矣。二月廿一·命請僧來寓念佛·以助往生。令將己衣物·盡行變賣·供養三寶。問國治曰·何日去最好·國治答以後天是齋日·最好。歷數時曰·余已見釋迦牟尼佛·及在津所供之佛菩薩·何獨不見接引佛乎·國治曰·時至則見矣。次日·仍復隨僧念佛·至廿三黎明·念佛僧福海師曰·夫人神志氣象如常·一二日內·尚不能去。至巳刻·國治請一接引佛供牀前·曰·阿彌陀佛來矣·夫人聞之·生大歡喜·起坐瞻視·高聲念南無阿彌陀佛數聲·即結印含笑而逝。國治與諸師·及眷屬·猶高聲念佛三句鐘·始舉哀·及沐浴換衣。香氣馥郁·有友來吊·於門外即聞之·歎為稀有。三日入殮·面貌比生時更加光彩·頂猶微溫·四肢柔軟·以數珠置手中·乃屈指握之。猗歟懿哉·若夫人者·可謂宿根深厚·現行精純·又得其子國治·多方輔助·故令淨業成熟·得遂往生之願。世之不念佛者不必論·即志心念佛者·其子女多皆於將終時·號哭洗濯換衣等·俾彼既生悲傷·又生瞋恨·遂致打失正念·仍復永劫輪迴於三途六道中·莫之能出。彼猶自謂為盡孝·不知誤親往生之罪·較殺親為更甚·而舉世不知·良可悲傷。

國治法母慈仁奉佛·故長齋學佛·屢辦賑務·悉皆竭盡心力。今夏來山·以夫人行狀見示·祈為作記·以為後世子孫遺範。余以固陋冗忙辭·後復函祈·因約略敘其平生·而於末後事實·稍加詳悉·冀世之為人母·為人子者·咸取法焉。

陸西林居士感應記民國十五年孟秋

觀音大士·恩周法界·隨類現身·尋聲救苦·多有深蒙加被·而不自知者。今夏五月·以所印之觀世音菩薩本迹感應頌·寄蘇州西林居士陸壽慈。彼閱至第二卷救苦門·不禁有感於中。方知幼時難地獲生者·皆大士慈力加被也。遂略敘其事·函致于光云·予家太倉·少孤·賴祖母寡母教養。母持觀音齋·常誦觀音經·大悲咒。咸豐十年·予年十四·值奧匪屢陷各城·從母胡太君·挈吾家三口居鄉間伊宅·未幾城陷。予攜篋有大悲懺·從母之妣張太君·命予鈔其呪文·由是記誦不忘·日念若干徧。及從母他徙·即依三圖毛姓親戚住。至秋·賊大出·肆掠焚殺。一日午餐·適賊至。祖母年高不能逃·予隨母逃向後園竹叢中·賊持矛後追·予母子急跳于河·適有樹根·且捉以待·見賊向竹中亂戳一陣而去。聞背後人聲·回顧見數賊立河干·搖旗呼哨·若絕不見吾母子者·少選賊去·乃出。及今思之·猶不勝惴惴焉。次年十月·將絕糧·貸錢千四百·雇船往璜涇訪族祖竹樓翁。未至而日已暮·船夫推予上岸·并擲所攜物於岸而去。日暮途窮·無可為計·不禁痛哭。村媪袁太君憐之·令宿其家。次日命其子伴予謁竹樓翁。翁固貧士·急公好義·有聲庠序·聊借行醫·以期餬口。一見甚歡慰·許為設法·令多待幾日·遂居袁氏月餘。及翁資籌妥·送登海船·因到上海·承親戚引至南門外翠微僧舍·時李相國統兵駐此·得由庸書以進。太平後遷居蘇州·勉成家業·得免為溝中胔·幸哉。感念從母·袁媪·及族祖之恩德·不啻生死肉骨·終身不敢忘·猶不知經呪之感應也。今讀大士感應頌諸事迹·始知脫離鋒鏑·每遇急難·輒逢善人·皆由吾母持齋誦經·感菩薩大慈悲神力覆護之所致也。普門品云·心念不空過·能滅諸有苦·於苦惱死厄·能為作依怙·信然。爰追述之·

冀一切善信至誠念菩薩名·及觀世音經·大悲神呪·自可逢凶化吉·遇難成祥·以及業消智朗·障盡福崇·生入聖賢之域·死登極樂之邦云。願法師愍我愚誠·作感應記·附入文鈔·普令同人·咸生正信·共沐慈恩。夫西林居士·宿植德本·現行淳淑·多年以來·長齋奉佛·修持淨業。年已八十·精神強健·遇有公益·雖數里遠·皆悉步行·人力車等·概不肯乘。目力甚好·能寫小字。光四月至蘇·數來談敘·其謙卑自牧·為現今所無。彼自幼屢蒙大士冥垂加被·故有今日·然猶未徹知其所以然。則世之受慈護之恩而不知者·蓋多多也。譬如杲日·普照萬國·盲人雖荷日光生成·以未曾親見光相·遂謂為無·則其負照臨之恩也大矣。愍世愚迷·錄以為記。

烏尤山寺新建藏經閣記

佛法大無不包·細無不舉·凡十方世界之大·一念心性之微·淑世善民之嘉謨·超凡入聖之懿範·無不徹示原始要終所以然之極致。其道大理微·文深義廣·欲闡揚其旨趣·則罄海墨而莫窮其妙·若玄會其圓詮·則覓一字而了不可得·雖聖人有所不知·豈凡情所能測度。是以舉行其法·天地鬼神悉無所違·故古今首出庶物出類拔萃之人·莫不殫精修持·極力流通·以期自他同得實益焉。綜舉如來一代教典·分為三藏·藏者·深固幽遠·無窮無盡之謂。凡佛所說大小乘經·名為經藏·凡佛所制大小乘律·名為律藏·凡菩薩聲聞所著釋經宗經諸論·名為論藏·此皆自佛國請梵本至此土翻譯者·約五千餘卷。自大法東來·諸宗崛起·代有高人·或著疏以釋經·或宗經而造論·以及種種語錄傳記·凡屬宏揚法道之著述·皆續之於後·名為續藏。然古德著述·類多遺軼·入藏者乃百千分之一二耳·而其多已至二千餘卷·況未入藏而舉世流通者·更難悉數也。巍巍義山·洋洋法海·隨人資稟而為研窮·莫不皆得見真空而徹法源·以復其本具之佛性焉。烏尤山寺者·西蜀著名之勝地·觀音現化之道場也。自唐惠淨上人開山以來·歷千餘年·宗風不墜。雖琳宮紺殿·稍遜往昔·而乘戒俱急·竭誠禮誦·今昔固無二致·非所謂地靈則人傑乎。傳度大師·住持此

山·凡百廢墜·漸悉修理。既建彌陀殿·以為專修淨業之所·又建此閣·用供所請頻伽書冊藏·以為研究佛法之據。其藏字小·不利老人·擬後有大施主·當入都請梵本大藏·以期普得讀誦而研究焉。其為法為人之誠·於此可見其概。其閣五楹兩層·備極莊嚴·所費約三千數百圓·皆遠近檀越感度師之德·而歡喜布施者。工成·致書於光·命為之記。竊惟一大藏教·義理無盡·而法不自宏·宏之在人。譬如大富長者·庫藏眾多·設使其子不知·則無從得其受用·殆與貧賤人子·了無有異。倘能知之·則用以自奉·并以周濟一切·無不稱己所欲·而悉充足·其藏仍復不減絲毫·以此寶藏·是無盡藏·取之不盡·用之不窮·盡未來際·無或罄竭。所願一切四眾·同皆探此寶藏·以自利利他·則燈燈相續·明明不絕。庶不負如來說經·諸祖宏法·度師建閣·檀信欣助之一番至意矣。凡我同倫·各自勉旃。

烏尤山普同塔記

眾生一念心性·與佛無二·由妄執故·遂成天淵懸殊·如來愍之·令修四念處觀。一觀身不淨·二觀受是苦·三觀心無常·四觀法無我。此觀若熟·我執即破·我執既破·法執亦亡·見思二惑因茲而斷·便可以超凡入聖·了生脫死·往生淨佛國土·修習菩薩行願·以期上成佛道·下化眾生而後已。其有根機陋劣·現生未能如是者·待其死後·火化其身。俾彼了知五蘊本空·四大非有·一靈真性·徹底圓彰·既不屬於見聞覺知·亦無所謂我人眾壽·庶解脫乎業累·以親證夫真常。是以古之在家通人·多皆依此送終·不獨僧眾為然也。以其既令亡者得其解脫·又令存者悟其本空·其利益殊非淺鮮。既化之後·設道德高超者·必有堅固不化之舍利。即無舍利·其燼餘之朽骨·悉安置於普同塔中·亦若生居叢林·參隨海眾·凡聖同居·藉資薰陶。靈骨既多·必有神超淨域·業謝塵勞·蓮開上品之華·佛授一生之記者。與之同居·如蠅附驢尾·亦可直達千里。亦如水歸大海·悉舍本名·同一鹹味矣。此普同塔之所由來也。嘉定烏尤寺·自唐惠淨大師開山·至今千有餘年·歲月既久·其普同塔亦已坍塌破壞。幸傳度大師·住

持其中·力振蓮宗·既令存者修淨業以同生西方·又欲亡者得樂所以共入海會。用是募諸善信·以成其事·命光作記·以發揮其義意。爰為頌曰·眾生受生死·皆由執有我·因茲起三毒·如蛾爭赴火。試觀念未生·我究居何所·即令既生後·我究屬甚麼。既不屬根身·亦不屬識心·以根無所知·識心因物移。眾生不了故·逐妄而迷覺·認此妄想心·常受生死縛。如來垂慈愍·令觀我本空·既知我空已·諸法盡消融。况復經火浴·四大悉分散·五蘊原無有·我從何處現。從此證無生·真我方覲面·普願法界眾·同作如是見。

創建菩提精舍緣起碑記

淨土法門者。十方三世一切諸佛。上成佛道·下化眾生·成始成終之法門也。以如來所說一代時教·種種法門·皆須修持功深·親到業盡情空地位·方可了生脫死·超凡入聖。若惑業未盡·則生死輪迴決定莫出·縱有修持·只得世福·及作未來得度之緣種而已。此係仗自力以了生死者之難也。淨土法門·則以深信切願·持佛名號·求生西方。兼以敦篤倫常·恪盡己分·諸惡莫作·眾善奉行。以己信願·感佛慈悲·感應道交·故於臨命終時·即得蒙佛慈力·親垂接引·往生西方也。固無論惑業之有無·功夫之淺深·但具真信切願·雖罪業深重者·尚能出此三界·登彼九蓮·况戒善齊修·定慧均等者乎。此係全仗佛力·兼仗自力以了生死者·故於一代時教法門之中·名為特別法門·不得以通途仗自力法門並論也。良由以果地覺·為因地心·故得因該果海·果徹因源。以故千經萬論·處處指歸·往聖前賢·人人趣向。以其為了生脫死之捷徑·超凡入聖之妙法故也。溯自大教東來·廬山遠公·創開蓮社。與僧俗一百二十三人·精修淨業·咸得往生。自後代有高人·為之提倡·而天台·清涼·永明·大智等·其發揮闡揚·尤為不遺餘力。由是蓮風徧及中外·因茲出五濁以預海會者·又何可以算數譬喻而得知其數哉。近來世道人心·愈趨愈下·凡懷憂世之心·欲為救援者·莫不以歸心佛法·提倡因果報應及戒殺護生·信願念佛·求生西方為志事。傅裕齋居士·宿植德本·性行淳和·以

職任商業·未知佛法。去歲訪友至杭·夜宿常寂光蘭若·聞眾僧念佛聲·直同甘露灌頂·醍醐沃心·慶快之忱·非言可喻。因茲觸動宿根·即欲與同志·隨分隨力修持此法。乃與丁甘仁·倪大椿·譚步韶·嚴子良·孫良臣·傅裕經·傅庭芳·沈晉鏞·金益如·林雙泉·陳載峯·莊海濤·李述初·吳祖昌·譚子臨·譚石卿·譚海秋·譚竹馨·羅稚雲·謝崇華·田玉樹·傅夢弼·譚肇貴等商·擬於杭州西湖·建一精舍·以作現在隨力修持·老來專心辦道之所·僉稱曰善。遂購地建築。不二年而工竣·因名之為菩提精舍。其基地二畝六分七釐·共為兩進。前為大殿·五間·中供西方三聖·旁供十八羅漢·以作念佛禮誦之所。後閣五間三層·上層三間·中供三聖尊像·旁供二十四人祖先牌位·以顯會預蓮池·常侍彌陀·即得親證無量光壽之體用·不生不滅之佛性。其前後次序·悉以當人之年齒為準。兩旁及中層·分裝房間·以作諸人靜修之所。下為客廳·旁作養心堂·以備高人傑士暫時憩息。其宗旨大綱有五。一本精舍·原為社友各有職業·不能常住專修·因禮請真心辦道之戒僧七位·常年修持·每日二時課誦·三時念佛·以為諸社友乘暇來此修持之嚮導。衣單食用·通歸社友攤任。二本精舍·乃二十四人共同建立·共同經管·將來繼管之權·每人只傳一房·須擇其性質與佛法相應者·其餘子孫·概不過問·以免支派蕃衍·無處安居·及人各異見·或致紛爭耳。三本精舍·原為自修而設·與寺廟性質各別·不得應酬社外人經懺佛事·即逢年節·亦不任人燒香·唯社友或有祈禱·或有追薦·則無所礙。四本精舍·以專修淨業清淨持戒為主旨·葷酒不許入門·凡下碁打牌·以及與佛法相違之事·一概禁止·凡諸社友·各宜自勉。五本精舍·原為社友靜修而設·其居住日期·隨己心意·唯不得攜帶女眷·及小孩等·設或家眷欲來瞻禮·固無不可·但須即日便去·決不許女眷住宿·以期無妨清修·息世譏嫌·俾菩提二字·得以光大而擴充之·則為幸大矣。綜此僧俗修持功德·上祈各人歷代祖宗·現生父母·消除無始惡業·增長殊勝善根·預蓮池之海會·證本具之法身。又祈凡住此念佛諸師·及各社友·與

諸眷屬·三障冰消·五福雲集·生入聖賢之域·沒歸極樂之邦。又祈見者聞者·各各效行·共轉凡心·以成聖智·則禮讓興而兵戈永息·忠恕起而物我同觀。庶天下太平·人民安樂·唐虞盛世之風·便可見於今日。而人皆可以為堯舜·人皆可以作佛之語·悉得其實證焉。此諸居士創建精舍·題名菩提之本心也·因畧述之。

創建西方三聖殿功德碑記代華德師撰

阿彌陀佛·乃法界眾生之無上慈父·險難惡道之第一導師·因中發四十八種之誓願·果上獲超諸數量之光壽。端居蓮邦·分身徧十方刹海·普攝含識·即生證三德涅槃。至若觀音勢至·二位大士·則現身塵刹·尋聲救苦·攝念佛人·歸于淨土·輔弼彌陀·度脫眾生·與樂拔苦·咸令究竟。三聖恩德·深廣無量·雖天覆地載·莫能喻其萬一·縱粉身碎骨·何由報其涓埃。(衲)忝為弟子·莫闡宏猷。欲令闔院僧眾·專修淨業·擬創極樂世界·三聖寶殿。而資斧空乏·不克如願·幸有信士洪慶齋·仝室戈氏妙芳·夙植德本·篤信佛乘·仁慈居心·宏護為事。率女王洪氏·外孫王天賜·慨施多金·助成勝事。故得金容舒輝·法輪常轉·功德利益·何可名言。唯願三聖垂慈·冥顯加被·俾彼本施主·及諸助緣者·各各現世災障潛消·備膺五福·臨終形神俱妙·高登九蓮。先亡祖禰·咸升極樂之天·後代兒孫·悉入仁壽之域。因書緣起·用勒貞珉·俾後之安居修行者·知淨土法門之所以廣大·決志求生·三聖道場之何由成立·福資檀越云爾。

螺頭廟東照寺重修地母廟碑記

普載萬象·不生分別·普生萬物·以給人用·而且不矜其功·不望其報·地之恩德·可謂廣大周徧搏厚悠久而莫能名焉。聖人立法·凡法施于民·以死勤事·以勞定國·以及禦大災·捍大患者·皆設祠祀之。况吾人畢世所依而生之大地·可不特建殿宇·莊嚴儀像·常以香華燈燭供養·以少舒報恩之心·恆致如在之誠乎。此東照寺地母廟之所由建也。言地母者·即佛經所謂主地神也。蓋以生長萬物·若母

之養育兒女·故俗稱為地母·實非專現女身者。按華嚴經世主妙嚴品·主地神有佛刹微塵數之多·雖有從他方世界來者·然只此大地·亦非一神所主·殆各有疆界耳。又凡屬神只·皆有陞遷進退·如世官僚·官著官名·則永不更改·其人則進退攝謝·了無一定。非如倉頡·孔子·關帝·文昌之專屬一人也·董事葉昌雲·以地母廟建立已久·將欲傾覆·募諸善信·得洋若干元·住持慈寬·又助一半·遂得殿宇法相·悉皆重新·將欲立石·祈敍大義。易曰·地勢坤·君子以厚德載物·人能居心行事·有如大地·施恩不求報·受辱不懷瞋·但盡我之天職·不計人之順逆·如是之人·生入聖賢之域·沒登極樂之邦。如持地菩薩·以平地故·心地遂平·得證圓通·將來尚復成無上道·教化九法界一切眾生·如天普蓋·似地均擎·無有一人·不在鈞陶化育之中。此觀象修道證心成佛之大利益·願諸閱者·咸注意焉。

今彩大師往生記

今彩大師·俗姓方·江西雩都縣人·宿有善根·少即戒殺吃素·至三十後·深厭五欲多苦·三界無安·遂出家於福建長汀縣報恩寺。具戒後·專志苦行·於贛州光孝寺執香燈·精潔虔恭·凡見之者·皆歎其誠。惜常住物·如護目珠·日以禮拜念誦為事·時無虛棄·為寺眾所欽敬。繼欲專修淨業·徙寧都深山石室中·架松為座·聚草作褥·種薯為食·補衲為衣·其為苦行·人所難堪·師恬然適意·以道為樂。久之·有造訪者·施以銀錢·則卻之不受·若與敝衣粗食·則便受之。素性孤潔·不立徒眾·有重其德者·代為收四人·實皆未與同住。一徒名德緣·廟稍豐裕·念師清苦·再四哀懇·接回供養。未幾·復往蓮花山·自以木板隔一小屋而居·寺眾尊其道行·聽伊自便·終日閉戶誦經念佛·除早午二餐外·魚磬之聲·朗朗不輟·數十年如一日。由是緇素信慕者眾·每有誠心供養衣履貝親施·不容推卻者·隨即供佛供僧·為彼作諸功德·隨身僅留十圓·以備命終焚化之費·其清苦自甘·解脫無著·有如此者。凡造訪者·無論緇素·均示以娑婆惡濁·極樂清淨·急求出離·是為要務。然須明因識果·修行世善·謹守禁

戒·誦經念佛·內外如一·始終不變·方有冀望。從無一言·涉及世間福樂者。民國七年戊午·年七十四·十月初·示微疾·至初四日·斷飲食·念誦如常·夜深遂息。初五侵晨·寺眾不見師起·叩之闐然不應·入室視之·已端坐化去。左手仍執引磬·一如平昔念佛時·頭略低垂·面帶笑容·與生無異。寺眾觀之·讚歎不已·僉云·師平日有若是之行履·故致斯時得如此之景象·其神超淨域·質託寶蓮·可以決定無疑矣。其徒德森·為余言之·切念末世僧人·每多懈怠·唯貪利養·不修道業·若師者·真可以為末世楷·因筆以記之。

趙尊仁居士往生記

趙尊仁·法名培庚·如皋馬塘市人。年三十餘·素業商·其性情淳篤無偽·其作事果決率真。近數年來·得聞淨土法門·深生信心·日以念佛求生西方為事。置商業·專辦慈善公益事·極其認真。由是倡辦濟生分會·及佛經流通處·凡有善舉·力能為者·無不為之。地方路燈·親自早收晚送·不以為勞。一方之人·皆服其誠·彼以誠感·眾以誠應·凡所勸募·無不隨願圓成。民國十五年冬·身嬰篤疾·力疾提倡佛七·以祝世界太平·訂于臘月初二日起七。至初八日圓滿·請掘港西方寺範成師主七·其經濟皆善信所自送·入會念佛者·四十餘人。居士雖帶重病·其念佛益精進·若無病者·至初六日下午七句鐘·竟念佛坐逝。在會諸人·益加懇切念佛·助彼往生·過數小時·頂猶溫·形色與生無異·于以見彌陀願力·眾生心力·兩皆不可思議。良以真如佛性·眾生本具·特仗因緣啟發耳。如種子已布于地·一經時雨·隨即發生萌芽。彼世之以本具佛性之力·日馳逐于貪瞋癡殺盜淫中·譬如以隨意雨寶之摩尼珠·置于圓廁·則無所受用矣·可不哀哉。聞居士之風·能不愧死。

沙健庵居士往生記

沙健庵·名元炳·江蘇如皋人。其品行操持·文章道義·皆足以為末世楷。其學重躬行·不尚詞章·其志務盡分·不慕榮寵·以故登

太史第後·家居奉親·冀盡子職·不入仕途。初未知佛為何如人·經具何如義·循襲乎韓歐程硃之說·謂佛法為聖道害·而于國於民·皆無所益也。逮辛亥國變後·悶極無聊·常存超出此世界想。試取佛經讀之·見其義理精微奧妙·圓融超脫·始知佛為大聖人·其教有不可思議之事·若出幽谷·得睹天日·不禁喜極而悲·惜數十年拘墟之陋。從茲潛心研究·受持讀誦·以冀親證本有佛性·不致常為六道輪迴中人。民國十二年癸亥·年周花甲·厭世之心益切·適諦閑法師莅如講彌陀經要解·親預法筵。遂知淨土橫超法門·為等覺大聖·逆惡小凡·同于現生·仗佛慈力·出此娑婆·登彼極樂·隨己根性·而得證入之道。於是專修淨業·以期往生。次年崔益榮來山歸依·與光言居士之學問修持·因令持文鈔以相贈。次年陳正有以所作斥喪中食肉飲酒論見示·據經引史·明辨以晰·知居士學有根柢·志希聖賢·雖未相見·而彼此各皆心許為神交矣。去夏聞光至滬·即欲來見·以病不能出門·未果·猶期異日來山請益·迄至將終前·與友談論·引為憾事。然既生西方·親炙彌陀·參隨海眾·未見一粥飯僧·又何所歎。至秋·左腋患癰·繼以咳血·入冬益甚·中西醫均無效·得無以修持力·轉重報後報·為輕報現報·以了宿業乎。至臘月十一·遂臥牀不起·乃將生平著作·付門人項本源·黃文濬·略囑咐家事。頗悔從前改廣福寺為議會·遷移佛像·有贊成之過·命其子進·出三千金·于東門廣慧庵·改建佛殿·以贖前愆。又令家中眷屬·日夜輪班·在牀前念佛·即至臨終·亦復如是·不得預為洗濯換衣·及哭泣等·殮以布衣·勿用綢緞。喪中無論祀神待客·勿用酒肉·吾嘗作論斥世·汝等切勿隨順惡俗·陷我于罪。又令請僧助念·必期仗佛慈力·往生西方。于牀前設香案·供阿彌陀佛接引象·面對慈容·口念心憶·專精一致·概不提及餘事·二十四夜·病益殆·僧眾咸來助念·居士正念分明·聲默相隨。延至二十六·雖不聞聲·口恆翕張。午後氣益促·家人及僧眾念佛聲益淒緊·至酉時·遂溘然而逝。頗有異香·大眾念佛益烈·逾二時頂猶溫·直至天明·始停佛聲·為拭體著殮服·舉哀·其子能

奉命無違·可謂真孝。噫·若居士者·可謂宿根深厚·見地高超·言行相應·內外一如。據數年來之修持·及平素之信願·臨終之景象·殆中品上生者乎。以孝養父母·行世仁慈·具真信願·攝心淨念故也。然一得往生·當必地登不退·忍證無生·漸次修習·以至圓滿菩提而後已·又何歉憾乎哉。茲撮取其徒項本源·其子進·並吾徒崔益榮所述而記之·以期後之輯往生傳·及隱士事迹者·有所本云。

沈翊仙居士脫難記

佛視一切眾生·猶如一子·愛無偏黨·常欲度脫。以一切眾生·皆有佛性·皆堪作佛·故雖絕無信心之一闡提輩·亦無一念棄捨之心。機緣若到·自可生信歸依·依教修持·以迄斷惑證真·了生脫死也。故楞嚴經云·十方如來·憐念眾生·如母憶子·若子逃逝·雖憶何為·子若憶母·如母憶時·母子歷生不相違遠。若眾生心·憶佛念佛·現前當來·必定見佛·去佛不遠·如染香人·身有香氣。法華經云·若有無量百千萬億眾生·受諸苦惱·聞是觀世音菩薩·一心稱名·觀世音菩薩即時觀其音聲·皆得解脫。又云·是觀世音菩薩·于怖畏急難之中·能施無畏·是故此娑婆世界·皆號之為施無畏者。良由眾生之心·與佛菩薩之心·覲體無異·但以眾生迷昧·背覺合塵·致使彼此間隔·莫蒙覆被。倘背塵合覺·一心稱名·自然感應道交·垂慈加被·雖遇險難·亦得無虞也。安徽沈翊仙居士·向不知佛·丙寅春·金陵起金光明法會·遂入會隨喜·讀金光明最勝王經·覺義理精妙·願常受持。因請一部·日誦一卷·十日一周·周而復始。夏間從軍贛地·軍事紛繁·不能誦經·但默念阿彌陀佛·及觀世音菩薩聖號而已。八月贛戰失利·全軍覆沒·唯彼一人·得全身命。方知佛慈廣大·感應無差·柰芸芸眾生·不但不生信向·反從而毀謗之·致令無緣大慈·同體大悲·莫由親受。喻如杲日當空·普照萬邦·彼戴盆者·莫見光相·可不哀哉。後得印光文鈔·乃知淨土法門·為一切若凡若聖·現生即得了生脫死之道。仗佛慈力·橫超三界·校彼仗自力斷惑證真豎出者·其難易天淵懸殊也。冬初歸家·特闢靜室·供佛·及觀音聖像·

晨夕禮念·以期消除宿業·增長善根·生為三業清淨之人·沒登九品寶蓮之位。以書致光·祈為作記·因將佛菩薩平等大慈大悲·愍念眾生·及眾生向背不同·致有得受覆被與否之義·書以贈之。以冀無信心者·即生正信·有信心者·益加修持。務必敦篤倫常·恪盡己分·克己復禮·閑邪存誠·眾善奉行·諸惡莫作·生為聖賢之徒侶·沒入如來之封疆。倘人各如是·即爭競消滅·禮讓興行·天下太平·人民安樂矣·何幸如之。願見聞者·咸諦信而力行焉。

永春重修東關橋觀音靈感記

觀世音菩薩·誓願宏深·慈悲廣大·徧周塵刹·隨類現身·尋聲救苦·度脫眾生。由是凡通衢要道·多建廟宇·以期往來之人·親睹聖像·生恭敬心·庶可咸蒙慈覆耳。福建永春·古稱桃源·山川秀麗·民俗淳樸。邑東十裏·地名東關·與泉州南安毘連·有溪橫其間·寬若干丈。宋時即建石橋·以利行人。然水甚衝激·遇大風雨·橋輒傾圮·每數十年·或百年·橋必重修·具載縣誌。邑人崇奉佛教·于橋正中建亭·供觀世音菩薩聖像·令來往者·同種善根。清光緒三十四年·歲在戊申·洪水為災·橋全毀滅。當將毀時·適值半夜·風雨洪暴·橋頭一店主陳某·年五十餘·頗好善信佛·已熟寐矣·忽聞叩門聲甚厲·大呼速往橋上捧菩薩出·遂驚醒·而叩聲益厲·連呼速去。急開門·則了無有人·見水勢洶湧·橋搖盪有聲·若將仆者。風雨撲面不之顧·馳往橋亭·捧菩薩出·甫離橋·聞崩裂聲·則橋正中一段·已隨波浪去矣。其人言·初亦不知何以能奮勇如此·殆有神助者然。噫·異矣。邑人李元賢之父繼如公·經商星洲·家道頗豐·熱心公益·乃與星洲僑友·倡捐重修。至民國甲寅·橋始告成。迨至丙辰·又遇風災·橋亭與梁木毀焉。鄉民遂奉菩薩于附近廟中·而世道荒亂·橋事無過問者。元賢之母黃太夫人·往廟燒香·經過其地·怒焉傷之·意欲重修。夜夢菩薩·現金色身·璀璨莊嚴·語之曰·唯汝能為我重修此橋·并以祀我·可速為之·以福汝子孫。由是觀之·足見菩薩唯以利益眾生為念·而一見聖像·即種將來成佛之善根·故特示修橋·

而兼令供奉聖像也。太夫人遂馳書諭賢·備款復修。乃舉邑人某某董其事·至癸亥二月工竣·當地人士·為懸匾聯頌之。仍奉菩薩于橋亭·由是因緣·香火益盛。在昔董事某君·近至星洲·言及菩薩之靈·邑人僉欲立碑於亭·一以彰菩薩之靈迹·一以啟後人之熱心。元賢以此事有關於邑人之善根者甚鉅·遂函祈光作。語云·非是父不生是子·又云·卻知其父視其子·此橋初由繼如公倡修·次由黃太夫人重修·元賢恭承父志·恪奉母命·不惜鉅款·以期悅親心而利邑人·其心固與菩薩普度眾生之心·有相契焉。世之欲蒙菩薩加被·冀其滅災障而增福壽者·當于篤行孝友·利人利物中求之·則求無不得矣·

雜著

潮陽佛教分會演說一代了清師作

我大覺世尊釋迦牟尼佛·塵點劫前·早成正覺。為度眾生·數數示生·頻頻現滅。且據此番出世·在周昭王二十六年甲寅·示生於中天竺迦毘羅衛國淨飯王宮。其母摩耶夫人·於四月八日入毘嵐尼園遊觀·見無憂樹華盛開·以右手攀枝欲取·世尊即於右脇誕生。隨即一手指天·一手指地·目顧四方·周行七步。曰·天上天下·唯我獨尊。至年十九·於二月八日夜半時·乘乾陟馬·逾城而去·直至深山·修出世道。又欲示彼外道皆非正法·故復遊歷五年·徧訪諸仙。後乃獨坐觀心·日食一麻一麥·苦行六年·於臘月初八日明星出時·舉目一觀·豁然大悟。歎曰·奇哉奇哉·一切眾生·具有如來智慧德相。但以妄想執著·不能證得。若離妄想·一切智·自然智·無礙智·即得現前。須知世尊出家遊歷苦行悟道。皆為後世修行者作一榜樣。非先實未悟·因茲始悟也。事在穆王二年癸未。從茲隨順機宜·度脫眾生。說法四十九年·談經三百餘會。徧圓頓漸·大小權實·觀機逗教·令其得益。至穆王五十二年壬申二月十五日·以一切眾生·根已熟者·皆證道果·其未熟者·皆亦已作得度因緣。一期事畢·復示涅槃。以定慧所生丈六之法身·作金剛不壞八斛之舍利。散佈天上人間·起塔

供養。普令眾生。同種善根。至漢明帝永平七年甲子。帝夢金人。項有圓光。飛來殿廷。旦問羣臣。是何祥瑞。太史傳毅對曰。西域有神。號之為佛。陛下所夢。其必是乎。帝遂遣博士王遵。中郎將秦景。郎中蔡愔等一十八人。往求佛法。至月氏國。值迦葉摩騰。竺法蘭。二尊者。費佛經像。欲化此方。遂祈同來。至十年始達洛陽。館於鴻臚寺。後建伽藍。因以白馬馱經。假館鴻臚之故。因名之曰白馬寺。帝問摩騰。大覺世尊。何以不生中國。騰曰。迦毘羅衛國。乃大千世界之中。三世諸佛。悉生於此。邊方國土。或數百年。或千餘年。聲教漸被。此土乃屬東方。當土自稱中國耳。五嶽諸山道士。以新來佛法。帝極崇重。遂懷忌妒。至十四年。正月一日。朝正之次。表請較試。帝允許之。至十五日。於白馬寺南門外。築臺置經。以火取驗。道經悉燬。佛像及經。悉皆放光。摩騰涌身虛空。現諸神變。即時宰官士庶道士妃嬪等千餘人出家。帝即建十寺。七寺安僧。三寺安尼。然此時。東西尚未大通。往來者少。佛法流布。僅在北方。三國初有康僧會者。始宏化吳地。至晉而徧及全國。兼流布於高麗。日本。暹羅。安南。緬甸。蒙古諸國。佛法肇始於漢。擴張於晉。及宋齊梁陳隋。則蒸蒸日上。至唐而律教禪淨性相諸法。無不具備。五代之時。北方略衰。南方猶盛。至宋而法門氣象。不亞唐時。元以蒙古入承大統。崇重佛法。不讓前朝。明朝諸帝。奉佛猶殷。唯嘉靖崇信道教。四十餘年。法運少衰。萬曆以來。又復蔚興。迨至有清。崇重尤隆。世祖章皇帝不觀時機。仰遵佛制。罷除試僧度牒。令其隨意出家。在當時高人林立。實為有益。從乾隆以後。法道日微。加以髮匪回匪。屠戮僧侶。焚燬寺宇。法輪幾乎停轉。從茲哲人日希。典型日墜。鄙敗無賴之徒。由不試僧之故。多皆混入其中。裨販如來。造種種業。致令見淺之流。紛紛謗議。竟有逐僧毀寺等種種不法之舉。雖事出無知妄作。總因僧界無人。解行俱缺。不能以法化人之所致耳。溯自法流中國。歷代帝王。無不崇奉。唯三武滅佛。而隨即更興。譬冬之凍閉堅固。正成就其春夏之發生暢茂耳。杲日當空。隻手焉遮。仰面唾天。

反汙己身。三武者魏太武·周武帝·唐武宗也。先皆深信佛法·極意修習。魏武信崔浩之蠱惑。周武聽衛元嵩之讒譖。唐武信李德裕·及道士趙歸真之誣謗。毀滅未久·而主者助者·皆罹極殃。魏武廢教後·不五六年·崔浩赤族·已亦被弑。嗣帝即位·復大興之。周武廢教後·元嵩貶死·不五年而身感惡疾·徧體糜爛。死未三年·隋文受禪·復大興之。唐武廢教後·不及一年·歸真被誅·德裕竄死·武宗服道士金丹·疽殘背死·宣宗復大興之。宋之徽宗·初亦甚信佛法。後聽道士林靈素之妖妄·遂改佛像為道相·稱佛為大覺金仙·稱僧為德士·著道士衣·凡作法事·居道士後。下詔不久·京城大水·直同湖海。君臣惶懼·敕靈素止水·愈止愈漲。忽僧伽大聖現靈禁中·帝焚香乞哀。僧伽振錫登城·水即頓涸。隨敕復佛舊制。不六七年·父子被金虜去。金封徽宗為昏德侯·欽宗為重昏侯。二宗皆死於五國城。夫佛乃三界大師·四生慈父。聖中之聖·天中之天。教人以返妄歸真·背塵合覺。了幻妄之惑業·復本有之心性。尚感恩報德護持流通之不暇·豈可任一時之勢力·滅眾生之慧眼·斷人天之坦路·掘地獄之深坑。宜其即日交報·永劫沈倫。貽誚將來·以為殷鑑。書曰·惠迪吉·從逆凶·惟影響。因果報應·亦儒教之聖謨。但未深明其致·故人多暗昧不了耳。由漢至今·千八百餘年·自天子以至於庶人·依佛法而明心見性·了生脫死者·如恆河沙。迄今民國啟運·各界名人·皆知佛教為世出世間道之源本·保護贊助。我廣東乃千餘年來宏法勝地。曹溪一脈·流布中外。潮陽靈山·實大顛禪師·(師諱寶通·潮州楊氏子·參南嶽石頭希遷禪師·大悟·遂嗣其法·住潮州靈山·刺史韓退之初不信佛·每作文排斥·至憲宗元和十四年·諫迎佛骨·貶之潮州·因與大顛往還·乃少生信向耳·)攝闢佛之大儒·入佛法之勝道場地。今法運雖衰·勝地猶昔。我僧界諸同衣·各宜以古為師·見賢思齊。精進勇猛·力修淨業。庶不至宗風掃地·貽辱法門。而況外護有人·內修無障。豈可不自奮勉·以挽既倒之狂瀾·續將絕之慧命·冀報佛恩於萬一哉。

潮陽佛教分會演說二

今日緇素雲集·嘉會宏開。其名義宗旨·事業利益·畢竟如何·請略陳之。言名義者·名為潮陽佛教分會。而義則佛者·覺也。自覺覺他·覺行圓滿·名之為佛。即指娑婆教主本師釋迦牟尼佛而言·非過去現在未來十方一切諸佛也。教者·聖人被下之言·上之所施·下之所效也。佛視一切眾生本覺妙性·與己無異。但以迷染因緣·遂成不覺。幻起煩惱惑業·枉受生死苦果。因將眾生本具·自己親證之理·隨彼根性·作偏圓頓漸大小權實等種種異說。令其於不覺心·起始覺智。修德有功·性德方顯。真窮妄盡·徹證本覺。一大藏教·皆詮斯義。佛諸弟子·永為典型。此教之所由來也。會者·聚也·合也。欲上求佛道·非聚合六度萬行而無由。欲下利眾生·非聚合三宗四教而不可。今茲一會·乃聚合僧俗兩界諸大德·同心戮力·維持法門·振興佛教。上輔國政·下化同胞。然則此會·亦法王嘉會·及法施之會之流類也。宗旨者·整理法門·保護僧產·俾僧俗各體忠恕慈悲·以永享乎共和幸福耳。事業者·教育幼僧·習學經典。策勵先進·篤修淨業。若是在家居士·務祈專念彌陀·求生西方。利益者·持佛禁戒·自行化他·則俗美人和。依教修觀·斷惑證真·則超凡入聖。醫家治病·緩則培本·急則治標。外界侵奪·乃法門標病。以其急故·因以保護僧產為首。若論正本清源之道·我同衣果能人人恪守清規·篤修淨業·道行若立乎己身·德化自感於同人。彼常謀侵奪排斥者·將反而恭敬供養之不暇矣·何用乎保護為。倘佛會雖立·行為仍舊。善人則厭而惡之·惡人則必以佛會無益為口實·而更加侵奪排斥。縱欲保護·亦無從措手矣。孟子謂夫人必自侮而後人侮之·家必自毀而後人毀之·國必自伐而後人伐之者·此之謂也。凡我同衣·各宜勉旃。內護得法·則外侮自息矣。

潮陽佛教分會演說三

諸佛菩薩·於諸眾生等作利益·無有偏黨。如天普蓋·如地普載。

如日月普照·如膏雨普潤。了無憎愛分別之心。然由眾生向背不同·致令損益天地懸殊。譬如人處天地之間·以不善攝生故。或因嚴寒酷暑而致病·或因墮坑落塹以亡身。只宜歸咎自己·豈可怨尤天地。又如日月當空·盲人雖不覩光·亦蒙其照。時雨等澍·小草縱難沖霄·亦遂其生。光潤是一·而得益各別者·由目壞根小之所致也。其慈悲誓願·以己功德回向眾生·冥熏加被。與垂形六道·和光同事·種種方便利益眾生之不思議事。若非徹證自心·徧閱大藏·何由得悉知親見也哉。今以顯而易見之一事言之·諸有智者·自當以一悟諸·深感佛恩·而悲其聞法修持之晚也。當今之世·去堯舜禹湯文武三四千年。其世道人心·遠不能與古相比。然由知六道輪迴。隨業升沉·天獄迭遷·人畜互變之故。雖剛強難化·了無信心之鉅惡元兇·其心亦被此法折伏。縱草菅人命·心猶隱伏一懼因畏果影子·遂不至十分暴惡。如列國諸侯·以所愛之臣妾及與百姓·殺而殉葬·動至數十數百而不以為非·反以為榮者·不猶此善於彼乎。夫文王澤及枯骨·不數百年而殺人殉葬之風·徧於天下。雖老莊孔孟齊出·尚不能挽其頹風。自佛法東來之後·生死輪迴·因果報應之理·大明於世。勿論諸侯·即南面稱朕·亦不敢行。縱有行者·亦斷不敢以多為榮也。倘無此法·唯以正心誠意之說·令其推忠恕而篤胞與·息殉葬而全民生。吾恐勸之者徒勞·行之者益熾也。而況後儒唯知治道·不了自心。欲排佛法·強立門庭。皆謂一死永滅·無復後世。若非如來生死輪迴·因果報應之理·浹洽人心。則後世人民·其得正命而善終者·蓋亦鮮矣。斯蓋佛法中最極淺近之法·尚可勝殘去殺。而況至極深遠之圓頓大法·其世智凡情·又何能測度其利益於萬一也耶。

潮陽佛教分會演說四

眾生者·未悟之佛。佛者·已悟之眾生。其心性本體·平等一如·無二無別。其苦樂受用·天地懸殊者·由稱性順修·背性逆修之所致也。其理甚深·不易宣說。欲不費詞·姑以喻明。諸佛致極修德·徹證性德。譬如大圓寶鏡·其體是銅。知有光明·日事揩磨。施功不已·

塵盡光發。高臺卓豎。有形斯暎。大而天地。小而塵毛。森羅萬象。炳然齊現。正當萬象齊現之時。而復空洞虛豁。了無一物。諸佛之心。亦復如是。斷盡煩惱惑業。圓彰智慧德相。盡來際以安住寂光。常享法樂。度九界以出離生死。同證涅槃。眾生全迷性德。毫無修德。譬如寶鏡蒙塵。不但毫無光明。即銅體亦被鏽遮。而不復現。眾生之心。亦復如是。若知即此銅體不現之廢鏡。具有照天照地之光明。從茲不肯廢棄。日事揩磨。初則略露銅質。次則漸發光明。倘能極力盡磨。一旦塵垢淨盡。自然遇形斯暎。照天照地矣。然此光明。鏡本自具。非從外來。非從磨得。然不磨則亦無由而得也。眾生背塵合覺。返妄歸真。亦復如是。漸斷煩惱。漸增智慧。迨至功圓行滿。則斷無可斷。證無可證。圓滿菩提。歸無所得。神通智慧。功德相好。與彼十方三世一切諸佛。了無異致。然雖如是。但復本有。別無新得。若唯任性德。不起修德。則盡未來際。常受生死輪迴之苦。永無復本還元之日矣。吾輩既為佛子。當行佛行。縱不能豁破無明。頓復性體。以直趣妙覺果海。豈可不圓發三心。篤修淨業。以期斷煩惱於此身。託心識於蓮邦。為彌陀之弟子。作大士之良朋。安住寂滅。游泳佛國。上求佛道。下化眾生乎。倘不自奮勉。高推聖境。自處凡愚。畏半生修持之勤勞。甘永劫沈淪之酸楚。迷衣珠而弗珍。登寶山而空歸。以具無量功德智慧神通相好之妙真如性。枉受無量生死輪迴煩惱業果之幻妄極苦。豈非喪心病狂。惡升樂墜。生作行肉走屍。死與草木同腐。三世諸佛。稱為可憐愍者。凡我同倫。各宜努力。

味精能挽劫運說

飲食于人。關係甚大。得之則生。弗得則死。故曰食為民天。然天地既為人生種種穀。種種菜。種種果。養人之物。亦良多矣。而以口腹之故。取水陸空行諸物。殺而食之。以圖一時之悅口。絕不計及彼等與吾。同稟靈明之性。同賦血肉之軀。同知疼痛苦樂。同知貪生怕死。但以力弗能敵。被我殺而食之。能不懷怨結恨。以圖報于未來世乎。試一思之。能不惴惴。忍以一時悅口之故。于未來世。受彼殺

戮乎哉。願雲禪師云。千百年來碗裏羹。怨深似海恨難平。欲知世上刀兵劫。但聽屠門夜半聲。詳味斯言。可以悟矣。奈世人習慣肉食。勸其吃素。縱有惻隱之心。亦不易從。以無滋味以佐食故。近有化學大家。吳蘊初君。有心世道。欲挽殺劫。特專精研究食味一事。乃取麥麩。洗出麵筋。醞釀多日。製成醬精味精。以資飲食之味。其意亦良厚矣。此品其質醇厚。絕無葷物。願吃素之人。放心用之。光初聞其說。尚不敢信。一日。林滌庵夫婦。同來皈依。因與說食肉結果之慘。天災人禍。多從殺生食肉而起。奈世人多以口舌滋味所誤。故難消滅其根本也。彼遂言。吳君所製味精醬精。甚鮮美。若著少許于食中。即粗糲亦等珍羞矣。因請光偕江味農居士。并二三友人。同往其廠。看其製法。深佩吳君一番苦心。以此品一行。不但救護物命。且能令同人解怨釋結。俾與一切物類。同得共生于天地之間。以各盡天年。其利益大矣。孟子曰。矢人豈不仁于函人哉。矢人惟恐不傷人。函人惟恐傷人。巫匠亦然。故術不可不慎也。竊謂吳君此品。藝也而進乎道矣。出此以行世。求利也而實含利人利物。救國救民之深益矣。其功偉哉。慈受深禪師云。飲食于人日月長。精粗隨分塞飢瘡。下喉三寸成何物。不用將心細校量。況有此品以輔之。宜一切人各各吃素。以保我身世世生生。不遭殺劫。明哲君子。當不以光言為迂腐也。

岳步雲為親所設佛堂說

眾生一念心性。與佛無殊。由迷背故。不得受用。反承此佛性功德力。起貪瞋癡。造殺盜淫。以致輪迴三途六道。了無已時。可不哀哉。阿彌陀佛。于往劫中。發四十八種大願。有一願云。若有眾生。稱我名號。求生我國。乃至十念。若不生者。不取正覺。是知佛念眾生。如母憶子。眾生若能生信發願。持佛名號。求生西方。如子憶母。自然上契佛心。感應道交。現生蒙佛加被。業障消滅。諸緣順適。臨終蒙佛接引。帶業往生極樂世界。從茲入聖超凡。了生脫死。校彼仗自力修戒定慧。直至惑業淨盡。方了生死者。其難易奚啻天淵之別。岳步雲居士。信心真切。而且至孝出于天性。其父運生。年老喪明。

步雲志心念佛。又勸其父念佛。遂得雙目復明。由是其父母。各皆長時念佛矣。又以公事羈絆。不能常修定省。因請雙親至省。租屋而居。以便承侍。特設一佛堂。以作父母修持之所。而已與妻子。相待念佛。以祈得親歡心。亦可謂善于事親。諭親于道矣。詩云。孝子不匱。永錫爾類。當必有聞風相繼而興起者。

普勸愛惜物命同用清明素皂以減殺業說

甚矣近世天災人禍之頻數。而人民死亡之多且慘也。豈天道之不仁哉。實吾人歷劫以及現生之惡業所感召耳。斷無有無因而得果者。亦斷無有作善業而得惡果者。但以凡夫知見。不能了知宿世因緣。似乎亦有不當得而得者。若能曠觀多劫多生。則凡所受之善惡果報。一一皆如響之應聲。影之隨形。了無差爽也。而諸惡業中。唯殺最重。普天之下。殆無不造殺業之人。即畢生不曾殺生。而日日食肉。即日日殺生。以非殺決無有肉故。以屠者獵者漁者。皆為供給食肉者之所需。而代為之殺。然則食肉吃素一關。實為吾人升沉。天下治亂之本。非細故也。其有自愛其身。兼愛普天人民。欲令長壽安樂。不罹意外災禍者。當以戒殺吃素。為挽回天災人禍之第一妙法。以一切眾生一念心性。與佛無異。與吾人亦無異。但以宿世惡業。墮于異類。固當生大憐憫。何可恣行殺食乎。無如世人狃于習俗。每以殺生食肉為樂。而不念彼被殺之物。其痛苦怨恨為如何也。以強陵弱。視為固然。而刀兵一起。則與物之被殺情境相同。焚汝屋廬。奸汝婦女。掠汝錢財。殺汝身命。尚不敢以惡言相加。以力不能敵故耳。生之被殺。亦以力不能敵。使其能敵。必當立噬其人而後已。人何不於此苦境。試為設一回想。物我同皆貪生怕死。我既具此頂天履地之質。理宜參贊化育。令彼鳥獸魚鼈。各得其所。何忍殺彼身命。以取悅我口腹乎。由其殺業固結。以致發生刀兵之人禍。與夫水火旱潦。飢饉疾疫。風吹地震。海嘯河溢等天災。各各相繼而降作也。猶如世人送年禮然。我以禮往。人以禮來。斷無往而不來。來而不往者。即或有之。必有別種因緣相抵。實皆不出往來報復之外。天之賞罰。亦復如是。而況人之報復乎。

故書曰·作善降之百祥·作不善降之百殃。易曰·積善之家必有餘慶·積不善之家必有餘殃。天道好還·無往不復。欲免惡果·先斷惡因。欲得善果·先植善因。此天理人情之至誼也。是以現今有心世道人心之人·無不提倡戒殺放生·吃素念佛。以闡明生死輪迴因果報應等事理·而冀其普天人民·同享安樂·同得解脫也。肥皂之用·徧及中外。而其質料·係以牛油豬油·助其光滑。其用甚廣·則其所殺亦復甚多。近有周文明居士·本如來之慈悲·行滅殺之方便。特發明一種素質清明皂。其助光滑者·乃椰子油。其皂去垢·不讓葷皂。而洗衣浴身·永離腥羶濁氣。不獨吃素念佛之人應當用·即一切人亦應當用。以唯益無損·誰不應用也。尚期此皂大行後·彼做葷皂者·通皆改作素皂。其所滅殺生命·并中外計之·每年當不止百千萬億也。今當開辦之始·周君以余向提倡戒殺放生·因果報應等事理·以期挽救天災人禍。故祈余發揮特為滅殺之誠。遂忘其固陋·乃為述其殺生食肉之過愆·與用此素皂·現在及將來之利益。以冀人人戒殺·戶戶吃齋·庶可挽回天意。將見雨順風調·時和年豐。俗美人良·刀兵不作。還彼大同之世·以樂我天真。何幸如之。倘不以此為老僧常談而忽略之·則為天下國家之大幸也。

息災衛生豫說

凡事豫則立·不豫則廢。以故古聖賢皆致治于未亂·保邦于未危·使普天人民·同享太平之福·而渾無功迹之可以讚述·民生其間·何幸如之。近世兵劫之慘·振古未聞·加以水旱瘟疫·風吹地震·種種天災·民已不堪其苦。復加土匪四起·搶掠劫盜·無法防禦·無處控告。又復同室操戈·大起戰爭·礮聲如雷·子彈如雨·一礮一開·死亡無數·况復多礮·鎮日常開多日乎。又加飛艇時臨·地雷密佈·殺人之法·無奇不有·其兵民之隨礮雷彈雨而粉身碎骨者·何可勝數而適當戰場之民·其屋廬什物·盡成烏有·若非預逃·亦被擄掠·妻離子散·孤露漂零·籲天呼地·亦無救援。而附近戰場之地·及兵所經過之區·其淫掠之慘·不忍見聞。何天既生烝民·而不與烝民之幸福·

反與烝民以殃禍。是誠何心哉。須知惠吉逆凶。理無或爽。禍福無門。唯人自召。非自孽決不至感天孽。種是因決不能逃是報。經云。菩薩畏因。眾生畏果。畏因則不造惡業。自無惡果。畏果則既受惡果。又造惡因。以當受惡果時。仍復彼此戕賊。互相讐害故也。世人造業。大端有三。曰殺曰盜曰淫。盜淫二業。愚頑為勢所制。賢智以義自繩。猶復不至太甚。至于殺業。則舉世之人。無論智愚賢否。絕少不犯。以貪口腹滋味故。或以智捕。或以財求。取彼水陸飛行一切諸物。種種割烹。以悅我口而養我身。兼之奉父母以盡孝。祀祖宗以追還。祭神祇以祈福。燕賓客以暢懷。凡屬冠昏喪祭。無不以肉為禮。若不用肉。似乎蔑理悖德。無顏對人。而不計及彼等同一形骸。同一靈性。同一避凶而趨吉。同一好生而惡死。何忍以唯屬妄起之饞心想。不關緊要之空場面。令彼諸物。受斬截割烹之苦。以冀我身安心樂。諸凡遂意也。此無他。以世教所拘。相習成風。不加深察而致然也。唯我如來。洞明三世因果。六道輪迴之事理。故令一切眾生。勿作殺業。以一切眾生。皆有佛性。皆是吾人過去父母眷屬。皆于未來當成佛道。故梵網經云。若佛子。以慈心故。行放生業。一切男子是我父。一切女人是我母。我生生無不從之受生。故六道眾生。皆是我父母。而殺而食者。即殺食我父母。言一切男子一切女人者。總該六道一切眾生。非單指人道而言也。故下即曰。我生生無不從之受生。故六道眾生。皆是我父母。若作此想。救濟尚不暇。何敢殺乎。入楞伽經云。一切眾生。從無始來。在生死中。輪迴不息。靡不曾作父母兄弟男女眷屬。乃至朋友親愛侍使。易生而受鳥獸等身。云何于中取之而食。菩薩觀諸眾生。同于己身。念肉皆從有命中來。云何而食。如來以大慈悲。欲諸眾生。皆得安樂。度脫生死。以故特為說此預為自救救他之法。倘能于物尚不忍殺。冀其得所。決不戕賊人民。令其受諸苦楚。以至死亡也。且勿謂人畜互變。因果循環。誰其親見。須知佛以妄語為戒。必不自妄語以欺人。世間中人以上者。尚不肯妄語以喪其品行。況佛為三界大師。四生慈父。豈有自立法而自違法之理乎。是知佛言。毫

無疑義。况此方春秋傳·及二十二史中·善惡報應·及生死輪迴之事迹甚多·惜世人多未之見·即有見者·皆不加詳察·而忽略過去·以致同陷于不知因果萬丈深坑·故受此同分所感之慘報也。一切人民·無不欲安樂長壽·家門清泰·而日取諸物殺而食之·是何異投火坑以求清涼·飲鴆酒以求長壽也。所作之因·與所冀之果相反·何可得乎。今年水災旱災·將徧全國。又經數處大戰·米貴如珠·民不聊生·幸稍寧靖·而元氣一時難復·怨魂尚未得所·由彼戾氣所結·難免瘟疫流行。不慧愍我同倫·遭此慘劫·思欲息其後患·因不揣庸愚·爰遵如來慈濟眾生·一視同仁之道·用陳預息天災人禍之法。倘能放開眼界·體帖古今聖賢昌明仁民愛物之心·及與如來普視一切眾生猶如一子之道。同皆戒殺護生·吃素念佛·力敦倫常·各盡己分·諸惡莫作·眾善奉行·自行化他·以祈徧界同風。人心既回·天和自至·將見兩順風調·民康物阜·慈善行而干戈永息·禮義興而強暴不作。如是·則雖在叔季之世·不異羲皇上人矣·何樂如之。倘人各秉此迴天之心力·亦未始非辦不到者。又當戰場地·屍骸分崩·多填溝壑·其屍質被魚蝦所食·以挾怨恨兼腐爛之屍質·必有大毒·人若食此魚蝦·必受疫癘之災。所以大戰之後·每有大疫·皆由貪圖口腹而致。况此種既曾食人屍質·人又何忍復食此種·若食·則與食人相去何遠。不慧既無道力·又無財力·爰以空言·聊表愚誠。伏乞賜閱諸君·各各以自愛而愛物·俾物我同安樂生育于高天厚地之間·則幸甚幸甚。

因果為儒釋聖教之根本說

因果報應者·世出世間聖人·平治天下·度脫眾生之大權也。而世人不察·或以為佛氏之言·則多方破斥·或以為淺近之義·而弁髦置之。任己世智辯聰·長溺邪見濁港·凡所論議·皆非聖賢根本修己治人之道。致令善無以勸·惡無以懲·其弊遂至競爭名利勢位·以至殺人盈野盈城而不止也。噫·可哀也已。夫因果報應之言論事實·見于經史者甚多。在書則曰惠迪吉·從逆凶·惟影響·作善降之百祥·作不善降之百殃·此猶可謂只論現世·及子孫耳。至洪範之五福六極·

若不推其前生之因·專歸于王政·則成無稽之談·是豈禹與箕子所以教萬世之心哉。且五福之壽·康寧·攸好德·考終命·六極之凶短折·疾·憂·惡·弱·豈王者能操其權而使之然乎。就中惟富與貧·或可人與·餘多宿因所感。而惡者·乃面貌醜惡·非暴惡也·訓作剛過·將謂王者威制令其暴惡乎。孔子贊易·于文言則曰·積善之家·必有餘慶·積不善之家·必有餘殃。于繫辭傳則曰·原始要終·故知死生之說·精氣為物·遊魂為變·是故知鬼神之情狀·非因果報應·生死輪迴之說乎。至于春秋左傳·及二十二史中·善惡報應生死輪迴之事·則多不勝書·二十二史感應錄二卷·乃存十一于百千耳。是知儒者不信因果報應生死輪迴之事理·不但有悖佛經·實為逆天命而侮聖人之言。否則六經便非儒者之書·而堯舜禹湯文武周孔·及歷代作史者·皆為惑世誣民之罪人矣·有是理乎哉。若無三世因果·則天之畀于人者·便不公平·而作善者為徒勞·作惡者為得計矣。惟其宿世之功過不同·以致今生之享受各異·所謂永言配命·自求多福·禍福無門·惟人自召耳。故佛經云·欲知前世因·今生受者是·欲知來世果·今生作者是。了此·則苦樂吉凶·皆自己罪福所感·非從天降·亦非人與·是以君子聿修厥德·素位而行·上不怨天·下不尤人。是故經云·菩薩畏因·眾生畏果。畏因則以戒定慧·制伏其心·俾貪瞋癡念·無從而起·其居心動念·所言所行·無非六度萬行·利人濟物之道·及其積極功純·則福慧兩足·徹證自心·以圓成佛道。眾生不知果由因招·念念起貪瞋癡·發而為事·則無非殺盜淫耳。然盜淫二業·上智以義自繩·下愚為勢所制·尚不至太甚。而殺生食肉·謂為固然·由是或以智捕·或以財求·取彼水陸空行一切眾生·宰割烹炮·以悅我口腹·養我身體·兼之以奉父母·祭祖宗·祀鬼神·燕賓客·唯取我樂·不思彼苦·舉世之人·悉皆如是。殺業積久·則發而為刀兵水旱疾疫等災·業果已熟·莫由逃避·縱生畏懼·了無所益。是以如來愍諸眾生·令其愛惜物命·切勿食肉·其仁民之心·至深且遠·豈獨愛物而已哉。同鄉幼農王居士·宿植德本·篤信佛乘·賦性廉潔·法揚

震之四知·修持嚴明·效曾子之三省·無論居官居家·唯以仁民愛物為志事。痛念近年刀兵之慘·欲為根本解決·遂與夫人·俱持長齋。且又極力提倡因果報應·生死輪迴·戒殺護生·吃素念佛·以期殺業息而天下太平·仁風行而人民安樂。又欲子孫世守成規·祈余發揮因果至理·俾有所遵循·亦可謂知本矣。夫天下不治·由于家庭無善教·致有天姿者·習為狂妄·無天姿者·狎于愚頑·二者皆非國家社會之福。是知教子為治平之本·而教女尤為切要·以今日之賢女·異日即為人之賢妻賢母·人能得賢母之教育·賢妻之輔助·豈有不成賢人乎哉·故曰教子女為天下太平之根本也。

普勸戒殺吃素挽回劫運說

甚矣·世人習為殘忍·事事以殺生為禮·而不知其非也。夫一切眾生·與我同生於天地之間·同賦血肉之身·同稟知覺之性·同知趨吉避凶·貪生怕死。而況佛經常言·一切眾生·皆有佛性·皆堪作佛·皆於無量劫來·彼此互為父母兄弟妻子眷屬。何得我欲報恩報德·祈福祈壽·或祭天地神祇·以及祖宗昭穆·或奉養父母·或宴會賓朋·或為悅我口腹·資我身體·一一悉以殺諸物命·以期攄我之誠·悅我之心·不念彼等受諸極苦·及負宿世互為親屬之大恩也。且天地以好生為德·儒者以胞與為懷·何竟不生惻隱愛物之仁心·以致習成弱肉強食之暴行耶。夫愛物者方能仁民·仁民者必須愛物·倘於異類之物·尚不忍戕·決不致反忍戕乎同類之人民。若以戕物為故常·則必至殺人盈城盈野·不唯不生憐憫·反以為悅樂快意·良以殺習一長·仁心便喪矣。至於祭天地聖人·豈無黍稷蔬果·以將其誠·何得特取於殺物命乎。吾人生於天地之間·受其覆載·固宜積德行仁·以補天地化育之缺。若論報恩·縱粉身碎骨·亦不能報其萬一·豈腥臊臭穢之牛羊豕等肉·便能報乎。况天帝天人·清淨香潔·豈復歆饗此汗濁臭穢之氣味乎。是殆以己貪圖口腹之心·測度天地之心·又以水陸神祇待天地·其誣鱣瀆汙於天地也甚矣。至於文武聖廟·春秋二祭·各省府州縣·俱殺牛羊豕等以祭·謂為報恩酬德·崇聖重道。清光緒元年·

陝西省城文廟·秋祭之先一日·予因往禮謁。大成殿內·牛羊豕等·各陳於架·悉係完全之體·但剖其臟腑而已·其汙濁之氣·慘淒之形·刺目棘鼻·不忍見聞。時予年甫志學·尚效韓歐闢佛·不禁浩歎·謂何得以敬聖人之事·而褻瀆聖人·竟至如此其極。試令彼致祭之人·居此殿中過宿·俾彼熟睹其形·熟聞其氣·彼必力拒不肯。豈祖述堯舜·憲章文武·萬世師表·百代儒宗之大聖人·反甘此臭穢不堪之物·而歆饗之乎。及至戟門外東邊·係殺牛之所·見一大鍋·內中之水·汙穢不堪·乃洗牛之水也·思之·即欲發嘔。嗟乎·何汙濁如此·而為敬聖之禮乎。夫黍稷非馨·明德唯馨·何不以黍稷蔬果致誠。而天下二千餘縣·每年二次·瀆汙文武二聖·令數萬生靈·同登死地·實為侮聖戕生之大者。何無尊敬聖人·愛惜物命之大人·出而永革舊例·特立新章·俾二聖之靈·不受此種熏汙·數萬生命·不為胙肉·以充致祭者之食料耶。聖人以仁民愛物為懷·豈願由汗穢自己·而令數萬生靈·同登死地乎。關帝在世則精忠貫日月·浩氣塞天地·富貴不能淫·貧賤不能移·威武不能屈·沒後神王玉泉山·隋文帝時·智者大師至玉泉·關帝特運神力·創建寺宇·又求授戒·以為菩提之本·兼願擁護佛法。(見關帝全書、及玉泉寺志。)故天下叢林·皆謂之為伽藍菩薩·而與韋馱菩薩·並鎮山門。千餘年來·護國護民·尊登帝位·豈竟甘此汙穢不堪之生牛羊豕等·以之為美而歆饗之乎。即世間至極下劣之貪饒輩·亦不至甘此臭穢·而謂關帝甘之乎。何竟視文武二聖·卑劣一至此極也。嗚乎哀哉。當必有明至理·行實敬之大人·起而革除此侮聖戕物之陋習·不禁馨香頂祝之。若夫祭祀祖宗·固宜以黍稷蔬果致敬·何可特殺·及買之屠者乎。古人祭先·尚求仁者之粟·今為盡我追遠之誠·令彼物類·悉受殺身鬻割之慘。不但失吾惻隱之仁·亦復大失敬祖之道·以殺行敬·是為大逆。況祖宗既非斷惑證真之聖人·當必輪迴於六道三途·不為作福·令其超升·已失為人後者之道·何可恣意殺生·以作落井下石之事乎。至於奉養父母·蔬食豈無甘旨之味·而必須肉食·以陷吾親於生生世世被殺·以償受吾孝養之怨債

乎。使不知三世因果·六道輪迴之事理·尚有可原。今人畜循環·報應昭著·其事迹散見於二十四史·及諸載籍·猶復固執陋習·不肯改革·必期於吾與吾親·同受此報·其人謂非喪心病狂·以砒霜鳩毒奉親·期享長壽安樂乎·哀哉。(三世因果、六道輪迴等事迹、諸史中甚多。欲略知大概、當看欲海回狂、第四三四五三頁、形滅神存類之六問答、自可略知。又佛菩薩欲人戒殺放生、以大慈悲、示作異類。及殺之以後、方知聖人示現、冀人不敢殺食諸物、以期彼此同得解脫也。其事甚多、不能備書、當看觀世音菩薩本迹感應頌卷一、第三十頁、物類現相一段文、自知其概。願諸觀者、同生正信。)所云宴會賓朋·原為暢敘衷懷·疏通情素·何可以殺生慘事·佐此清筵乎。彼物與吾及吾友·非有殺父之怨·何得以彼之肉·列我之筵·以作賓客歡娛之助乎。試一思其前後因果·縱食亦不能下嚥矣。世人娶妻生子·原為繼續祖脈·是為最吉祥事·若用肉食·則凶孰甚焉。我欲夫妻偕老·子孫蕃衍·令彼物類·或受離羣之悲·或受刀砧之慘·清夜自思·安乎否耶。又人每遇祝壽娶妻生子等吉事·或無意中·談及死喪等字·主人便不歡悅·設有破壞器具等事·便謂不祥。何殺諸生命·臠割烹炮·以至嚼食·而反以為樂·為禮·為吉慶·是誠何心哉·乃習慣而弗思耳。若論自奉·更不宜殺·當思吾生世間·有何功德·及於民物·有何福澤·及於祖宗父母。今承祖宗父母之蔭·席豐履厚·不極力為善·以崇吾祖宗父母之福。而復恣意殺生食肉·豈但不利於己·亦將累及祖宗父母矣。而況稟父母之遺體·日以物類資益·久之·則氣質隨之而變·是為大可畏者。今略引證據·庶知自愛者·力斷此嗜好也。萬善先資云·孕婦食兔·子則缺唇。食雀·子則雀目。食蟹·子多橫生。食鼈·子則項短頭縮。食鰻魚鰵鱈·子多難產。食田雞·子多啞啞。大戴禮云·食肉勇敢而悍·食穀智慧而巧。皆氣質隨物類之氣質轉變所致。以吾父母所遺之氣質·由食肉故·使潛移密化成物類之氣質·則為大不孝。曾見治刎頸未斷氣管者·活割烏雞肉·貼於傷處·好之·則彼處仍長雞毛。貼於外者·當處仍是畜質·盡平生食肉而資

於內者·可不惕然驚懼·以保存我所稟父母之遺體乎哉。況肉皆含毒·以殺時恨心所結·故食肉之人·多生瘡病·瘟疫流行·每多傳染·吃素之人·絕少此患。凡欲解脫怨業·攝衛身體者·不可不知也。或曰·三牲五鼎·借物攄誠·若如汝說·則古聖賢所立之法皆非乎。答曰·聖賢隨俗尚而立法·初非究竟實義。今既知人畜輪迴之事實·固當捨權從實·何可執權廢實·以傷天地好生之德·以喪吾心不忍之仁。況借物攄誠·何不取黍稷蔬果·而必取血肉汙穢之物乎。將謂天地孔關·甘此穢物·厭彼清饑乎。此無他·以習慣而不知其非耳。至於祭祖養親·宴賓自奉·俱可一返觀而悉知其非·悉改其舊矣·故不詳述。或又曰·若如汝說·通不殺生食肉·必至畜生蕃衍·徧滿世界矣·將如之何。答曰·世人所食者·皆是人令滋生·彼豬羊雞鴨等·悉使牝牡雌雄各異其所·則不十餘年·將永斷其種矣。況虎豹豺狼·蛇蠍蜈蚣·人皆不食·何自古至今·竟未徧滿世界乎。須知食肉者多·則豬羊雞鴨等·人設法以令其多生。實則多半都是貪圖口腹·不惜物命者·隨業受報·託生此等物中·以受人殺食耳。故楞嚴經云·貪愛同滋·貪不能止·則諸世間卵化濕胎·隨力強弱·遞相吞噉。以人食羊·羊死為人·人死為羊·如是乃至十生之類·死死生生·互來相噉。梵網經云·若佛子·以慈心故·行放生業·一切男子是我父·一切女人是我母·我生生無不從之受生·故六道眾生·皆是我父母·而殺而食者·即殺我父母。楞伽經云·一切眾生·從無始來·在生死中·輪迴不息·靡不曾作父母兄弟·男女眷屬·乃至朋友親愛侍使·易生而受鳥獸等身·云何於中取之而食。大乘經中·如此說者·多難具錄·觀佛所說·可知殺生食肉·其禍甚深·人畜循環·互相殺食·尚復執迷不悟·則成如來所名可憐憫者。須知兵劫·皆由殺生而起·世間一日所殺·不知有幾萬萬兆·由殺生食肉者之噁心·與受殺諸物等之恨心·結為兵劫。十餘年來·中外戰爭·罹死亡者·有數萬萬。而況天災屢降·水旱瘟疫·風吹地震·海嘯河溢·土匪盜賊·諸種災難·層見疊出·穀米昂貴·民不聊生。吾人值此時代·再不發一自憫憫他·自傷傷他之

心·以期挽回劫運·則亦何貴乎預三才之數·為萬物之靈乎。忍令具可以為堯舜·可以作佛之心性·而長劫沈淪於互相殺食之業海中·莫之能出·可不哀哉。

馮平齋宜人事實發隱

人生世間·善惡各須輔助·方克有成。雖天縱之聖·尚須賢母賢妻·以輔助其道德·況其下焉者乎。以故太任有胎教·致文王生有聖德。故詩讚其刑于寡妻·至于兄弟·以御于家邦。然此但約文王邊說。若論太姒之德·固亦可以輔助文王之道。如兩燈互照·愈見光明。兩手互洗·方得清淨。觀思齋太任·太姒嗣徽音之說·可以知矣。由是言之·世少賢人·由于世少賢母·與賢妻也。良以妻能陰相其夫·母能胎教子女。況初生數年·日在母側。親炙懿範·常承訓誨。其性情不知不覺為之轉變·有不期然而然者。余常謂教女為齊家治國之本·又常謂治國平天下之權·女人家操得一大半·蓋謂此也。以天姿高者·若有賢母以鈞陶之·賢妻以輔翼之。自可意誠心正·明明德·止至善。窮則獨善其身·達則兼善天下。即天姿平常者·亦堪循規蹈矩·作一守分良民。斷不至越理犯分·為非作奸·以忝所生·而為世害也。惜世人夢夢·不以盡倫守分教女·使日唯從事于妝飾·此外則一無所講。異日為人妻·為人母·不但不能相夫教子·以成善士·或反相之教之以成惡人。由是言之·教女一事·重于教子多多矣。而余所謂教女為齊家治國之本·及治國平天下之權·女人家操得一大半·乃真語實語也。近世學風大開·女子入學·多被不知教本之教員所誤。從茲不以盡倫守分·宜室宜家·相夫教子為事。各各皆欲操政權·作長官。越分計慮·習為狂妄·亦可慨也。安得有長民者·極力提倡·今其在家庭中培植。俾修齊治平之效·出于不知不覺·了無形迹中·則何幸如之。以是之故·余于馮宜人事實·重有感焉。宜人者·包培齋居士之德配也。生有異性·幼嫻姆訓。在家孝父母·已嫁孝舅姑。而且篤信佛法·修持唯謹。包君初尚不以為然·久之則與之俱化·而長齋念佛矣。以包君具聰明特達之資·又日與端莊靜默·守分盡倫之宜人相處。

其至性感人。蓋有潛移默化于不知不覺中。包君固明哲君子。一清如水。宦遊時于有所入。不知來歷者。尚慮其或有錯因果處。必正色勸戒。詳問來歷。以期無負于心而後已。又每戒其子。勿入政界。猶恐或有難免。故又曰。政界中錢。唯日日辦事。應得薪俸。可以領受。否則悉屬非分。終須償還。不可不慎。其事親相夫。持家教子之芳蹤。與夫戒殺放生。周急濟困。力懺宿業。篤修淨土之種種懿行。皆堪風世。至其將終前三日。切戒厚葬。命用薄棺布衣。以為真者既去。何可為此幻軀。濫費金錢。暴殄天物乎。况絲綢之原。皆由殺起。用以送葬。是以罪業相加。于親愛之道。大相乖戾。臨終一二日。現諸痛苦。頗覺難堪。卒得見佛光明。結印而逝。蓋由宿根深厚。現行淳淑。又得包君深知要義。乃教家人悉為助念。絕不提及訣別等事。亦不略露哀痛情狀。又請通法女友。常為開導。比邱六人。相續助念。直至次日入殮。不動哭聲。故使神識不生愛戀。得遂往生之願。則包君成就宜人之淨業者。可謂至矣。法華經云。善知識者。是大因緣。所以化導。令得見佛。宜人固包君之善知識。包君亦宜人之善知識。所謂善與善遇。相得益彰。若宜人者。可為當世婦女之師。而包君于其臨終助念。及諸舉動。實足為修淨業者之家人。與其子若孫之軌範也。余故表而出之。以為愛親者勸。餘詳事實中。此不備書。

康母往生紀念冊發隱為康寄遙作

父母之恩。畢世莫酬。孝之為道。其大無外。如來大教。以孝為本。菩薩視諸六道眾生。皆是過去父母。未來諸佛。故地藏有眾生日盡。方證菩提。地獄未空。誓不成佛之願。梵網戒經。以孝順為至道之法。不但令其孝順父母師僧三寶。且令其于一切眾生。生慈悲心。孝順心。方便救護。戒殺放生。以一切眾生。皆我宿世之父母兄弟妻子眷屬故。由是言之。佛教之孝。前溯無始。後盡未來。無不彌綸而包括之。故蓮池云。親得離塵垢。子道方成就。彼恃現生服勞奉養之孝。以誹謗佛教為不孝者。乃固執己井蛙之見。作此未見大海之瞽論也。為人子者。父母之德。固宜表彰。其表彰之法。注重躬行。必須

克己復禮·閑邪存誠。知過必改·見義必為。明因識果·戒殺放生。諸惡莫作·眾善奉行。生信發願·持佛名號。自行化他·同生淨土。能如是者·人縱不知其父母之德·而以景仰其人之德·并景仰其父母祖宗之德。以為潛修已久·故有如是之令嗣。否則縱父母祖宗有懿德·人所共知。因其人不肖·人必疑其父母祖宗雖有懿德·或復兼有隱惡。否則懿德之門·何為出此不肖之子孫耶。以是知立身行道·即為表彰父母祖宗之德。為人子者·宜何如主敬慎獨·躬行實踐·以期無忝所生也。至于名人之挽誄志銘·乃末事耳。康母之德·具見于挽誄志銘·故不復贅。吾欲康子以孝親之心·善守父母之遺體。勿令一言一動·一起心動念·稍違正理·以失孝道。語雖似乎寬泛不貼·實為儒釋正本清源之道。倘康子與閱此冊者·各加勉勵·則天下國家之大幸也。豈特康母有光榮哉。

江母郭太夫人西歸事略發隱

孔子曰·性相近也·習相遠也。又曰·惟上智與下愚不移。夫以孟子之賢·猶隨俗隨教而移。而上智下愚·其人甚少。則芸芸生民·習於善則善·習於惡則惡。其不被善惡之所移者·殆百千萬億分中之一二耳。味農江居士·端莊謙遜·有古人風。其修持誠懇嚴密·唯期實益。凡談玄說妙·好高務勝之習氣·概無有焉。(光)雖欽其天性淳篤·億其家庭鈞陶·必有大過人處。及見太夫人西歸事略·知居士之資于母者獨厚。是知世有賢母·方有賢人。古昔聖母·從事胎教·蓋鈞陶于稟質之初·而必期其習與性成也。世以太太稱女人者·蓋乙太姜太任太姒三聖女·各能相夫教子·以開八百年之王業者·用稱其人焉。(光)常謂治國平天下之權·女人家操得一大半。又嘗謂教女為齊家治國之本者·蓋指克盡婦道·相夫教子而言也。無如今之女流·多皆不守本分。妄欲攬政權·做大事·不知從家庭培植。正所謂聚萬國九州之鐵·也鑄不成此一箇大錯。以故世道人心·愈趨愈下。天災人禍·頻頻見告。雖屬眾生同分惡業所感·實由家庭失教所致。以故有天姿者·習為狂妄。無天姿者·狎于頑民。使各得賢母以鈞陶之·則

人人皆可為善士。窮則獨善·達則兼善。夫何至上無道揆·下無法守·弊竇百出·民不聊生乎哉。懿哉江母·初以孝翁姑·嚴教育·誦經念佛·以化其子。而味農居士·又特擴充母訓·精研佛學。能以淨土利益·預為勸諭。殆至臨終·多方助念。俾得承佛慈力·往生西方。可謂篤于事親·了無遺憾。然猶不以為足·又欲世之孝子慈孫·咸以此道成就其親。親在則婉為勸諭·令其諸惡莫作·眾善奉行·信願念佛·求生西方。親沒則竭誠盡敬·一心念佛·以祈蓮品高升·無生速證而後已。此西歸事略之隱義也·故特為發明云。

陳了常優婆夷往生事迹兼佛性發隱

一切眾生·皆有佛性。而佛與眾生·心行受用絕不相同者·何也。以佛則背塵合覺·眾生則背覺合塵。佛性雖同·而迷悟迥異。故致苦樂升沈·天淵懸殊也。若能詳察三因佛性之義·則無疑不破·無人不欲修習矣。三因者·正因了因緣因也。正因佛性·即吾人即心本具之妙性·諸佛所證真常之法身。此則在凡不減·在聖不增。處生死而不染·居涅槃而不淨。眾生徹底迷背·諸佛究竟圓證。迷證雖異·性常平等。二了因佛性·此即正因佛性所發生之正智。以或由知識·或由經教·得聞正因佛性之義·而得了悟。知由一念無明·障蔽心源。不知六塵境界·當體本空·認為實有·以致起貪瞋癡·造殺盜淫。由惑造業·因業受苦。反令正因佛性·為起惑造業受苦之本。從茲了悟·遂欲反妄歸真·冀復本性也。三緣因佛性·緣即助緣。既得了悟·即須修習種種善法·以期消除惑業·增長福慧·必令所悟本具之理·究竟親證而後已。請以喻明。正因佛性·如礦中金·如木中火·如鏡中光·如穀中芽。雖復本具·若不了知·及加烹煉鑽研磨礱種植雨澤等緣。則金火光芽·永無發生之日。是知雖有正因·若無緣了·不能得其受用。此所以佛視一切眾生皆是佛·而即欲度脫。眾生由不了悟·不肯修習善法·以致長劫輪迴生死·莫之能出。如來于是廣設方便·隨機啟迪。冀其返妄歸真·背塵合覺。法門雖多·戒定慧三·攝無不盡。故楞嚴經云·攝心為戒·因戒生定·因定發慧·是則名為三無漏

學。而三者之中，唯戒最要。以能持戒，則諸惡莫作，眾善奉行。其行與佛近，其心必不至與佛相遠也。故如來于梵網經，為眾生保證云。我是已成佛，汝是未成佛。若能如是信，戒品已具足。又云，眾生受佛戒，即入諸佛位。位同大覺已，真是諸佛子。是持戒一法，乃超凡入聖，了生脫死之第一要道也。使眾生不具佛性，縱令修習種種善法，亦無成佛之理。如石不具金，冰不具火，甄不具光，砂不具芽。縱令烹煉讚研磨礱種植雨澤等緣，一一經于累劫，亦無金火光芽等發生之事。若知此義，孰肯以性具之菩提涅槃，妄作煩惱生死。獨讓諸佛，及三乘聖人，受其真常之樂，自己甘受其幻妄之苦也哉。然約通途教道，在凡夫地，欲了生死，大非易事。若約信願念佛求生淨土之特別法門，則即于現生，悉得了脫。果具真信切願，萬中決不漏一。末世眾生，唯此一法，堪為恃怙。以故法運愈晚，此法愈當機，善知識提倡愈切。而真實修持，得遂往生之證驗，時或見之。優婆夷了常者，安徽無為縣陳錫周了圓居士之繼配夫人也。姓胡氏，賦性慈善，篤信佛法。錫周初不知佛法，長子天壽，頗聰明，十四歲殤。意謂我居心行事，無大過愆，何得有此。遂于因果報應，生死輪迴之事，概謂為無。夫人知其執不可破，輒密默修持，不令彼知。未久，夫人有娠，將臨產期，忽得大病。二十九日，不能言語飲食轉側。體熱如火，身瘦如柴。名醫束手，絕無生望。一夕，夢老母持一把長幹蓮華，云汝以宿業，得此惡病。幸有善根，是故我從南海，來安慰汝。隨以蓮華，從頭至足拂之。云拂去業障，好生嘉兒。頓覺身心清涼，即驚醒起牀，便成好人。次日生子，龐厚豐滿，與健婦所生無異。取名天民，今已十五歲矣。錫周由是方知佛慈廣大，三世因果之理事，真實不虛。從茲夫婦各吃素念佛，努力修持。于救濟貧苦患難，齋僧修廟，施善書，捨棺材，悉隨己力為之。錫周歸依光，法名了圓。夫人函祈歸依，因名了常。九年，夫妻兒女五人，同于北京法源寺，受菩薩戒。去年春，夫人欲來普陀見光，因先朝九華。歸至滬，適奉直兵禍將作，遂未果來，每引以為憾。光慰之曰，至心念佛，則日與彌陀聖眾相對越，何

得以不見粥飯庸僧為憾乎。以深受驚嚇。故身體瘦弱。久不復原。錫周祈光開示。光令作退步想。作已死想。遂得大愈。今春復病瘦弱。不思飲食。于二月廿八日。正念佛間。見兩童子執長幡。上書西方接引四字。謂錫周曰。此兆于我則幸。于君則不幸。以己一歸西。內顧無人故。然念佛之人。不貪生。不怕死。因請僧四位。誦經禮懺念佛廿八日。以祈壽未盡則速愈。壽已盡則速生西方耳。從此身心適悅。了無病苦。至四月初。復覺不適。知歸期將至。一心念佛。以求速生。初五。全家都為念佛。又請師僧換班續念。晝夜佛聲不斷。夫人但默隨之。初六午前。令備浴具。浴已。著新衣。往佛堂禮拜。供獻香華。歸即移牀向西側臥。唯專念佛。概不提及訣別等事。至亥時。見佛來。欲起禮拜。因扶起令坐。作合掌低頭狀。云尚有二千佛。念完即去。全家。同僧俗三十餘人。俱大聲念。夫人遂高聲念佛而逝。面帶笑容。室有異香。全家俱不現悲哀相。又念佛二小時。方為安置。次日午時入殮。頂尚溫煖。四肢柔軟。香氣猶存。噫。夫人可為宿有善根。現值善緣。不現世間愛情。破壞正念。唯仗多人佛聲。成就淨心。故得感應道交。蒙佛接引。離此苦域。登彼樂邦。何幸如之。臨終一關。最為要緊。世有愚人。于父母眷屬臨終時。輒為悲痛哭泣。洗身換衣。只圖世人好看。不計貽害亡人。不念佛者。且置勿論。即志切往生。臨終遇此眷屬。多皆破壞正念。仍留此界。臨終助念。譬如怯夫上山。自力不足。幸有前牽後推。左右扶掖之力。便可登峯造極。臨終正念昭彰。被魔眷愛情搬動等破壞者。譬如勇士上山。自力充足。而親友知識。各以己物。令其擔負。擔負過多。力竭身疲。望崖而退。此之得失。雖由他起。實屬自己往昔劫中。成全破壞人之善惡業力所致。凡修淨業者。當成全人之正念。及預為眷屬。示其利害。俾各知所重在神識得所。不在世情場面好看。庶可無虞矣。茲因訃至。故發其佛性。及助念之隱義。并夫人事實之大略。以期修淨業者。知所取法焉。

大慈悲室發隱

大慈悲室者。王母朱夫人之臥室也。王母朱夫人者。浙江山陰處

士王君楚辰之德配·心三為广二居士之生母也。夫大慈悲·乃如來之室·夫人何得竊取此名。如來于法華會上·令宏經之善男子善女人·入如來室·著如來衣·坐如來座。隨釋之曰·如來室者·一切眾生中大慈悲心是。如來衣者·柔和忍辱心是。如來座者·一切法空是。復頌曰·大慈悲為室·柔和忍辱衣·諸法空為座·處此為說法。然既入此室·決無不著衣坐座之理。夫人既以大慈悲名室·其三法宏經之實·為有與否。曰·此義當以六即論之。若論究竟圓證·則唯佛一人。若論理即·則一切眾生·無不即心本具。夫人殆由名字而起觀行·以期證入相似分證者。請略陳之。夫人年二十六·方歸王君。王君家頗富·篤信佛法·性好施捨。獨力建一廟兩進·以奉觀世音及天醫神。蓋欲大士尋聲救苦·天醫冥消眾病也。又且施茶施藥施燈施衣·歲以為常。放生惜字·各為立會以提倡之。戚族待以舉火者十數家·族子弟之資以就學者甚眾·以故家道中落。此雖王君所為·實為夫人陰相以成。使夫人無大慈悲心·柔和忍辱心·及不知一切法空之實義·當早為掣肘阻止·否則拌命以爭·何至竟令家道零落·半生居貧守困乎。又夫人于歸後·即蔬食·永斷腥葷。凡麻油香果等亦不食。唯飲白水。衣唯粗布·綾羅裘葛·脂粉簪釧·概悉屏除。日則紡織縫紉·夜則禮佛誦經·竟歲不出外戶。沈默寡言·親戚過訪·寒溫之外·輒談因果報應等事理。事舅姑以孝·相夫以德·教子有法。世以太姜太任太姒以譽女人·稱為太太·固多漸德。若夫人者·則無愧怍焉。越十有五年·王君卒·心三為广皆幼。夫人上奉老姑·下撫幼子·備歷艱辛·若忘昔富者。及子堪就學·則盡賣于歸衣飾·以備束修。為心三聘婦婁氏·未娶而喪明。親族咸勸退婚·夫人絕不見聽。卒娶之·且囑心三善視之·毋見惡焉。夫人初則默誦心經·日有定數。孀居後·則一心念佛·以期出此娑婆·生彼極樂耳。宣統元年·年六十矣。三月間·姑沒。夫人親理喪葬·哀勞致疾。四十餘日·形容枯瘦·而神氣極清。臨終前二日·囑心三為广備衣棺·曰·吾後日午後當逝矣。因誡之曰·願汝等進德修業·勉為完人。莊子云·哀莫大于心死。汝能體此意·

則吾心安矣。夫人居常念佛皆默念。屆時·極安舒。心三問所見·曰·毋擾吾正念。囑點燈籠于室門·遂安坐而逝。沒後兩手柔輒如生時。噫·平昔志願如彼·臨終安靜如此。其往生西方·斷可必矣。觀經以孝養父母·奉事師長·慈心不殺·修十善業。及受持三歸·具足眾戒·不犯威儀。與發菩提心·深信因果·讀誦大乘·勸進行者·為淨業正因。此十一事·有其一種·以深信願·回向往生·皆得如願。况夫人三十餘年·刻苦清修·永斷女習·恪守閨範。二十年來·一心念佛深厭五濁·冀生蓮邦。臨終子問·尚恐見擾。則不生淨土·將何生乎。設使夫人不知一切法空·無柔和忍辱心·及大慈悲心。則于于歸之初·當日事妝飾·唯美食美衣是務。豈肯食蔬衣布·甘受淡薄·如深山之老頭陀乎。若夫施捨落家·行之不悔·猶不為難。聘婦喪明·眾勸退婚·堅持不聽·更加憐愍。是皆大慈悲柔和忍辱之發現處。人皆以為難·而夫人了不為難者·以知一切法空故。否則人我等相·橫于胸中。決不能視人猶己·視富貴如浮雲·安貧守困·以法為樂也。及末後預知時至·子問所見·尚以無擾正念是誠。令懸燈于大慈悲室之門·隨即坐逝。其心中固已將母子恩愛·及世間名譽·擺脫淨盡。然此實屬頂門一針·除非頑皮·當即知痛。而雙手柔軟·用表提攜貧病之德·以作慈悲忍辱之證。噫·若夫人者·可謂兩間之完人矣。當今之世·宜家之教·弛而不張。不有發大慈悲心·以身為法者以鎮之·則將伊于胡底。古云·以言教者訟·以身教者從。夫人之于儒於佛·俱堪為法。殆乘願而特為閨壺母儀·女流師範者乎。余賦性剛直·學識膚淺·以故活埋海島·期其藏拙免愆。而心三居士·謬以知識見視·致書請教。因不避忌諱·痛下鍼錐。億其必定絕交·豈知反為佩服。知其家庭·必有善教。乃以其母之懿德貞心·未能表彰為憾。遂詳書其心行修持·祈余敘述·故為發其隱義。以期世之為父母及婦女者·知所取法。各各善教其女·以期異日相夫教子。使有天姿者·皆為善身覺世之賢士。無天姿者·亦為循規蹈矩之良民。則庶幾乎天下太平·人民安樂矣。曷勝禱祝。

馬母姚夫人往生事實發隱

世間眷屬·各有因緣·菩薩乘願·眾生隨業·善惡各以類聚·種性了無或爽·孝經所謂欲知其父親其子·易傳所謂方以類聚·物以羣分也。以故西天維摩詰·此土傅大士·龐居士·全家皆悉徹悟自性·親證無生·去來自在·得大解脫也。近來各界名人·眼界大開·悉皆尊崇佛法·密事修持。安徽桐城馬通白居士·乃現今之文學大家·著述甚富。初亦漸染韓歐程朱之見·不但不知佛為何如人·且不知自己一念心性·當體與佛了無有二也。及至晚年·學識日晉·見地日高·方知佛為大聖人·其教有不可思議之事。從茲日誦金剛經·兼持佛號·以期圓離四相·徹證一心·即於此生·迴出五濁也。其第三女·名君幹·頗聰明·通文理·有古烈女風·通白甚愛之。然於佛法·絕無信向。後得病甚苦·不能忍受·通白憫之·對彼念金剛經。彼一聞經聲·身心安樂·及至經歇·復覺苦痛·通白遂徹夜為念。忽起坐·止令勿念·若好人然。且曰·我於金剛經所說道理·悉皆悟到。便欲現大人相·說無生法·冀一切見聞之人·同種善根·詭言家中褊隘·欲往醫院將養。以通白與其壻方時簡·同寓京師·租屋共住·故不能過於寬敞幽雅也。通白見其志決·乃令其夫送之德國醫院·擇極超勝之屋安置之。令其夫與醫院侍人各去·彼則合掌坐脫矣。噫嘻異哉·此與龐女靈照·給其父離座·彼即據座以坐脫者何異。李木公素不信佛·聞通白說此因緣·全家歸依三寶。普門品所謂應以何身得度者·即現何身而為說法·詎不信歟。而其夫時簡·經此現相·見猶拘墟·行狀中反湮沒之·其罪過實非淺鮮。今蒙通白之姪怙庭·以其叔母往生事實·并其子根偉哀啟見示·知通白與其妻其女·皆有大來歷·非偶然者。按狀·夫人姓姚氏·諱澤潤·幼受庭訓·深嫻婦道·事父母舅姑唯謹。其姑疾革·割股和藥·籲天以禱。家固清貧·通白教授生徒·夫人代持家政·克勤克儉·故得無虞。教子女有法度·為鄉里所稱。數十年來·歷經世變·深厭無常·遂專修淨業·以期出此娑婆·生彼極樂。年逾古稀·猶然強健。今秋初·示微疾·飲食漸減·而晨昏禮拜持誦

無少閒。至八月初四。始臥牀。胸膈。氣不通暢。囑其女君璋。及姪婦孫孝達。代為誦經。孝達即怙庭之妻。平日以淨業互相勉勵。故常侍相為輔助也。至初九夜。夫人見諸佛金光燦爛。伏枕作禮拜狀。又見觀音伸手下垂。己則仰握菩薩手。連稱菩薩名不已。囑孝達誦彌陀經。孝達誦至佛土種種莊嚴處。曰如此境界。歷歷在前。吾所見。不異經所云也。家人環侍念佛。有飲泣者。夫人責之。謂若等何得如此以累吾也。至初十午刻。脣尚微動。久之遂逝。面色黃潤。眉額閒朗。明若鏡。頂上熱氣外溢。相距尺許。即覺薰蒸。蓋其淨業純熟。身心清淨之所表現耳。夫欲學佛法。先須力敦倫常。恪盡己分。觀夫人之孝事父母舅姑。以及相夫教子等。即觀經所謂孝養父母。行世仁慈也。而其深厭無常。專修淨業。又與同志互相勉勵。乃所謂至誠心。深心。回向發願心。與發菩提心。勸進行者之義。皆兼而有之。既有三世諸佛淨業正因之因。決感仗佛慈力往生淨土之果。彼世之不盡己分。以敦孝慈。妄欲冀附於仗佛慈力帶業往生之例。雖佛力法力不可思議。由自己心地不正。與三世諸佛淨業正因相反。斷難獲永離眾苦常受諸樂之果矣。修淨業者。尚鑑之哉。

曹雲蓀了義居士捨宅為念佛林發隱

佛法廣大如法界。究竟如虛空。理本自心。雖博地凡夫毫無所歉。道出常情。非十方諸佛莫能盡知。刻論契理契機之法。唯信願念佛求生西方。最為第一。利自利他之道。唯不住相布施福德。可等十虛。了義居士。既聞淨土法門。功勳殊勝。雖博地凡夫。具足惑業。但能生信發願。持佛名號。如子憶母。心心相續。決定仗佛慈力。往生西方。了生脫死。超凡入聖。由茲發大菩提心。修最殊勝行。又欲法界有情。等蒙利益。於是殫精竭力。提倡讚揚。然人同此心。心同此理。既經發揮其奧。誰不願得其益。由是善信預會。多至數百。悉具信願。篤修淨業。居士喜不自勝。即將自己素所住之舍宅。和盤托出。永作居士念佛林。其意唯欲自他同修淨業。同於現生。往生西方。及一切遠近善信。見者聞者。同皆發起。以致徧周寰宇。永久勿替也。與求

世間名譽·及人天福報者·固已天淵懸殊焉。同社諸人·感此盛情·竊恐不立證據·後或湮沒·致居士一番利人之心·或成斷滅·因為報縣立案·勒碑林中·非徒揚居士之盛德·實欲發見聞之熱心。又以不慧·外修此宗·故特致書·命為序引·以冀閱者·聞風興起·展轉傳揚·豎盡未來·橫徧十方。庶如來一切眾生皆具佛性·皆當作佛之言·悉皆詣實·不致猶有遺憾矣。不慧承斯盛情·謹將一切法門·與淨土法門·依之修行·以了生死·證無生·其中之難易遲速·略為敷宣。庶自度己力而修·不致有法不契機·長輪迴於三途六道·莫之能出之感傷也。如來一代所說一切法門·無非為眾生斷煩惱以了生死·證無生以成佛道耳。但眾生根機不一·致所得利益各別。其有宿根深厚者·現生即可斷盡見思·超出三界·進學菩薩上求下化之道·以期圓滿菩提·則何幸如之。其或根機稍劣·縱令禪定力深·徹悟自心·而見思未斷·則依舊輪迴。況從生至生·何能自保·倘一隨福迷·則直墮三途矣。其下焉者·又何待言·此自力了生死之難也。如來懸知末世眾生·無力斷惑·特開一信願念佛求生西方法門·俾彼法身大士·與具縛凡夫·及五逆十惡之極重罪人·同於現生·往生西方。既生西方·則了生脫死·超凡入聖·各隨己資·而為悟證·其慈悲撫育之心·雖天地父母·不能喻其萬一。以此法門·仗己信願念佛之力·感佛慈悲攝受之力·感應道交·故得不斷煩惱·帶業往生·較彼專仗自力者·其難易不可同年而語矣。念佛之人·若知此義·自能死盡偷心·專修此法·不致好高務勝·隨經教知識語言所轉·捨此別修諸餘法門也。普願見聞·悉皆諦信。

裘焯庭先生與其夫人雙壽序發隱

人在天地之間·藐乎小爾·何以與天地並稱·謂之為三才。以人同此心·心同此理·人皆可以為堯舜·人皆可以作佛。由其具贊天地之化育·振乾坤之綱維之功能德用·故得此嘉名。彼不自振拔·甘為下愚·生為行肉走尸·死與草木同腐·並生有害于社會國家·死受苦于三途惡道者·乃不慎所習而致·非本具之天真佛性有異也。故孔子

曰·性相近也·習相遠也。夫所謂贊天地之化育·振乾坤之綱維者·非專指有位者而言·雖匹夫匹婦·各能優為。果能誠意正心·自修其身·以明其明德·其誠中達外·必致家人與鄰里鄉黨親戚朋友·羣相觀感·而潛移默化于不知不覺中。是故一鄉有善士·則一鄉淳謹而靖謐·如漢陳寔婉訓樑上君子·其鄉之盜賊絕迹·魯義姑欲存其兄之嗣·齊國之敵兵立退·此殆匹夫匹婦贊化育·振綱維之一端耳。孟子謂窮則獨善其身·達則兼善天下·蓋指其多分而言焉。當今之世·世道人心·陷溺已極·只期自私自利·置道德仁義于不顧·幾于無可救藥。然天下不治·匹夫有責·倘人各興起·負此責任·各各守分安命·知因識果·孝親敬兄·敦篤宗族·嚴教子女·俾成良善·十數年間·世皆賢人·賢賢互益·必召天和·尚何天災人禍之有。是知闡明因果·善教兒女·為天下太平之根本。如裘焯庭夫婦·人皆知其有盛德熱心·能以至誠無私心·孝親敬兄·撫育諸姪·周給貧窮·振興學校·深信佛法·及與因果·濟度幽魂·救護生命·為一鄉之標榜·作同人之模範·致使子女媳孫·同皆賢孝·家道興隆·麟趾呈祥。而不知此德此心·固從無量劫來·稟佛諸惡莫作·眾善奉行·一視同仁·自利利他之教之所習·兼資受生以來·得賢父母鈞陶化育之所致也。先生與夫人將屆七旬·同人欲為祝其期頤·敬錄其實行·用佐壽筵·又祈不慧·隨喜贊助。竊思先生夫人之德·序文具標·若徒作華麗之文·以為讚頌·不但非我所能·亦非我所宜·故推本而發其隱義以言之。須知吾人之壽·原自無始無終·由其真如妙性·為煩惱惑業所蔽·故致隨業升沈于六道輪迴中·其壽便局促短小·不堪言狀。如來愍之·為說斷惑證真之法·令其返本還元·超凡入聖·從中下手易而成功高者·唯信願念佛求生西方為第一。其子懋楹·建安養堂·為二親修淨之所·實得祝壽之大體。待百年後·往生西方·證無量壽·方為孝子尊親之究竟實義·方副同人頌德祝壽之景仰誠心也。(懋楹、號佩淨)

孫母林夫人事實發隱

吾人一念心性·與三世諸佛·了無有異·其智愚苦樂天淵殊者·

以宿世今生之所修所習·有善惡順逆之所致也。華嚴經云·若人欲了知·三世一切佛·應觀法界性·一切惟心造。言法界性者·即生佛同具之妙真如性·在佛不增·在生不減·處生死而不垢·證涅槃而不淨·互古互今·不遷不變·湛寂常恆·如如不動。此性最可尊貴·故眾生雖迷之及極·如來絕無一念棄捨之心·多方教化·冀其復彼本性也。一切惟心造者·乃指修習順逆而言·順修則為人·為天·為聲聞·緣覺·菩薩·極之則圓成佛道·安住寂光。逆修則墮修羅·畜生·餓鬼·地獄·極之則永墮阿鼻地獄·經塵點劫·受諸極苦·莫由出離也。由是觀之·十法界皆由今昔修習而得·故孔子曰性相近也·習相遠也。了此·而不返迷歸悟·背塵合覺·以慎所修習者·未之有也。其返迷歸悟·背塵合覺之道·固非一端·求其下手易而成功高·用力少而得效速者·唯淨土法門為然也。孫母林夫人者·慶澤之生母也。宿植德本·稟性淑賢·其孝親敬夫·教子持家·周給貧乏·救護生命·皆足為女流師範。而且篤信佛法·修持淨業·自少至老·無或廢替。況身稟女質·既難遠參高人·而家住玉田·絕少宏法上士·而畢生孜孜修持者·乃多劫之熏修所致也。溯昔夫人歸孫君時·貧不自給·操勞苦作·過於傭保。中年以後·家漸富裕·有子五人·孫十餘人·僕婢甚多·宜享逸樂·其操勞苦作·不改舊度。衣止粗布·不服綾羅·洗澣補綴·尚不忍棄·見人之飢寒·不異身受·必施金推食·其心方安。人有求祈·必令忻悅而去。昆蟲螻蟻·誠勿傷害·即蛇蠍毒物·亦令設法驅去·絕不肯令其受傷也。蓋欲子孫世守勤儉仁慈之道·以身率之·而冀其依行焉。平時每以因果報應誡子孫·常曰·利人實為利己·害人甚於害己·凡居心行事發言·皆須歸於慈善一邊而後已。汝等若能如是·則為無忝所生·否則縱令富貴至極·亦屬污辱祖宗之大怨家也。故其子孫·多皆篤厚敬謹·不染時風。尤可異者·去冬兵從起時·慶澤奉母遠避于親眷家·當其去時·心慮惶恐·夫人以裝老衣之篋命攜之·亦不言其所以。至臘月遂歿·適得具劍·雖曰年高八十有八·不可不預·然其心地安詳·不隨境亂·於此可見。當夫人臨終時·慶

澤率其家人·同聲念佛·忽若發狂·遂將窗紙撕破。適有二蝶大如掌·從窗櫺入·黃質雜黑白章·采綉非常·繞尸而飛·家人驅之·竟不能去·歷大半日·殯殮已畢·昇入他院·蝶亦隨棺飛翔·直至靈柩安妥·方始飛出·向西而去。夫時當臘月·況在北方苦寒之地·何得有蝶·當時本家與親眷七十餘人·同皆驚異·謂為不經見聞之瑞。蓋以夫人盛德淨心所感·以表其離此娑婆·生彼極樂之祥·但以世人根機陋劣·特示為蝶·此豈真蝶乎哉。慶澤述其母之心行大略·祈余發揮以為世勸。噫·人子揚親之德·固為分所應爾·然揚親之德·而不修德慎行·則更甚于誣親以惡·故孝經以立身行道·揚名於後世·以顯父母·為孝之終。如孔孟等·未見敘述父母之德·而天下後世·無不尊其父為聖父·母為聖母·欲表彰親德者·不可不知。世孝如此·可謂極矣·而於親之靈識·無大裨益。若以佛法論·親在則諭親於道·俾其返迷歸悟·背塵合覺·信願念佛·求生西方。親沒則志誠念佛·為親回向·設祭待客·概不用葷·庶可令親未往生則即得往生·已往生則高升蓮品·此固如來普度眾生·令復本具佛性之要道。人子欲報親恩而揚親德者·當終身奉行而廣為化導·其利益唯佛能知·非語言文字所能形容也已。

崔母孫夫人往生傳發隱

聖人誠明之道·如來真常之法·匹夫匹婦·皆堪與知與能·以人同此心·心同此理·凡聖雖異·心體無殊。故曰惟聖罔念作狂·惟狂克念作聖·人皆可以為堯舜·人皆可以作佛。一切眾生·皆有佛性·由迷背故·枉受生死輪迴之苦。而佛視六道眾生·悉同一子·況生信發願·虔持佛號·具行世善·兼持經咒·志誠回向·以祈往生·有不感應道交·蒙佛接引·離此娑婆·生彼極樂者乎。崔母孫夫人者·注川處士之德配·祥鳩祥鷓祥鴻之生母也。其性情沈默淳厚·其行事勤儉寬和·其孝親相夫·持家教子·濟貧恤困·戒殺護生·皆足為閨壺儀型·女流師範·非宿有善根·豈能如是耶。而且篤信佛法·虔受歸戒·年逾七十·精修淨業·其子祥鴻·多方輔助·故得豫知時至·正

念往生·可謂女中丈夫·火裏蓮華·不辜佛化·不負己靈者矣。彼世之鬚眉丈夫·多才多藝·自命非凡者·及乎臨終·則業識茫茫·無本可據·依舊輪迴于三途六道之中·豈不大可哀哉。或曰·每見載籍·畢世修持·定慧力深·宗說兼通·解行相應者·多有生死不了·仍復受生。何崔母以五六年工夫·竟得往生·了生死耶·有何證據·而知其決定往生耶。答曰·子未知了生死有自力佛力之所以也。一切法門·皆仗自力·淨土法門·全仗佛力。仗自力·非見思淨盡·無由出離生死·仗佛力·若信願真切·即可帶業往生。譬如渡海·一由自浮·一由乘舟·到岸雖同·其難易安危·奚啻天淵懸殊也。觀無量壽佛經·示三種淨業正因·一者孝養父母·奉事師長·慈心不殺·修十善業。二者受持三歸·具足眾戒·不犯威儀。三者發菩提心·深信因果·讀誦大乘·勸進行者。此十一事·或有一二·加以信願念佛·悉得往生·况崔母之將及全備者乎。又五逆十惡眾生·臨終地獄相現·有善知識教令念佛·或至十聲·或止數聲·直下命終·亦得仗佛慈力·往生下下品中·况崔母五六年來·日夕繫念者乎。言證據者·臨終不起愛戀·密默念佛·豎手示敬·端坐而逝·即此數端·便是往生之相·况沒後全身已冷·頂門猶熱·及至入險·面貌如生·徵于經論·謂頂聖眼天生之說·其往生又何疑焉。或曰·此境師未親見·安知非其子之飾詞乎。答曰·飾詞世固有之·乃不知因果者之所為。祥鴻欲令同人同生信心·同修淨業·同生西方·冀其母高陞蓮品。斷不敢犯大妄語·俾其母與己·同獲未得謂得·未證謂證·以凡濫聖之至極重罪也。

慈悲鏡發隱

近世殺劫之慘·振古未聞·推究其由·皆因食肉之所釀成·是食肉為殺劫之因。殺劫乃食肉之果·而果復造因·因復感果·展轉互殺互食·了無已時·可不哀哉。然殺劫之慘·人所共感·而殺生食肉之慘·人所共樂·實則不異於自殺自食·及自殺食其父母兄弟妻子眷屬也。故入楞伽經云·一切眾生·從無始來·在生死中·輪迴不息·靡不曾作父母兄弟男女眷屬·乃至朋友親愛侍使·易生而受鳥獸等身·

云何於中取之而食·食肉之過·可勝言哉。泉州諸善士·欲挽殺劫·特立大同放生會。放生云者·卻感發眾人之慈悲心·從茲不忍食肉耳。既不食肉·則現在不造殺業·將來不受殺報·雖曰愛惜物命·實為預護自身·若大家同抱此志·何難感召天和。倘放者自放·食者自食·則所放有限·所食無窮·消放者個人之殺業則可·消眾同分之殺業則未也。故特撮取古人淺顯勸戒語言·名慈悲鏡·布之鄉邑·以期見聞·同發慈悲·共持殺戒·咸事素食·庶可挽回劫運·共用太平·因為畧陳食肉之過以助之。願食肉者·將生作己想·將己作生想·想之久久·即以威逼·令其食肉亦不敢·况徒為口腹乎。至於敬神祭先·奉親宴客·豈素食便不可·必殺生而方可乎。

唐氏先塋附青蓮尼塔發隱

人皆可以為堯舜·人皆可以作佛·以人同此心·心同此理故也。其不能者·皆卑劣自居·不自奮發·乃不為耳·非真不能也。禮云·飲食男女·人之大欲存焉·死亡貧苦·人之大惡存焉。然有志於為堯舜作佛者·則不以大惡存者·以易其大欲存者。故孔子曰·志士仁人·無求生以害仁·有殺身以成仁。孟子曰·生亦我所欲也·義亦我所欲也·二者不可得兼·捨生而取義者也。余於大成庵青蓮尼·深有感焉。按尼係武進西郊某姓婦·青年祝髮·精修梵行·為遠近善信所欽敬。清咸豐十年·賊陷常州·尼著袈裟禮佛·投入庵前池中。及賊至·則庵村悉成焦土。越數日·有汪邵二公·潛歸探視·見尼屍浮於池·二公仰其懿德清操·待夜深·出其屍·槨葬於庵之基。越十有六年·光緒改元·唐駝之父恂之公棄世。駝母鄒恭人·羅掘數十千·購其葬所·乃當日大成庵基。村人欲賣地·偷將尼骨埋于所購之墳地內·堆一小塚。鄒恭人詳究由來·不唯不以為嫌·且頗生敬仰。每祭掃·率駝兄弟·兼祭尼墳·夫鄒恭人·當此之時·年齒甚盛·居貧守節為夫撫育其子女·家計不充·賴勤針黹·兼為人浣濯衣服以度日。時駝兄光盛年十一·駝僅五歲·妹甫三歲·零丁孤苦·不堪言狀。鄒恭人勉力支持·以養以教·令駝兄弟成人成德。其處境·雖與青蓮尼異·其懿德

貞心·固與青蓮尼無或軒輊也。至光緒二十八年·鄒恭人棄也·遂與恂之公合葬焉。而駝兄弟服職外方·二十餘年·未共祭掃。迨民國十年·駝兄辭官歸里·駝亦由滬回常·相偕祭掃·求尼墳而不得。問其地主·云以不便耕種·乃移于桑田中矣。駝與其兄光盛議曰·現尚知此尼之德·故有保護之念·若不設法·後難免夷墓暴骨之慘。况汪邵二公·冒險而偷葬·吾母率吾兄弟·年年致祭。若置之不理·不但有愧於汪邵二公·且大得罪於吾母·我等何可抱此遺憾。乃擇吉移葬於其父母之塋·又為建一石塔·大書大成庵青蓮尼師之塔。題其後曰·尼服袈裟殉難·其志行可想·特遷遺骨葬我父母塋內·唯願世人共相保護之。駝之意·子孫或有遷徙·及與斷絕·欲為久遠之計·非求世人保護不可。有以不合宜揀者·駝曰·此尼乃佛門真修行僧·生為遠近所敬仰·賊欲來·而服袈裟而自溺·與古之仁人義士相去何遠。况吾母素所欽佩·俾吾兄弟致祭·今葬我父母塋內·如請高僧於家供養·有何不可。又此尼具此懿德清操·或已超凡入聖·使吾父母常得親近·當可蒙其慈力·即得高超三界·託質九蓮·以故吾宗吾母之意而樂為之。孟子以富貴不能淫·貧賤不能移·威武不能屈者·為大丈夫。若此尼者·初捨飲食男女之大欲存者·長齋奉佛·精修梵行。沒立殺身成仁捨生取義之大節·以期不負己靈·不玷佛化·為人天之標榜·弭末俗之頹風·非所謂女中大丈夫乎。宜其唐駝為之建塔·又持衣鉢·徧求名人為之題讚·以期發潛德之幽光·維世道於弗墜耳·爰為發其隱義云。

唐孝子祠校發隱

孟子曰·人皆可以為堯舜·又曰·堯舜之道·孝弟而已矣。有子謂君子務本·本立而道生·孝弟也者·其為仁之本歟。夫為堯舜為仁·不外乎敦行孝弟·初非有奇特玄妙·艱難困苦·欲為而不能者。人固各當自勉·以期不負獨為萬物之靈·而與天地并稱為三才耳。且天地至廣至大·人得以七尺之軀·與之并稱者·以其能贊天地之化育·繼聖賢之志事也。否則機械變詐·敗常亂俗·徒污天地與人類耳。形難

為人。實則禽獸之不如。以禽獸不知禮教。人知禮教。知禮教而悖之。斯居禽獸之下矣。是人也。生既為衣冠禽獸。死必墮三途惡道。人亦何苦以能為堯舜為仁之資。甘心永作畜生餓鬼地獄之可憐眾生。是誠何心哉。無他。皆由家教未至。與自己不自振奮而致然也。近來歐風漸至。一班新學派。厭故喜新。趨之若鶩。凡歐人為國為眾之好處。皆所不學。其蔑禮亂倫處。則變本加厲。竟至廢經廢倫仇孝等。無所不至。直欲人與禽獸。了無有異而後已。有心世道人心者。各懷憂懼。武進唐駝。欲挽頹風。以先曾祖唐孝子安邦公事。雖經表彰。載之邑乘。未立專祠。知者蓋鮮。遂設祠勒碑以表彰之。又於其中。立一小學。名為唐孝子祠校。俾當地貧子弟讀書其中。冀其顧名思義。效法前人。敦本重倫。以盡己分。初則服勞華養以安其親。次則立身行道以榮其親。既能孝矣。必能篤修弟忠信禮義廉恥等。則為入之道得。為堯舜為仁之道亦得。而贊天地之化育。繼聖賢之志事之道。亦可以隨分而得。駝之意。蓋如此。以故不辭辛苦。鬻字以辦。誠可謂敦本重倫尚德慕義之士。駝其賢乎哉。其族姪允中。亦隨力勸助。足見唐氏之多賢人也。雖然。駝之賢有自來矣。按駝生五歲。父恂之公即棄世。時駝兄光盛十一歲。妹始三歲。家徒壁立。零丁孤苦。不堪言狀。母鄒恭人。日勤針黹及與人浣衣。賴以度生。以養以教。俾駝兄弟皆成人成德。且為其夫買墓地。成契後。村人移大成庵青蓮尼骨於其地中。鄒恭人詢知。不唯不以為嫌。且深生景仰。歲時祭掃。必令二子致祭於尼。及恭人逝後。地主移葬他處。駝兄弟感母慈。兼恐後或夷滅。遂復移置其父母塋內。且建塔表彰其懿德清操焉。夫鄒恭人當夫逝時。年齒甚盛。居貧守節。教養二子。欽敬以身殉法之尼。其殆魏慈母魯義姑之流。懿德貞心。堪為世範。故感駝年逾五十。不減孺慕。欲廣孝思。以報母恩。爰立此祠。設校於中。以教鄉里之貧子弟。冀為挽回世道人心之據。可謂篤於事親。克盡子道矣。因為發其隱義。俾安邦公之孝行。與鄒恭人之潛德悉彰。庶見者聞者。咸皆興起。孝經云。夫孝。天之經也。地之義也。民之行也。由是言之。一言一行。

有不合道·皆為不孝。故曰·孝弟為仁之本·堯舜之道·孝弟而已矣。凡為人子者·可不深長思而亟自勉焉。

廣東高州佛學研究會緣起代何劍菁作

佛法大無不包·細無不舉。不但依之可以斷惑證真。了生脫死。即格致誠正·修齊治平·明明德·止至善之道·若能會通佛法·則事半而功倍。以世間聖人所說·但止令人盡分。唯上智之人·方能恪遵。若在中下根性·則便漠然置之。佛則詳示因果報應·生死輪迴·及一切眾生·皆具佛性·皆可成佛等事理。俾上智者必期于證本有·下愚者亦不敢肆意縱情·以膺未來之苦。勢必改惡遷善·希聖希賢·雖在暗室屋漏之中·常如面對佛天。如來以三歸五戒十善·普攝在家男女。能修五戒十善·便可勝殘去殺·反澆復淳。永離三途惡報·常享人天快樂。最淺者尚能如是·況其最深者乎。故知如來為三界大師·四生慈父·聖中之聖·天中之天。由是聖君賢相·通人達士·莫不依教修習·護持流通。以一切諸法·以心為本。唯有佛法·究竟發明故也。溯自東漢·大教西來。近二百年·止在北方。至三國康僧會·感化孫權·南人始沾佛化。至晉而徧及全國·及高麗日本等。至唐而各宗悉備·堪比西天。數百年來·法道流通·高人林立。載諸傳記·何可勝數。而曹溪法脈·出我粵東。傳佛心者·莫不宗之。固知粵雖邊鄙·于如來大法·有大因緣。由是禪宗大興·雖在家二眾·多有徹悟本有·明心見性者。歷宋元明·法道弗替。明季垂末·勃然蔚興。憨山以宏法遭讒·謫戍粵東·中興曹溪。時權使四出·百姓塗炭。制臺不能設法者·憨山以一席話取消之。讀憨山年譜·及年譜疏·知粵民沐大師之恩者深矣。迨至有清·崇重尤隆。世祖仰遵佛制·罷除試僧·及與度牒·令其隨意出家。在當時高人林立·頗為有益。而佛法式微之兆·實基乎此。自後百有餘年·尚復蔚然。嘉道以來·哲人日希·典型日墜。國家不事提倡·僧侶頹于奮發。加以咸同之際·兵災繇聯。前修既沒·後昆無聞。以致鄙敗無賴之徒·多皆混入法門。在家儒士·非具超格之知見者·莫不以佛法為贅疣·謂其無益于人國。而如來格致

誠正·修齊治平。及斷惑證真·了生脫死之大經大法·以不研究·誰得而知。新學派出·妄以己意·肆其謗黷。遂至毀寺逐僧者·相繼而起。近數年來·各界人士·眼界大開。知佛法為世間唯一無二之道。不但不與一切哲學科學政治法律相抵觸·且能令彼一切哲學科學政治法律·悉獲實益。于是凡有志于親見本來面目·及挽回世道人心者·莫不研究佛法·受三歸以正三業·奉五戒而修十善。吃素念佛·戒殺放生。昔之嗤為愚夫愚婦之所為者·今則偉人名士悉為之。于是各處皆設佛學研究會·佛經流通處。剝極則復·否極則泰。今之世道人心·陷溺已至極點。若不以因果報應·生死輪迴。及一切眾生·皆具佛性·皆可成佛為訓·決難收效。以吾人一念心性·不變隨緣·隨緣不變。隨悟淨緣·則證三乘·及佛法界。隨迷染緣·則成人天·及四惡趣法界。雖十法界之升沈苦樂·天地懸殊。而本有心性·在凡不減·在聖不增。倘諦了此義·雖使喪身失命·決不肯舍悟淨緣·取迷染緣。以致永劫輪迴·莫之能出也。是知因果報應·生死輪迴等法。乃標本同治·凡聖共由之大道。世出世間聖人·平治天下·度脫眾生之大權也。當今之世·若舍此法·雖堯舜禹湯文武周孔齊出·亦末如之何也已矣。天下不治·匹夫有責。吾高佛法·凋殘已久。出家在家·等皆夢夢。同人等發起佛學研究會·并佛經流通處。俾有志于己立立人·自利利他者·隨己天姿而為修持。深則見深·何難斷惑證真·了生脫死。淺則見淺·亦可改過遷善·希聖希賢。挽回世道人心·促進人羣道德·固與政治宗教各範圍·不相干涉·不相背戾也。區區之忱·祈垂洞察。

上海佛學編輯社緣起

心性者·十法界一切聖凡·墮獄生天·證真成佛之根本也。因果者·世出世一切聖賢·平治天下·度脫眾生之大權也。然此心性·人各自具。真常寂照·妙莫能名。祇因迷而未悟·不但不得受用·反承此心性之力·起惑造業·由業墮苦。展轉沈迷·輪迴六道。盡未來際·了無出期。致我釋迦牟尼世尊·特垂哀愍·興無緣慈·運同體悲。不離寂光·示生世間。精修梵行·成等正覺。于是歎曰·奇哉奇哉·一

切眾生·皆具如來智能德相·但因妄想執著·而不證得。若離妄想·則一切智·自然智·無礙智·即得現前。由是隨機說法·令得度脫。但由機器差別·故致法無定相。或漸或頓·或權或實·或顯或密·或性或相。必期于徹悟此在凡不減·在聖不增·終日隨緣·終日不變之妙真如性·悉得徹證而後已。以此心性·體雖不變·用常隨緣。隨迷染緣·由厚薄不同·而成六凡法界。隨悟淨緣·因淺深各異·而成四聖法界。既知體常不變·由迷逆悟順·相用天殊。其誰不欲捨迷染緣·隨悟淨緣。復還本有之天真·圓成無上之覺道乎。十法界·一一不出因果之外·欲離苦得樂·超凡入聖者·固宜慎所擇也。又慮眾生業重障深·縱種善根·得生人天。既未斷惑·必致造業。一墮惡道·苦無了期。于是以大悲心·特開淨土法門。俾具縛凡夫·于現生中·即得出此娑婆·生彼極樂。與住行向地·及等覺菩薩·如觀音勢至·文殊普賢等·俱會一處·親炙彌陀·以漸證夫道果耳。噫·世尊之恩·可謂極矣。雖天地覆載·亦難喻其少分焉。迨至眾生機盡·如來應息。而大悲利生·終無有盡。由是諸大弟子·分布舍利·結集經藏。俾徧界以流通·冀普沾乎法潤。及至東漢·大教始來。但由風氣未開·故唯在北方流通。至孫吳赤烏四年·康僧會尊者·特開化建業。蒙如來舍利降臨·致孫權極生信仰。遂修寺建塔·以宏法化。此法被南方之始也。至晉而徧布高麗·日本·緬甸·安南·西藏·蒙古諸國。自茲以後·蒸蒸日上。至唐而諸宗悉備·可謂極盛。天台·賢首·慈恩·以宏教。臨濟·曹洞·為仰·雲門·法眼·以宏宗。南山·則嚴淨毗尼。蓮宗·則修專淨土。如各部之分司其職·猶六根之互相為用。良以教為佛語·宗為佛心·律為佛行。心語行三·決難分屬。約其專主·且立此名。唯淨土一法·始則為凡夫入道之方便·實則是諸宗究竟之歸宿。以故將墮阿鼻者·得預末品。證齊諸佛者·尚期往生。如來在世·千機並育·萬派朝宗。佛滅度後·宏法大士·各宏一法。以期一門深入·諸法咸通耳。譬如帝網千珠·珠珠各不相混。而一珠徧入千珠·千珠悉攝一珠。參而不雜·離而不分。泥迹者謂一切法·法法各

別。善會者則一切法。法法圓通。如城四門。隨近者入。門雖不同。入則無異。若知此意。豈但諸佛諸祖所說甚深諦理。為歸真達本明心見性之法。即盡世間所有一切陰入處界大等。一一皆是歸真達本。明心見性之法。又復一一皆即是真是本。是心是性也。以故楞嚴以五陰六入十二處十八界七大。皆為如來藏妙真如性也。由是言之。無一法非佛法。亦無一人非佛也。無奈眾生。珠在衣裏。了不覺知。懷寶循乞。枉受窮困。以如來心。作眾生業。以解脫法。受輪迴苦。可不哀哉。以故宏法大士。不憚艱辛。種種方便。而為開導。令其諦了十法界因果事理。徹悟即心自性。以迄究竟圓證也。由唐而宋而元而明而清。足一千年。聲教弗替。雖不及唐時之盛。猶可稱伯仲之倫。自咸同來。兵火聯綿。飢饉荐臻。高人日希。庸人日多。國家不暇提倡。僧侶無力振興。由是在家高人。以未嘗研究故。謬襲韓歐故套。遂致一敗塗地。至清末之時。大開學界。天姿高者。遂皆翻閱佛經。始知道本在是。遂皆息心以研究焉。及至民國啟運。法制維新。奉教自由。載于憲法。十餘年來。風氣大開。舉凡政軍學商各界偉人。多皆研究佛法。吃素念佛。顧聯承。趙雲韶等諸居士。欲令同人。悉沾法利。擬于上海北京路長康里。設一佛學編輯社。凡屬發明心性之論。彰顯因果之說。戒殺放生之利益。念佛往生之感通。與夫深經奧論之解釋。高人懿士之修持。取便編輯。月出一冊。以餉當世。庶不知佛法者。因茲而知。稍知佛法者。展轉入勝。果能依佛言教。諸惡莫作。眾善奉行。主敬存誠。洗心滌慮。不但天災人禍。從茲消滅。俗美風淳。永享太平。將見徹悟唯心。親見佛性。離三界之苦因苦果。證一乘之樂因樂果。庶不負此即心本具之真如妙性也已。

常齋會題詞并緣起

眾生心性。與佛同儔。由善惡業。報分人畜。人有智識。畜無技術。恃強陵弱。遂殺而食。成家之子。不惜重債。況殺彼身。但圖口快。怨恨固結。歷劫互償。試一思及。中心痛傷。爰集同人。共立此會。凡百應酬。概用素菜。特立現約。并述緣起。普願見聞。各篤胞

與。

原夫水陸空行一切眾生·無一不知疼痛苦樂·無一不知貪生怕死。而且無一不是吾人無量劫來之父母兄弟姊妹妻子朋友親戚。又復無一不能於未來世深種善根·修持淨業·斷惑證真·圓成佛道。但以宿世惡業·墮於異類。固宜深生憐憫以護持之·令彼各得其所。何可以強陵弱·或以智取·或以錢取·俾彼一切·悉充口腹。彼等力雖不敵·心固銜結。故致生生世世·展轉互殺。為一時之口腹·殺身命於多劫。校比自殺·酷烈萬倍。何苦為此招殃禍事·一何愚迷至於此極。在昔魯國有二勇士·彼此互聞而未相見。一旦相遇·沽酒共飲。一日·無肉不能成歡·當去買肉·一曰·爾我肉也·何須更求。其人以為所見甚高·遂袒衣相割·彼此互食。又復割彼之肉·轉以奉彼。意氣揚揚·以為吾人之交·情意真摯。相割相食·遂至於死。凡見聞者·皆歎其愚。世人因食肉故·造諸殺業。遂至累劫·展轉互殺。校彼勇士·更為酷烈。由無慧目·不知後報。反為得意·用自矜誇。斥素食者·以為迷信·及以薄福。世俗相襲·恬不知非。以故如來於梵網·楞嚴·楞伽·等諸大乘經·極陳殺生食肉之禍·可謂拔本塞源之真慈大悲也。近世殺劫之慘·千古未聞。况復水火疾疫風吹地震旱潦等災·不時見告。總因殺業以為緣起·致令世道人心愈趨愈下。由是天災人禍·相繼而興。如立鏡前·不能逃影。同人憂之·欲令世人·同持殺戒·各秉蔬食。無論祝壽祈福冠婚喪祭宴賓會友等事·俱用素筵。一以全吾惻隱之心。一以冀吾所尊奉之神祇·并吾之祖宗父母朋友親戚·止息殺業·增長善根·非止獨為水陸空行一切物類計也。又期彼此效法·達之鄉國·及與天下。將見俗美風淳·民康物阜。共樂大同之化·永息爭競之風·則鳥獸魚鼈咸若。庶人與天地並立為三·稱為三才。與乾為大父·坤為大母·民吾同胞·物吾與也之義·不至徒有空言·毫無實義矣。

樂清柳市募建淨土堂緣起

三界無安·猶如火宅。眾苦充滿·甚可怖畏。眾生愚癡·常住其中。縱受極苦·不求出離。雖有本具佛性·由其迷背·反作起惑造業之本。以致經塵點劫·莫由解脫·可不哀哉。況今世道人心·陷溺已極·殺劫之慘·振古未聞。加以新學潮流·撥無因果。聖賢道義·斥為迂腐。任己臆見·而為提倡。盲引盲眾·相牽入火。致今天災人禍·相繼降作。蚩蚩蒸民·誠堪憐憫。于是有心世道者·奮發大志·欲為救援。以為此等業果·皆由唯知自私自利·不知三世因果善惡報應。以為人死神識即滅·有何靈魂·隨罪福因緣·受生于人天及三途惡道耳。既善惡同一磨滅·何不任意所為·以期身心快樂乎。由是逆天悖理·損人利己。以及殺害生命·取悅口腹之事·熾然競作·無所顧忌。使知三世因果·當即恐其受報·而不敢稍萌此念·況實行其事乎哉。是知我佛所說三世因果·生死輪迴之事理·乃無明長夜之慧日也。而念佛求生西方極樂世界·乃生死苦海之慈航也。欲挽劫運·捨此末由。以故各處諸大心緇素·悉皆汲汲然提倡佛學·以冀天下太平·人民安樂也。樂清胡天僕居士·于虹橋建一淨土堂。于八月十五日開講·萬眾歡欣·歎所未有。柳市諸善士景仰不已·擬在當市·亦建一所·以期普霑法潤。除首人任捐外·擬欲募諸四方。包又舞居士祈光作疏。竊謂因果一法·乃世出世間聖人·平治天下·度脫眾生之大權。而念佛一行·實十方三世諸佛·普令眾生·現生出苦之達道。捨此則邪見無由滅·實益無由得也。契理契機·利益難思。懇祈有力大人·各各贊襄·俾佛堂成而講會長開·人心轉而劫運頓息。庶勝殘去殺·一視同仁之象·復見于今。其功德利益·當與十方虛空同其壽量·非筆舌所能形容也已。

請淨權法師講法華經啟代法雨監院作

伏以如來知見·蘊於眾生心中。不因佛說·誰能自悟。釋尊一代所說諸經·唯有法華暢譚此義。舉手低頭·皆成佛道。治世語言·悉

順正法。示衣裏之明珠。出火宅之險難。孤露乞兒。作長者之真子。無明厚地。得法性之甘泉。即眾生心。示如來藏。若不講演。誰得而知。恭維淨公大法師。宿受佛囑。作如來使。常宏大教。普利羣倫。以大智能。發大辯才。直教頑石點頭。天華墜地。晚久仰德風。未獲一晤。緣慳障厚。愧何如之。茲者（敝寺）主人。擬於來年夏月。講演法華。固知座下悲運同體。慈起無緣。故敢冒昧懇求。唯祈默然允許。將見昔日靈山一會。各各同瞻。此際觀音普門。人人得入矣。伏祈慈悲。則法門幸甚。眾生幸甚。臨啟。無任懇禱冀望之至。

請淨權法師講彌陀疏鈔啟代法雨住持作

伏以圓覺妙心。有情各具。修持剋證。其孰知宜。恭維淨公大法師。宿受佛囑。乘願再來。開如來之知見。續台衡之薪傳。諦觀圓融。禪淨一致。導三乘同登九品。引五性共證唯心。（晚）久仰高風。殊少親近。愧為法雨守門庭。絕無智力宏覺道。詳察現世時宜。唯淨土最為當機。擬講彌陀疏鈔。非我公莫慰眾望。懇祈不違本誓。俯徇下情。待到明年七月。飛錫荒山。好令百千四眾。棲心秘藏。以懸河之妙辯。暢如來之本懷。俾無問自說之經。理事雙彰之疏。悉得大明。豈但荒山之深幸。法門之深幸而已哉。唯願慈悲。默然允許。臨啟。無任激切冀望之至。

寧波功德林蔬食處開辦廣告

一切眾生。皆有佛性。皆是過去父母。未來諸佛。設法救護。尚恐不及。何可為悅我口腹。以殺彼身軀乎。須知水陸飛潛諸物。同吾靈明覺知之心。但以宿業深重。致使形體殊異。口不能言。觀其求食避死情狀。自可悟其與人無異矣。吾人承宿福力。幸生人道。心有智慮。正宜敦天父地母。民胞物與之誼。以期不負人與天地並名三才。以參贊天地之化育。俾民物各得其所。以同受覆載。同樂天年而後已。倘其不體天地好生之德。恣縱自己饕餮之念。以我之強。陵彼之弱。食彼之肉。充我之腹。必至一旦宿福已盡。殺業現前。欲不改頭換面。

受彼展轉殺食·其可得乎。況肉食有毒·以殺時恨心所結故。故凡瘟疫流行·蔬食者絕少傳染。又肉乃穢濁之物·食之則血濁而神昏·發速而衰早·最易肇疾病之端。蔬係清潔之品·食之則氣清而智朗·長健而難老·以富有滋補之力。此雖衛生之常談·實為盡性之至論。因俗習以相沿·致積迷而不返。須知仁民者必能愛物·殘物者決難仁民·以習性使然。是以聖王治世·鳥獸魚鼈咸若。明道教民·黏竿彈弓盡廢。試思從古至今·凡殘忍饕餮者·家門多絕。仁愛慈濟者·子孫必昌。始作俑者·孔子斷其無後。恣食肉者·如來記其必償。祈勿徒云遠庖·此係隨俗權說。固宜永斷葷腥·方為稱理實義。近世殺劫之慘·實為千古未聞。若詳推其根源·皆由食肉所致。憂世之士·各欲拔本塞源。申江開辦功德林·固已先豎赤幟矣。此邦道尹黃公·鎮使王公·知事姜公·及張讓三公·吳東山公等諸鄉紳·諦閑法師·開如·了餘等諸沙門。同憫近世殺劫·擬植仁壽幸福。特步申江之後塵·以樹寧地之先聲。創辦本林·提倡素餐。俾邦人士冠昏喪祭·便用素筵。宴賓會友·悉資蔬食。以代庖之微業·作救劫之大權。專以利生為志·絕非唯利是圖。于是聘請名工·製造珍品。以備邦人士冠婚喪祭宴會需用。或來本林以就食·或送貴宅以供用。多少厚薄·俱可隨意。凡有惠顧·決無失悞。懇祈官商善信·同發戒殺護生之心·共行斷葷茹素之事。俾慈風從茲普扇·庶殺劫自此消滅。將見時和年豐·民康物阜。永無天災人禍·長享安樂太平矣。此固道尹諸公發起本林之深心·而晨夕焚香念佛以懇禱者。尚冀各處效法·故為敘述緣起。

啟建水陸壽筵小參代友人

只此一念菩提心·即是常住無量壽·普令法界諸眾生·性修功德皆成就。恭維無遮勝會齋主·定聖秦太太·宿根深厚·賦性淑賢·篤信佛法·歸依三寶。即俗修真·垂母儀于閨壺·隨緣體道·作師範于女流。常時厭離娑婆·非徒自作歸計·一意欣求極樂·每欲普度羣萌。茲值六旬初度·婺煥中天。遠離塵囂之市井·直詣圓通之道場。力辭親朋祝獻之儀·大啟法界聖凡之會。以自己之誠心·感三寶之慈力。

必得夫與己身·業障潛消·諸緣盡吉。現生膺洪範之五福·臨終登九蓮之上品。子榮孫貴·奕世長發其祥·道泰時康·闔國咸有其慶。豈徒令當齋正薦·王氏秦氏·祖禰先亡·同生淨土。所願十方世界·四生六道·一切含識·共證真常。本儒者已立立人之心·行菩薩自利利他之事。只因佛由心具·故願壽與人同。咦·性具福壽妙難詮·奚啻如海與如山·窮盡三際無生滅·迴超思議兩重關。

對靈小參代撰

三界原來無別法·唯是一心之所作·識得諸法皆由心·何難超凡而證覺。恭維當齋正薦某某居士·宿具靈根·篤信佛法·聰慧明達·溫良恭儉。孝順出于天性·仁慈及于庶物。推因計果·以心驗福。當享上壽膺高爵·以大展經綸。何甫弱冠便夭折·而即捐身世。想必愛親情切·欲得同生淨土·故現無常·激發令親出世之心·以成世間莫大之孝。所謂即不孝以為大孝·由無常而證真常。冀報親恩·兼警同倫·現身說法·善巧無喻。無如今親愛子之心·更加真切。恐汝淨業未熟·未能往生·故來圓通道場·建無礙會·普濟孤魂。以此功德·俾汝未生則即得往生·已生則高增品位。茲者欲汝解第一義·登上品蓮·見彌陀于自心·證無生于當念。特設香齋·兼示法要。須知父母未生以前·原無男女之相·四大分散之後·唯有靈知之心。由幻業以相纏·故不能直下了脫·倘凡情以頓息·又何難徹底承當。相因業以幻生·業由心而妄起。心若不生·業便消滅·業盡情空·返本還元。譬如雲散長空·天日頓現乎本體·水歸大海·江河莫比夫洪深。徧十方而無欠無餘·盡三際而不生不滅。此理悟之雖易·證之實難。須發信願之心·求生西方·定仗彌陀之力·速離五濁。從茲承侍如來·參隨海眾。聞法受記·開佛知見。斷惑證真·得本圓通。然後仗佛慈力·乘本願輪·徧法界以普現色身·俾迷流以同登覺岸。咦·近水樓臺先得月·向陽花木早逢春·自從徧吉導歸後·海眾悉皆廢南詢。

啟建水陸對靈小參代友人

娑婆原是苦封疆·生死輪迴實可傷·拔斷愛根歸西去·歷劫熱惱頓清涼。恭維無遮勝會當齋正薦琴濤邵先生·宿植德本·素著景行。讀書明理·垂典型于市廛·學道愛人·助政治于官府。通商裕國·人咸佩兩袖之清風·濟難扶危·心獨揭一輪之明月。兼以篤信佛法·崇重三寶·雖未專修定慧·實能上合慈悲。壽臨知命·便拋幻軀·事堪痛心·故援金臂。茲者孝男某某·併諸眷屬·欲崇追薦之儀·大啟無遮之會。須知心佛眾生·三無差別·由迷悟之不同·致升沈以碩異。當念昔標清風明月之懿範·原承法身般若之威神。了此則自能息認影之狂心·起反照之正智。方知頭本不失·佛自圓成。不離此念·入聖超凡。永辭虛妄之幻苦·恆享真常之法樂。然理可頓悟·事難即圓。宜發信願之深心·求生淨土·定蒙光壽之慈父·導歸蓮邦。從茲神超清泰·業謝塵勞·蓮開上品之華·佛授一生之記。然後乘本願輪·迴入娑婆·逆順隱顯·度脫眾生。普令法界有情·共證常住佛性。俾此明理愛人之心·清風明月之操·豎窮三際·橫徧十方。庶可謂不孤佛化·不負己靈·超羣拔萃·真大丈夫者矣。噫·冰水豈有兩種濕·生佛原同一覺心。但能返觀觀自性·即獲本具無價珍。

定海張總戎薦親對靈小參代撰

一念真如性·光明徧大千。悟迷雖有異·本體總天然。恭維誥封某某張老大人·生前積善修德·居仁由義。故致身後餘慶長發·奕葉相承·德範恆新·簪纓永繼。作股肱于元首·為國家之爪牙。茲者法會宏開·用申超薦。急須了知在生積德·即今受薦之心。性本如如·不遷不變·常寂常照·離念離名。圓滿無量功德·具足無邊妙用。凡不能令其減損·聖不能令其增益。非色非空·歷十界而無異·不生不滅·盡三際而常然。所謂靈光獨耀·迴脫根塵·體露真常·不拘文字。心性無染·本自圓成·但離妄念·即如如佛。若能如是會得·自然親見天真佛性·直趣無上菩提。如或未能·須仗阿彌陀佛大悲願力·往生西方極樂世界。果若圓發三心·直下即登九品·華開見佛·證無生忍。方知前來升沈六道·積善修德·乃至即今親臨法會·聞法受薦·

一念心性。從本以來。原自清淨無有染汙。原自具足河沙功德。嘆。一條蕩蕩西方路。直下歸家莫問程。自是不歸歸便得。故鄉風月有誰爭。

祭盛寅懷文代了餘師作

維年月日。方外友了餘。謹以香茗蔬肴之儀。政祭于寅懷盛公之靈曰。維公之生兮不生。緣會而生。維公之滅兮不滅。緣盡而滅。若徹悟夫自心兮。生滅不殊虛空楔。縱未明乎本有兮。去來何異水中月。幸夙因之深厚兮。稟性真誠。歎佛緣之稍疏兮。惜未聞淨土橫超之秘訣。論現因之明廉而公正兮。來報必在諸天宮殿。王公閥閱。雖暫享人天之幻福兮。難免花殘而月缺。祈以世福迴向極樂淨域兮。必蒙彌陀慈父垂金色臂以迎接。從茲永辭五濁惡世兮常享五清。庶可不負與餘久交兮。亦堪慰餘末後告公之誠實說。尚饗。

祭韓山曦居士文代法雨常住作居士品行端方為商界中冠

維公之心兮。忠厚慈祥。維公之行兮。廉潔端方。居塵為政兮。德風被處。使彼奢者儉。懦者強。兇惡者遷善。放蕩者息狂。篤信佛乘兮。多方宏護而贊襄。溯昔八十四年前兮。本不會生。即今現在兮。又豈有亡。去來雖無定相兮。主人翁原自露堂堂。若推因以驗果兮。不在天宮享天福。定在極樂世界侍願王。須知天福兮易盡。淨土之樂兮。窮未來際了無央。尚祈圓發三心兮。直登上品。庶可徹證本有兮。永為苦海沈溺眾生作舟航。尚饗。

胡嘉科祭祖母文代撰

嗚呼。維吾祖母兮。母德堪師。每一思及兮。輒生傷悲。為女流之懿範。作閨閫之善導兮。實效法乎周之三太。虞之二妃。撫育不肖孫之周摯兮。如天覆地載而無遺。冀予學成德立。出而為國家作輔弼。處而為鄉里作儀型兮。豈料予之不才。德不加修。學無所成。俯仰天地。愧莫能支。幸因遊學泛覽兮。得遇如來普度眾生之文詞。方知吾人一念心性兮。直與諸佛無二無別。亙古亙今不轉移。但以迷悖。逐

境生貪·起惑造業·致受果報·于三途六道兮·實于本性不減一毫釐。修持法門無量無邊兮·俱不若仗佛慈力橫超三界之適宜。以若能生信發願·以至誠心·念南無阿彌陀佛·求生西方極樂世界兮·決定感應道交·蒙佛接引·往生西方七寶池。五逆十惡·臨終地獄相現·念佛數聲·即蒙接引得預下品下生兮·况吾祖母之懿德善行兩相資。緬維禹為大聖·不免鯀之神識·入于羽淵·化為黃能兮·不禁悲喜交集·如狂如癡。是以西方有大聖人兮·發之于至聖先師魯仲尼。伏願吾祖母諦信而勿疑兮·直下即可蒙佛慈。又祈與吾祖父·并及歷代祖妣兮·同發怖生死苦·感佛慈悲之心·依此修持。庶可相率同預蓮池海會·親炙彌陀·承事眾聖兮·因茲徹悟本具佛性·以迄圓證夫無上大菩提。尚饗。

阿彌陀佛像讚

悲哉眾生·無所恃怙。孤露嶠嶼·如逃逝子。縱聞佛法·依教修行·自力劣弱·難破無明。猗歟世尊·慈悲心切。四十八願·三根等攝。普令眾生·信願持名。仗佛慈力·帶業往生。以果地覺·為因地心。感應道交·如磁吸鍼。如來恩德·窮劫莫讚。唯冀含識·悉副佛願。

觀世音菩薩本迹感應頌卷首像讚

猗歟大士·誓願難宣·悲運同體·慈起無緣。尋聲救苦·隨類逐形·普現色身·徧情無情。若有眾生·遇諸苦難·一稱其名·立見救援。富壽兒女·凡有所求·禮拜供養·隨願悉酬。何以稱名·便獲感通·由菩薩心·久證真空。無心之心·合生佛心·眾生迷背·無從受恩。因遇災難·并所懇叨·一發誠心·感應道交。如清涼月·麗彼中天·影現羣水·一無所偏。若或無信·莫由相感·如水昏動·月影不顯。咎在于水·非月不照·若得澄靜·即現光耀。亦如陽春·普生諸芽·遇根枯者·朽腐更加。甘霖普澍·草木同榮·唯無根者·不荷生成。入道之要·信為第一·欲蒙慈濟·非信莫得。緬維菩薩·何能如

此·為有遠本·故致爾爾。遠本維何·圓證三覺·名正法明·福慧兩足。雖住寂光·悲願無央·復現菩薩·輔弼法王。十法界身·無身不現·三際豎窮·十方橫徧。菩薩功德·難盡讚揚·垂示梗概·作長夜光。特祈江西·居士止淨·徧閱藏典·撰為讚頌。恭摹聖像·徧界流布·普令含識·同蒙覆護。

瘋僧像讚

奸檜受賄誤國民·故勞我師特掃秦。一柄掃帚撐天地·幾句法語鎮乾坤。惜彼陷溺已深固·雖承指示不問津。致令神歸阿鼻獄·鐵像千古跪岳墳。

淨土問答并序

大矣哉淨土法門之為教也。是心作佛·是心是佛·直指人心者·當遜其奇特。十念一念·即登不退·歷劫修證者·當仰其高風。普被上中下根·統攝律教禪宗。如時雨之潤物·若大海之納川。徧圓頓漸一切法·無不從此法界流。大小權實一切行·無不還歸此法界。不斷惑業·得預補處。既此一生·證大菩提。九界眾生離此法·上不能圓成佛道。十方諸佛捨此法·下不能普利羣生。是以華嚴海眾·盡遵十大願王。法華一稱·悉證諸法實相。如斯大力用·請佛共宣揚。若此極發揮·諸祖皆如是。誠可謂一代時教之極譚·一乘無上之大教也。不植德本·歷劫難逢。幸得聞熏·勉力修習。恐彼無知狂徒·謂為淺近·故此依教讚述·令其奉行耳。

問·念佛法門·愚尚能修。律教禪宗·智猶難曉。何謂此法統彼諸法。答·卻知此義·須深明佛力自力大小優劣·則一切疑惑·泮然冰釋矣。夫佛與眾生·心性雖同。若論力用天地懸殊。良由眾生具足無量煩惱惡業·功德智慧·不能顯現。佛則具足無量功德智能·煩惱惡業·淨盡無餘。佛與眾生·迷悟不同。致使力用·勝劣迥異。律教禪宗·皆仗自力了脫生死。所以久經長劫·尚難出離。念佛法門·全仗佛力又兼自力·了脫生死。所以盡此一生·便登不退。問·自力佛

力·其義云何·願垂明誨。答·律教禪宗·最初須深明教理·依教修行·修行功深·斷惑證真·方出生死。若教理不明·則盲修瞎煉。若非得少為足·便是著魔發狂。縱使理明功深·亦頗斷惑。倘有絲毫未盡·依舊不出苦輪。直待惑業淨盡·方可出離生死·尚去佛地甚大懸遠。更須歷劫進修·始可圓滿佛果。譬如庶民·生而聰慧·讀書學文·多年辛苦·學問既成·登科入仕。由其有大才能·所以從小漸升·直至宰相。官居極品·再無可升。於羣臣中·位居第一。若比太子·貴賤天淵·何況皇帝。畢世為臣·奉行君命·鞠躬盡瘁·輔治國家。然此相位·大不容易。半生勤勞·通身能耐。到下場頭·不過如是。若學問才能·稍不充足·則不能如是者有百千萬億也。此是自力。學問才能·譬深明教理·依教修行。位至宰相·譬修行功深·斷惑證真。只可稱臣·不敢作君。(臣決定不敢作君、臣欲作君、除非託生皇宮、為皇太子、修餘法門、亦可成佛、但與淨土校、奚啻日劫相倍、讀者須善會其意、忽泥其詞、然依華嚴末後一著、等覺菩薩、尚以十大願王、迴向往生、正與託質皇宮、為皇太子、意義相齊、淨土法門、得華嚴一經、遂得如大海之橫吞萬川、如太虛之總攝萬象耳、猗歟大哉、)譬雖出生死·尚未成佛。學問不充·不能如是者甚眾。譬惑未斷盡·不出生死苦海者甚眾也。念佛法門·縱不明教理·未斷惑業。但能信願持名·求生淨土。臨命終時·決定蒙佛親垂接引·往生西方。既生西方·見佛聞法·悟無生忍。即此一生·定補佛位。此是佛力·又兼自力。謂信願持名·是自力能感於佛。誓願攝受·垂慈接引·是佛力能應於我。感應道交·故得如是。又若深明教理·斷惑證真·則往生品位更高·圓成佛道更速。所以文殊普賢·華藏海眾·馬鳴龍樹·諸宗祖師·皆願往生也。譬如託生皇宮·一出母胎·貴壓羣臣·此是王力。迨其長大·學問才能·一一充足。便能承紹大統·平治天下。一切臣宰·皆聽詔諭。此則王力自力·兼而有之。念佛法門·亦復如是。未斷惑業·仗佛慈力·往生西方·便出生死。猶如太子初生·貴壓羣臣。既往生已·惑業自斷·定補佛位。猶如太子長大·承紹大統·平

治天下也。又已斷惑業。如馬鳴龍樹諸宗祖師。已登補處。如文殊普賢華藏海眾。皆願往生者。猶如昔鎮邊鄙。不堪承紹。今居東宮。不久登極也。祈盡捨舊習。於此法門。極生信願。專精修習。則無盡煩惱。不難頓斷。無量法門。自然證入。其圓成無上佛道。度脫無邊眾生。若操左券而取故物矣。尚勉之哉。尚勉之哉。

為在家弟子略說三歸五戒十善義

悲哉眾生。從無始來。輪迴六道。流轉四生。無救無歸。無依無託。若失父之孤子。猶喪家之窮人。總由煩惱惡業。感斯生死苦果。盲無慧目。不能自出。大覺世尊愍而哀之。示生世間。為其說法。令受三歸。為翻邪歸正之本。令持五戒。為斷惡修善之源。令行十善。為清淨身口意三業之根。從茲諸惡莫作。眾善奉行。三業既淨。然後可以遵修道品。令其背塵合覺。轉凡成聖。斷貪瞋癡煩惱之根本。成戒定慧菩提之大道。故為說四諦。十二因緣。六度。三十七助道品等無量法門。又欲令速出生死。頓成佛道。故為說念佛求生淨土法門。使其不費多力。即生成辦。噫。世尊之恩。可謂極矣。雖父母不足譬。天地不足喻矣。(不慧)受恩實深。報恩無由。今汝等謬聽人言。不遠數千里來。欲以我為師。然我自揣無德。再四推卻。汝等猶不應允。今不得已。將如來出世說法度生之意。略與汝等言之。并將三歸五戒十善。及淨土法門。略釋其義。使汝等有所取法。有所遵守。其四諦。乃至三十七助道品等。非汝等智力所知。故略而不書。汝等若能依教奉行。便是以佛為師。何況(不慧)。若不依教奉行。則尚負(不慧)之恩。何況佛恩。

歸、亦作皈、皈字從白從
三歸者反、取其反染成淨之義

一歸依佛。二歸依法。三歸依僧。

歸者歸投。依者依託。如人墮海。忽有船來。即便趣向。是歸投義。上船安坐。是依託義。生死為海。三寶為船。眾生歸依。即登彼

岸。既歸依佛。以佛為師。從今日起。乃至命終。不得歸依天魔外道。邪鬼邪神。既歸依法。以法為師。從今日起。乃至命終。不得歸依外道典籍。（法、即佛經、及修行種種法門、典籍、即經書也、）既皈依僧。以僧為師。從於今日。至命終時。不得皈依外道徒眾。

五戒者

一不殺生。二不偷盜。三不邪淫。四不妄語。五不飲酒。

好生惡死。物我同然。我既愛生。物豈願死。由是思之。生可殺乎。一切眾生。輪迴六道。隨善惡業。升降超沉。我與彼等。於多劫中。互為父母。互為子女。當思拯拔。何忍殺乎。一切眾生。皆有佛性。於未來世。皆當成佛。我若墮落。尚望拔濟。又既造殺業。必墮惡道。酬償宿債。展轉互殺。無有了期。由是思之。何敢殺乎。然殺生之由。起於食肉。若知如上所說因緣。自不敢食肉矣。又愚人謂肉為美。不知本是精血所成。內盛屎尿。外雜糞穢。腥臊臭穢。美從何來。常作不淨觀。食之當發嘔矣。又生謂人及禽獸。蛆蟲魚蝦。蚊蟲蚤蟲。凡有命者皆是。不可謂大者不可殺。小者可殺也。佛經廣說戒殺放生功德利益。俗人不能得讀。當觀安士先生萬善先資。可以知其梗概矣。

不偷盜者。即是見得思義。不與不取也。此事知廉恥者。便能不犯。然細論之。非大聖大賢。皆所難免。何也。以公濟私。尅人益己。以勢取財。用計謀物。忌人富貴。願人貧賤。陽取為善之名。遇諸善事。心不認真。如設義學。不擇嚴師。誤人子弟。施醫藥。不辨真假。誤人性命。凡見急難。漠不速救。緩慢浮游。或致誤事。但取塞責了事。糜費他人錢財。於自心中。不關緊要。加斯之類。皆名偷盜。以汝等身居善堂。故摘其利弊而略言之。

不邪淫者。俗人男女居室。生男育女。上關風化。下關祭祀。夫婦行淫。非其所禁。但當相敬如賓。為承宗祀。不可以為快樂。徇欲忘身。雖是己妻。貪樂亦犯。但其罪輕微。若非己妻。苟合交通。即

名邪淫。其罪極重。行邪淫者。是以人身行畜生事。報終命盡。先墮地獄餓鬼。後生畜生道中。千萬億劫。不能出離。一切眾生。從淫欲生。所以此戒難持易犯。縱是賢達。或時失足。何況愚人。若立志修持。須先明利害。及對治方法。則如見毒蛇。如遇怨賊。恐畏怖懼。欲心自息矣。對治方法。廣載佛經。俗人無緣觀覽。當看安士先生欲海回狂。可以知其梗概矣。(利、謂不犯之利、害、謂犯之禍害)

不妄語者。言而有信。不虛妄發也。若見言不見。不見言見。以虛為實。以有為無等。凡是心口不相應。欲欺哄於人者皆是。又若自未斷惑。謂為斷惑。自未得道。謂為得道。名大妄語。其罪極重。命終之後。決定直墮阿鼻地獄。永無出期。今之修行而不知佛法教理者。比比皆是。當痛戒之。切要切要。以上四事。不論出家在家。受戒不受戒。犯之皆有罪過。以體性是惡故也。然不受戒人。一層罪過。受戒之人。兩層罪過。於作惡事罪上。又加一犯戒罪故。若持而不犯。功德無量無邊。仍須勉之。

不飲酒者。酒能迷亂人心。壞智慧種。飲之令人顛倒昏狂。妄作非為。故佛制而斷之。凡修行者。皆不許飲。并及葱韭薤(音械、小蒜也、)蒜。五種葷菜。氣味臭穢。體不清潔。熟食發淫。生噉增恚。凡修行人。皆不許食。然此一事。未受戒者。飲之食之。皆無罪過。受戒飲食。一層罪過。即是犯佛戒罪。佛已禁制。汝又去犯。故有罪也。(五葷菜、西域有五、此方但四)

十善者

一不殺生。二不偷盜。三不邪淫。四不妄言。五不綺語。六不兩舌。七不惡口。八不慳貪。九不瞋恚。十不邪見。

此中前三名身業。中四名口業。後三名意業。業者。事也。若持而不犯。則為十善。若犯而不持。則為十惡。十惡分上中下。感地獄餓鬼畜生三惡道身。十善分上中下。感天人阿修羅三善道身。善因感善果。惡因感惡果。決定無疑。絲毫不錯也。殺盜淫妄。已於五戒中

說。綺語者。謂無益浮詞。華妙綺麗。談說淫欲。導人邪念等。兩舌者。謂向彼說此。向此說彼。挑唆是非。鬪構兩頭等。惡口者。謂言語麤惡。如刀如劍。發人隱惡。不避忌諱。又傷人父母。名大惡口。將來當受畜生果報。既受佛戒。切莫犯此。慳貪者。自己之財。不肯施人。名之為慳。他人之財。但欲歸我。名之為貪。瞋恚者。恨怒也。見人有得。愁憂憤怒。見人有失。悅樂慶快。及逞勢逞氣。欺侮人物等。邪見者。不信為善得福。作惡得罪。言無因果。無有後世。輕侮聖言。毀佛經教等。然此十善。總該一切。若能遵行。無惡不斷。無善不修。恐汝等不能體察。今略舉其一二。當孝順父母。無違無逆。委曲宛轉。勸令入道。斷葷吃素。持戒念佛。求生西方。了脫生死。父母若信。善莫大焉。如決不依從。亦勿強逼。以失孝道。但於佛前。代父母懺悔罪過。斯可矣。於兄弟則盡友。於夫婦則盡敬。於子女則極力教訓。使其為良為善。切勿任意嬌慣。致成匪類。於鄰里鄉黨。當和睦忍讓。為說善惡因果。使其改過遷善。於朋友則盡信。於僕使當慈愛。於公事則盡心竭力。同於私事。凡見親識。遇父言慈。遇子言孝。若做生意。當以本求利。不可以假貨哄騙於人。若以此風。化其一鄉一邑。便能消禍亂於未萌。致刑罰於無用。可謂在野盡忠。居家為政矣。

示某比丘尼係世家婦出家者代友人作

光陰迅速。時序更遷。剎那剎那。一念不住。此殆造物出廣長舌。普為爾我一切眾生說人命無常。榮華不久。急尋歸路。免受沈淪之無上妙法耳。汝既厭棄世榮。發心出家。必須努力勤修。切莫因循度日。出息雖存。入息難保。一息不來。即屬後世。當念形質雖稟五漏。心性原具三德。痛洗積劫之女習。力持彌陀之聖號。觀此娑婆。濁惡甚於圜廁。信彼極樂。即我本有家鄉。不求此世來生。人天王等福樂。唯願報終命盡。蒙佛接引往生。朝斯夕斯。念茲在茲。念極功純。感應道交。臨命終時。必克果願。既生淨土。頓悟無生。回觀世間富貴。奚啻陽燄空華。直同囹圄毒海耳。然欲生淨土。先治染習。佛經屢言。

富貴難學道·女人亦難學道。良以富貴之人·嬌慢成性·奢侈為心。尚不能謙光接物·卑以自牧。又何能息慮忘緣·虛心求道乎。女人則唯矜容儀·常懷妬忌。不知縱是夭姿國色·依舊糞袋革囊。既戀幻形·何悟妙性。如來為治此病·令修四念處觀。一觀身不淨·二觀受是苦·三觀心無常·四觀法無我。此觀若成·則戀身恃勢之習·消滅無餘·不異洪鑪之化片雪耳。汝以富貴女人出家·凡嬌奢豔冶習氣·必須徹底拋棄·不使一毫蘊於胸中·將來方有出苦分在。現今法弱魔強·良師善友最不易得。直須上友古人·以古為師。比丘尼傳·善女人傳·淨土十要·淨土聖賢錄·當熟讀之。庶取法有地·墮魔無由矣。近來僧尼·多不如法。不可濫收徒眾·壞亂佛法·實為至要。當恪守清規·力修淨業。生為坤範·死預蓮池。庶不負跳出萬丈火坑·親為如來弟子矣。勸哉勸哉·勿忘我語。

戒堂小食榜

三德圓融之體·因戒以彰。四大幻成之身·依食而住。趣證菩提·須全戒度。精修道品·必賴食輪。汝等既發無上道心·欲得三聚淨戒。竭盡心力·投誠禮懺。堂外諸師·及諸護法·唯恐汝等身心疲勞·道業難以成辦。于午食前·特設小食·以點汝心·令得安隱。當知此食·體即禪悅。無生無滅·即色即空。同淨名之香飯·惑稍方消。乃華嚴之金剛·劫壞不壞。汝等若能了知三輪體空·六塵即覺。則一念不生·十界消殞。食法心境·一一平等。如空合空·似水投水。消與不壞·打成一段。方可稱為持淨戒人·是則名曰能報恩者。否則粒米如山·何能消受。則將來之披毛戴角還·大有日在。汝等務各勉旃。

幽冥戒牒現坐道場四字、唯普陀可用、別處當作尋聲救苦

心體本淨·因迷妄而煩惱斯生。世界原清·由幻業而濁惡頓現。一迷永迷·從劫至劫。沈淪于生死之域·汨沒于塵勞之中。觀照未起·焉知五蘊皆空。貪染成性·豈了六塵即覺。懷無價之寶珠·枉膺困苦。具常住之佛性·甘受輪迴。大覺世尊。愍而哀之。示成正覺·為制戒

法。上自三乘十地，下及地獄鬼畜。凡有心者，皆令受持。良以一切眾生，皆具如來智能德相。但以妄想執著，不能證得。若離妄想，一切智，自然智，即得現前。由此三聚淨戒之力，直下止惡防非，反妄歸真。垢盡光呈，塵破經出。即業識心，成如來藏。復常住之真心，不遷不變，證寂滅之法性，無減無增。入諸佛位，為法王子。盡來際以度脫眾生，俾自他以齊成覺道。懿哉世尊，以戒度生。令離苦以得樂，使即凡以成聖。慈恩浩蕩，法利汪洋。雖天地父母，渺不能喻其萬一矣。爰有一四天下，南瞻部洲，中華民國，省府縣界居住，奉佛修因薦亡生蓮信士某某，伏為某某，生于某年月日時，享年幾十幾歲。于年月日時，忽爾神逝。痛念身捐塵世，神遊幽冥。未了一心，難出六道。欲仗佛力，導神識以往生極樂。故來本寺，乞說戒以先淨根身。由是恭秉佛敕，建壇作法。奉請娑婆教主釋迦世尊，極樂導師阿彌陀佛，佛說梵網菩薩戒經，幽冥教主地藏菩薩，現坐道場觀音大士，十方三世無盡三寶，臨壇證盟，垂慈加被。俾無作妙善戒法，從彼頂門，流入身心。成就法器，紹隆佛種。因茲先令歸依三寶，反邪歸正。次令懺悔業障，清淨根身。次令發四宏誓，上求下化。然後為說三聚淨戒，令其身口意業，有所依憑。從茲斷惡修善，自利利他。若能自強不息，何難破五住而出二死，滿四宏而證三德矣。須知娑婆濁惡，觸緣障道。極樂清淨，睹境明心。以此受戒無上功德，回向往生極樂世界。三心圓發，十念稱名。定蒙彌陀親接，聖眾偕迎。一彈指頃，即生彼國。託質蓮胎，永離眾苦。聞法受記，頓證無生。然後乘本願輪，迴入娑婆。圓應羣機，現隨類逐形之身。徧就諸緣，闡即心自性之法。普令法界眾生，共入彌陀願海。可謂最上佛子，真大丈夫矣。作法既竟，用給牒文。仗此功德，即生淨土。

示陳生寄居普陀化雨學堂、其父為本堂教習

孟子以君子三樂，過于王天下。其三則曰得天下英才而教育之。可見教育英才，其事甚大，其任甚重，其關係甚非淺鮮。良由英才得其教育，則可以繼往聖，開來學，治國安邦，淑世善民。失其教育，

上焉者則無所範圍·不能超羣拔萃·作一碌碌庸人。下焉者則朋奸比匪·為非作惡·或陷身于亂臣賊子之列·而不自知也。不慧少不努力·老無所成。上負父師教育之心·下失教育英才之樂。唯願天下英才皆得教育·同享此樂之心·未嘗一日忘也。子相貌出眾·聰明過人·若肯發憤為學·將來必定大有成就·不可度量。恐以好遊·虛度時光。致令佛雲于霄之材·反等拱把尋尺之料矣。昨所說詩·恐子未能記憶·今錄以示子·庶可助其發憤為學之心·以作頂天履地·舉世無雙之士矣。詩曰·年少青春似過駒·窗前事業竟何如。欲為天下無雙士·須讀人間萬卷書。雨露難滋枯根草·風雷但化有鱗魚。相如不憤題橋志·焉得高乘駟馬車。又曰·三尺龍泉萬卷書·老天生我意何如。山東宰相山西將·彼丈夫兮我丈夫。古人此二詩·其勸勵英才之心·可謂親切懇到至極無加矣。祈熟讀而深思之·則幸甚幸甚。

示淨土法門及對治瞋恚等義

如來出世·原為令諸眾生·斷惑證真·了生脫死·直下成佛而已。但以眾生根性不等·以故如來曲順機宜·為說一切大小權實·偏圓頓漸等法。法雖種種不一·皆為成熟眾生善根·令其究竟成佛耳。然斷惑證真·了生脫死·豈易言哉。若非宿種今熟·及法身示現二種人。縱有修持·亦非即生·及一生二生所能頓了。根機鈍者·則久經長劫·尚難了脫·以其唯仗自力故也。如來憫念眾生自力了脫之難·于是特開一信願念佛·求生西方極樂世界之淨土法門。但具真信切願·持佛名號。雖五逆十惡·將墮阿鼻地獄之極重罪人·尚得往生。況諸惡莫作·眾善奉行之善人乎。況受持三歸·具足眾戒之佛弟子乎。淨土法門·三根普被。正接上上根器·旁引中下之流。愚人每每闢為淺近小乘·總因未閱大乘經論·未親具眼通人。以己顛倒執著之心·測度如來原始要終之道。如盲覩日·如聾聽雷。彼固不見不聞·宜其妄相評論也。須知信願念佛一法·乃如來普度眾生·徹底悲心之所宣說。唯觀音勢至·文殊普賢等菩薩·能究竟擔荷。彼見愚夫愚婦·皆能念佛·便目之為淺近小乘。是何異見小星懸空而小天·小蟲行陸而小地耶。

若于此法·能生信向·即是多劫深種善根。若能以深信願持佛名號。都攝六根·淨念相繼。則即凡夫心·成如來藏。如染香人·身有香氣。現在與佛氣分相接·臨終有不感應道交·蒙佛接引者乎。其攝心念佛·并隨分修持·隨緣化導等法。及禪宗淨宗之所以然·佛力自力之大小難易·詳示印光文鈔中。祈息心詳閱·則自知之·此不備書。

修行之要·在于對治煩惱習氣。習氣少一分·即工夫進一分。有修行愈力·習氣愈發者。乃只知依事相修持·不知反照回光克除己心中之妄情所致也。當于平時·預為堤防。則遇境逢緣·自可不發。倘平時識得我此身心·全屬幻妄。求一我之實體實性·了不可得。既無有我·何有因境因人·而生煩惱之事。此乃根本上最切要之解決方法也。如不能諦了我空·當依如來所示五停心觀·而為對治。(五停心者、以此五法、調停其心、令心安住、不隨境轉也、)所謂多貪眾生不淨觀·多瞋眾生慈悲觀·多散眾生數息觀·愚癡眾生因緣觀·多障眾生念佛觀。貪者·見境而心起愛樂之謂。欲界眾生·皆由淫欲而生·淫欲由愛而生。若能將自身他身·從外至內·一一諦觀。則但見垢汗涕唾·發毛爪齒·骨肉膿血·大小便利。臭同死屍·汙如圜廁。誰于此物·而生貪愛。貪愛既息·則心地清淨。以清淨心·念佛名號。如甘受和·如白受采。以因地心·契果地覺。事半功倍·利益難思。瞋者·見境而心起忿憎之謂。富貴之人·每多瞋恚。以諸凡如意·需使有人。稍一違忤·即生瞋怒·輕則惡言橫加·重則鞭杖直撲。唯取自己快意·不顧他人傷心。又瞋心一起·于人無益·于己有損。輕亦心意煩燥·重則肝目受傷。須令心中常有一團太和元氣·則疾病消滅·福壽增崇矣。昔阿耨達王·一生奉佛·堅持五戒。臨終因侍人持拂驅蠅·久之昏倦·致拂墮其面。心生瞋恨·隨即命終。因此一念·遂受蟒身。以宿福力·尚知其因。乃求沙門·為說歸戒。即脫蟒身·生于天上。是知瞋習·其害最大。華嚴經云·一念瞋心起·百萬障門開。古德云·瞋是心中火·能燒功德林。欲學菩提道·忍辱護瞋心。如來令多瞋眾生作慈悲觀者·以一切眾生·皆是過去父母·未來諸佛。既是過去父

母·則當念宿世生育恩德·愧莫能酬。豈以小不如意·便懷憤怒乎。既是未來諸佛·當必廣度眾生。倘我生死不了·尚望彼來度脫。豈但小不如意·不生瞋恚。即喪身失命·亦只生歡喜·不生瞋恨。所以菩薩捨頭目髓腦時·皆于求者·作善知識想·作恩人想·作成就我無上菩提道想。觀華嚴十回向品自知。又吾人一念心性·與佛無二。只因迷背本心·堅執我見。則一切諸緣·皆為對待。如射候既立·則眾矢咸集矣。倘能知我心原是佛心·佛心空無所有。猶如虛空·森羅萬象·無不包括。亦如大海·百川眾流·無不納受。如天普蓋·似地均擎·不以蓋擎自為其德。我若因小拂逆·便生瞋恚。豈非自小其量·自喪其德。雖具佛心理體·其起心動念·全屬凡情用事。認妄為真·將奴作主。如是思之·甚可慚愧。若于平時·常作是想。則心量廣大·無所不容。物我同觀·不見彼此。逆來尚能順受·況小不如意·便生瞋恚乎哉。愚癡者·非謂全無知識也。乃指世人于善惡境緣·不知皆是宿業所招·現行所感。妄謂無有因果報應·及前生後世等。一切眾生·無有慧目。不是執斷·便是執常。執斷者·謂人受父母之氣而生·未生之前·本無有物。及其已死·則形既朽滅·魂亦飄散。有何前生·及與後世。此方拘墟之儒·多作此說。執常者·謂人常為人·畜常為畜。不知業由心造·形隨心轉。古有極毒之人·現身變蛇。極暴之人·現身變虎。當其業力猛厲·尚能變其形體。況死後生前·識隨業牽之轉變乎·是以佛說十二因緣·乃貫三世而論。前因必感後果·後果必有前因。善惡之報·禍福之臨。乃屬自作自受·非自天降·天不過因其所為而主之耳。生死循環·無有窮極·欲復本心以了生死者·捨信願念佛·求生西方·不可得也。貪瞋癡三·為生死根本。信願行三·為了生死妙法。欲捨彼三·須修此三。此三得力·彼三自滅矣。數息一觀·可不必用。以當念佛時·攝耳諦聽。其攝心與數息相似·其力用與數息天殊也。念佛一觀·但看印光文鈔·及淨土著述·自知。問·若如所云·即喪身失命·亦只生歡喜·不生瞋恨。設有惡人·欲來害己·將不與計校·任彼殺戮乎。答·凡修行人·有凡夫人·有已證法

身之菩薩人。又有以維持世道為主者。有以唯了自心為主者。若唯了自心。及已證法身之菩薩。則如所云。以物我同觀。生死一如故也。若凡夫人。又欲維持世道。則居心固當如菩薩深慈大悲。無所不容。處事猶須依世間常理。或行捍禦而攝伏之。或以仁慈而感化之。事非一概。其心斷斷不可有毒恚而結怨恨耳。前文所示。乃令人設此假想。以消滅瞋恚習氣。此觀若熟。瞋習自滅。縱遇實能害身之境。亦能心地坦然。作大布施。仗此功德。即生淨土。校彼互相殺戮。長劫償報者。豈不天地懸隔耶。

昭文古會殺生致祭辨訛即安徽黟縣祭昭明太子之會

世俗迷惑。以惡為善。以造業為修福者。多多也。其最慘目傷心者。莫過于做會祭神。富家大戶。必殺大生以祭。一以冀得多福。一以彰其富有。即貧家小戶。亦必殺雞殺鴨。以期神常保護。令其福壽增延。諸凡如意也。不知天地以好生為德。神為天地主宰諸事。豈其心與天地相反。而為己一享其祭。令無數生命。同受刀砧之苦。是尚得謂之為聰明正直。賞善罰惡之正神乎。其原由于貪饞之愚夫。特借祭神之名。大殺特殺。以期悅己口腹。遂相習成風。而不知其為造大惡業。謂為祭神。神其食之乎。況既名為神。必秉聰明正直之德。當以作善作惡。為降福降殃之准。豈殺生祭我。即作惡者亦降福。不殺生祭我。即作善者亦降禍乎。若是則其神之心行。與市井無賴小人無異。何以稱其為聰明正直之神乎。既為聰明正直之神。決不為此妖魔鬼怪。不依道德仁義之事。況深入佛法。徹悟自性。受佛大戒。畢世蔬食之昭明太子乎。按太子姓蕭。名統。字德施。梁武帝長子也。生而聰睿。仁恕恭儉。篤信佛法。力修淨業。徧覽眾經。深達諦理。受菩薩戒。居常蔬食。于宮內別立慧義殿。招引名僧講論玄奧。夫武帝尚且多年蔬食。祭先則以麵為犧牲。太子所悟所證。超過武帝奚啻十倍。實為古今居士中不多見之人。其事迹語言。載梁書。及廣弘明集。併居士傳。豈有生而如此持戒仁慈。死而即為貪圖肉食之神。人若殺生以祭。即便降福。否則即便降禍之理乎。良以世人只知食肉為美。

遂以自己貪圖臭穢腥臊之見·謂神亦如是·從茲彼此相效。不知其非。譬如蛆蟲食糞·意謂天仙亦當貪此美味·而常欲奉之以冀錫其福慶也。彼受殺之生·多多皆是宿世殺生祭神冀己食肉之人·以償當日殺生之報者。而一班愚人·一聞殺生祭神·便歡喜踊躍·以為作福。而不知將來變作此等生命·被人殺時·有口不能言·無法得免脫矣。況以深入佛法·受佛大戒·畢生蔬食之出格高人·平白誣以貪圖肉食·且殺無數生命以祭之。其逆天悖理·誣聖蠱賢之罪·愈當生生世世·永為此等被殺之物·豈不大可哀哉。安徽黟縣盧智睿居士。憫彼本鄉殺生祭神之慘·深恐無知愚人·由殺生故·將來自受其報。祈予發明真理·以開導之。俾明理之君子·共扇慈風·挽回劫運。庶得一切含生·悉皆優遊生長·各盡天年于天地之間也。因敘其所以·冀彼深知其非而力改之。以作天下太平·人民安樂之基址云。殺生祭神之非既知·則殺生祭先養親宴客自奉之非·可以不言而喻矣。若能嘉納·其利益唯佛能知·祈深思之。

世界佛教居士林新林落成頌

真如佛性·含識共有·柰因不知·迷頭狂走。故我世尊·示生世間·普令眾生·各悟性天。由機不一·致教不同·爰開律教·禪密淨宗。餘悉自力·淨兼佛力·現生了脫·實為第一。大哉法門·徹上徹下·等覺逆惡·同趨並駕。法流東土·肇啟廬山·千數百年·徧界宏傳。出家四眾·在家四民·獲往生者·多難具云。近來世運·愈趨愈壞·欲挽狂瀾·非佛莫賴。諸大居士·極力提倡·特創新林·矗立滬上。諸宗咸宏·注重淨土·法法圓通·繩其祖武。光本庸僧·無力宏法·仰茲芳蹤·心甚悅洽。據我愚誠·是祝是頌·橫徧豎窮·則傲無竟。

募刻華嚴經普回向頌

大哉華嚴經·為諸經之王。法門與功德·二俱不可量。如來成正覺·直說所證法。預此法會者·唯法身菩薩。二乘雖在座·不見亦不

聞。何況諸凡夫。而得預聞熏。佛以大慈悲。攝淺于最深。末後歸宗處。令覲彌陀尊。唯此奇特法。凡聖俱遵行。圓攝于等覺。及六道羣萌。末世人根鈍。斷惑甚為難。信願念佛者。決定登九蓮。此經功德力。猶如摩尼珠。隨意雨眾寶。悉與願相符。助刻諸善信。各各願不同。薦親與祈福。無不獲感通。求子即得子。求壽即得壽。宿障咸消滅。所作皆如意。譬如陽春到。草木悉發榮。亦如杲日出。諸事藉以成。縱求世間福。終作出世因。如病遇仙丹。直下便成真。願諸施資者。所願皆具得。迨至捨報日。同生極樂國。面見阿彌陀。蒙佛親受記。法忍證無生。作佛所作事。欲詮功德力。歷劫難讚揚。有能信受者。同證無量光。

題憨山大師六詠手卷契真係李國松法名

憨山大師。大權示現。宏法功深。忌者誣陷。謫戍廣州。以禦禍亂。幸有大吏。另目相看。宏法曹溪。慧命續斷。相機說法。巨弊消散。護國安民。功高文憲。沒後肉身。不壞不變。粵贛相爭。歸曹溪畔。六祖七祖。彰諸時諺。增輝佛日。為法城壑。著述宏博。日月光燦。大藏流通。惜只少半。遺佚者多。時或出現。六詠妙偈。筆法道健。文義超妙。愈讀愈煥。三百餘年。幸無殘欠。佛子契真。得諸滬店。欲表鴻猷。特作手卷。祈光題詞。以彰法範。遂為略述大綱。以期後哲聞見。

題心佛閣江蘇錢養元居士、以心佛閣等三目求題、然初未謀面、誠恐執理廢事、錯認消息、邪正混亂、因漫為三歌、冀彼抉膜除翳、邪正分明、理事圓融耳、至於聲韻法律、非吾所知、祈於文字語言之外觀之、則幸甚、

生佛平等只此心。迷悟不同致升沈。欲復本具真如性。須事圓證大覺尊。虔誠禮敬罪業滅。懇切憶念福慧深。一朝惑盡常光現。照徹天地與古今

題明心見性之齋

宴晦清齋竭力參·參透父母未生前。四大五蘊俱脫落·六根七情咸消燭。煩惱淨盡波澄海·真常顯露日麗天。識心達本能如此·不負當人字養元。

題仙佛合宗處

仙佛殊宗作麼合·一唯究心一固殼。長生到底有終盡·無生畢竟無滅沒。若謂三教是一家·一家尊卑實彰灼。縱同箇人一身軀·豈可混亂頭與腳。須知生佛平等心·百千異道未徹覺。我佛釋迦大覺尊·圓證此心獨超卓。復愍法界諸眾生·迷背此心同演若。隨機廣演眾法門·多方解黏而去縛。或禪或教或律儀·畢竟總為者一著。若能當念離能所·月朗中天水歸壑。倘或根鈍機未熟·當以淨土為依託。如來徹底大悲心·深恐中下永輪落。說此不可思議法·直同阿伽陀妙藥。生信發願持佛名·唯求臨終生極樂。如子憶母無間斷·感應道交難測度。蒙佛接引得往生·永謝生死苦海惡。見佛聞法悟無生·圓明五眼絕翳膜。承佛慈力已願輪·回入娑婆度五濁。普令無盡諸含識·復本心源俱成佛。此是超格大丈夫·自利利他真作略。一法普攝一切法·約即是博博即約。佛法廣大無邊際·世間毫善皆包括。唯有長生鍊丹法·絕無一言教人學。試觀天覺護法論·批判直截詞理廓。豈是儒者偏佞佛·唯善是崇無適莫。仙佛合宗一部書·邪人毀佛妄穿鑿。曲引佛法證丹法·鳩毒甘露貯一鉢。慧命魔經亦如是·閱之令人正眼矐。斯等尚非老子徒·道德體統全剝削。況復如來最上乘·何能解了生恭恪。妄以己意巧誣謗·盲引盲眾赴火鑊。安得常有大力人·普為斯世振木鐸。令出邪途歸覺路·各各身心得解脫。若謂吾言不足聽·一任升天并化鶴。君看世間有智人·誰用摩尼彈黃雀。往劫若種真善根·決不負此一絡索。把手相牽行不得·肯否憑君自斟酌。

為梨園會首某上堂

三界原來一戲場·諸人及早返家鄉。莫待鑼鼓齊休歇·歸路不知

枉著忙。法無定相。遇緣即宗。山僧杆木隨身。不妨逢場作戲。應彼來機。令其就路還家。須知吾人現前一念見聞覺知之性。與彼十方三世一切諸佛常住寂滅之性。無二無別。但以迷心逐境。背覺合塵。致使輪迴六道。了無出期。由善業而暫升人天。隨惡業而永墮三途。鑊湯鑪炭。驢胎馬腹。萬苦備膺。一靈永昧。認六道業報之身。為自己本命元辰。仗亙古亙今不遷不變之佛性。受頭出頭沒忽升忽墜之苦荼。鏡花水月。了無實相。不異當場演劇。生旦淨丑。君臣佐使迭更。而主人翁本來面目。毫無改變。惜乎眾生當場即迷。以幻為真。棄背本有。枉受輪迴。諸佛菩薩愍之。以不思議如幻三昧遊戲神通。示生世間。與彼同事。應機說法。唱還鄉之曲。指歸元之路。令其悉皆了境明心。背塵合覺。親見本來面目。徹證真常佛性。又恐劣機。未能頓出塵勞。若一受生。難免仍舊汨沒。遂即大開方便。令其往生西方。則出離戲場。歸家安坐。永離眾苦。但受諸樂矣。雖然。因齋慶讚一句。作麼生道。(卓杖云) 咦。逢齋若會吃飯人。堪現神通遊戲身。

大雲月刊出版祝詞

炎炎火宅。其燄甚熾。加以邪說。助其威勢。撥無因果。各謀自利。同室操戈。了無顧忌。悲哉同胞。無所覆庇。雖欲出離。不知去處。爰有開士。特發宏誓。提倡佛法。以行救濟。譬如大雲。降注大雨。使彼烈燄。直下頓止。因果循環。備明其理。示利人者。正屬利己。俾知自心。與佛同體。一切眾生。皆宿父母。各宜扶持。如兄如弟。爭競消滅。禮讓興起。進修淨業。普扇蓮風。生入聖域。沒登佛封。唯冀此報。徧界流通。庶幾所祝。適得其宗。

東瀛佛教會來山歡迎詞

如來大法。彌綸法界。三乘六凡。罔不攸賴。在佛本意。普令成佛。由機不一。對病發藥。大小權實。偏圓頓漸。宗教律密。各適其便。如城四門。門門可入。就路還家。庶省心力。瓶盤釵釧。原是一金。百千法門。不離自心。證自心者。名曰成佛。得無所得。圓滿三

覺。然此諸法。皆須自力。業盡情空。方獲實益。根機利者。現生即得。若或鈍劣。歷劫莫克。由是如來。特垂慈愍。開淨土門。普施救拯。無論上聖。及與下凡。悉令現生。登九品蓮。法雖無量。此五攝盡。求其穩妥。唯淨最勝。以果地覺。為因地心。因果該徹。妙無等倫。由是經論。無不宏贊。荷法道者。普令刻辦。大法東來。近二千年。律教禪密。徧界宏傳。淨土一宗。肇始廬山。迄至于今。蔚乎盛焉。日本一國。雖在東徧。山水鐘毓。代有高賢。溯自東晉。法傳彼土。此後來學。不勝屈指。三教五宗。東林南山。金剛秘密。悉由此傳。古德著述。多為保存。俾彼各國。求法得門。因是之故。人才益充。封疆雖小。全球稱雄。去年佛會。邀此觀光。接待優盛。饋贈輝煌。今茲來山。愧無珍物。有瀆嘉賓。莫攄私臆。幸有新書。名觀音頌。聊表衷曲。以為饋贈。大士慈恩。徧周法界。淺草一事。曷勝感戴。唯願諸公。悉本佛慈。輔君宏法。唯仁是施。凡屬國民。一體同觀。勿分畛域。稍有私徧。人既沐恩。天自眷德。降祥獲福。永久弗忒。富者贈財。仁者贈言。愧無二實。但貢空談。注重勢利。歷劫相刑。注重道義。菩提斯成。空談不空。法道流通。各國則效。令名無窮。

李母黃太夫人墓誌銘

語云。天下不治。匹夫有責。以天下乃合眾一家而成。使家家夫婦。皆知道義。及與因果。敦本重倫。躬行不渝。則所生子女。習見習聞。如水入器。如金就型。其性情自成賢善。必不至暴戾恣睢。以惡為能也。然人之賢否。資于母者。比父為多。以胎時稟氣。幼時觀感。有不期然而然者。故朱子著小學。開章即明胎教。而文武周公孔孟。皆資賢母而為成德達才作聖之本。是知女子相夫教子之權。實不亞于男子行政治民之道。而世之昧者。倒行逆施。不令于此致力。而令參政服官。是何異執刀于刃。能不立見截手乎。李元賢身居商界。有儒者風。篤信佛法。敦行孝友。樂善好施。印送善書。光億其家庭教育。必有大過人者。今寄其母氏行述。祈為作墓誌銘。方知所見不

謬。按述·夫人姓黃氏·永春水磨鄉人。幼嫻姆訓·性仁孝慈和·深諳世務。年廿六·歸李公繼如。如公少孤·家貧·伶仃子立。夫人樂天知命·勤紡織以持家·俾如公安心經營·不懷內顧之憂·以成業起家。每數年一歸·夫婦相敬如賓。初無子·遂育義子元春·視之若己出。後生元賢·及女琴孃·一視同仁·了無所謂親疏也。及二子成立·家頗豐裕·夫人勤儉溫和猶昔。如公顧而樂之·謂二子曰·吾家之得有今日·皆汝母克勤克儉·戰兢以持之所致也。清光緒末·如公歸而築室·地方土痞·知其富而欲噉也·遂訟於官。凡鳩工庀材·度支會計·皆夫人親經理之。由夫人平時救難濟貧·矜孤恤寡·修橋補路·振興公益·為鄉里所感佩。于是凡善人君子·咸欲救援·土痞懼眾怒之難犯也·遂寢其事·可以知夫人之德之才之識矣。及如公沒·夫人即持齋念佛·課諸孫讀書。琴孃早寡·家貧·迎養於家·諭以守節撫孤·及誦經念佛等大義·母女相輔修持以為常。晚年·孫曾繞膝·元賢又能繼其父業·夫人益兢兢焉戒滿持謙·不許家人驕奢·及以殺生。凡出·必攜金錢·以期遇貧窮者而周濟之·其樂善好施·出于天性。所辦善舉甚多·姑舉一二。邑之東關橋·為一邑要道·毀於風災·值世道荒亂·無過問者。夫人經其地·怒焉傷之·立命元賢克期修復·費鉅金不少吝。橋成·邑人士為懸匾聯頌美焉。元賢經商星洲·民國十年·以地方不靖·奉母南渡·星洲華僑·擬辦華僑醫院·夫人捐萬金為倡·後以費鉅未果·夫人命移其款以辦本邑平糶·及與學校。嘗恐二子不喻其意·謂曰·吾豈不願家富·而屢以鉅款作義務者·乃為汝等卻禍而積德耳·當善體吾意。至十二年癸亥·五月十九日申時·沒于星洲寓所。距生于咸豐九年己未·十月初二日戌時·享壽六十有五。茲于十六年月日·與繼如公合葬于本邑之大鵬山。子二·女一·孫八·女孫五·曾孫五。噫·若夫人者·可謂鎮坤維而輔乾綱·師女流而型閨閫·克盡母道·無忝所生矣。使世之為母者皆如夫人·何至同室操戈·互相誅戮·俾國運危岌·民不聊生·兼致種種天災·常常見告乎。吾常曰·治國平天下之權·女人家操得一大半。又曰·教子

為治平之本·而教女更為切要。蓋以世少賢人·由于世少賢母。有賢女·則有賢妻賢母矣。有賢妻賢母·而其夫與子之不為賢人者·蓋亦鮮矣。其有欲挽世道而正人心者·當致力於此焉。銘曰·猗歟李母·賦性淑賢·仁孝慈和·本自先天。相夫教子·各適其宜·福由德大·禍以仁離。救急濟貧·矜孤恤寡·凡有義舉·無不喜捨。造橋利人·鉅費不吝·醫院未立·款移周窘。知富招禍·熱心義務·積德貽謀·永久弗替。篤信佛法·修持唯謹·母女同心·儀型閨閫。資此功德·求生淨土·佛以誠感·得蒙迎取。維茲賢母·女中之英·母咸如是·世自太平。感世競爭·益景懿範·爰書大端·以為世鑑。

潘對臯居士望七大慶頌

猗歟居士·乘大願輪·示此濁世·現宰官身。小試鳴琴·仁風載道·及乎退休·修持益奧。推恩貧困·普施資糧·特興淨居·復古道場。戒殺放生·勸導維勤·念茲劫運·非此莫援。壽高望七·健愈耆年·心心彌陀·常住不遷。為如來使·輔弼法王·普引同人·共登樂邦。

王欣甫居士懿行頌

於穆王公·宿植德本·賦性純篤·制行唯謹。孝以奉親·慈以睦族·化被閭閻·俗轉淳淑。居官行政·唯務利民·所治七邑·羣頌至仁。凡所折獄·不須繁詞·實理實情·俱得其宜。上官倚重·下民感戴·有清末葉·循聲無再。但以率真·不事攀援·致令職分·終止縣官。期盡天職·無意名聞·只此一事·足徵素心。知命賦歸·企盡孝養·興學敦本·為世模仿。及至晚年·閱歷愈深·篤修淨業·冀出苦輪。迨及臨終·果符宿願·得生西方·頂煖可驗。睹公之像·讀公行狀·實為斯世·最上榜樣。爰取大義·述為頌文·以期懿範·儀型後昆。

王母蔣太夫人西歸頌

緬維王母·懿德堪欽·慈祥愷悌·鄉國悉聞。上法二妃·及與三

太·子孫賢善·母儀是賴·長子名震·孝慈第一·凡有善舉·悉皆輔弼。昔見其子·即知其母·以無是母·焉有是子。篤修世善·深信佛乘·母子同心·念佛求生。年逾八旬·身心強健·憶佛念佛·不雜不亂。及至臨終·正念分明·吉祥而逝·隨佛西行。蓮登九品·地證不退·留此懿範·永錫爾類。

蘊空張夫人西歸頌本名蘊宣法名蘊空

五蘊宣時·當體即空·了此意義·惑業消融。賦性仁愛·民物是矜·慈悲喜捨·俱有分程。即俗修真·居塵學道·圓發三心·專持佛號。精誠既至·感應道交·蒙佛接引·忍界橫超。顧命子媳·勸以常念·自利利他·于此可見。奉勸見聞·同發信心·庶于現世·各證妙因。

王母揚太夫人懿行頌雲南王九齡之母、性情靜定不執著、一居士云、夫人前生、殆參禪悟而未證者

眾生心性·與佛同儔·迷悟向背·各有其由。懿哉王母·宿根基深·孝友慈善·厚德法坤。其貌如山·其性若石·決疑斷計·人莫測識。雖未讀書·心與道契·偶形言說·咸屬要義。苦樂好惡·險夷順逆·平等一視·鎮靜之力。察果驗因·宿事禪門·悟而未證·此語頗真。大眾受苦·我豈獨樂·升沈任緣·的是禪著。(九齡勸母念佛求生西方、母云、大眾受苦、我豈獨樂、我但升沈任緣而已、)唯知自力·不知佛力·致于淨土·殊失鉅益。子既深信·代親修持·當承佛慈·託質蓮池。一登淨域·徹證唯心·庶可乘願·普度羣倫。

龔圓常夫人寫經瑞應頌

崩若木居士夫人龔圓常·長齋奉佛·修持唯謹。民國五年·特刺臂血·寫彌陀·地藏·大悲·往生等經呪·以祈消除宿業·臨終往生。至圓滿日夜半時·臥而未寐·忽見腳際牀外·現一圓光·其大如盤·明逾電光·經一小時多方隱。既見此瑞·益加精進·過數年·念佛而逝。若木適檢所寫血經·以為此事可以開發信心·因繪圖徵文·特寄

一分于光·乃為頌曰。

卓哉龔夫人·宿植大善根·志欲振坤維·示生在名門。賦性孝友慈·姆訓素所嫻·事親奉舅姑·內外無閒言。相夫教子女·一一悉合禮·困亨無戚欣·知命故能爾。及至聞佛法·致力反聞聞·欲證圓常實·書經續圓音。提起無情刀·刺出臂中血·即使凡夫血·全作善逝說。凡聖原不二·經血渾無別·由其契真智·性光遂露泄。性光圓且常·何得小而促·須知具無明·莫能全體覲。仗此修持力·回向生淨土·臨終蒙佛接·託質寶蓮裏。見佛證無生·修普賢行願·智斷究竟時·性光方全現。蒯君惜世人·多多未覺悟·藉此瑞應圖·引入如來地。

金剛經勸持發隱

十法界凡聖生佛·雖則高下不同·苦樂迥異。而其心之本體·咸皆寂照常恆·不生不滅·靈明精妙·無變無遷。所謂人同此心·心同此理·一切眾生·皆有佛性者·此也。須知此心·不涉因果修證凡聖生佛·而因果修證凡聖生佛·悉依此心而得建立。良以體雖不變·用常隨緣·隨悟淨緣·則成四聖法界·隨迷染緣·則成六凡法界。縱悟淨至極·圓滿菩提·安住寂光·迷染至極·永墮阿鼻·受諸極苦·其根身器界·固已天淵懸殊·而心之本體·悉皆了無增損于其間也。果知此義·誰肯以可以作佛·具足法樂之心·枉令永作受生死輪迴之苦眾生耶。金剛經者·一切諸佛·徹證即心自性之妙法·一切眾生·究竟超凡入聖之快捷方式也。故曰一切諸佛·及諸佛阿耨多羅三藐三菩提法·皆從此經出。華嚴經云·奇哉奇哉·一切眾生·皆具如來智慧·但以妄想執著·而不證得·若離妄想·則一切智·無師智·無礙智·則得現前。是以此經·屢以住法著相為戒·以住法著相·縱有修習·總不出妄想執著之外·既全體在妄想執著中·又何由令如來智慧徹底顯現耶。以故令發菩提心者·發心度脫一切眾生·令入無餘涅槃·而滅度之·而復不見一眾生得滅度者。以無餘涅槃·眾生心本自具·但

以迷真逐妄·遂成煩惱業苦·初非有失。既經指示·則返妄歸真·即煩惱業苦·復成無餘涅槃·今豈有得。約智名如來智慧·約理名無餘涅槃·名雖異而體原一耳。由其心住實相·不住幻相·故內不見我為能度·則無我相·外不見人及眾生為所度·則無人及眾生相·中不見所得之無餘涅槃·則無壽者相。四相既無·三輪體空·故得萬行雲興·一法不著·所以不住色聲香味觸法而行布施等也。布施·為六度萬行之首·舉其首而例其餘·佛語善巧·不須繁詞。如是則波騰行海·雲布慈天·不矜不伐·行所無事·則上契如來果覺·下契即心自性·故得受持四三二一句者·其功德等彼十方虛空也。世人不知在離相無住處著眼·遂謂此經破相·不知此經·乃示人廣行六度萬行·上求下化·興無緣慈·運同體悲之無上妙相也。須知佛法真利益·必由不著無住而得·欲不著無住·非竭誠盡敬不可·竭誠盡敬·乃修習佛法成始成終之要道也。真達大師·欲令受持者咸發歡喜誠敬之心·乃請汪鴻藻居士楷書·刊印流通·并附功德頌于後·以期受持者·悉得前人所得焉

觀世音菩薩三十二應發隱

觀世音菩薩·誓願宏深·慈悲廣大·雖已成等正覺·而復示作菩薩。雖則示作菩薩·而復于十方法界·普現色身·尋聲救苦·度脫眾生·十法界身·無身不現·令彼一切稱名致敬之眾生·現在離所受之幻苦·將來得成佛之真樂。于此娑婆世界·因緣最為甚深。故普門品無盡意菩薩·既聞觀音得名之因緣·復問遊此世界方便說法之事·佛遂略說三十二應身·以明其概。三十二應身者·于十法界之四聖法界中。略舉佛·辟支佛·(即緣覺)聲聞·等三法界身。(菩薩乃其本位·故不說、)于六凡法界中·天則略舉梵王·帝釋·自在天·大自在天·天大將軍·毘沙門·等六身而已。人則小王·長者·居士·宰官·婆羅門·比丘·比丘尼·優婆塞·優婆夷·長者·居士·宰官·婆羅門·婦女·童男·童女·十五身而已。于八部中·天已前列·此則不計·則有龍·夜叉·乾闥婆·阿修羅·迦樓羅·緊那羅·摩睺羅伽·又有

執金剛神。此八種身。修羅一種。係修羅法界。餘則或屬於天。或屬於畜。或屬於鬼。六凡法界。唯少地獄一法界耳。但是語略。非菩薩不于此處現身救苦也。須知三十二應。不過略舉大概。以例其餘。若詳說者。數豈有盡。菩薩與無緣慈。運同體悲。隨機應現。神變無方。能以意會。則妙義全彰。若拘拘然執迹而論。則失菩薩不動真際。現諸威儀。了無計慮。無適不當。如一月普印千江。千江悉現全月。一春普育萬卉。萬卉各具春光之妙矣。然菩薩所現。尚不止唯有情身。若夫山河城池。樓臺屋宇。橋樑道路。樹林禾稼。隨彼機緣。亦皆示現。怡山所謂疾疫世而現為藥草。饑饉時而化作稻粱。足徵菩薩慈悲之心矣。廣州番禺高塘珠岡寺。宗禪大師念菩薩恩德。廣大周摯。因修一閣。以奉聖像。中供觀音本像。兩旁供三十二應像。而本願居士等三十二人。各隨己力。出資以助。其功德不可思議。竊念過去劫中。一女人修佛塔。三十二人相助令成。後同生三十三天。倡首者為帝釋。輔助者作四方八天之天王。宗禪大師。本願居士等。不求人天福報。但願倡者。助者。及現在未來之瞻禮供養者。同得現生慧朗福崇。優入聖賢之域。臨終情空業盡。直登極樂之邦。見佛聞法。證無生忍。回入娑婆。度脫眾生而已。又祈雨順風調。民康物阜。兵戈息而天下太平。禮讓興而風俗淳美。爰為發其隱義云。

嘉言錄題詞

淨土大法門。其大無有外。如天以普覆。似地以普載。等覺欲成佛。尚復作依賴。逆惡將墮獄。十念登蓮界。普被九界機。咸皆勤頂戴。暢佛度生心。唯一了無再。我以宿業力。曾作一闡提。效法韓歐等。其愚莫能醫。幸得病數年。時復深長思。古今眾聖賢。豈皆無所知。彼既悉尊奉。我何敢毀訾。雖聖有不知。韓歐焉足師。因茲皈依佛。剃髮而披緇。自諒宿業深。宗教非所宜。唯有仗佛力。或可副所期。專心修淨業。庶得預蓮池。近十餘年來。人或謬見問。所答亦以此。不敢稍越分。海鹽徐蔚如。以其切而近。再三于京滬。為之付排印。語言雖樸質。人皆不見慍。遺迹而究益。多有生正信。圓淨李居

士·宿根深復深·注釋諸經論·闡明如來心·繼以費精神·衰病每相侵·捨博而守約·立志追東林·又欲利初機·作修持規箴·節錄文鈔語·分類以編紉·并自出淨資·印施諸有緣·冀使一切人·勉力希聖賢·敦倫而盡分·各完己性天·眾善悉奉行·諸惡盡銷蠲·信願勤念佛·求登九品蓮·臨終佛來接·有若月印川·直下往西方·永出生死淵·見佛悟無生·漸致福慧圓·因請為著語·以期廣流傳·俚言入雅目·徒招誚且憐·赧顏貢愚誠·祈各自審焉·若未超等覺·且預回向員。

佛說輪轉五道罪福報應經集解題詞

眾生本性·爰無生滅·由迷背故·輪轉永劫·三界無安·猶如火宅·眾苦充滿·出離莫得·五道輪轉·了無止期·有如車輪·上下旋移·佛出世間·發明所以·因背覺故·輪轉不已·欲得止息·須識因果·力修定慧·滅除人我·人我情空·見思惑盡·方于三界·永離生釁·然此事理·雖極勝妙·唯上上根·方可親到·儻或鈍劣·莫道現生·或千萬生·亦難有成·罪福報應·佛已彰顯·三途固惡·人天亦險·以由有福·多為禍基·所得善報·為惡前驅·世尊大慈·特為妥慮·爰開淨土·普令得度·若生深信·及發切願·虔持佛號·即生事辦·此經略說·五道輪轉·罪福報應·因果俱闡·由讀此經·知生死苦·欲了生死·當修淨土·王君約之·具大悲心·推闡理事·若指掌紋·在近世中·疏解佛經·如此明達·實莫與京·憫世沈迷·撥無因果·弱肉強食·競爭人我·致使斯民·如墮水火·益熱益深·其何以可·特宏此經·詳釋其義·如聚眾盲·令其明視·亦如明鏡·普照萬象·形分妍媸·像無二樣·知因在我·自慎所行·改惡遷善·冀獲休徵·息競爭風·敦行仁讓·俗轉淳樸·唯道是尚·王君功德·實難思議·印施利益·永久弗替·共挽狂瀾·依正道流·庶幾同倫·其樂悠悠·但釋經義·未詮淨業·引而不發·是謂善說·恐諸閱者·未悟此義·爰為指明·令知出路·如來所說·一切教典·見思不盡·生死莫免·唯有淨土·專仗佛力·如子幼稚·賴母撫育·如度大海·須仗舟

船·直登彼岸·身心坦然。若昧此義·欲自浮沔·不但吃力·且有溺憂。奉勸閱者·深信因果·回此精力·求生淨土。敦行孝友·恪盡己分·以身率物·感化遠近。諸惡莫作·眾善奉行·克己復禮·閑邪存誠。能如是者·名真佛子·生預聖流·沒生佛土。佛法廣大·普蔭人天·唯茲淨土·攝機周全。等覺大聖·逆惡小凡·平等攝受·令登九蓮。知娑婆界·五道輪轉·知極樂國·九品安坦。善緣悉備·惡緣悉殄·除非癡人·誰不自勉。親炙彌陀·參隨海眾·忍證無生·位鄰極聖。欲復本性·唯此為要·捨此別修·無人能到。

泥金繪像普門品頌

大哉觀世音·徹證法界藏。乘大悲願力·普現諸色相·尋聲以救苦·隨感而徧應·如月到中天·萬川悉印映。良由眾生心·與菩薩無二·因其背覺故·遂致成隔異。既遇諸災難·仰冀垂救援·即此一念心·便契真覺源。以故一起念·念于菩薩名·遂于當念中·蒙救離災刑。世尊在靈鷲·廣宣法華經·無盡意菩薩·以名敬致徵。世尊遂略說·現身救苦事·大地舉一塵·略示少分義。由是諸眾生·得有所怙恃·如天地覆載·如父母撫育。昔有一善士·欲廣菩薩慈·泥金書普門·兼繪救苦儀。年代已久遠·幸得常保守·故致吳曉卿·親獲謹承受。欲啟世正信·因祈為著語·願令法界眾·同證實相理。乃忘其固陋·略表諸因緣·庶幾見聞者·登第一義天。

附錄

南五臺山圓光寺觀音菩薩示迹之記山去陝西省城七十里

示迹之記·文詞典雅·敘事精詳。惜於菩薩不思議無作妙力·殊欠發揮。(量)不揣固陋·勉述一讚·以冠於首。俾事理交融·體用咸彰。生之所以能感·聖之所以能應·俱在斯焉。以企後之覽者·發菩提心·見賢思齊。以觀音之心為心·以觀音之事為事。庶可亦為未來世之觀世音耳。雖文不雅馴·而其意義有可取焉。讚曰·

觀音大士·於無量劫·久成佛道。為度眾生·不離寂光·現菩薩

身。又復普應羣機。垂形六道。以三十二應。十四無畏。四不思議無作妙力。尋聲救苦。度脫羣萌。應以何身得度者。即現何身而為說法。直同月印千江。春育萬卉。雖則了無計慮。而復毫不差殊。良由徹證唯心。圓彰自性。悲運同體。慈起無緣。即眾生之念以為心。盡法界之境以為量。是知無盡法界。無量眾生。咸在菩薩寂照心中。故得雲布慈門。波騰悲海。有感即赴。無願不從也。（釋聖量和南謹述此下乃示迹之記）

大山巖穴。龍蛇所居。歲久成祆。肆其凶孽。吞齧不已。禍及生民。變怪昇騰。非人所制。若非應身大士。孰能救濟。巍巍乎妙智神力。其容思議。然於不思議境。強以文字紀述事迹者。冀千載之下。方來君子。啟深信耳。昔隋時仁壽中。此山有毒龍焉。以業通力。變形為羽人。攜丹藥貨於長安。詐稱仙術。以欺愚俗。謂此藥之靈。服者立昇於天。嗚呼。無知之民。輕信此語。凡服此藥而昇天者。不知其幾何。又安知墮彼羽人之穴。以充口腹耳。而一方之民。尚迷而不悟。唯我大士。以悲願力。現比丘身。結草為庵。止於峯頂。以妙智力。伏彼祆通。以清淨風。除其熱惱。慈念所及。毒氣潛消。龍獲清涼。安居巖穴。民被其德。各保其生。昔之怪異。不復見矣。由此靈貺達於朝廷。以其於國有功。於民有惠。建寺峯頂。而酬酢之。大士以慈風法雨。普濟含靈。慧日淨輝。破諸冥暗。於是搢紳嚮慕。素俗欽風。割愛網以歸真。棄簪纓而入道。大士嘗居磐石。山猿野獸。馴繞座隅。百鳥聚林。寂然而止。如聽法音。久而方散。嗚呼。建寺之明年。六月十九日。大士忽示無常。恬然入滅。異香滿室。愁霧蔽空。鳥獸哀鳴。山林變色。於是寺眾聞於朝廷。中使降香。奉敕賻贈。以崇冥福。荼毘之際。天地晦冥。斯須之間。化為銀界。忽聞空中簫鼓響。山岳搖。瑞雲奔飛。異香馥郁。忽於東峰之上現金橋。橋上列諸天眾。各豎幢旛。及雨金華。紛紛而不至於地。最後於南臺上。百寶燦爛。廣莫能知。衝天無際。影中隱隱現自在端嚴之相。慈容偉麗。纓絡銖衣。天風飄飄。煥然對目。爾時緇白之眾。千百餘人。咸睹真

儀·悲喜交集。莫不涕泣瞻依·稱名致敬。始知觀音大士示迹也。清氣異香·經於累月。左僕射高公·具奏其事。皇上覽表·嘉歎久之。收骨起塔·御書牌額·錫號為觀音臺寺。撥賜山林田土·方廣百里。每歲時降御香。度僧設供·大崇法化。至唐大曆六年·改號為南五臺山聖壽寺焉。五代之世·兵火連綿·諸臺殿宇·並遭焚毀。雖有殘僧壞屋·尚與木石共處矣。至宋太平興國三年夏·前後六次·現五色圓相·祥雲等瑞。主僧懷偉具申府尹·被奏天廷。敕賜金額·為五臺山圓光之寺。由是增修寶殿·繪塑真儀。烟霞與金碧爭輝·鐸韻共松風演妙。諸臺屋宇·上下一新。嗣續住持·香燈不絕。慈輝所燭·石孕祥雲。法雨所霑·水成甘露。臺南數百步·有石泉焉。注之方池·色味甘潔。能除熱惱·能潤焦枯。舒之則沙界滂沱·卷之則石池澄湛。或時亢旱·迎請者相繼於道途。感應如期·州郡已彰於簡牘。懷生蒙祐·草木霑恩。自昔迄今·聲華不泯。噫·大聖以悲願力·福被一方。而一方之民·亦不忘於慈佑。每遇清明之月·及夏季忌辰。不遠百里·陟險登危皆以淨心踵足而至者·何啻百千萬耶。扶老攜幼·闐溢道路·相繼月餘。各以香花音樂·繒蓋帷旛資生之具·持以供養。於是頭面頂禮·致敬致恭睹相瞻儀·旋繞讚歎。莫不洗罪蒙福·弭障霑恩。豈徒為奔走跋涉而已哉。寺僧法忍·慮其歲月經久·靈迹湮沒。持諸殘碑·囑為斯記。普明固辭弗獲·甚愧非文。倘遇賢士·改而正諸·不亦宜乎。太白山釋普明謹撰元至元七年庚午正月十五日都院主僧釋澄淵立石

念佛三昧摸象記了餘師原稿略為筆削以佛學叢報檢錯數句故錄原文

歲在丙午·予掩關于慈谿之寶慶寺。謝絕世緣·修習淨業。值寺主延諦閑法師·講彌陀疏鈔于關傍。予遂效匡衡鑿壁故事·于關壁開一小竇。不離當處·常參講筵。從茲念佛·愈覺親切。佛號一舉·妄念全消。透體清涼·中懷悅豫。直同甘露灌頂·醍醐沃心。其為樂也·莫能喻焉。一日·有客詣關而問曰·念佛一法·吾已修持二十餘年。

于生信發願修行·非不真切。而業深障重·終未能到一心不亂境界。窺吾根性·祇合帶業往生。雖念佛三昧·非此生所敢冀。其能得之法·與所得之相·師其為我言之。予曰·三昧境相·唯證方了。如人飲水·冷煖自知。我既未證·焉能宣說。客固請不已。予曰·若論其法·必須當念佛時·即念返觀。專注一境·毋使外馳。念念照顧心源·心心契合佛體。返念自念·返觀自觀。即念即觀·即觀即念。務使全念即觀·念外無觀。全觀即念·觀外無念。觀念雖同水乳·尚未鞫到根源。須向者一念南無阿彌陀佛上·重重體究·切切提撕。越究越切·愈提愈親。及至力極功純·豁然和念脫落·證入無念無不念境界。所謂靈光獨耀·迴脫根塵。體露真常·不拘文字。心性無染·本自圓成。但離妄念·即如如佛者。此之謂也。工夫至此·念佛法得。感應道交·正好著力。其相如雲散長空·青天徹露。親見本來·本無所見。無見是真見·有見即隨塵。到此則山色溪聲·咸是第一義諦。鴉鳴鵲噪·無非最上真乘。活潑潑應諸法·而不住一法。光皎皎照諸境·而了無一物。語其用·如旭日之東升·圓明朗照。語其體·猶皓月之西落·清淨寂滅。即照即寂·即寂即照。雙存雙泯·絕待圓融。譬若雪覆千山·海吞萬派。唯是一色·了無異味。無罣無礙·自在自如。論其利益·現在則未離娑婆·常預海會。臨終則一登上品·頓證佛乘。唯有家裏人·方知家裏事。語于門外漢·遭謗定無疑。又問·人于日用·普應諸緣。何能觸目菩提·頭頭是道乎。答·心生則種種法生·心滅則種種法滅。萬境不出一心·一心融通萬境。若了心體本空·何妨該羅萬象。須知萬象如幻·生滅唯是一心。諸緣無縛·本自解脫。六塵不惡·還同正覺。心境一如·有何罣礙。不見華嚴事事無礙法界。所謂一一塵中一切刹·一一心中一切心。一一心塵復互周·重重無盡無障礙。以故器界毛塵·雲臺寶網。咸宣性海·悉演真乘。豎窮三際·橫徧十方。覓一毛頭許不是道者·亦不可得。則法法頭頭·無非大寂滅場。心心念念·悉契薩婆若海。唯心妙境·唯境妙心。離四句·絕百非·絕待圓融·何可得而思議也哉。上來所說·如盲摸象。雖未離

象·恐非全象。筆以記之·以質諸親見之者。

勸燬淫書說維揚張瑞曾居士、重刻格言聯壁、令光校訂、以原文質略殊難感發、因為筆削、俾文義順暢、居士欲廣流傳、勸附入文鈔、遂略標緣起、列于附錄科中、庶閱者不至以掠人之美見誚也、釋印光記

三代而下·世多邪說。而邪說之最足以害人心世道者·莫如淫詞小說為甚。蓋聖賢經傳·唯恐不能覺天下之愚迷。而淫詞小說·唯恐不能喪斯民之廉恥。以故小說出而淫風熾·淫詞興而貞德衰。然誰無羞惡之心·豈肯作禽獸之事。但以聰明子弟·靈敏婦女·一觀此書·悉為所惑。初則豔其詞章·以為佳妙。繼則情隨文轉·不能自持。遂致竟以希聖希賢宜家宜國之身·甘作鑽穴踰牆偷香竊玉之事·而絕無顧惜者·皆此等邪書之所蠱惑也。其毒人也·烈于蜜餞砒霜。其陷人也·慘于雪覆坑坎。令人滅理而亂倫·折福而損壽·破家而殺身·辱先而絕後。及其死也·尚使神識墮于地獄·受諸極苦。外經長劫·莫由出離。可不哀哉。凡作此書·及販賣此書者·其罪甚于叛逆之首·亂賊之魁。當為國法所必誅·天律所不赦也。奉勸當權諸名公偉人·及一切有心世道仁人君子。凡見此等人·務必勸令改業。凡見此等書及板·務必盡行焚燬。有力則獨任其資·無力則勸眾共舉。又祈輾轉化導·俾人各景從。必期于世間永無此書·人民各敦彝倫而後已。將見佛天雲護·災障冰消。身心安泰·家門迪吉。富壽康寧·現身獲箕疇之五福。勛徽爵位·後裔納伊訓之百祥矣。特將收藏小說四害·並焚燬淫書十法·詳列于後。企有心世道者·采取而舉行焉。(四害十法、見格言聯壁、)

戒煙神方千萬不可加一味藥、加則不靈

鴉片流毒·受其害者·不知凡幾矣。有志同胞·每欲戒而苦無良方。近來市上所售戒煙丸藥多參以嗎啡毒質。雖可抵癮·受害尤甚。今此神方·簡便易辦·有利無弊。務望有志戒吸鴉片諸君·從速照服。

百發百中·萬勿輕忽。甘草八兩 川貝母四兩 杜仲四兩

右藥三味·用清水六斤。熬至一半·將藥用布去渣。加入好紅糖一斤成膏。每次服三錢·溫水衝下。

(服法) 初三天·每藥膏一兩·加入煙一錢。第四五六天·一兩藥加煙八分。第七八九天·一兩藥加煙六分。第十十一十二天·一兩藥加煙四分。第十三十四十五天·一兩藥加煙二分。第十六十七十八天·一兩藥加煙一分。十八日後·每兩藥加煙一分·再服七日。以後不須加煙·服完此膏·其癮自斷。並無難受·及一切毛病。真奇方也。斷癮後·切忌再吸。愛惜光陰·保養精神。至禱至禱。正戒煙服藥時·忌食酸味。

(防法) 倘戒煙期內·發生別種毛病。每兩藥膏·照期多加煙一分·不可過多。自然病癒·萬無一失。此方治好多人。有每日吸二三兩煙者·均服一料斷癮。不但不生毛病·而且精神強健。極靈極效。

原跋

印光法師·法名聖量·別號常慚·陝之郃陽人。駐錫普陀法雨寺之藏經樓·世罕知者。甲寅歲·高鶴年居士攫師文稿數篇·印入佛學業報。(霽)受而讀之·合掌歡喜·歎未曾有。大法陵夷·於今為極。不圖當世尚有具正知正見如我師者。續佛慧命·於是乎在。師之文·蓋無一語無來歷。深入顯出·妙契時機。誠末法中應病良藥也。戊午春·以歷年搜訪所得之文二十二篇·印於京師·是為初編。旋謁師於普陀·獲稿頗夥·並承知友錄稿見寄。己未秋·又以錄存各稿三十八篇·印為續篇。是年冬·銜恤南歸。南中緇素索閱是書者尤眾·爰商之商務印書館·重付排印·以廣流通。復經張君雲雷·廣為徵集。并(霽)續搜之稿·共增三十四篇。由周孟由·朱赤萌·黃幼希三君。合初續兩編·按類編次。詳為校勘·較前兩次所印尤完善矣。書成·謹記其緣起如是。庚申仲冬·浙西徐文霽敬識。

普勸發心印造經像文附

弘一釋演音示綱 弘實尤惜陰演譯

印造經像之功德

眾生沈淪於苦海·必賴慈航救濟·而後度脫有期。佛法化導於世間·全仗經像住持·而後燈傳無盡。以是之故。凡能發心·對於佛經佛像·或刻或寫·或雕或塑·或裝金·或繪畫。如是種種印造等法。或竭盡己心·獨力營辦。或自力不足·廣勸眾人。或將他人之已印造者·為之流通·為之供養。或見他人之方印造者·為之贊助·為之歡喜。其人功德·皆至廣至大·不可以尋常算數計。何以故。佛力無邊·善拔諸苦。眾生無量·聞法為難。今作此印造功德者·開通法橋·宏揚大化。徧施寶筏·普濟有緣。其心量之廣大·實不可思議。故其功德之廣大·亦復不可思議也。敬本諸經所說·略舉十大利益。謹用淺文·詮次如左。

一從前所作種種罪過·輕者立即消滅·重者亦得轉輕。貪瞋癡·為造孽種子。身口意·為作惡機關。清夜自檢·此生所犯者已多不可計。若合多生所犯者言之·所造罪業·多於寒地之冰山·能勿駭懼。雖然·罪性本空·苟一動贖罪心機·誓願流通聖經·莊嚴佛像。罪惡冰山·一遇慧日·有不消滅於無形者乎。

二常得吉神擁護·一切瘟疫水火寇盜刀兵牢獄之災·悉皆不受。人間種種惡報·無往而非多生惡業所感。一念之善·力可回天。修行善業·而從最方便易行之印造經像之殊勝功德上做去·其感動吉神·而蒙護衛·此中實有相互獲益之關係。蓋神道天道·自佛法言之·均為夙業所驅·未脫長劫輪轉之苦因。所以如來說法·常有無數天神·恭敬擁護。阿難集經·四大天王·為之捧案。印造經像·為諸天龍神·非常歡喜之事。以此功德·而感吉神·常為擁護。終此報身·離諸災厄·宜也·非幸也。

三夙生怨對·咸蒙法益·而得解脫·永免尋讐報復之苦。人間

一切爭持嫉妒詐欺誣陷掠奪殘殺等種種構怨行為·莫不起因於自私自利之一念。佛法以破除我執·為救苦雪難第一工程。印造經像·普益人間·為不可思議之法施功德·所及至廣。法雨一滴·熄滅多生怨對之瞋火而有餘。化讐而為恩·轉禍而為福。其權何嘗不操之自我也。

四夜叉惡鬼·不能侵犯。毒蛇餓虎·不能為害。慳貪醜行·為墮落鬼道之深因。瞋火無明·為降作毒蟲之徵兆。結怨多生·尋讐百劫。惡緣未熟·任爾逍遙。時會已來·憑誰解救。鬼魅相侵·虎蛇見逼。孽由自作·事非偶然。修士惕之·印造經像·豫行懺罪。於是縱有惡緣·悉皆消釋。倘臨險地·胥化坦途矣。

五心得安慰·日無險事·夜無惡夢。顏色光澤·氣力充盛·所作吉利。塵世多眾·十之七八·在驚憂疑悶懊怨痛苦中。吾人一生·十之七八·在驚憂疑悶懊怨痛苦中。蓋為我計者·我以外各各皆立於敵對之地位。孤與眾抗·危孰甚焉。況乎欲心難饜·有如深谷。無事自擾·不風亦波。此所以形為罪藪·身為苦本也。佛法善滅諸苦本。彼印造經像者·或以親沾法味而開明·或則暗受加被而通利。諸障雪消·心安神怡。潤及色身·有斷然者。

六至心奉法·雖無希求。自然衣食豐足·家庭和睦·福壽綿長。至人行事·所見獨真。事機一至·急起直追做去。無顧慮·無希求。發心至真切·用力至肫摯·自然成就至超卓。印造經像之事·以如是肫切懇摯·至誠格天·至心奉法之人為之。雖不計功德·而所得功德·實無限量。即僅就其人所得一部分之世間福言之·自然一一具足·而無少欠缺。苟或有人·心存希望·而始行善·發心不真切·結果即微薄·可決言焉。雖然·一念之善·一文之細·皆不虛棄·皆有無量勝果。譬之粒穀播於肥地·一傳化百·五傳而後得百萬兆。作宏法功德者·烏可無此大計·無此決心哉。

七所言所行·人天歡喜。任到何方·常為多眾傾誠愛戴·恭敬禮拜。夙生存嫉妒心·造誹謗語。揚人惡事·暴人短處·稱快一時者。

歿後沈淪百劫·慘苦萬狀·備受一切惡報。一旦出生人間·因緣惡劣。任至何地·動遭厭惡。任作何事·都無結果。而宏揚佛法之人·善因夙植。存報恩之心·充利羣之念。或淨三業·作寫經畫像功德。或捨多金·作印經造像功德。所得勝福·不可稱量。現在一切受大眾歡敬之人·原從夙生宏法功德中來。往後一切令大眾歡敬之人·實從現今宏法功德中出。植荊得刺·栽蓮得藕。一一後果·胥由自藝也。

八愚者轉智·病者轉健·困者轉亨。為婦女者·報謝之日·連轉男身。夙生吝於教導·以及肆口謗法·肆意毀謗有德之人者·沈淪重罪畢受後·還得多生蠢愚無知報。夙生為貪口腹·恣殺牲禽·以及曾為漁夫屠夫·獵戶庖丁·與曾操製造凶器火器毒藥等權·助成他人凶殺之業者·沈淪重罪畢受後·還得多生惡疾殘廢報。夙生貪欲無厭·止知剝人以肥己·慳吝鄙嗇·不肯周急而解囊者·沈淪重罪畢受後·還得多生貧窮困厄報。夙生知見狹劣·心存諂曲·巧言令色·掩飾行欺。逐境攀援·容量淺窄·因循怠惰·倚賴性成·煩惱垢重·怨憤易發。妬忌心深·情欲熾盛者·沈淪重罪畢受後·還得多生女身報。惟有佛法·善解諸縛·苦海無邊·回頭即岸。罪山萬仞·息念便空。是以虔作流布佛經·莊嚴佛像之無上功德者。過去積罪·自然逐漸剷除。未來勝福·穩教圓滿成就。

九永離惡道·受生善道。相貌端正·天資超越·福祿殊勝。一切含靈·舍身受身·往返六道·如車轉輪。千生萬劫·常在夢境。作善不已·罪畢斯升。驕縱忘本·種墮落因。作惡多端·福削壽傾。百千萬倍·惡報堪警。地獄餓鬼·以及畜生。墮三惡道·萬劫沈淪。難得易失·如此人身。作十善業·修五戒行。生人天道·夙福非輕。諸佛如來·悲憫同深。廣為說法·首重攝心。正念無作·離垢超塵。是故印造經像·上契佛心。僅此微願·已種福因。自是厥後·做再來人。諸福圓具·出類超羣。

十能為一切眾生·種植善根。以眾生心·作大福田·獲無量勝果。所生之處·常得見佛聞法。直至三慧宏開·六通親證·速得成佛。佛

世有一城人眾·難於攝化。佛言此輩人眾·與目連有緣。固遣目連往·全城人聚·果皆傾心向化。諸弟子問佛因緣。佛言目連往劫·曾為樵夫。一日入山伐木·驚起無數亂蜂。其勢洶洶·欲來相犯。目連戒勿行兇·且慰之曰·汝等皆有佛性。他年我若成道·當來度汝等。今此城人眾·乃當日羣蜂之後身也。因目連曾發一普度之念·故與有緣。種因於多劫之前·一旦機緣成熟·而收此不可思議之勝果。由此觀之·吾人生生所經過之時代·在在所接觸之萬類·一一皆與我有緣。一一眾生至靈妙之心地·皆可作為自他兼利之無上福田。我既於一一眾生心田中·散播福德種子。一一眾生·皆與我有大緣。一一眾生心田中·所結無量大數之福果。雖謂此無量大數生生不已之福果·即為播因者道果成熟時期之妙莊嚴品·亦無不可。且吾人能先行潔治自己之心田·接受十方三世諸佛如來之無上法寶·作為脫胎換骨·轉凡成聖之種子。吾身即與十方三世諸佛如來·有大因緣。諸佛願海勝功德·一一攝於我心中。我願與佛無差別·諸佛慈願互相攝。因該果海·果徹因源。無邊勝福·即締造於此日印造經像·宏法利生之一真心中矣。普願現在未來一切有緣·善覓福田·善結勝緣。勿任妙用現前之大好光陰·如滔滔逝水之在眼前足底飛過也。

印造經像之機會

印造經像者之所得功德·已略如上述。但何時何處·足以適用此種植福之舉。特為研究·以便力行。今謹約述如次。

一祝壽 生本無生·無生而生。法身壽算·本來無有數量。其現在幻軀·乃從業報中來。報盡便休·無異曇花一現·何壽之足云。今為隨順俗情故·姑且開此祝壽方便門。凡自己家中·或長者·或儕輩·或自身·舉行祝典時。切勿殺生宴客·浪擲金錢·妄造怨業。亦勿貪戀無足重輕之虛譽·徵文徵詩·接收過情之稱許。作此虛文·對眾即為欺飾·問心適足慚汗。以故莫善於掃除一切俗尚·而從事於印造經像。(有力則刻經造像、無力則寫經畫像、)仰以報四重恩·俯以

濟三途苦。既能獲無量福慶，又可留永久紀念。此種勝舉，尊者居士，尤宜悉心提倡，留良榜樣與多眾看。若親戚朋友家，舉行慶祝時，亦勸准此行之，為造勝福。雙方所得功德，不可稱量。

二賀喜 一念妄動，而起欲愛。於本空中，幻出色身。終此天年，但見百苦交煎，諸怨環逼。聞法而覺醒者，方慚愧痛苦之不暇，又何喜之足云。夫妻父子，無非夙債牽纏。安富尊榮，儘是生理境界。是以覺王眼底，在在可悲。今為多方汲引故，姑且開此賀喜方便門。凡男娶女嫁時，生兒育女時，職位升遷時，新屋落成時，公司行號開張時，凡百營業獲利時，以及其他一切世俗所認為歡喜之事。事而在己，應省下歡喜錢財，作此刻經造像之殊勝功德。其戚友之表情道賀者，宜豫向聲明所定意旨，俾知所遵循。羣以宏法範圍內事，為多眾示範。由知識階級，開此風氣。轉移俗尚，響應至捷而至宏遠，可以斷言。事在戚友，亦宜迎機利導，免作無謂之舉。省下金錢，作此自他兼益之圖。

三免災 天災人禍，無代蔑有。災分大小，胥由一切眾生別業同業，感召而至。災字從水從火，示其來勢猛烈，有一發而不易收拾之概。災殃之種別，若刀兵，若瘟疫，若饑饉，若牢獄。若洪水為患，田廬淹沒。若大地震裂，城邑為陷。此外如燬滅一切所有之風災火災，以及其他猝不及防之一切悲慘之結果，皆得以災禍之名目括之。觸目而驚心，思患而豫防。講求避免之方，不可一日緩。今為饒益一切有情故，特別開此免災方便門。無論山居水居平壤居，所有種種因境而生之特異災厄。以及刀兵寇盜，疫癘火患牢獄。與多生怨對，尋仇報復之一切禍災。或為父母師長，及諸眷屬，與諸戚友，祈禱免禍。或為並世而生之一切眾生，發大慈悲心，代為祈禱免禍。或為過現未來四生六道中一切眾生，發大菩提心，代為祈禱免禍。其最實際最有效之勝舉，當以流通佛經，莊嚴佛像，為第一美舉。是何為者，以十方三世諸佛，憫念眾生故。三界災厄，惟佛威神力善能消除故。矢誠宏法之人，與諸佛慈悲救拔之深心宏願，默相感通故。

四祈求 動若不休·止水皆化波濤。靜而不擾·波濤悉為止水。水相如此·心境亦然。不變隨緣·真如當體成生滅。隨緣不變·生滅當體即真如。一迷則夢想顛倒·觸處障礙。一悟則究竟涅槃·當下清涼。不動道場中·本來一切具足·又何欠缺馳求之有。今為多眾勸進故·特別開此祈求方便門。凡為自己·及六親眷屬之憂年壽短促者求延壽。為子嗣艱難者求誕育。以迄疾病之求速愈。家宅之求平安。怨讎之求解釋。營業之求順遂。一切作為之求如意。(但有傷道德之行為、及職業、與佛道不相應故、均在屏除之例、)求國內平和。求世界平和。求現在未來一切法界眾生回心向善·離諸魔難。以至一切聞法之人·求增長智慧。求證念佛三昧。求臨終時無諸苦厄·心不顛倒·往生極樂。皆宜作此寫經印經造像畫像功德。至誠祈禱·終能一一滿其所願。

五懺悔 省庵法師勸發菩提心文有云。我釋迦如來·最初發心·為我等故·行菩薩道。經無量劫·備受諸苦。我造業時·佛則哀憐·方便教化。而我愚癡·不知信受。我墮地獄·佛復悲痛·欲代我苦而我業重·不能救拔。我生人道·佛以方便·令種善根。世世生生·隨逐於我·心無暫捨。佛初出世·我尚沈淪。今得人身·佛已滅度。何罪而竟生末法·何障而不見金身。撫躬自問·能不惶悚無地。今為消除罪障故·特別開此懺悔方便門。修持戒行·為末世眾生·度脫生死苦海·最重要最切用之一方法。欲修戒行·當向律藏諸法典參求。在家弟子。宜讀十善業道經。在家律要廣集。優婆塞戒經。菩薩戒本經箋要。梵網經合注。出家戒律不備錄。夫然後了知一切過咎所在。對於自己前此曾作諸不善事·深自追悔。而欲以懺悔開滅罪之門·闢自新之路者。當以流通佛經·莊嚴佛像。為最有效。作此功德時·至誠懺悔·以贖前愆。前此所作諸不善業·可以立即消滅。若代為他人懺悔者·亦適用此方法。

六薦拔 樹欲靜而風不息·子能養而親不在。此普天下為子女者·對於父母養育之恩·酬報無從·而抱無限之悲痛者也。然而吾父吾母·

軀體雖歿，尚有不與軀體俱歿者在。是何物，曰靈性是。此靈性者，捨身受身，被夙業所驅，重處偏墮，自難作主。循環往復，三途六趣。從劫至劫，了無出期。吁嗟乎，三界火宅，豈得留戀。善哉蓮池大師有云，親得離塵垢，子道方成就。是以善報親恩者，當虔修出世法。使我今生之生身父母，仗我不可思議之願力，脫離生死苦海，為第一要圖。並使我百劫千生之生身父母，現尚滯留於六道中受苦無量者，咸得仗我不可思議之願力，方便脫離生死苦海，為第一要圖。以念多生父母深恩故，作徹底酬報想。以念多生父母沈淪六道故，視六道眾生皆父母，作六道眾生未度盡時，誓不成佛想。無論先覺後覺，人人皆有一親恩未報之大事因緣在。今求淺近易行故，特別開此薦拔方便門。凡值父母喪亡，或亡後七七紀念，一周年紀念，以至數周年，無數周年紀念，或死期，或誕辰，或冥壽，作諸紀念，皆宜舉行印造經像之殊勝功德。其祖父母，及外祖父母，與其他一切平輩幼輩，亦宜作此功德，以資冥福。若親戚朋友喪亡之時，亦宜以此類宏法功德，代卻一切無益之禮數。其所獲功德，至無限量。

以上所述，不過僅就大概言之。此外植福機會，不勝枚舉。欲悉其詳，廣誦一切經典自知。

印造經像之方法

一寫經 凡大藏經中諸經，及諸律論。以至古今來一切大德之著作。長篇短段，集聯題頌，皆可恭敬書寫。或與通達佛法之人商量，酌定一切，尤為妥善。若自己不能寫者，可以託人為之。若自己能寫，則以自寫為是。書法雖不必如何精美，但須工整，不可苟且潦草。普陀山印光法師云，寫經，宜如進士寫策，一筆不容苟簡。其體必須依正式體。又謂古人寫一字，禮三拜，繞三帀，稱二十聲佛名。慈訓殷勤，感人至深。敬錄之，為作寫經功德者勸。

二畫像 凡佛菩薩像，皆可繪畫。或大或小，或坐或立。或墨畫，或著色，均好。長於作畫，長於畫人物。而又熟覽內典者，尤易得法。

如於畫學毫無根柢。下筆之宜忌。漫無把握者。勿輕易為此。致惹褻慢而招過咎。

三刻經印經 或刻木版。或排印。或石印。均可酌量行之。或出資向流通處。指請現成經典。贈送有緣。以廣流布。而宏勸化。或於他人勸募之時。出資贊助。作見聞隨喜功德。悉可種植善根。獲大利益。有光紙。落墨不可用。若貪賤用之。所得功德。較用本國紙。當減十倍。不可不知。

四刻像印像 得名畫家畫就之佛菩薩像。求其流傳久遠。廣行攝化者。莫善於製版刷印。或倩名手。鐫刻堅質木板。或勒石。或製銅版。鋅版。及玻璃版。均佳。

發願文之程式

此種發願文。應附書於經像之後。格式甚多。不勝具述。今略舉六例如下。

一寫經 某年月日。弟子某。敬寫某經若干部。以此功德。願我震旦國中。以及世界各國。風調雨順。物阜時雍。災難消除。干戈永息。共沐佛化。同證菩提。(祝願辭、盡可隨意活變、此特備一格式而已、)

二畫像 某年月日。弟子某。敬捨微貲。請畫師某。恭畫某佛某菩薩像若干紙。願我身體安康。資生具足。現世永離衰惱。臨終往生西方。並願以此功德。回向法界眾生。同度迷津。齊成佛道。

三刻經 某年月日。某居士(或其他相宜之名稱)幾旬生辰。弟子某某等。咸以戚好。竊援昔人寫經祝壽之例。敬刻某經。並印送若干部。以廣弘願。亦祈難老。伏唯三寶證知。

四印經 某年月日。第幾男某誕生。弟子某敬施資印送某經若干部。以結法緣。並願法界無子眾生。皆得誕生福德智慧之男。紹隆家業。弘宣佛法。普利有情。緜衍相承。盡未來際。

五刻像 某年月日·弟子某某等。捨資合刊某佛像·或某菩薩像·並印送若干紙。惟願我等罪障消除·福慧增長。早證念佛三昧·共生極樂蓮邦。普度眾生·同圓種智。

六印像 某年月日·弟子某·敬施資印送某佛像·或某菩薩像若干紙。伏願仗此功德·為母某氏·(若為他人者、可隨改他名稱、)懺某罪某罪。諸如此罪·願悉消除。或不可除·願皆代受。令現前病苦·速得安痊。若大限難逃·竟登安養。仰乞三寶·證明攝受。

如欲廣覽願文格式者·可請閱靈峯宗論。此書係揚州東鄉磚橋法藏寺刻版。價兩元。上海有正書局·及上海北泥城橋北京路佛經流通處·北京臥佛寺佛經流通處·以及他處著名之佛經流通處·皆有寄售。價約二元左右。此書首卷·全載願文。如能熟讀此願文·不僅能通願文之格式·並能貫通佛法之精義。奉勸有志之士·其毋忽焉。又發願雖為自己之事·必須附以普及眾生等語。如是·則願力普徧·功德更大矣。

寫時畫時之註意

寫經畫像之時·宜斷葷酒。沐浴·著淨衣。拂拭几案·焚香禮佛·然後落筆。如是乃能獲勝功德·得大利益。故印光法師云·欲得佛法實益·須向恭敬中求。有一分恭敬·則消一分罪業·增一分福慧。又印光法師文鈔中·有竭誠方獲實益論·言此事最為詳明·宜請閱之。印光法師文鈔·係上海中華書局排印增廣本。各埠分局皆有·可就近請之。

結論

觀以上所說寫畫刻印佛經佛像·有如是等勝妙作用·及如是等種種應用方法。以是·吾人應隨時隨力·依此方法·歡喜奉行。其家境富裕者·可以任刊刻經像等事。即資用不充者·亦可自己抄寫映畫。及量己力所及·請已經印就之經像等·轉施他人·以結善緣而增福德。雖施經一部·施像一紙。倘出以至誠懇切之心·其功德亦無量也。 又

無論男女老幼·得見此文。而能歡喜踴躍·出至誠心·廣大心。隨時隨處·向人宣說流布佛經·莊嚴佛像。如上所述·種種消災救難·種福獲益之事。開導大眾·不厭不倦。雖遇無知謗阻·不校不餒。此一團宏揚大法之真誠·如純粹之黃金然。愈經烈火煅煉·光彩愈煥發。精誠所至·天地鬼神·皆將感格。何況無知之人·天良同具·而終無感化之機乎。又樂成人美·獎人為善之道·盡人可行。不論何時何處·隨見隨聞·有人偶爾發心·作宏法功德不問已作現作將作·一一出吾歡喜讚歎之語·以溫慰之·策進之。使當人向善之心愈堅壯·餘人慕善之心咸熱烈。此不費分文之無上功德·盡人可為。此普勸發心印造經像文·傳達之處·無論見者聞者·皆得方便為之。彼盛倡手無斧柯·為之柰何之說者·乃自暴自棄·自誤誤人之言也。如來舌相·薄淨廣長·能覆面輪。此希有之福德舌相·實從萬劫千生讚歎隨喜之功德中來。至誠宏法之人·隨時隨處·迎機利導·方便善巧。勤作讚歎隨喜功德之人·善於運用其廣長舌相。誰謂不可以此勝妙功德·革除眾生罪業之相·而獲福無量哉。

閱覽佛學經書翻動時減少罪過之注意附

學人閱覽尋常書本·每於翻動頁角時·往往用指甲掠劃。以致紙質傷損·指印縱橫·殊失尊重保護之道。此種惡習·施之於尋常有益身心之書籍·已有罪過。何況佛學經書·為超出生死苦海之寶筏。天神地祇·咸皆恭敬擁護。而可任意褻慢·不加愛護哉。且末世眾生·福量漸薄。享用各物·得之彌艱。物質日劣。近時所出之紙·亦遠不如前。若常常劃翻·紙易破裂。以此積習·施之佛學經籍·乃大不敬·急宜切戒。旁觀者能善言勸導·使之悔改·功德甚大。又有以指尖蘸口中津液·黏紙翻掀。雖紙質未必損傷·然墨色及紙角純白之色·易致污染。又以污穢口液·抹於佛經之上。褻瀆之罪·實無可逃。況乎有病之人·口津沾書。易使後來展誦之人·得傳染之病。以己累人·尤為損德·所當切戒。竊謂佛書流通世間·為養人慧命·度人出苦之無上寶典。閱者宜加意保存愛惜·期其傳之久遠。救拔多眾·普利有

緣。各頁翻動之時。當用指肚從旁輕輕掀起。不可鹵莽。宜加慎重。其始雖覺未慣。久之自能得心應手也。又臨開卷時。案頭塵垢。先須揩抹乾淨。經籍面頁底頁外。能加外護。或紙或巾。均佳。

唐義淨三藏法師西域取經詩附此以見聞法之幸

晉宋齊梁唐代間。高僧求法離長安。去人成百歸無十。後者安知前者難。遠路碧天唯冷結。砂河遮日力疲殫。後賢如未諳斯旨。往往將經容易看。

附錄安士全書印造經文發明

雖有嘉肴。弗食不知其美。雖有至道。弗學不知其善。天下最易失者人身。至難聞者佛法。如來不出世。則天上人間。皆如長夜。不特庸流局於所見。即儒者亦囿於所聞。仰首觀天。以為止此日月。而不知有微塵之剎土。以為厥初生民。始於盤古。不知曠劫以來。閱歷無邊劫數。天帝天仙。以為至尊無對矣。不知輪回六道。尚等凡夫。身死之後。以為形滅神消矣。不知一點靈光。生生不昧。父母眷屬。身歿之後。遂謂無可如何。豈知得此法門。縱經千生萬劫。自有酬償之道。善士輒軻。惡人得志。即謂天道難憑。豈知宿業所招。纖毫未爽。大矣哉。如來之教典。真所謂渡海之慈航。幽途之寶炬。嬰兒之乳母。而凶歲之稻粱也。宜阿難結集之時。梵王帝釋。皆執持幡蓋。四大天王。皆捧持高座之四足也。豈世間之書籍。可仿佛其萬一乎。印之造之。其容已乎。

附錄證通法師西資社同誓文

維隆興元年。歲次癸未。四月八日。釋師友。洎闔會大眾。歸命極樂世界阿彌陀佛。菩薩海眾。願運洪慈。俯察微志。某等惟念宿福深厚。生處中華。恭覩大藏七經。純談淨土。依正莊嚴。功德勝妙。返觀此處三惡八難。多不善聚。生老病死。壽命短促。自力修行。難進易退。先聖憫我等故。立此念佛法門。深談易往。激勸求生。古今聖賢。宏此道者。其書山積。湖海縑素。結此社者。代不乏人。十方

眾生·往彼國者·多如駛雨。我等是以亮情天發·不約而同。秉志有歸·僉心西境。既念念不忘·期終此報·決取往生。我等尚慮性習不同·世務縈絆。口談極樂·意戀娑婆。理事不明·行願有闕。旦祈云同·夕歸攸隔。於是謹涓吉日·聚會投誠。稽首梵容·立茲宏誓。仰願慈尊·舒紫金手·撫摩我頂。啟紅蓮舌·密授我記。庶我此生已去·諸惡不作·眾善奉行。不值邪師·不失正念。命終之日·無病無苦。身心悅樂。隨從如來·同歸安養。蓮華早開·悟無生忍。遊歷十方界·奉事諸佛身。濟拔苦眾生·同成無上道。虛空有盡·我願無窮。若見若聞·俱霑利樂。

徹悟禪師念佛伽陀教義百偈第一至第十

徹悟禪師，深通教義，徹悟宗乘，晚年歸心淨土，自行化他，一以信願念佛求生西方為主。其所發揮，實為近代所罕見，今錄其教義百偈，以為修淨業者作一善導。釋印光識

一句彌陀，我佛心要，豎徹五時，橫該八教。一句彌陀，意旨如何，知音者少，木耳偏多。一句彌陀，大意分明，蛇生弓影，藥出金瓶。一句彌陀，名異方便，普攝群機，旁通一綫。一句彌陀，開往生門，是多福德，非少善根。一句彌陀，臨終佛現，四辯親宣，六方共讚。一句彌陀，成佛標準，以念佛心，入無生忍。一句彌陀，證三不退，祇此一生，便補佛位。一句彌陀，滿十大願，豈得普賢，錯教了辦。一句彌陀，白牛駕勁，其疾如風，行步平正。

徹悟禪師念佛伽陀教義百偈第十一至二十五

一句彌陀，如來藏心，水外無浪，器原是金。一句彌陀，妙真如性，春在華枝，像含古鏡。一句彌陀，清淨實相，絕議絕思，難名難狀。一句彌陀，圓融法界，覲體全真，交羅無礙。一句彌陀，大圓智鏡，身土影含，重重掩映。一句彌陀，空如來藏。萬法未形，一真絕相。一句彌陀，圓滿菩提，天更無上，雲不與齊。一句彌陀，大般涅槃，一輪明月，萬里空寒。一句彌陀，開般若門，十虛萬法，一口平

吞。一句彌陀，華屋門開，從者裏入，快隨我來。一句彌陀，入王三昧，似地均擎，如天普蓋。一句彌陀，得大總持，轉一切物，使十二時。一句彌陀，性本自空，星皆拱北，水盡朝東。一句彌陀，法界緣起，淨業正因，菩提種子。一句彌陀，如鏡照鏡，宛轉互含，重疊交映。

徹悟禪師念佛伽陀教義百偈第二十六至四十

一句彌陀，似空合空，了無痕縫，卻有西東。一句彌陀，一大藏經，縱橫文彩，絕待幽靈。一句彌陀，一大藏律，警爾淨心，戒波羅蜜。一句彌陀，一大藏論，當念心開，慧光如噴。一句彌陀，一藏秘密，發本神通，具大威力。一句彌陀，渾全大藏，戒定慧光，流出無量。一句彌陀，繩本是麻，柰何不會，翻疑作蛇。一句彌陀，罕聞罕睹，影現鏡林，響宣天鼓。一句彌陀，無可譬喻，古鏡當臺，水銀墮地。一句彌陀，老婆心苦，運萬斛舟，發千鈞弩。一句彌陀，明明是有，四辯八音，婆心苦口。一句彌陀，的的是無，鎔他萬像，入我洪爐。一句彌陀，亦無亦有，夢裏山川，鏡中華柳。一句彌陀，非有非無，捺著便轉，水上壺盧。一句彌陀，第一義諦，尚超百非，豈落四句。

徹悟禪師念佛伽陀教義百偈第四十一至五十五

一句彌陀，妙圓三諦，最清涼池，大猛火聚。一句彌陀，得大自在，轉變聖凡，融通世界。一句彌陀，有功者賞，王膳盈前，髻珠在掌。一句彌陀，里仁為美，居卜來歸，枯樁非鬼。一句彌陀，非難非易，九品蓮華，一生心力。一句彌陀，就路還家，可惜癡人，棄金擔麻。一句彌陀，橫出娑婆，汝信不及，吾末如何。一句彌陀，歸元捷徑，緊要資糧，唯信願行。一句彌陀，要在信深，蓮芽九品，抽自此心。一句彌陀，要在願切，寸心欲焚，雙目流血。一句彌陀，要在行專，單提一念，斬斷萬緣。一句彌陀，誓成片段，拌此一生，作箇閒漢。一句彌陀，只恁麼念，百八輪珠，綫斷重換。一句彌陀，不急不

緩，心口一如，歷歷而轉。一句彌陀，愈多愈好，如人學射，久習則巧。

徹悟禪師念佛伽陀教義百偈第五十六至七十

一句彌陀，攝心密持，如人飲水，冷煖自知。一句彌陀。譬猶掘井，就下近泥，價廉工省。一句彌陀，類如鑽火，木煖煙生，暫停不可。一句彌陀，全身頂戴，人命無常，光陰不再。一句彌陀，如救頭然，盡十分力，期上品蓮。一句彌陀，妙圓止觀，寂寂惺惺，無雜無閒。一句彌陀，險路砥平，直抵寶所，不住化城。一句彌陀，如水清珠，紛紜雜念，不斷自無。一句彌陀，頓入此門，金翅擘海，直取龍吞。一句彌陀，塵緣自斷，師子遊行，驚散野干。一句彌陀，驀直念過。一踏到底，香象渡河。一句彌陀，無相心佛，國土莊嚴，更非他物。一句彌陀，無為大法，日用單提，劔離寶匣。一句彌陀，無漏真僧，雪山藥樹，險道明鐙。一句彌陀，滿檀那度，裂破慳囊，掀翻寶聚。

徹悟禪師念佛伽陀教義百偈第七十一至八十五

一句彌陀，滿尸羅度，都攝六根，圓淨三聚。一句彌陀，滿羸提度，二我相空，無生忍悟。一句彌陀，滿毘黎度。不染纖塵，直踏玄路。一句彌陀，滿禪那度，現諸威儀，藏甚枯樹。一句彌陀，滿般若度，境寂心空，雲開月露。一句彌陀，想寂思專，未離忍土，已坐寶蓮。一句彌陀，一朵寶蓮，唯心之妙，法爾如然。一句彌陀，一朵寶蓮，凡情不信，亦宜其然。一句彌陀，一朵寶蓮，決定不信，真箇可憐。一句彌陀，一朵寶蓮，直饒不信，已染識田。一句彌陀，宏通敢情，入大悲室，坐法空座。一句彌陀，無盡寶藏，八字打開，普同供養。一句彌陀，斷諸煩惱，全佛全心，一了百了。一句彌陀，滅除定業，赫日輕霜，洪爐片雪。一句彌陀，能空苦報，世界根身，即粗而妙。

徹悟禪師念佛伽陀教義百偈第八十六至一百

一句彌陀，圓轉三障，即惑業苦，成秘密藏。一句彌陀，解難解冤，慈光共仰，法喜均沾。一句彌陀，報未報恩，裂纏綿網，入解脫門。一句彌陀，空諸惡趣，萬德洪名，那容思議。一句彌陀，機逗人天，參差三輩，掩映九蓮。一句彌陀，化兼小聖，回狹劣心，向無上乘。一句彌陀，超然無礙，文殊普賢，大人境界。一句彌陀，微妙難思，唯佛與佛，乃能知之。一句彌陀，列祖奉行，馬鳴造論，龍樹往生。一句彌陀，因緣時節，異香常聞，蓮社創結。一句彌陀，利大象龍，永明禪伯，智者教宗。一句彌陀，感應非輕，少康化佛，善導光明。一句彌陀，有教無類，雄俊入冥，惟恭滅罪。一句彌陀，是無上禪，一生事辦，曠劫功圓。一句彌陀，理非易會，百偈俄成，三尊加被。

附記

頁碼	行數	原文鈔上冊精裝本	校正後建議修改
全文	全文	況	況
全文	全文	迹	跡
全文	全文	痊愈	痊癒
全文	全文	世間	世間
全文	全文	个	個
全文	全文	柰	奈
全文	全文	比丘	比丘
全文	全文	煖	暖
二一 一九八	第十九行 倒數最後一行	「豫」知	「預」知
三十 二五四	第四行 第四行	「煅」煉	「鍛」煉
三二	第二四行	「一」經一論	「三」經一論
四二 一三六	第九行 第八行	「薙」髮	「剃」髮
二五五	第十三行	輪「回」六道	輪「迴」六道

淨空法師專集網站(簡)製作

若發現有任何錯別字，敬請來信告知，以便修正，功德無量！